

Enterprise PL/I for z/OS
6.1

メッセージおよびコード



目次

Enterprise PL/I for z/OS メッセージおよびコード	v
第 1 版 (2022 年 5 月).....	v
本書について	vii
コンパイラーおよびプリプロセッサのメッセージ.....	vii
ご意見の送付方法.....	viii
アクセシビリティ.....	viii
第 1 章コンパイラー通知メッセージ (1000 から 1076、2800 から 2999)	1
第 2 章コンパイラー警告メッセージ (1078 から 1225、2600 から 2799)	9
第 3 章コンパイラー・エラー・メッセージ (1226 から 1499、2400 から 2599)	35
第 4 章コンパイラー重大メッセージ (1500 から 2399)	69
第 5 章 MACRO、CICS、および SQL プリプロセッサ・メッセージ (3000 から 3999)	147
第 6 章コード生成メッセージ (5000 から 5999)	181
第 7 章条件コード	187
条件コード 1 から 500.....	187
条件コード 501 から 1000.....	193
条件コード 1001 から 1499.....	197
条件コード 1500 から 2000.....	200
条件コード 2001 から 2500.....	208
条件コード 3000 から 4000.....	210
条件コード 4001 から 9999.....	212
特記事項	217
商標.....	217
参照文献	219
PL/I 資料.....	219
関連資料.....	219

Enterprise PL/I for z/OS メッセージおよびコード

バージョン 6 リリース 1

GC31-5717-00

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[217 ページの『特記事項』](#)に記載されている情報をお読みください。

第 1 版 (2022 年 5 月)

本書は、バージョン 6 リリース 1 Enterprise PL/I for z/OS®(5655-PL6)、および新しい版またはテクニカル・ニュースレターで明記されていない限り、以降のすべてのリリースに適用されます。製品のレベルに合った正しい版をご使用ください。

資料を注文する場合は、IBM® 担当者または最寄りの IBM 営業所にご連絡ください。 <!--Publications are not stocked at the address below.-->

A form for readers' comments is provided at the back of this publication. If the form has been removed, address your comments to:

IBM コーポレーション、部門 H150/090
555 Bailey Ave
San Jose, CA, 95141-1099
United States of America

情報を IBM に送信する場合、提供者がいかなる義務も負うことのない適切な方法で、その情報の使用または配布する非独占的権利を IBM に提供することになります。

IBM Enterprise PL/I for z/OS は継続的デリバリー (CD) モデルをサポートしていて、その CD モデルでデリバリーされる機能を文書化するために資料が更新されるため、更新がないかを 3 カ月ごとに確認することは良い考えです。

Copyright International Business Machines Corporation 1999, 2022. All Rights Reserved.

US Government Users Restricted Rights -- Use, duplication or disclosure restricted by GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.

本書について

本書は PL/I プログラマーおよびシステム・プログラマーを対象としています。コンパイラー・メッセージおよびプリプロセッサー・メッセージの理解に役立ちます。

コンパイラーおよびプリプロセッサーのメッセージ

このガイドには、コンパイラー・メッセージが番号順で示されています。これらのメッセージは、ソース・プログラムの後に続く出力およびその他のコンパイラーにより作成されるリストに、数字の順序でリストされます。

メッセージのフォーマット

コンパイル出力では、各コンパイラー・メッセージは、範囲 5000 から 5999 のコード生成メッセージを除き、IBMnnnnI Xで始まります。ここで、

- IBM は、メッセージが PL/I メッセージであることを示します。
- nnnn はメッセージの番号です。
- 終了文字 I は、システム・オペレーターの処置が不要であることを示します。
- X は重大度コードを示します。

SYSPRINT を開くことができないなど、一部の壊滅的状況においては、コンパイラーは上記の最後の 2 つの規則に従わない場合があります。

本書では、メッセージは番号順に示します。この章に示す各コンパイラー・メッセージのフォーマットは、IBMnnnnI Xです。X は重大度コードです。

重大度コードは、I、W、E、S、または U のいずれかです。

これらの重大度コードの意味は次のとおりです。(示されている戻りコードは、生成される戻りコードの最大値です。)

I

通知 (informational) メッセージ (RC=0) は、コンパイルされたプログラムが正しく実行されることを示します。非効率になる可能性のあるコードや、その他の注意すべき条件があると、コンパイラーはユーザーに通知します。

W

警告 (warning) メッセージ (RC=4) は、ステートメントは構文上は正しいが、なんらかのエラーがある可能性 (警告) を示します。コンパイルされたプログラムは正常に実行されますが、予想とは異なる結果が生成されたり、かなり効率が悪くなる場合があります。

E

エラー (error) メッセージ (RC=8) は、単純なエラーが検出され、コンパイラーによって修正されたことを示します。コンパイルされたプログラムは正常に実行されますが、予想とは異なる結果が生成される場合があります。

S

重大 (severe) エラー・メッセージ (RC=12) は、コンパイラーにより修正できなかったエラーがあることを示します。プログラムがコンパイルされ、オブジェクト・モジュールが生成されても、そのモジュールを使用してはなりません。

U

回復不能 (unrecoverable) エラー・メッセージ (RC=16) は、コンパイルの強制終了を招くエラーを示します。オブジェクト・モジュールは正常には作成されません。

コンパイラー・メッセージは、これらの重大度レベル別、および生成元のコンポーネント別にグループに分けられます。

コード生成メッセージ (5000 から 5999 の範囲内のもの) は、IBMnnnnn で始まります。

- IBM は、メッセージが PL/I メッセージであることを示します。
- nnnn はメッセージの番号です。

バッチ環境では、コード生成メッセージは STDOUT DD データ・セットに書き込まれ、その他のメッセージはすべてリストに出力されて、SYSPRINT DD データ・セットに書き込まれます。z/OS UNIX 環境では、コード生成メッセージは STDOUT に書き込まれ、その他のメッセージはすべてリストに出力されるとともに、STDOUT にも書き込まれます。

コンパイラーの FLAG オプションを使用して、コンパイル・リスト内にメッセージを入れないようにすることもできます。FLAG オプションについては、「Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイド」を参照してください。

メッセージ内の挿入語句

多くのコンパイラー・メッセージには、メッセージを出力するときにコンパイラーが情報を挿入する個所を示す語句が入っています。この章に示すメッセージでは、このような挿入個所を示す語句はイタリックで表してあります。

IBM に連絡してサポートを得るには

コンパイラー・エラーに関するプログラミング・サポートを要求するために IBM にご連絡いただく際には、該当ソース・プログラムのリスト出力をお手元に用意していただくと役立ちます。このリストは、オプション INSOURCE MACRO OPTIONS SOURCE を指定して作成していただくと、潜在的な問題の分析が最も容易になります。

ご意見の送付方法

本書または PL/I の他のマニュアルについてご意見がありましたら、IBM 発行のマニュアルに関する情報の Web ページ (<http://www.ibm.com/jp/manuals/>) よりお送りください。今後の参考にさせていただきます。(URL は、変更になる場合があります) この資料または他の PL/I 資料に関するご意見については、以下のいずれかの方法で IBM にご連絡ください。

- compinfo@cn.ibm.com に E メールを送信します。

資料名、資料番号、PL/I のバージョン、および該当する場合はご意見の対象であるテキストの具体的な場所 (例: ページ番号) を必ず記載してください。

- この資料の巻末にある Readers' Comment Form に記入して、以下の住所に郵便で送付するか、IBM 担当員に提出する If the form has been removed, address your comments to:

IBM
Reader Comments
H150/090
IBM World Trade Asia Corporation
San Jose, CA 95141-1003
:NONE.

- 米国の FAX 番号 (800)426-7773 にご意見をファックスで送る

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動や視覚などに障害を持つユーザーが情報技術製品を快適に使用できるように支援します。z/OS のアクセシビリティ機能には、Enterprise PL/I に対するアクセシビリティが備わっています。

アクセシビリティ機能

z/OS には、以下の主要アクセシビリティ機能が含まれています。

- スクリーン・リーダーおよび画面拡大ソフトウェアで一般的に使用されるインターフェース
- キーボードのみによるナビゲーション
- 色、コントラスト、フォント・サイズなどの表示属性をカスタマイズする機能

z/OS は、最新の W3C 標準である WAI-AL1.0 (<http://www.w3.org/TR/wai-aria/>)を使用して、US セクション 508 (<https://www.access-board.gov/ict/>) および Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0 (<http://www.w3.org/TR/WCAG20/>)に確実に準拠します。アクセシビリティ機能を利用するには、最新リリースのスクリーン・リーダーを、この製品でサポートされる最新の Web ブラウザーと併用してください。

キーボード・ナビゲーション

ユーザーは、TSO/E または ISPF を使用して z/OS user ユーザー・インターフェースにアクセスできます。また、ユーザーは IBM Developer for z/OS を使用して z/OS サービスにアクセスすることもできます。これらのインターフェースへのアクセスに関する情報については、以下の資料を参照してください。

- [z/OS TSO/E 入門](#)
- [z/OS TSO/E ユーザーズ・ガイド](#)
- [z/OS ISPF ユーザーズ・ガイド第 1 巻](#)
- [IBM Developer for z/OS の資料](#)

上記の資料には、キーボード・ショートカットまたはファンクション・キー (PF キー) の使用方法を含む TSO/E および ISPF の使用方法が記載されています。それぞれの資料では、PF キーのデフォルトの設定値とそれらの機能の変更方法についても説明しています。

インターフェースに関する情報

エンタープライズ PL/I オンライン製品資料は、標準の Web ブラウザーで表示できる IBM 資料で入手できます。

PDF ファイルでのアクセシビリティ・サポートは限定的です。PDF 資料では、オプションのフォント拡大機能およびハイコントラスト表示設定を使用でき、キーボードのみでナビゲートできます。

ご使用のスクリーン・リーダーが構文図やソース・コード例を正確に読み上げたり、ピリオドやコンマといった PICTURE 記号を含むテキストを正確に読み上げたりできるようにするには、ご使用のスクリーン・リーダーがすべての句読点を読み上げるように設定する必要があります。

支援技術製品は、z/OS にあるユーザー・インターフェースと連携して機能します。ガイダンス情報については、z/OS インターフェースへのアクセスに使用する支援技術製品の資料を参照してください。

アクセシビリティ関連情報

標準 IBM ヘルプ・デスクとサポート Web サイトに加え、IBM は、聴覚が不自由なお客様が営業やサポート・サービスにアクセスするために使用できる TTY 電話サービスを立ち上げました。

TTY サービス
800-IBM-3383 (800-426-3383)
(北米内)

IBM のアクセシビリティへの取り組み

IBM のアクセシビリティへの取り組みについて詳しくは、[IBM Accessibility \(www.ibm.com/able\)](http://www.ibm.com/able) を参照してください。

第 1 章 コンパイラー通知メッセージ (1000 から 1076、2800 から 2999)

IBM1018I I *option-name should be specified within OPTIONS, but is accepted as is.*

説明

このメッセージは、options リストの作成に使用される。

IBM1035I I **The next statement was merged with this statement.**

説明

このメッセージが発行されたステートメントの次のステートメントが、そのステートメントとマージされた。

IBM1036I I **The next *statement-count* statements were merged with this statement.**

説明

このメッセージが発行されたステートメントの後に続く、指定された数のステートメントが、そのステートメントとマージされた。

IBM1038I I **NOTE**

説明

このメッセージは、バックエンド通知メッセージを報告するために使用される。

IBM1039I I **Variable *variable name* is implicitly declared.**

説明

組み込み関数 SYSPRINT および SYSIN のコンテキスト宣言の場合を除き、すべての変数を宣言する必要がある。

IBM1040I I **NOTE**

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 0 と共に使用される。

IBM1041I I **Comment spans *line-count* lines.**

説明

コメントが開始行とは別の行で終わっている。これは、コメント終了を表す区切り文字が欠落している可能性を示す。

IBM1042I I **String spans *line-count* lines.**

説明

ストリングが開始行とは別の行で終わっている。これは、右引用符が欠落している可能性を示す。

IBM1043I I ***variable name* is contextually declared as *attribute*.**

説明

示されている変数には宣言ステートメントがないが、その使用法に基づいて、示されている属性が与えられた。例えば、変数がロケーターとして使用されていると、POINTER 属性が与えられることになる。

IBM1044I I **FIXED BINARY with precision 7 or less is mapped to 1 byte.**

説明

OS/370 PL/I および PL/I for MVS コンパイラーでは、これは 2 バイトにマップされる。

IBM1046I I **UNSPEC applied to an array is handled as a scalar reference.**

説明

OS/370 PL/I および PL/I for MVS コンパイラーでは、配列に適用された UNSPEC はスカラーの配列として取り扱われる。

IBM1047I I **ORDER option may inhibit optimization.**

説明

ORDER オプションをブロックに適用した場合は、最適化が禁止される可能性がある。特に、ON ユニットの外部で宣言された変数を参照する ON ユニットがブロックに含まれている場合は、最適化は禁止される可能性が高い。

IBM1048I I **GET/PUT DATA without a data-list inhibits optimization.**

説明

GET DATA ステートメントは、ほとんどすべての変数を変更する可能性があり、PUT DATA ステートメントでは、PUT DATA ステートメントの実行時点でほとんどの変数はホームに保管されている必要がある。どちらの要件の場合も最適化が禁止される。

IBM1050I I **INITIAL attribute for RESERVED STATIC is ignored.**

説明

属性 RESERVED STATIC を持つ変数に、INITIAL 属性が指定されている。このような変数は、PACKAGE ステートメントの EXPORTS 文節に指定されていない限り、初期化されない。

IBM1051I I **Argument to *BUILTIN* name built-in may not be byte aligned.**

説明

このメッセージは ADDR、CURRENTSTORAGE/SIZE、および STORAGE/SIZE 組み込み関数に適用される。これらの組み込み関数のいずれかを、位置合わせされていないビット変数に適用すると、予想どおりの結果が生成されないことがある。

IBM1052I I **The NODESCRIPTOR attribute is accepted even though some arguments have * extents.**

説明

* エクステンツを持っているストリング、または * エクステンツを持っている配列が渡された場合、PL/I では、通常、記述子を渡すことによって、渡された引数の実際のサイズを呼び出されたルーチンが認識できるようにする。NODESCRIPTOR 属性は、記述子が渡されないことを示す。呼び出されるルーチンが PL/I プロシージャである場合は、この属性は無効である。

```
dcl x entry( char(*), fixed bin(31) )
      options( nodestructor );
```

IBM1053I I **Scaled FIXED operation evaluated as FIXED DECIMAL.**

説明

組み込み関数 ADD、DIVIDE、MULTIPLY、または SUBTRACT の 1 つが、FIXED 型の引数で呼び出された場合、どちらかのオペランドのスケール因数がゼロ以外の場合は、結果の型は FIXED DEC になる。

IBM1058I I **Conversion from *source type* to *target type* will be done by library call.**

説明

このメッセージは、ループの一部として実行すると非常にコストが高くなる可能性があるコードを見つけたら、異種の型の変換を含むコードを見つけるために役立つ。

IBM1059I I **SELECT statement contains no OTHERWISE clause.**

説明

条件が満たされる WHEN 文節がまったくない場合は、ERROR 条件が発生する。

IBM1060I I **Name resolution for *identifier* selected its declaration in a structure, rather than its non-member declaration in a parent block.**

説明

意外なことに、PL/I 言語規則ではこれが必要である。例えば、次の部分コードでは、display ステートメントにより x.y の値が表示される。

```
a: proc;

  dcl y fixed bin init(3);

  call b;

  b: proc;

    dcl
      1 x,
      2 y fixed bin init(5),
      2 z fixed bin init(7);

    display( y );

  end;

end a;
```

IBM1061I I **Probable DATE calculation should be examined for validity after the year 1999.**

説明

定数 365、1900、または '19' のいずれかを使用すると、日付の計算を示すことがある。これに該当する場合は、計算を調べて 1999 年が過ぎた後も有効かどうかを判別する必要がある。

IBM1062I I ***variable* inferred to contain a two-digit year.**

説明

例えば変数に DATE 組み込み関数が割り当てられていたために、指示された変数には、2桁の年が含まれているものと推測される。

IBM1064I I **Use of OPT(2) forces TEST(BLOCK).**

説明

OPT(2) のもとでは、TEST(BLOCK) より強くフックする TEST 指定はサポートされない。

IBM1065I I **Float constant *constant* would be more precise if specified as a long float.**

説明

指定された短精度の浮動小数点定数は正確に表すことができない。長精度の浮動小数点定数として指定された場合は、もっと正確に表すことができる。例えば、1.3E0 は正確に表すことができないが、1.3D0 の場合は適切に表すことができる。

IBM1067I I **UNTIL clause ignored.**

説明

DO の指定にループの繰り返しを生じさせる TO、BY、REPEAT などの文節がないために、UNTIL 文節はループに影響を及ぼさず無視される。

```
do x = y until ( z > 0 );
...
end;
```

IBM1068I I **Procedure has no RETURNS attribute, but contains a RETURN statement. A RETURNS attribute will be assumed.**

説明

プロシージャに RETURN ステートメントが含まれている場合は、PROCEDURE ステートメントに RETURNS 属性を指定する必要がある。

```
a: proc;
  return( 0 );
end;
```

IBM1069I I **The AUTOMATIC variables in a block should not be used in the prologue of that block.**

説明

ブロック内の AUTOMATIC 変数は、含まれている任意のブロックの宣言ステートメントおよび実行可能ステートメントの中で使用できるが、その変数を宣言するブロックの中では、実行可能ステートメントの中でしか使用できない。

```
decl x fixed bin(15) init(5);
decl y(x) fixed bin(15);
```

IBM2800I I **The procedure *proc name* is not referenced.**

説明

示されているプロシージャは、外部プロシージャではなく、コンパイル単位内で参照されることはない。これはエラー (このプロシージャを呼び出すことになっている場合) またはなんらかの非活動コードを除去する機会を示す。

IBM2801I I **FIXED DEC(*source-precision* , *source-scale*) operand will be converted to FIXED BIN(*target-precision* , *target-scale*). This introduces a non-zero scale factor into an integer operation and will produce a result with the attributes FIXED BIN(*result-precision*,*result-scale*).**

説明

RULES(IBM) を指定すると、算術演算に FIXED BIN のオペランドと 非ゼロのスケール因数を指定した FIXED DEC のオペランドがある場合、FIXED DEC オペランドは FIXED BIN に変換される。

IBM2802I I **Aggregate mapping will be done by library call.**

説明

このメッセージは、ループの一部として実行すると非常にコストが高くなる可能性があるコードを見つけるために役立つ。例えば、コードが REFER を使用する構造体のエレメントを参照している場合に、このメッセージが生成されることがある。構造体で複数の REFER を使用しており、最後の REFER の後にエレメントがある場合、そのエレメントに対する単一の参照で、このメッセージの複数のコピーが生成されることがある (複数のライブラリー呼び出しが行われるため)。

IBM2803I I **keyword STRING EDIT statement optimized.**

説明

PUT または GET STRING EDIT ステートメントがコンパイラによって最適化され、そのほとんどがインラインで実行されるようになる場合に、このメッセージが出される。

IBM2805I I **For assignment to variable name, conversion from source type to target type will be done by library call.**

説明

このメッセージは、ループの一部として実行すると非常にコストが高くなる可能性があるコードを見つけたり、異種の型の変換を含むコードを見つけるために役立つ。

IBM2806I I **Passing a LABEL to another routine is poor coding practice and will cause the compiler to generate less than optimal code.**

説明

一般に、ラベルを別のルーチンに渡すことは賢明ではない。このことを行うコードがあれば、再設計を考える方が良いと思われる。

IBM2809I I **FIXED DEC(source-precision , source-scale) operand will be converted to FIXED BIN(target-precision , target-scale). This introduces 8-byte integer arithmetic into an operation that might be faster if computed in decimal.**

説明

LIMITS オプションが 31 を超える最大 FIXED 精度を指定する場合、FIXED DEC および FIXED BIN オペランドが関わる操作は、たとえ両方のオペランドが "small" であったとしても、8 バイト整数の結果を生成する可能性がある。例えば、FIXED DEC(13) と FIXED BIN(31) を加算する場合、結果は 8 バイト整数になる可能性がある (なぜなら、FIXED DEC(13) 値は 4 バイト整数に収めるには大きすぎるからである)。これを避けるためには、DECIMAL 組み込み関数を FIXED BIN オペランドに適用することができる。

IBM2810I I **Conversion of FIXED BIN(source-precision,source-scale) to FIXED DEC(target-precision,target-scale)**

may produce a more accurate result than under the old compiler.

説明

FIXED BIN(p,q) から FIXED DEC への変換では、q が正の場合に古いコンパイラで結果がいくらか丸められていた。

IBM2812I I **Argument number argument number to BUILTIN name built-in would lead to much better code if declared with the VALUE attribute.**

説明

VERIFY(x,y) などの関数で y が定数である場合は、INITIAL 属性ではなく VALUE 属性を使用して y を宣言する方がパフォーマンスが向上する。

IBM2814I I **Aggregate mapping for storage allocation will be done by library call.**

説明

このメッセージを使用して、何度も呼び出されるとコストが高くなる可能性があるコードを見つけることができる。このメッセージは、非定数エクステントを持っている BASED および CONTROLLED 変数に対する ALLOCATE ステートメントで生成されることがあり、非定数エクステントを持っている AUTOMATIC 変数を使用する PROCEDURE のプロログでも生成されることがある。

IBM2815I I **Argument number argument-number in ENTRY reference ENTRY name is not recommended to be passed BYVALUE.**

説明

BYVALUE 引数は、正当にレジスターで受け渡しできるものである必要がある。したがって、そのタイプは、REAL FIXED BIN、REAL FLOAT、POINTER、OFFSET、HANDLE、LIMITED ENTRY、FILE、ORDINAL、CHAR(1)、WCHAR(1)、または ALIGNED BIT(n) (n は 8 以下) のいずれかでなければならない。

IBM2816I I **BYVALUE parameters should ideally be ones that can reasonably be passed in registers.**

説明

BYVALUE パラメーターは、正当にレジスターで受け渡しできるものである必要がある。したがって、そのタイプは、REAL FIXED BIN、REAL FLOAT、POINTER、OFFSET、HANDLE、LIMITED ENTRY、FILE、

ORDINAL、CHAR(1)、WCHAR(1)、または ALIGNED BIT(n) (n は 8 以下) のいずれかでなければならない。

IBM2817I I **BYVALUE in RETURNS is recommended only for types that can reasonably be returned in registers.**

説明

RETURNS で BYVALUE を使用するのが推奨されるのは、戻される値のタイプがレジスターで正当に戻すことができるタイプである場合に限られる。したがって、そのタイプは、REAL FIXED BIN、REAL FLOAT、POINTER、OFFSET、HANDLE、LIMITED ENTRY、FILE、ORDINAL、CHAR(1)、WCHAR(1)、または ALIGNED BIT(n) (n は 8 以下) のいずれかでなければならない。

IBM2818I I **Addition or subtraction of FIXED DEC(precision,scale-factor) and FIXED DEC(precision,scale-factor) may raise FIXEDOVERFLOW.**

説明

この加算 (または減算) を PL/I の定義に従って結果を保持するために必要な精度が、オペランドの LIMITS(FIXEDDEC) の最大値より大きくなっている。したがって、データ値に応じて、FIXEDOVERFLOW が演算によって生じる可能性がある。

IBM2819I I **Multiplication of FIXED DEC(precision,scale-factor) and FIXED DEC(precision,scale-factor) may raise FIXEDOVERFLOW.**

説明

この乗算を PL/I の定義に従って結果を保持するために必要な精度が、オペランドの LIMITS(FIXEDDEC) の最大値より大きくなっている。したがって、データ値に応じて、FIXEDOVERFLOW が演算によって生じる可能性がある。

IBM2820I I **The option-name option is not supported on this platform.**

説明

指定されたコンパイラー・オプションは、このプラットフォームではサポートされていない。例えば、BLKOFF オプションは z/OS プラットフォーム上で使用するオプションであるが、AIX または Windows 上で使用するオプションではない。それらのプラットフォーム上で指定されたとしても、それは無視される。

IBM2825I I **Conversion from source type to target type will be done by library call.**

説明

このメッセージは、ループの一部として実行すると非常にコストが高くなる可能性があるコードを見つけたり、異種の型の変換を含むコードを見つけるために役立つ。

IBM2826I I **For assignment to variable name, conversion from source type to target type will be done by library call.**

説明

このメッセージは、ループの一部として実行すると非常にコストが高くなる可能性があるコードを見つけたり、異種の型の変換を含むコードを見つけるために役立つ。

IBM2827I I **Conversion from source type to target type can produce an inexact or incorrect result.**

説明

例えば、FLOAT DEC(15) 値 321.1234 を FIXED DEC(15,15) に変換すると、0.123399999999952 という不正確な結果になる。一方、FLOAT DEC(15) 値 54321.1234 を FIXED DEC(15,15) に変換すると、0.372036854775807 という正しくない結果になる。ソースの絶対値が $10^{(18-p)}$ 未満の場合は、FIXED DEC(p,q) への変換で正しくない結果を避けることができる。

IBM2830I I **VALUE(: type name :) will return an instance of the structure type that is only partially initialized.**

説明

一部の要素にしか初期属性がない構造タイプに VALUE タイプ関数が適用される場合、構造インスタンスの一部のみが初期化される。例えばコンパイラーは、B2 に初期値がないために、次のコードに対してこのメッセージによってフラグを立てる。B2 が属性 init(value(: a :)) を指定して宣言されている場合にのみ、B2 はタイプ a の初期値を取るからである。

```
if ( a < b ) = true then

define structure
1 a,
2 a1 fixed bin(31) init( 17 ),
2 a2 fixed bin(31) init( 19 );

define structure
1 b,
2 b1 fixed bin(31) init( 119 ),
2 b2 type a;

dcl x type b;
```

```
x = value(: b :);
```

IBM2831I I **ASSERT statement may never be executed.**

説明

このメッセージは、制御のフローとして実行できない ASSERT UNREACHABLE ステートメントを常に通らなければならないことをコンパイラーが検出したことを警告するものです。

IBM2832I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* and all other procedures since the TEST option is on.**

説明

TEST オプションがオンである場合、コンパイラーはインライン化を実行しません。

IBM2833I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* since it contains ENTRY statements.**

説明

コンパイラーは、ENTRY ステートメントを持つプロシージャをインライン化しません。

IBM2834I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* since it contains subprocedures and/or BEGIN blocks.**

説明

コンパイラーは、他の PROCEDURE または BEGIN ブロックを含む PROCEDURE または BEGIN ブロックをインライン化しない。

IBM2835I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* since it has OPTIONS(NODESCRIPTOR), but has some parameters with nonconstant extents.**

説明

コンパイラーは、NODESCRIPTOR オプションがあるが、通常はディスクリプターとその引数が渡されるプロシージャをインライン化しない。

IBM2836I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* since it contains labels that may be targets of out-of-block GOTOs.**

説明

コンパイラーは、(別の PROCEDURE ブロックまたは BEGIN ブロックからの GOTO のターゲットと考えられる) ラベルを持つプロシージャをインライン化しない。

IBM2837I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* since it contains some DATA-directed I/O statements.**

説明

コンパイラーは、PUT DATA ステートメントまたは GET DATA ステートメントを持つプロシージャをインライン化しません。

IBM2838I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* since it has non-default condition enablement.**

説明

コンパイラーは、デフォルトとは異なる条件割り込み化を持つプロシージャをインライン化しません。

IBM2839I I **INLINE directive will be ignored for *procedure name* since it contains ON-units.**

説明

コンパイラーは、ON ステートメントを持つプロシージャをインライン化しません。

IBM2840I I **If TRANSLATE is being used to reformat a date-time value, it would be better to use the REPATTERN or DATETIME built-in function instead.**

説明

TRANSLATE 組み込み関数への最初の引数と 3 番目の引数がどちらも定数であれば、多くの場合、コードは日時値の再フォーマットを試みます。REPATTERN 組み込み関数または (可能であれば) DATETIME 組み込み関数が代わりに使用されていれば、このコードは、より理解しやすいものになります。例えば、下のコードにおける最初の 2 ビットは同じ値をターゲット変数 shortdate に割り当て、2 番目の 2 ビットも同じ値をターゲット変数 currentdate に割り当てています。ただし、それぞれのケースで、2 番目のステートメントがより明確です。

```
shortdate
  = translate( '12.34.5678',
              longdate,
              '56783412abcdefghijkl' );
```

```

shortdate
= repattern( longdate,
              'DD.MM.YYYY',
              'YYYYMMDDHHMISS999' );

currentdate
= translate( '12.34.5678',
             datetime(),
             '56783412abcdefghijkl' );

currentdate
= datetime( 'DD.MM.YYYY' );

```

IBM2841I I **Changing MEMCONVERT(p,n,1200,q,m,1208) to MEMCU12(p,n,q,m) would be better for performance.**

説明

MEMCU12 が MEMCONVERT より優れています。

IBM2842I I **Changing MEMCONVERT(p,n,1208,q,m,1200) to MEMCU21(p,n,q,m) would be better for performance.**

説明

MEMCU21 が MEMCONVERT より優れています。

IBM2844I I **The characters += will be accepted as two separate characters. But perhaps += was meant, and it would be better to separate these characters with a blank.**

説明

このエラーが割り当てステートメントで発生し、+= であるべきところを += としている場合、このメッセージは問題があることを示している可能性があります。

IBM2845I I **The characters -= will be accepted as two separate characters. But perhaps -= was meant, and it would be better to separate these characters with a blank.**

説明

このエラーが割り当てステートメントで発生し、-= であるべきところを -= としている場合、このメッセージは問題があることを示している可能性があります。

IBM2846I I **It would be better to convert nested procedures in a PACKAGE into sister level-1 procedures.**

説明

ネストされたプロシージャが含まれるレベル 1 のプロシージャが 1 つだけ存在する PACKAGE ステートメントがコンパイル単位に含まれている場合に、コンパイラーはこのメッセージを出します。

IBM2847I I **RETURN ステートメント内のソースは、対応する RETURNS 属性の returns-length の長さより大きい RETURN-length の MAXLENGTH を持っている。**

説明

RETURNS ステートメントに、RETURNS 属性に指定された長さより大きい MAXLENGTH を持つ VARYING または VARYINGZ 変数が指定されている場合は、切り捨てなしで戻すには大きすぎる値が指定されている可能性がある。例えば、以下の RETURNS ステートメントの変数 X の値 ('TooBig') の長さが 4 を超えている。RETURNS 属性に適合するようにトリムされます ('TooB' になる)。

```

x: proc returns( char(4) );
   dcl x char(8) var;
   x = 'TooBig';
   return( x );

```

IBM2848I I **結果の精度と位取りが (result-precision,result-scale)の場合、FIXED DEC (x-precision,x-scale) および FIXED DEC (y-precision,y-scale) の ADD がオーバーフローする場合がある。**

説明

ADD (x, y, p, q) において、x と y の精度が p (および q) と比較して十分に大きい場合、オーバーフローやサイズが発生する可能性がある。

第2章 コンパイラー警告メッセージ (1078 から 1225、2600 から 2799)

IBM1078I W Statement may never be executed.

説明

このメッセージは、コンパイラーが、常に通過しなければならないステートメントが制御のフローとして実行されないと検出したことを警告する。

IBM1079I W Too few arguments have been specified for the ENTRY *ENTRY name*.

説明

引数の数は、ENTRY 宣言のパラメーターの数と一致しなければならない。

IBM1080I W The keyword *label-name*, which could form a complete statement, is accepted as a label name, but a colon may have been used where a semicolon was meant.

説明

完全なステートメントを構成する可能性がある PL/I キーワードが、ステートメント・ラベルとして使用されている。この使用法は許容されるが、セミコロンを使用すべき場所でコロンが使用されている可能性がある。

```
decl a fixed bin(31) ext;

if a = 0 then
  put skip list( 'a = 0' )
else:
  a = a + 1;
```

IBM1081I W *keyword expression* should be scalar. Lower bounds assumed for any missing subscripts.

説明

示されているキーワード文節内の式はスカラーでなければならないが、配列参照が指定されている。

```
decl p      pointer;
decl x      based char(10);
decl a(10)  area(1000);
```

```
allocate x in(a) set(p);
```

IBM1082I W Argument number *argument-number* in entry reference *entry name* is a scalar, but its declare specifies a structure.

説明

構造体が予期されている場合にスカラーを引数として渡すことが可能だが、このためには「ダミー」構造体を作成し、スカラーをその構造の各フィールドに割り当てる必要がある。

```
decl e entry( 1 2 fixed bin(31), 2 fixed
bin(31) );
decl i fixed bin(15);
call e( i );
```

IBM1083I W Source in label assignment is inside a DO-loop, and an illegal jump into the loop may be attempted. Optimization will also be very inhibited.

説明

GOTO ステートメントは DO ループ内部にジャンプすることはできず、(異なる) DO ループ内のラベル定数をターゲットとする GOTO に対しては、コンパイラーによってフラグが立てられる。ただし、DO ループ内のラベルがラベル変数に割り当てられている場合、この種のエラーは検出されない可能性がある。

IBM1084I W Nonblanks after right margin are not allowed under RULES(NOLAXMARGINS).

説明

RULES(NOLAXMARGINS) のもとでは、右マージンの後ろにはブランク 以外の何も指定してはならない。

IBM1085I W *variable* may be unset when used.

説明

示されている変数は、それを使用する前に、値が割り当てられていないか、値が初期化されていない可能性がある。

IBM1086I W ***built-in function will be evaluated using long rather than extended routines.***

説明

示されている組み込み関数は拡張浮動小数点の引数を持っているが、対応する拡張ルーチンがまだ使用可能でないため、適切な長精度ルーチンを使用して評価される。

IBM1087I W **FLOAT source is too big for its target. An appropriate HUGE value of assumed value is assumed.**

説明

HUGE(1s0) より大きな値を短精度浮動小数点に割り当てることはできない。16 進表示では、値 3.141592E+40 を短精度浮動小数点に割り当てることが可能だが、IEEE のもとで短精度浮動小数点が保持できる最大値は約 3.40281E+38 である。

IBM1088I W **FLOAT literal is too big for its implicit precision. The E in the exponent will be replaced by a D.**

説明

浮動リテラルの精度は、その仮数内の桁数により暗黙に決まる。例えば、1e99 は暗黙に FLOAT DECIMAL(1) を表すが、値 1e99 は FLOAT DECIMAL(1) が保持できる最大値より大きい。

IBM1089I W **Control variable in DO loop cannot exceed TO value, and loop may be infinite.**

説明

TO の値が、FIXED 変数または PICTURE 変数の保持できる最大値と等しい場合、その変数が上位になるループは、LEAVE または GOTO によってループを終了しないかぎり、無限に実行される。例えば、以下に示す 1 つ目のコード・フラグメントでは、x が 99 より大きな値になることはあり得ず、ループは無限になる。以下に示す 2 つ目のコード・フラグメントでは、y が 32767 より大きな値になることはあり得ず、ループは無限になる。

```
    dcl x pic'99';

    do x = 1 to 99;
      put skip list( x );
    end;

    dcl y fixed bin(15);

    do y = 1 to 32767;
      put skip list( y );
```

```
end;
```

IBM1090I W **Constant used as locator qualifier.**

説明

式には、ロケータ修飾子用の定数値と共に、基底付き変数への参照が含まれている。これにより、一部のシステムでは記憶保護例外が発生することがある。また、変数が NULL または SYSNULL に基づくものとして宣言されていて、その定数値がロケータ修飾子として使用されていることを示している場合もある。

```
    dcl a fixed bin(31) based( null() );

    a = 0;
```

IBM1091I W **FIXED BIN precision less than storage allows.**

説明

特別の場合を除き、FIXED BIN 宣言の中の精度は、SIGNED の場合は 7、15、31、または 63 でなければならず、UNSIGNED の場合はこれらの各値より 1 大きい値でなければならない。このメッセージは、例えば、宣言に UNSIGNED FIXED BIN(8) を指定するつもりで FIXED BIN(8) を指定した可能性があることを示す。

IBM1092I W **GOTO whose target is or may be in another block severely limits optimization.**

説明

スイッチを設定しテストするようにコードを変更するか、または GOTO を最適化の必要がないほど小さいモジュールに制限する必要がある。

IBM1093I W **PLIXOPT string is invalid. See related runtime message message-number.**

説明

PLIXOPT スtringは解析できなかった。詳細については、示されている LE メッセージを参照のこと。

IBM1094I W **Element option in PLIXOPT is invalid. See related runtime message message-number.**

説明

PLIXOPT スtringに無効な項目がある。詳細については、示されている LE メッセージを参照のこと。

IBM1095I W **Element *option* in PLIXOPT has been remapped to *option*. See related runtime message *message-number*.**

説明

PLIXOPT スtringに、LE ではサポートされない ランタイム・オプションが含まれている。詳細については、示されている LE メッセージを参照のこと。

IBM1096I W **STAE and SPIE in PLIXOPT is not supported. See related runtime message *message-number*.**

説明

SPIE オプションおよび STAE オプションは、TRAP オプションに置き換えられている。TRAP(ON) は、SPIE および STAE に相当し、TRAP(OFF) は NOSPIE および NOSTAE に相当する。SPIE と NOSTAE の組み合わせおよび NOSPIE と STAE の組み合わせは、サポートされなくなった。詳細については、示されている LE メッセージを参照のこと。

IBM1097I W **Scalar accepted as argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* although parameter description specifies an array.**

説明

一般に、配列を受け取ることになっている場合にスカラを渡すべきではないが、スカラを渡さなければならない場合もある。

```
dcl a entry( (*) fixed bin )
option(nodescriptor);

call a( 0 );
```

IBM1098I W **Extraneous comma at end of statement ignored.**

説明

コンマの次に、有効な構文エレメント (ID など) でなく、セミコロンがある。コンマは無視され、セミコロンが有効になる。

```
dcl 1 a, 2 b fixed bin, 2 c fixed bin, ;
```

IBM1099I W **FIXED DEC(*source-precision* , *source-scale*) operand will be converted to FIXED BIN(*target-***

***precision* , *target-scale*). Significant digits may be lost.**

説明

RULES(IBM) のもとでは、FIXED BIN のオペランドと、非ゼロのスケール因数を指定した FIXED DEC のオペランドが比較演算または算術演算に使用される場合、FIXED DEC オペランドは FIXED BIN に変換される。RULES(ANS) のもとでは、FIXED BIN のオペランドと、ゼロのスケール因数を指定した FIXED DEC のオペランドが比較演算または算術演算に使用される場合、FIXED DEC オペランドは FIXED BIN に変換される。どちらの場合も、有効数字が失われる可能性があり、また小数部分がある場合は、小数部分が 2 進数として正確に表現されない可能性がある。例えば、RULES(IBM) のもとでは、以下の代入ステートメントによってターゲットの値は 29.19 になり、また比較演算の中で C は FIXED BIN(31,10) に変換されて、有効数字が失われる(実際には SIZE が発生するが、SIZE は使用不可になっているため、このプログラムはエラーになる)。

```
dcl a fixed dec(07,2) init(12.2);
dcl b fixed bin(31,0) init(17);
dcl c fixed dec(15,3) init(2097151);
dcl d fixed bin(31,0) init(0);

a = a + b;

if c = d then;
```

IBM1100I W **The attribute *attribute-option* is not valid on BEGIN blocks and is ignored.**

説明

BEGIN ステートメントの OPTIONS 文節に指定した属性 (下記の例では REDUCIBLE) は、BEGIN ブロックには無効である。

```
begin options( reducible );
```

IBM1101I W ***option-name* is not a known PROCEDURE attribute and is ignored.**

説明

PROCEDURE ステートメントの OPTIONS 文節に指定した属性 (下記の例では DATAONLY) は、PROCEDURE には無効である。

```
a: proc options( dataonly );
```

IBM1102I W ***option-name* is not a known BEGIN attribute and is ignored.**

説明

指示された属性は PROCEDURE ステートメントでは有効だが、BEGIN ステートメントでは無効である。

```
begin recursive;
```

IBM1103I W ***option-name* is not a supported compiler option and is ignored.**

説明

このコンパイラー・オプションは、このプラットフォームではサポートされていない。

```
*process map;
```

IBM1104I W **Suboptions of the compiler option *option-name* are not supported and are ignored.**

説明

このコンパイラー・オプションのサブオプションは、このプラットフォームではサポートされていない。

```
*process list(4);
```

IBM1105I W **A suboption of the compiler option *option-name* is too long. It is shortened to length *number-of-letters*.**

説明

多くのコンパイラー・オプションには、サブフィールドのサイズに制限がある。特定のコンパイラー・オプションの制限については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

```
*process margini( '+-' );
```

IBM1106I W **Condition prefixes on *keyword* statements are ignored.**

説明

DECLARE、DEFAULT、IF、ELSE、DO、END、SELECT、WHEN、または OTHERWISE ステートメントでは、条件接頭語は使用できない。

```
(nofofl): if (x+y) > 0 then
```

IBM1107I W ***option-name* is not a known ENTRY statement attribute and is ignored.**

説明

ENTRY ステートメントの OPTIONS 文節に指定した属性 (下記の例では DATAONLY) は、ENTRY ステートメントでは無効である。

```
a: entry options( dataonly );
```

IBM1108I W **The character *char* specified in the *option* option is already defined and may not be redefined. The redefinition will be ignored.**

説明

OR、NOT、QUOTE、または NAMES コンパイラー・オプションに指定した文字は、PL/I 文字セットまたは別のコンパイラー・オプションで既に定義されている。

```
*process not('=');  
*process not('!' ) or('!' );
```

IBM1109I W **The second argument in the C-format item will be ignored.**

説明

複素数の実数部と虚数部を異なるフォーマットで表示するには、REAL 組み込み関数および IMAG 組み込み関数と、2つのフォーマット項目を使用する。

```
put edit ( x ) ( c( e(10,6), e(10,6) ) );
```

IBM1110I W **The %INCLUDE statement should be on a line by itself. The source on the line after the %INCLUDE statement is ignored.**

説明

テキストを 2 行に分割する。

```
%include x; %include y;
```

IBM1111I W CHECK prefix is not supported and is ignored.

説明

CHECK 接頭部は SAA PL/I 言語の一部ではない。

```
(check): i = j + 1;
```

IBM1112I W *condition-name* condition is not supported and is ignored.

説明

CHECK および PENDING 条件は、SAA PL/I 言語の一部ではない。

```
on check ...
```

IBM1113I W *verb-name* statement is not supported and is ignored.

説明

示されているステートメント (例えば CHECK ステートメント) は、SAA PL/I 言語の一部ではない。

IBM1114I W Comparands are both constant.

説明

比較の中の両方のオペランドが定数であるため、比較の結果も定数である。例えば、この比較が IF 文節内の式の場合、これは、THEN 文節と ELSE 文節のどちらか一方は実行されないことを意味する。

IBM1115I W INITIAL list contains *count* items, but the array *variable name* contains only *array size*. Excess is ignored.

説明

配列の場合、INITIAL リストには、その配列が持つエレメントの数を超える数の値を入れてはならない。

```
dcl a init( 1, 2 ), b(5) init( (10) 0 );
```

IBM1116I W Comment spans more than one file.

説明

コメントが、開始ファイルとは別のファイルの中で終わっている。これは、コメント終了ステートメントが欠落している可能性を示す。

IBM1117I W String spans more than one file.

説明

ストリングが、それが始まったファイルとは別のファイルの中で終わっている。これは、右引用符が欠落している可能性を示す。

IBM1118I W Delimiter missing between *nondelimiter* and *nondelimiter*. A blank is assumed.

説明

すべての ID と定数の間には、区切り文字 (例えばブランクまたはコンマ) が必要である。

```
dcl 1 a, 2 b, 3c;
```

IBM1119I W Code generated for DO group would be more efficient if control variable *name* were not an aggregate member.

説明

DO ループ内の制御変数が配列、構造体、または共用体のメンバーであるため、このループ用に生成されるコードは最適にはならない。

IBM1120I W Multiple closure of groups. END statements will be inserted to close intervening groups.

説明

1 つの END ステートメントを使用して複数のステートメント・グループをクローズすることは許されるが、コーディング・エラー が示される場合がある。

IBM1121I W Missing *character* assumed.

説明

指示された文字が欠落しているが、ソースの中にはそれ以外の文字がない。構文解析プログラムが、欠落した文字を挿入してソースを訂正した。

IBM1122I W Missing *character* assumed before *character*.

説明

示されている文字が欠落していたため、構文解析プログラムがその文字を挿入してソースを訂正した。

```
display( 'Program starting' ;
```

IBM1123I W **The ENVIRONMENT option *option-name* has been specified without a suboption. The option *option-name* is ignored.**

説明

一部の ENVIRONMENT オプション (RECSIZE など) には、サブオプションが必要である。

```
dcl f file env( recsize );
```

IBM1124I W **A suboption has been specified for the ENVIRONMENT option *option-name*. The suboption will be ignored.**

説明

一部の ENVIRONMENT オプション (CONSECUTIVE など) は、サブオプションを付けずに指定する必要がある。

```
dcl f file env( consecutive(1) );
```

IBM1125I W **The ENVIRONMENT option *option-name* has been specified more than once.**

説明

ENVIRONMENT オプションは繰り返し指定してはならない。

```
dcl f file env( consecutive consecutive );
```

IBM1126I W **The ENVIRONMENT option *option-name* has an invalid suboption. The option will be ignored.**

説明

サブオプションの型が無効である。

```
dcl f file env( regional(5) );
```

IBM1127I W ***option-name* is not a known ENVIRONMENT option. It will be ignored.**

説明

サポートされる ENVIRONMENT オプションには、このオプションはない。

```
dcl f file env( unknown );
```

IBM1128I W **The ENVIRONMENT option *option-name* conflicts with the LANGLVL compiler option. The option will be ignored.**

説明

示されているオプションは、LANGLVL(OS) でのみ有効である。

```
dcl f file env( fb );
```

IBM1129I W ***verb-name processor-name* statement ignored up to closing semicolon.**

説明

ソース・プログラムの中に、EXEC SQL ステートメントまたは EXEC CICS ステートメントがある。コンパイラーでは、これらのステートメントは無視される。

```
exec sql ...;
```

IBM1130I W **The external name *identifier* is too long. It will be shortened to *identifier*.**

説明

外部名の最大長は、LIMITS コンパイラー・オプションの EXTNAME サブオプションにより設定される。

```
dcl this_name_is_long static external  
pointer;
```

IBM1131I W **An EXTERNAL name specification for *name* has been specified on its PROCEDURE statement and in the EXPORTS clause of the PACKAGE statement. The EXPORTS specification will be used.**

説明

EXPORTS 文節の EXTERNAL 属性に指定した名前は、PROCEDURE ステートメントの EXTERNAL 属性に指定した名前をオーバーライドする。

```
a: package exports( b ext('_B') );
b: proc  ext( 'BB' );
```

IBM1132I W **An EXTERNAL name specification for *name* has been specified in its declaration and in the RESERVES clause of the PACKAGE statement. The RESERVES specification will be used.**

説明

RESERVES 文節の EXTERNAL 属性に指定した名前は、DECLARE ステートメントの EXTERNAL 属性に指定した名前をオーバーライドする。

```
a: package reserves( b ext('_B') );
dcl b ext( 'BB' ) static ...
```

IBM1133I W **The FORMAT CONSTANT array *label-name* is not fully initialized.**

説明

FORMAT CONSTANT 配列の要素が定義されていない。例えば、下の例では f(2) がこれに該当する。

```
f(1): format( x(2), a );
f(3): format( x(4), a );
```

IBM1134I W **The LABEL CONSTANT array *label-reference* is not fully initialized.**

説明

示されている変数ではステートメント・ラベル配列が定義されているが、その配列の要素の一部に、収

容プロシージャのステートメント用のラベルではないものがある。

```
l(1): display( ... );
l(3): display( ... );
```

IBM1135I W **Logical operand is constant.**

説明

論理演算子の 1 つ (OR、AND、または NOT) に対する引数が定数である。演算の結果も定数になる可能性がある。例えば、この演算が IF 文節内の式の場合、これは、THEN 文節と ELSE 文節のどちらか一方は実行されないことを意味する。

```
if a | '1'b then
```

IBM1136I W **Function invoked as a subroutine.**

説明

CALL ステートメントの中で、関数 (例えば、RETURNS 属性を持つ PROCEDURE または ENTRY ステートメント) が呼び出された。この関数から戻される値は廃棄される。これが有効なことを示すには、OPTIONAL 属性を指定する必要がある。

IBM1137I W **The attribute *attribute* is invalid in GENERIC descriptions and will be ignored.**

説明

示されている属性は、GENERIC 記述リストでは無効である。

```
dcl g generic ( f1 when( connected ),
               f2 otherwise );
```

IBM1138I W **Number of items in INITIAL list is count for the array variable name which contains array size elements.**

説明

配列の初期化は不完全になる。示されている変数が構造体の一部である場合、この問題が生じた構造体の後続の要素は、メッセージ 2602 でフラグを立てられる。これは、おそらくプログラミング・エラー (下記の例では、4 でなく 6 がおそらく正しい) であり、このプログラムを実行すると例外が発生する可能性がある。

```
dcl a(8) fixed dec init( 1, 2, (4) 0 );
```

IBM1139I W Syntax of the %CONTROL statement is incorrect.

説明

%CONTROL ステートメントのあとには、括弧で囲んだ FORMAT オプションまたは NOFORMAT オプションと、セミコロンを指定しなければならない。

IBM1140I W Syntax of the LONGLVL option in the %OPTION statement is incorrect.

説明

%OPTION ステートメントの中の LONGLVL オプションは、LANGLVL(SAA) または LANGLVL(SAA2) として指定しなければならない。

IBM1141I W Syntax of the %NOPRINT statement is incorrect.

説明

%NOPRINT ステートメントのあとには (間にブランクを入れるか入れないかは任意で) セミコロンを指定しなければならない。

IBM1142I W Syntax of the %PAGE statement is incorrect.

説明

%PAGE ステートメントのあとには (間にブランクを入れるか入れないかは任意で) セミコロンを指定しなければならない。

IBM1143I W Syntax of the %PRINT statement is incorrect.

説明

%PRINT ステートメントのあとには (間にブランクを入れるか入れないかは任意で) セミコロンを指定しなければならない。

IBM1144I W Number of lines specified with %SKIP must be between 0 and 999 inclusive.

説明

999 を超えるスキップ量はサポートされていない。

```
%skip(2000);
```

IBM1145I W Syntax of the %SKIP statement is incorrect.

説明

%SKIP ステートメントのあとには括弧で囲んだ整数、および (間にブランクを入れるか入れないかは任意で) セミコロンを指定しなければならない。

IBM1146I W Syntax of the TEST option in the %OPTION statement is incorrect.

説明

%OPTION ステートメント内の TEST オプションは、サブオプションを付けずに指定しなければならない。

IBM1147I W Syntax of the NOTEST option in the %OPTION statement is incorrect.

説明

%OPTION ステートメント内の NOTEST オプションは、サブオプションを付けずに指定しなければならない。

IBM1148I W Syntax of the %PUSH statement is incorrect.

説明

%PUSH ステートメントのあとには (間にブランクを入れるか入れないかは任意で) セミコロンを指定しなければならない。

IBM1149I W Syntax of the %POP statement is incorrect.

説明

%POP ステートメントのあとには (間にブランクを入れるか入れないかは任意で) セミコロンを指定しなければならない。

IBM1150I W Syntax of the %NOTE statement is incorrect.

説明

%NOTE ステートメントのあとには、注および任意の戻りコードを括弧で囲んで指定し、その次にセミコロンを指定しなければならない。

IBM1151I W FIXED BINARY precision is reduced to maximum value.

説明

FIXED BIN の最大精度は LIMITS オプションにより決まる。

IBM1152I W FIXED DECIMAL precision is reduced to *maximum value*.

説明

FIXED DEC の最大精度は LIMITS により決まる。

IBM1153I W FLOAT BINARY precision is reduced to *maximum value*.

説明

FLOAT BIN の最大精度は、Intel では 64、AIX では 106、z/OS では 109 である。

IBM1154I W FLOAT DECIMAL precision is reduced to *maximum value*.

説明

FLOAT DEC の最大精度は、Intel では 18、AIX では 32、z/OS では 33 である。ただし、DFP では最大 34 である。

IBM1155I W The aggregate *aggregate-name* contains noncomputational values. Those values will be ignored.

説明

I/O ステートメントで参照されている集合のメンバーの一部が非計算型である。計算型メンバーは正しく処理されるが、非計算型メンバーは無視される。

```
dcl 1 x,
    2 y ptr,
    3 fixed bin(31);
put skip list(x);
```

IBM1156I W Arguments to MAIN procedure are not all POINTER.

説明

SYSTEM(CICS)、SYSTEM(TSO)、および SYSTEM(IMS)のもとでは、MAIN プロシージャに対する引数はすべて、POINTER 型でなければならない。

IBM1157I W NOTE

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 4 と共に使用される。

IBM1158I W A *option* is missing in the specification of the *option* option. One is assumed.

説明

コンパイラー・オプションの指定に、右引用符または右括弧が欠落している。引用符付きストリングは行の境界を超えてはならない。

IBM1159I W The string *option* is not recognized as a valid option keyword and is ignored.

説明

無効なコンパイラー・オプションを指定した。

IBM1160I W The third argument to the MARGINS option is not supported.

説明

入力ソース・レコードでは、印刷制御文字はサポートされない。

IBM1161I W The suboption *suboption* is not valid for the *option* compiler option.

説明

コンパイラー・オプションのサブオプションが無効である。このサブオプションは、不明なものか、または許容範囲外のものである。

```
*process flag(q) margins(1002);
```

IBM1162I W A required suboption is missing for the *suboption* option.

説明

コンパイラー・オプションの必須サブオプションが欠落している。

```
*process or;
```

IBM1163I W Required sub-fields are missing for the *option* option. Default values are assumed.

説明

コンパイラー・オプションの必須サブオプションがいくつか欠落している。

```
*process margins;
```

IBM1164I W *option-name* should be specified within **OPTIONS**, but is accepted as is.

説明

該当のオプション (例えば REORDER) は、OPTIONS 属性の外部で受け入れられるが、OPTIONS 属性の内部に指定する必要がある。こうすることによって、ANSI 規格にも準拠することになる。

IBM1165I W The **OPTIONS** option *option-name* has been specified more than once.

説明

サポートされる LINKAGE オプションは、OPTLINK と SYSTEM だけである。

IBM1166I W サブオプション名は既知のオプション名サブオプションではない。オプション名オプションは無視される。

説明

サポートされる LINKAGE サブオプションは OPTLINK と SYSTEM のみで、サポートされる CMPAT サブオプションは V1、V2、V3、および LE のみ。

IBM1167I W Maximum number of **%PUSH** statements exceeded. The control statement is ignored.

説明

保留 **%PUSH** ステートメントの最大数は 63 である。

IBM1168I W No **%PUSH** statements are in effect. The **%POP** control statement is ignored.

説明

保留中の **%PUSH** ステートメントがないときに、**%POP** が発行された。

IBM1169I W No precision was specified for the result of the *builtin name* built-in. The precision will be determined from the argument.

説明

このメッセージは、引数が 1 つだけ指定されている場合に、FIXED および FLOAT 組み込み関数に適用される。

精度はデフォルトに設定されずに、その引数から得られる。例えば、x が FLOAT BIN(21) の場合、FIXED(x) からは値 FIXED BIN(21) が戻される。

IBM1170I W The **OPTIONS** attribute *option-attribute* is not supported and is ignored.

説明

OPTIONS リスト内の示されているエレメントはサポートされていない。

```
dcl a ext entry options( nomap );
```

IBM1171I W **SELECT** statement contains no **WHEN** or **OTHERWISE** clauses.

説明

WHEN 文節または OTHERWISE 文節は SELECT ステートメントに必須ではないが、指定しないとコーディング・エラーが示されることがある。

IBM1172I W A zero length string has been entered for the *option-name* option. The option is ignored.

説明

ユーザー指定ストリングの長さが 0 である。これは、OR("") がコマンド行に指定された場合、または円記号 () 文字が OR ストリング内の唯一の文字として指定された場合に起こる。後者の場合、円記号 () 文字はエスケープ文字として解釈されるため、ストリングの長さがゼロであるように見える。

IBM1173I W **SELECT** statement contains no **WHEN** clauses.

説明

SELECT ステートメントには WHEN 文節は必須ではないが、指定しないとコーディング・エラーが示されることがある。

IBM1174I W The reference in the *from-into* clause may not be byte-aligned.

説明

FROM 文節または INTO 文節に指定された参照のバイト整合がとれていない可能性がある。参照のバイト整合がとれていない場合は、予測不能な結果が生じることがある。

IBM1175I W	FIXED BINARY constant contains too many digits. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	--

説明

FIXED BINARY 定数の最大精度は、LIMITS コンパイラー・オプションの FIXEDBIN サブオプションで指定する。

IBM1176I W	FIXED DECIMAL constant contains too many digits. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	---

説明

FIXED DECIMAL 定数の最大精度は、LIMITS コンパイラー・オプションの FIXEDDEC サブオプションで指定する。

IBM1177I W	Mantissa in FLOAT BINARY constant contains more digits than the implementation maximum. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	--

説明

浮動 2 進定数は、Intel では 64 桁、AIX では 32 桁、z/OS では 33 桁に制限されている。

IBM1178I W	Mantissa in FLOAT DECIMAL constant contains more digits than the implementation maximum. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	---

説明

浮動 10 進定数は、Intel では 18 桁、AIX では 106 桁、z/OS では 109 桁に制限されている。

IBM1179I W	FLOAT literal is too big for its implicit precision. An appropriate HUGE value is assumed.
-------------------	---

説明

浮動リテラルの精度は、その仮数内の桁数により暗黙に決まる。例えば、1e99 は暗黙に FLOAT DECIMAL(1) を表すが、値 1e99 は FLOAT DECIMAL(1) が保持できる最大値より大きい。

IBM1180I W	Argument to <i>BUILTIN name</i> built-in is not byte aligned.
-------------------	--

説明

このメッセージは ADDR、CURRENTSTORAGE/SIZE、および STORAGE/SIZE 組み込み関数に適用される。これらの組み込み関数のいずれかをバイト整合のとれていない変数に適用すると、予想どおりの結果が生成されないことがある。

IBM1181I W	A WHILE or UNTIL option at the end of a series of DO specifications applies only to the last specification.
-------------------	--

説明

以下のコードの断片では、WHILE 文節は I=5 という最後の DO 指定にのみ適用する。

```
do i = 1, 3, 5 while( j < 5 );
```

IBM1182I W	Invocation of a NONRECURSIVE procedure from within that procedure is invalid. RECURSIVE attribute is assumed.
-------------------	--

説明

プロシージャーの中に、再帰呼び出しの原因となるコードが含まれているが、このプロシージャーは RECURSIVE 属性を指定して宣言されていない。

```
a: proc( n );  
  ...  
  if n > 0 then call a;
```

IBM1183I W	<i>condition-name</i> condition is disabled. Statement is ignored.
-------------------	---

説明

SIGNAL ステートメントが発生させる条件が使用不可にされている場合は、その SIGNAL ステートメントは無視される。SIZE など、一部の条件はデフォルトで使用不可にされる。

```
(nofofl): signal fixedoverflow;
```

IBM1184I W	Source with length <i>string-length</i> in INITIAL clause for <i>variable name</i> has length greater than the length <i>string-length</i> of that INITIAL variable.
-------------------	---

説明

INITIAL 文節内のストリング (下記の例では 'TooBig') は、ターゲットに合うように切り詰められる (例では 'TooB' になる)。

```
dcl x char(4) static init('tooBig');
```

IBM1185I W	Source with length <i>string-length</i> in RETURN statement has length greater than that in the corresponding RETURNS attribute.
-------------------	---

説明

RETURNS 文節内のストリング (下記の例では 'TooBig') は、ターゲットに合うように切り詰められる (例では 'TooB' になる)。

```
x: proc returns( char(4) );  
...  
return( 'TooBig' );
```

IBM1186I W	Source with length <i>string-length</i> in string assignment has length greater than the length <i>string-length</i> of the target.
-------------------	--

説明

割り当てに指定したソース (下記の例では 'TooBig') は、ターゲット変数に合うように切り詰められる (例では 'TooB' になる)。

```
dcl x char(4);  
x = 'TooBig';
```

IBM1187I W	Argument number <i>argument-number</i> in entry reference <i>entry name</i> has length <i>string-length</i> which is greater than that of the corresponding parameter.
-------------------	---

説明

エンタリー呼び出し内のソース (下記の例では 'TooBig') は、パラメーターに合うように切り詰められる (例では 'TooB' になる)。

```
dcl x entry( char(4) );  
call x( 'TooBig' );
```

IBM1188I W	Result of concatenating two strings is too long.
-------------------	---

説明

2つのストリングを連結した結果のストリングの長さは、派生ストリング型の最大許容長を超えてはならない。

IBM1189I W	NODESCRIPTOR attribute conflicts with the NONCONNECTED attribute for the parameter <i>parameter name</i>. CONNECTED is assumed.
-------------------	--

説明

プロシージャについて NODESCRIPTOR が指定されている (または暗黙に選択されている) 場合は、集合パラメーターに CONNECTED 属性が必要である。CONNECTED 属性は、明示的にコーディングすること、DEFAULT(CONNECTED) コンパイラー・オプションにより暗黙に指定することもできる。

IBM1190I W	The OPTIONS option <i>option-name</i> conflicts with the LANTLR compiler option. The option will be applied.
-------------------	---

説明

示されているオプションは、LANGLVL コンパイラー・オプションに指定されている PL/I 言語定義の一部ではない。

IBM1191I W	Result of FIXED BIN divide will not be scaled.
-------------------	---

説明

FIXED BIN(p1,0)の値を FIXED BIN(p2,0) の値で割ったとき、31 > p1 の場合、結果は、FIXED BIN(p1,0)の属性を持つことになる。ANSI 76 では、この属性は FIXED BIN(31,31-p1) になる。

IBM1192I W	WHEN clauses contain duplicate values.
-------------------	---

説明

制御下の SELECT ステートメントでは、WHEN 文節に前の WHEN 文節と同じ値がある場合、2 番目の WHEN 文節のコードは実行されない。このメッセージが生成されるのは、その SELECT ステートメントがその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合だけである。

IBM1193I W	<i>statement count</i> statements in block <i>block name</i>.
-------------------	--

説明

このメッセージは、MAXSTMT コンパイラー・オプションで指定されている数を超えるステートメントがブロックに含まれている場合に生成される。これは、大きすぎるブロックを示している可能性がある。

IBM1194I W More than one argument to MAIN procedure.

説明

SYSTEM(CICS) および SYSTEM(IMS) のもとで使用する場合を除き、MAIN プロシージャの引数は最大 1 つでなければならない。

IBM1195I W Argument to MAIN procedure is not CHARACTER VARYING.

説明

SYSTEM(CICS)、SYSTEM(TSO)、および SYSTEM(IMS) のもとで使用する場合を除き、MAIN プロシージャに対する引数は CHARACTER VARYING でなければならない。

IBM1196I W AREA initialized with EMPTY - INITIAL attribute is ignored.

説明

AREA 変数用に指定した INITIAL 属性はすべて無視される。この変数は、代わりに EMPTY 組み込み関数を使用して初期化される。

IBM1197I W *file-name* assumed as file condition reference.

説明

すべてのファイル条件はファイル参照を使用して修飾しなければならない。ただし、ENDFILE および ENDPAGE は、ファイル参照なしで受け入れられる。この場合、SYSIN および SYSPRINT がそれぞれ想定される。

IBM1198I W A null argument list is assumed for *variable name*.

説明

ENTRY 参照が、そのエントリーを呼び出した結果を使用すると考えられる状況で、使用されている。

```
dcl e1 entry returns( ptr );
dcl q ptr based;
e1->q = null();

dcl e2 entry returns( bit(1) );
```

```
if e2 then ...
```

IBM1199I W Syntax of the %LINE directive is incorrect.

説明

%LINE ディレクティブのあとには、(間にブランクを入れるか入れないかは任意で) 括弧、行番号、コンマ、ファイル名、および右括弧を指定しなければならない。

```
%line( 19, test.pli );
```

IBM1200I W Use of DATE built-in function may cause problems.

説明

DATE 組み込み関数は 2 桁の年を戻す。4 桁の年を戻す DATETIME 組み込み関数を使用する方がよい。

IBM1201I W *suboption* conflicts with a previously specified suboption for the *option* compiler option.

説明

LANGLVL コンパイラー・オプションのサブオプションに矛盾がある。SAA2 サブオプションと OS サブオプションは同時に使用することはできない。

```
*process langlvl(saa2 os);
```

IBM1202I W Syntax of the %OPTION statement is incorrect.

説明

%OPTION ステートメントでサポートされるオプションは LANGLVL オプションだけである。

IBM1203I W Argument to PLITEST built-in subroutine is ignored.

説明

引数を何も渡さないように、PLITEST の呼び出しを変更する必要がある。

IBM1204I W INTERNAL CONSTANT assumed for initialized STATIC LABEL.

説明

LABEL 変数は、ブロック活動化情報を必要とするため、コンパイル時には初期化できない。INITIAL 属性付き

の STATIC LABEL 変数の場合、その変数が構造体または共用体のメンバーであれば、重大メッセージが発行される。それ以外の場合は、ブロック活動化情報が必要であるという要件を取り除くために、属性が INTERNAL CONSTANT に変更される。このような変数は、収容ブロックから LABEL CONSTANT を使用して初期化する必要がある。

IBM1205I W **Arguments of the *option compiler option* must be the same length.**

説明

NAMES オプションの 2 つの引数を指定する場合は、それらの引数の長さが同じでなければならない。2 番目の引数は、最初の引数の英大文字値である。最初のストリングの文字に英大文字値がない場合は、その文字自体を英大文字値として使用する。以下に例を示します。

```
names( '$!@' '$!@')
```

IBM1206I W **BIT operators should be applied only to BIT operands.**

説明

書式が $x \& y$ 、 $x | y$ 、または $x ^ y$ の式では、 x と y はどちらも BIT 型でなければならない。

IBM1207I W **Operand to LENGTH built-in should have string type.**

説明

オペランドが数値型の場合は、結果は、その値がストリングに変換されたあとでとる長さになる。数値型の長さは、ストレージ要件と同じではない。

IBM1208I W **INITIAL list for the array *variable name* contains only one item.**

説明

配列の初期化は不完全になる。示されている変数が構造体の一部である場合、この問題が生じた構造体の後続の要素は、メッセージ 2603 でフラグを立てられる。アスタリスクは、すべての要素を 1 つの値を用いて初期化するための初期化因数として使用できる。次の例では、a(1) は値 13 を用いて初期化されるが、要素 a(2) から a(8) は初期化されない。これに対して、b の中のすべての要素は 13 に初期化される。

```
dcl a(8) fixed bin init( 13 );
dcl b(8) fixed bin init( (*) 13 );
```

IBM1209I W **INDEXED environment option for file *file name* will be treated as ORGANIZATION(INDEXED).**

説明

OS/2 プラットフォームでは ISAM はシミュレートされないで、ファイルは VSAM KSDS に似た方法で処理される。次に示す例では、最初の宣言に指定されているファイルは、2 番目の宣言の中のファイルと同じ方法で処理される。つまり、両方とも ORGANIZATION(INDEXED) として処理される。

```
dcl f1 file env(indexed);
dcl f2 file env(organization(indexed));
```

IBM1210I W **The field width specified in the *keyword* -format item may be too small for complete output of the data item.**

説明

数値が負の場合、フォーマットの幅は出力には小さすぎる幅となる。このフォーマットは、入力用に使用される際は有効である場合がある。

IBM1211I W **Source with length *string-length* in string assignment has length greater than the length *string-length* of the target *variable*.**

説明

割り当てに指定したソース (下記の例では 'TooBig') は、ターゲット変数に合うように切り詰められる (例では 'TooB' になる)。ターゲットが疑似変数の場合は、代わりにメッセージ 1186 が発行される。

```
dcl x char(4);
x = 'TooBig';
```

IBM1212I W **The A format item requires an argument when used in GET statement. An L format item is assumed in its place.**

説明

GET ステートメントに指定する場合は、A フォーマット項目に幅を指定する必要がある。

```
get edit(name) (a);
```

IBM1213I W **The procedure *proc name* is not referenced.**

説明

示されているプロシージャは、外部プロシージャではなく、コンパイル単位内のライブ・コードで参照されることはない。これはエラー (このプロシージャを呼び出すことになっている場合) またはなんらかの非活動コードを除去する機会を示す。

IBM1214I W **A dummy argument will be created for argument number *argument-number* in entry reference *entry name*.**

説明

BYADDR をエントリーに渡した引数が、エントリー記述の対応するパラメーターに一致しない。その引数のアドレスはエントリーに渡されない。代わりに、引数が、エントリー記述内のパラメーターに一致する属性を持つ一時変数に割り当てられ、その一時変数のアドレスがエントリーに渡される。これは、エントリーがこのパラメーターの値を変更した場合、呼び出しルーチンはその変更を認識できないということを意味している。

```
dcl e entry( fixed bin(31) );
dcl i fixed bin(15);
call e( i );
```

IBM1215I W **The variable *variable name* is declared without any data attributes.**

説明

デフォルトの属性が与えられるが、宣言にエラーがある場合もある。例えば次の例では、括弧が欠落している可能性がある。

```
dcl a, b fixed bin;
```

IBM1216I W **The structure member *variable name* is declared without any data attributes. A level number may be incorrect.**

説明

デフォルトの属性が与えられるが、宣言にエラーがある場合もある。例えば次の例では、c および d のレベル番号はおそらく 3 が正しい。

```
dcl a, b fixed bin;
  1 a,
  2 b,
  2 c,
  2 d;
```

IBM1217I W **An unnamed structure member is declared without any data attributes. A level number may be incorrect.**

説明

デフォルトの属性が与えられるが、宣言にエラーがある場合もある。例えば次の例では、c および d のレベル番号はおそらく 3 が正しい。

```
dcl a, b fixed bin;
  1 a,
  2 *,
  2 c,
  2 d;
```

IBM1218I W **First argument to *BUILTIN name* built-in should have string type.**

説明

このメッセージが出ないようにするには、CHAR 組み込み関数または BIT 組み込み関数を最初の引数に適用する必要がある。

```
dcl i fixed bin;
display( substr(i,4) );
```

IBM1219I W **LEAVE will exit noniterative DO-group.**

説明

LEAVE ステートメントにラベルが指定されている場合は、このメッセージは生成されない。次のループでは、LEAVE ステートメントは直接囲んでいる DO グループを終了するだけで、ループは終了されない。

```
do i = 1 to n;
  if a(i) > 0 then
    do;
      call f;
      leave;
    end;
  else;
    end;
end;
```

IBM1220I W **Result of comparison is always constant.**

説明

このメッセージは、変数がとる可能性のある 最大値または最小値に等しい定数と、その変数を比較する場合に生成される。 次のループでは、変数 x は 99 を超えることはできない。 したがって、このループにより毎回実行される暗黙の比較では、結果は常に '1'b になる。

```
dcl x pic'99';

do x = 1 to 99;
end;
```

IBM1221I W **Statement uses *count* bytes for temporaries.**

説明

このメッセージは、MAXTEMP コンパイラー・オプションで 許容されるバイト数を超えるバイト数をステートメントが一時的に使用した場合に生成される。

IBM1222I W **Comparison involving 2-digit year is problematic.**

説明

2 桁の年フィールドを含むデータが関係する比較では、年の 1 つだけが 1999 年よりあとの年だった場合に、問題が起こることがある。

IBM1223I W **Literal in comparison interpreted with DATE attribute.**

説明

比較では、片方の被比較数の属性が DATE であれば、もう一方も 同じ属性でなければならない。 日付でない方が日付パターンとして有効な値を持つ リテラルであれば、日付の被比較数と同じ DATE 属性を持つものと見なされる。 したがって、次のコードでは、'670101' は DATE('YYMMDD') 属性が指定されている場合と同様に解釈される。

```
dcl x char(6) date('YYMMDD');

if x > '670101' then ...
```

IBM1224I W **DATE attribute ignored in comparison with non-date literal.**

説明

比較では、片方の被比較数の属性が DATE であれば、もう一方も 同じ属性でなければならない。 日付でない方が日付パターンとして無効な値を持つ リテラルであれば、DATE 属性は無視される。 したがって、次のコード

では、x に DATE 属性がないものとして 比較が評価される。

```
dcl x char(6) date('YYMMDD');

if x > ' ' then ...
```

IBM1225I W **DATE attribute ignored in conversion from literal.**

説明

明示割り当てまたは暗黙割り当てのターゲットの属性が DATE であれば、ソースも同じ属性でなければならない。 そうでない場合は、DATE 属性は無視される。 したがって、次のコードでは、x に DATE 属性がないものとして割り当てが実行される。

```
dcl x char(6) date('YYMMDD');

x = ' ';
```

IBM2600I W **Compiler backend issued warning messages to STDOUT.**

説明

STDOUT を参照して、コンパイラー・バックエンドによって発行されたメッセージを調べること。

IBM2601I W **Missing *character* assumed before *character*. DECLARE and other nonexecutable statements should not have labels.**

説明

示されている文字が欠落していたため、構文解析プログラムがその文字を挿入してソースを訂正した。

```
xx: dcl test fixed bin;
```

IBM2602I W **Number of items in INITIAL list is *count* for the array variable name which contains array size elements.**

説明

配列の初期化は不完全になる。 示されている変数が構造体の一部である場合、この問題が生じた構造体の最初のエレメントは、メッセージ 1138 でフラグを立てられる。 これは、おそらくプログラミング・エラー (下記の

例では、6 でなく 7 がおそらく正しい) であり、このプログラムを実行すると例外が発生する可能性がある。

```
dcl
  1 a,
  2 b(8) fixed bin init( 1, (7) 29 ),
  2 c(8) fixed bin init( 1, (6) 29 );
```

IBM2603I W **INITIAL list for the array variable name contains only one item.**

説明

配列の初期化は不完全になる。示されている変数が構造体の一部である場合、この問題が生じた構造体の最初のエレメントは、メッセージ 1208 でフラグを立てられる。アスタリスクは、すべてのエレメントを 1 つの値を用いて初期化するための初期化因数として使用できる。次の例では、b(1) および c(1) は値 13 で初期化されるが、エレメント b(2) から b(8)、および c(2) から c(8) は未初期化である。これに対して、d の中のすべてのエレメントは 13 に初期化される。

```
dcl
  1 a,
  2 b(8) fixed bin init( 13 ),
  2 d(8) fixed bin init( 13 ),
  2 e(8) fixed bin init( (*) 13 );
```

IBM2604I W **FIXED DEC(source-precision,source-scale) will be converted to FIXED DEC(target-precision,target-scale). Significant digits may be lost.**

説明

FIXED DECIMAL への変換のソースが、異なる精度とスケール因数を持つ FIXED DECIMAL または PICTURE 変数である場合、および精度の違いがスケール因数の違いほど大きくない場合、有効数字が失われることがある。SIZE 条件が使用可能になっていれば、そのような状況の発生を検出するためのコードが生成され、このメッセージは出されない。

```
dcl a fixed dec(04) init(1009);
dcl b fixed dec(03);

b = a;
```

IBM2605I W **Invalid carriage control character. Blank assumed.**

説明

指定された行に、無効な ANS 印刷制御文字が含まれている。有効な文字は、ブランク、0、-、+、および 1 である。

IBM2606I W **Code generated for the REFER object reference name would be more efficient if the REFER object had the attributes REAL FIXED BIN(p,0).**

説明

REFER オブジェクトに他の属性がある場合は、ライブラリー・コールにより、REAL FIXED BIN(31,0) に、または REAL FIXED BIN(31,0) から変換される。

IBM2607I W **PICTURE representing FIXED DEC(source-precision,source-scale) will be converted to FIXED DEC(target-precision,target-scale). Significant digits may be lost.**

説明

FIXED DECIMAL への変換のソースが、異なる精度とスケール因数を持つ PICTURE 変数である場合、および精度の違いがスケール因数の違いほど大きくない場合、有効数字が失われることがある。SIZE 条件が使用可能になっていれば、そのような状況の発生を検出するためのコードが生成され、このメッセージは出されない。

```
dcl a pic'(4)9' init(1009);
dcl b fixed dec(03);

b = a;
```

IBM2608I W **PICTURE representing FIXED DEC(source-precision,source-scale) will be converted to PICTURE representing FIXED DEC(target-precision,target-scale). Significant digits may be lost.**

説明

PICTURE への変換のソースが、異なる精度とスケール因数を持つ PICTURE 変数である場合、および精度の違いがスケール因数の違いほど大きくない場合、有効数字が失われることがある。SIZE 条件が使用可能になっていれば、そのような状況の発生を検出するためのコードが生成され、このメッセージは出されない。

```
dcl a pic'(4)9' init(1009);
dcl b pic'(3)9';
```

```
b = a;
```

IBM2609I W **Comment contains a semicolon on line *line-number*.file-number.**

説明

コメントにセミコロンが含まれている場合、以下の例のように、意図的ではないが閉じていないコメントがあり、一部のソースが誤ってコメント化されてしまうことを示していることがある。

```
/* start of unclosed comment  
dcl b pic'(3)9';  
/* next comment */
```

IBM2610I W **One argument to *BUILTIN* name built-in is FIXED DEC while the other is FIXED BIN. Compiler will not interpret precision as FIXED DEC.**

説明

このメッセージは、MULTIPLY、DIVIDE、ADD、および SUBTRACT の組み込み関数に適用される。これらの関数の 1 つに対する 1 つの引数が FIXED DEC であり、もう 1 つの引数が FIXED BIN であると、指定された精度が FIXED DEC 精度として解釈されない。これによって、不適切なデータの切り捨てが起こる可能性がある。例えば、以下の乗算の結果は、属性 FIXED DEC(15) ではなく、属性 FIXED BIN(15) を持つことになり、結果が不適切に切り捨てられる原因となることがある。

```
dcl a fixed bin(31);  
dcl b fixed dec(15);  
  
b = multiply( a, 1000, 15 );
```

IBM2611I W **The binary value *binary value* appears in more than one WHEN clause.**

説明

制御下の SELECT ステートメントでは、WHEN 文節に前の WHEN 文節と同じ値がある場合、2 番目の WHEN 文節のコードは実行されない。このメッセージが生成されるのは、その SELECT ステートメントがその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合だけである。

IBM2612I W **The character string *character string* appears in more than one WHEN clause.**

説明

制御下の SELECT ステートメントでは、WHEN 文節に前の WHEN 文節と同じ値がある場合、2 番目の WHEN 文節のコードは実行されない。このメッセージが生成されるのは、その SELECT ステートメントがその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合だけである。

IBM2613I W **RULES (NOLAXINOUT) 違反: 変数が INOUT パラメーターとして渡されているが、設定されていない可能性がある。**

説明

示された変数は、INOUT パラメーターとして使用される前に、割り当てられていないか、あるいは値を初期設定していない可能性がある。OUTONLY パラメーターとしてのみ使用される場合を除き、これは問題となる。

IBM2614I W **Both comparands are Booleans.**

説明

このメッセージは、例えば "and" または "or" のつもりで "equals" を使っている、以下のようなステートメントにフラグを立てる。

```
if ( a < b ) = ( c < d ) then
```

IBM2615I W **DO-loop will always execute exactly once. A semicolon after the DO may be missing.**

説明

DO ループは通常は反復するが、DO ループの指定が 1 つの割り当てだけで構成されている場合、それは常に一度限り実行される。次の例に示すように、DO の後にセミコロンが欠落している可能性がある。

```
do  
  edsaup.tprs = ads162.tprs;  
  edsaup.tops = ads162.tops;  
end;
```

IBM2616I W **Size of parameter *variable* will return the currentsize value since no descriptor is available.**

説明

SIZE または STG 組み込み関数が CHAR(*) VARYING (または VARYINGZ) パラメーターに適用され、使用可能な記述子がない場合、変数に割り振られる実際のストレ

ージのサイズは判別できず、現行のサイズのみ、戻すことができる。

IBM2617I W **Passing a LABEL to a non-PL/I routine is very poor coding practice and will cause the compiler to generate less than optimal code.**

説明

一般に、ラベルを別のルーチンに渡すことは賢明ではない。このことを行うコードがあれば、再設計を考える方がよいと思われる。コンパイラーがこのメッセージを発行するのは、OPTIONS(COBOL) または OPTIONS(ASM) または OPTIONS(FORTRAN) を使って宣言された ENTRY に対して LABEL を渡している場合である。このようなラベルの使用が妥当なのは、呼び出されたルーチンが、別の PL/I ルーチンにそれを渡すことになる場合だけである。

IBM2618I W **The suboption *suboption* is not valid for the suboption *option* of the *option* compiler option.**

説明

コンパイラー・オプションのサブオプションのサブオプションが無効である。このサブオプションは、不明なものか、または許容範囲外のものである。

```
*process limits(extname(2000));
```

IBM2620I W **Target structure contains REFER objects. Results are undefined if the assignment changes any REFER object.**

説明

REFER オブジェクトを変更すると、期待どおりの結果が生成されない可能性がある。例えば次の例で、割り当ては配列 d の中の要素をいずれも変更しない。

```
dcl
  1 a based(p),
  2 b   fixed bin(31),
  2 c   fixed bin(31),
  2 d( 10 refer(c) ),
  3 e   fixed bin(31),
  3 f   fixed bin(31);

a = '';
```

IBM2621I W **ON ERROR block does not start with ON ERROR SYSTEM. An error inside the block may lead to an infinite loop.**

説明

通常、ON ERROR ブロックの最初のステートメントは、ON ERROR SYSTEM ステートメントでなければならない。これにより、ON ERROR ブロックの残りのコードにエラーがあったとしても、無限ループが回避されやすくなる。

IBM2622I W **ENTRY used to set the initial value in a DO loop will be invoked after any TO or BY values are set.**

説明

DO ループの初期値が ENTRY を介して設定されている場合は、その ENTRY が TO または BY 値に変更された場合に、予期しない結果が生じる場合がある。例えば、次の最初のループにある関数 "first" によって、変数 "last" の値が変更されるべきではない。このコードを次の 2 番目のループの形に変更する方がよい。

```
do x = first() to last;
end;

temp = first();
do x = temp to last;
end;
```

IBM2623I W **Mixing FIXED BIN and FLOAT DEC produces a FLOAT BIN result. Under DFP, this will lead to poor performance.**

説明

DFP のもとでは FLOAT DEC から FLOAT BIN への変換に、ローパフォーマンスを引き起こす、効率の低いライブラリー呼び出しが必要となる。これを避けるために、DECIMAL 組み込み関数を FIXED BIN オペランドに適用することができる。例えば、以下の最初の代入ステートメントは 2 番目の形に変更した方がよい。

```
dcl n fixed bin(31);
dcl f float dec(16);

f = n + f;
f = dec(n) + f;
```

IBM2624I W **Mixing BIT and FLOAT DEC produces a FLOAT BIN result. Under DFP, this will lead to poor performance.**

説明

DFP のもとでは FLOAT DEC から FLOAT BIN への変換に、ローパフォーマンスを引き起こす、効率の低いライ

ブラリー呼び出しが必要となる。これを避けるために、DECIMAL 組み込み関数を BIT オペランドに適用することができる。例えば、以下の最初の代入ステートメントは 2 番目の形に変更した方がよい。

```
dcl b bit(8);
dcl f float dec(16);

f = b + f;
f = dec(b) + f;
```

IBM2625I W **Mixing FLOAT BIN and FLOAT DEC produces a FLOAT BIN result. Under DFP, this will lead to poor performance.**

説明

DFP のもとでは FLOAT DEC から FLOAT BIN への変換に、ローパフォーマンスを引き起こす、効率の低いライブラリー呼び出しが必要となる。

IBM2626I W **Use of SUBSTR with a third argument equal to 0 is somewhat pointless since the result will always be a null string.**

説明

SUBSTR 参照の 3 番目の引数をゼロの定数にすることは、技術的には有効であるが、コーディング・エラーを示す可能性がある。

IBM2627I W **No metadata will be generated for the structure *identifier* since its use of REFER is too complex.**

説明

XMI メタデータは、REFER の使用が "simple" である場合に限り、REFER を使用した BASED 構造に対して生成される。

IBM2628I W **BYVALUE parameters should ideally be no larger than 32 bytes.**

説明

32 バイトより大きい BYVALUE パラメーターは、必要となるオーバーヘッドが大きすぎるため、パフォーマンスが低下する。

IBM2629I W **No debug symbol information will be generated for *identifier*.**

説明

示されている変数に対してデバッグ・シンボル情報は生成されないため、したがって、デバッガーを使用したときに名前付き変数を参照できない。

IBM2630I W **The result in an arithmetic operation has the attributes *FIXED base(precision,scale-factor)* which means that its scale factor is greater than its precision and that the operation may lead to an overflow.**

説明

演算結果のスケール係数が結果の精度を超えた場合は、予期しない FIXEDOVERFLOW 例外が発生する可能性がある。例えば、この例外は、LIMITS(FIXEDDEC(15)) オプションを指定して 2 つの FIXED DEC(15,8) 変数を乗算した場合に、その乗算の結果の属性が FIXED DEC(15,16) になるため発生する。このメッセージを除去するには、PRECISION 組み込み関数を使用して、オペランドの 1 つのスケール係数を減らすか、MULTIPLY 組み込み関数を使用して、結果のデフォルト属性をオーバーライドする。

IBM2631I W **One argument to *BUILTIN* name built-in is FIXED DEC while the other is FLOAT BIN. Compiler will not interpret precision as FIXED DEC.**

説明

このメッセージは、MULTIPLY、DIVIDE、ADD、および SUBTRACT の組み込み関数に適用される。これらの関数の 1 つに対する 1 つの引数が FIXED DEC であり、もう 1 つの引数が FLOAT BIN であると、指定された精度が FIXED DEC 精度として解釈されない。これによって、不適切なデータの切り捨てが起こる可能性がある。例えば、以下の乗算の結果は、属性 FIXED DEC(15) ではなく、属性 FLOAT BIN(15) を持つことになり、結果が不適切に切り捨てられる原因となる可能性がある。

```
dcl a float bin(31);
dcl b fixed dec(15);

b = multiply( a, 1000, 15 );
```

IBM2632I W **One argument to *BUILTIN* name built-in is FIXED DEC while the other is FLOAT DEC. Compiler will not interpret precision as FIXED DEC.**

説明

このメッセージは、MULTIPLY、DIVIDE、ADD、および SUBTRACT の組み込み関数に適用される。これらの関数の 1 つに対する 1 つの引数が FIXED DEC であり、もう 1 つの引数が FLOAT DEC であると、指定された精度が FIXED DEC 精度として解釈されない。これによって、不適切なデータの切り捨てが起こる可能性がある。例えば、以下の乗算の結果は、属性 FIXED DEC(15) ではなく、属性 FLOAT DEC(15) を持つことになり、結果が不適切に切り捨てられる原因となることがある。

```
dcl a float dec(15);
dcl b fixed dec(15);

b = multiply( a, 1000, 15 );
```

IBM2633I W **Given the support for addressing arithmetic, basing a POINTER or OFFSET on a FIXED BIN is unnecessary, and it will also fail to work properly if the size of a POINTER changes.**

説明

このような変数を使用しているコードは、POINTER または OFFSET 変数のサイズが FIXED BIN 変数のサイズと同じである場合にのみ機能する。

IBM2634I W **Given the support for addressing arithmetic, basing a FIXED BIN on a POINTER or OFFSET is unnecessary, and it will also fail to work properly if the size of a POINTER changes.**

説明

このような変数を使用しているコードは、POINTER または OFFSET 変数のサイズが FIXED BIN 変数のサイズと同じである場合にのみ機能する。

IBM2635I W **The result in an arithmetic operation has the attributes FIXED base(precision,scale-factor) which means that some significant digits may be lost.**

説明

演算結果のスケール係数が負の場合、1 の位の桁が失われるため、問題が起こる可能性がある。例えば、このようなことは、FIXED DEC(11,2) 変数を FIXED DEC(31,29) 変数で除算した場合に、除算結果に属性 FIXED DEC(31,-7) があるために発生する。このメッセージが出ないようにするために、PRECISION 組み込み

関数を使用して、オペランドの 1 つのスケール係数を減らすか、DIVIDE 組み込み関数を使用して、結果のデフォルト属性をオーバーライドすることができる。

IBM2636I W **The ordinal ordinal name appears in more than one WHEN clause.**

説明

制御下の SELECT ステートメントでは、WHEN 文節に前の WHEN 文節と同じ値がある場合、2 番目の WHEN 文節のコードは実行されない。このメッセージが生成されるのは、その SELECT ステートメントがその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合だけである。

IBM2637I W **An ENTRY invoked as a function should have the RETURNS attribute.**

説明

関数として ENTRY が使用される場合、RETURNS 属性と共に宣言する必要がある。コンパイラーは、以下の例の両方の ENTRY に RETURNS 属性を適用するが、E の場合、コンパイラーは FLOAT DEC を戻すものと想定し、M の場合は、FIXED BIN を戻すものと想定する。

```
dcl e entry;
dcl m entry;

a = e();
a = m();
```

IBM2638I W **Statement used count intermediate language instructions.**

説明

このメッセージは、ステートメントがより多くの中間言語命令を使用している場合に生成される。MAXGEN コンパイラー・オプションで許可されている値を超えている。メッセージは、過剰に複雑なステートメントを指す可能性がある。

IBM2639I W **Previous statement used count intermediate language instructions.**

説明

このメッセージは、ステートメントがより多くの中間言語命令を使用している場合に生成される。MAXGEN コンパイラー・オプションで許可されている値を超えている。メッセージは、過剰に複雑なステートメントを指す可能性がある。メッセージ IBM2638 ではなくこのメッセージは、メッセージ IBM2638 と同じ状態で生成

される。ただし、STMT 番号オプションも有効でなければならぬ。

IBM2640I W **Target is a REFER object. Results are undefined if an assignment changes a REFER object.**

説明

REFER オブジェクトを変更すると、後続のコードに障害が起こる可能性がある。例えば、以下のコードでは、最初の代入により、2 番目の代入がストレージを上書きすることになる。

```
dcl
  1 a based(p),
  2 b      fixed bin(31),
  2 c      fixed bin(31),
  2 d( 10 refer(c) ),
  3 e      fixed bin(31),
  3 f      fixed bin(31);

allocate a;
a.c = 15;
a.f = 0;;
```

IBM2641I W **The suboption *option* of the option compiler option must be followed by a (possibly empty) parenthesized list.**

説明

コンパイラー・オプションのサブオプションが正しく指定されていない。サブオプションの後には、左括弧、(空の場合もある) 項目のリスト、および右括弧が続いていなければならない。

```
*process deprecate(builtin);
```

IBM2642I W **OPTIONS(REENTRANT) is ignored.**

説明

OPTIONS(REENTRANT) を PROCEDURE または BEGIN ブロックに指定しても、生成するコードには効果が無い。コードが再入可能になるのは、STATIC 変数を変更しない場合に限られる。DEFAULT(NONASGN) コンパイラー・オプションを使用すれば、コンパイラーが STATIC 変数への代入にフラグを立てるよう強制できる。

IBM2643I W **The BUILTIN function *builtin* will be deprecated.**

説明

示された組み込み関数が DEPRECATENEXT オプションの BUILTIN サブオプションで指定されたため、その明

示宣言またはコンテキスト宣言にはいずれもフラグが立てられる。

IBM2644I W **The INCLUDE file *filename* will be deprecated.**

説明

示された INCLUDE ファイルは、DEPRECATENEXT オプションの INCLUDE サブオプションで指定されたため、このファイルのインクルード試行にはすべてフラグが立てられる。

IBM2645I W **The ENTRY named *entryname* will be deprecated.**

説明

示された ENTRY が DEPRECATENEXT オプションの ENTRY サブオプションで指定されたため、その明示宣言またはコンテキスト宣言にはいずれもフラグが立てられる。

IBM2646I W **The VARIABLE named *variable* will be deprecated.**

説明

示された VARIABLE が DEPRECATENEXT オプションの VARIABLE サブオプションで指定されたため、その明示宣言またはコンテキスト宣言にはいずれもフラグが立てられる。

IBM2647I W **The *statementname* statement will be deprecated.**

説明

メッセージにあるステートメントは DEPRECATENEXT オプションの STMT サブオプションで指定されたため、そのステートメントが使用されるすべての箇所にフラグが立てられる。

IBM2648I W **Declaration contains *count* INITIAL items.**

説明

宣言を STATIC に変更するか、あるいは INITIAL 項目を除去して、STATIC 変数から INITIAL 項目をコピーする。

IBM2649I W **The binary value *binary value* appears more than once in the INLIST argument set.**

説明

INLIST (x, y1, y2, ...) では、y 値は 2 回出現してはならない。このメッセージが生成されるのは、その INLIST

関数がその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合に限られる。

IBM2650I W The ordinal *ordinal name* appears more than once in the INLIST argument set.

説明

INLIST (x, y1, y2, ...) では、y 値は 2 回出現してはならない。このメッセージが生成されるのは、その INLIST 関数がその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合に限られる。

IBM2651I W Block *block name* contains *count* branches.

説明

このメッセージは、MAXBRANCH コンパイラー・オプションで指定されている数を超えるブランチがブロックに含まれている場合に生成される。ブロックが複雑すぎる可能性がある。

IBM2652I W REINIT reference contains no element with an INITIAL attribute.

説明

ステートメント REINIT x の x には、INITIAL 属性を設定した要素を組み込む必要がある。そうしない場合は、そのステートメントでコードが生成されない。

IBM2653I W The list of preprocessor options must be enclosed in quotation marks.

説明

例えば、PP(SQL(VERSION(AUTO))) の代わりに PP(SQL('VERSION(AUTO)')) と指定する必要がある。

IBM2654I W INITIAL attribute for BASED on ADDR has no effect on the base variable.

説明

BASED の INITIAL 属性は、ALLOCATE ステートメントで BASED 変数が使用されている場合にのみ効果がある。ただし、次のようなコードの場合、この属性は変数 A と B のいずれにも効果がない。

```
dcl a fixed bin(31);
dcl b bit(32) based(addr(a)) init('b');
```

IBM2655I W Some options conflict with the non-overridable options.

説明

IBMZIOP モジュール内の 2 つのストリングが等しい場合、そこで指定されるオプションの値は、+DD オプション・ファイル、起動パラメーター、オプション環境変数、または PROCESS ステートメントでは異なっていない。矛盾するオプションは無視される。

IBM2656I W Simple defining applies to *variable name*. If string-overlay defining is intended, then add POS(1) to its declaration.

説明

次の例では、DEFBUF は BUFFER の先頭 10 バイトをオーバーレイしない。代わりに、DEFBUF の各配列エレメントは、BUFFER の対応する配列エレメントの先頭バイトをオーバーレイする。

```
DCL BUFFER(10)      CHAR (300);
DCL DEFBUF(10)      CHAR(1) DEF BUFFER;
```

IBM2657I W Both logical AND operands are identical.

説明

これは、コーディング・エラーであると考えられます。

IBM2658I W Both logical OR operands are identical.

説明

これは、コーディング・エラーであると考えられます。

IBM2659I W Generated code would be better if all the INITIAL attributes in the declare for *variable name* were changed to VALUE.

説明

AUTOMATIC 属性または STATIC 属性が、全体的にスカラー・フィールド (すべてが INITIAL 属性を持ち、いずれもアドレスをとっていない) から構成されている場合、すべての INITIAL キーワードが VALUE キーワードに変更されると、コンパイラーはより優れたコードを生成する可能性があります。また、STATIC 属性または AUTOMATIC 属性が明示的に指定されていると、その属性を宣言から削除する必要があります。

IBM2660I W Program logic may lead to the END statement for *procedure name* even though *procedure name* is a function that should return a value.

説明

このメッセージは、何らかの条件のもとでエラーを発生させる可能性があるコードを、コンパイラーが検出したことを警告します。

```
oops: proc( x ) returns( fixed bin(31) );
      dcl x fixed bin(31);
      select;
        when( x > 0 ) return( 1 );
        when( x = 0 ) return( 0 );
        otherwise;
      end;
end;
```

E15 ソート出口が、その PROCEDURE ステートメント上に RETURNS オプションの一部として OPTIONAL 属性を指定していない限り、コンパイラーは E15 ソート出口についてこのメッセージを出します。

IBM2661I W **The string *string value* appears more than once in the INLIST argument set.**

説明

INLIST (x, y1, y2, ...) では、y 値は 2 回出現してはならない。このメッセージが生成されるのは、その INLIST 関数がその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合に限られる。

IBM2662I W **INLIST argument set contains duplicate values.**

説明

INLIST (x, y1, y2, ...) では、y 値は 2 回出現してはならない。このメッセージが生成されるのは、その INLIST 関数がその他の点ではブランチ・テーブルへの変換に適している場合に限られる。

IBM2663I W **WHEN clause contains an expression that matches the previous expression in the containing SELECT statement.**

説明

SELECT ステートメントでは、WHEN 節に、その SELECT ステートメントの WHEN 節の前の式と同じ式がある場合、コードはエラーになる可能性があります。コンパイラーは、このようなエラーのすべてを報告するわけではありません。前の 4 つの式のいずれかで式が重複している場合のみ、エラーとして報告します。

IBM2664I W **WHEN clause contains an expression that matches the expression *count* previous in the containing SELECT statement.**

説明

SELECT ステートメントでは、WHEN 節に、その SELECT ステートメントの WHEN 節の前の式のいずれかと同じ式がある場合、コードはエラーになる可能性があります。コンパイラーは、このようなエラーのすべてを報告するわけではありません。前の 4 つの式のいずれかで式が重複している場合のみ、エラーとして報告します。

IBM2665I W **EXTERNAL PLIXOPT declare specifies run-time options only if the variable has the attribute CHARACTER VARYING INITIAL and is not an array.**

説明

EXTERNAL 変数が LE ランタイム・オプションの定義を目的としている場合、INITIAL 値を持つスカラー CHAR VARYING ストリングでなければなりません。

IBM2666I W **RETURN expression holds the address of a variable in AUTOMATIC storage.**

説明

AUTOMATIC ストレージ内の変数のアドレスを返すと、正常に動作しないコードが作成される可能性があります。

IBM2667I W **The string lengths in the declare for *first* depend on the size of *second* whose declare comes later in the block. Consider moving the first declare after the second.**

説明

1 つの宣言の中のエクステンントは、それ以降の宣言のサイズに依存しないようにしてください。コンパイラーは 2 つの宣言をスワップしますが、このことによって、他の問題が生じる場合があります。最初の宣言を 2 番目の宣言の後に移動するほうが望ましい可能性があります。

IBM2668I W **Using the VALUE function with the structure type *type* adds *count* bytes to the generated object.**

説明

このメッセージは、複数の VALUE 属性を含む型付き構造に MAXINIT コンパイラー・オプションで指定されている数を超えるバイト数が必要である場合に生成される。VALUE 型関数を使用すると、生成されたオブジェクトの定数領域に構造体のフルコピーが追加され、バインダーの問題が発生する可能性がある。

IBM2669I W **The *attribute keyword* attribute is ignored in an ALIAS definition.**

説明

ALIGNED や UNALIGNED などの属性を DEFINE ALIAS ステートメントに指定することはできるが、それらの属性は無視されるので削除すべきである。

IBM2670I W **The parameter to MAIN should be declared as CHAR(*) VARYING.**

説明

MAIN に指定するパラメーターの最大長はシステムに依存するため、宣言する際に固定最大長を指定しないようにする必要がある。

IBM2671I W 変数 *X* は、引数番号 *n* として入り口「*E*」に渡される。対応するパラメーターには *A* 属性があるため、*D* 属性があっても変数を変更できる。

説明

このようなコードは、記憶保護例外につながる可能性がある。次の例では、変数 *X* が NONASSIGNABLE であるため、コンパイラーは、定数フルワード 17 のアドレスをルーチン TEST に渡した可能性がある。その場合、(OUTONLY 属性が示すように) *E* がそのパラメーターを変更すると、記憶保護例外が発生する。

```
call oops( 17 );

test: proc( x );
  dcl x fixed bin(31) NONASSIGNABLE;
  dcl e ext entry( ASSIGNABLE fixed
bin(31) );
  call e(x);
end;
```

IBM2672I W エクステンント変数が定数の場合、その **STATIC** 属性を除去し、その **INITIAL** 属性を **VALUE** 属性に変更すると、生成されるコードのパフォーマンスが向上する。

説明

名前付き定数は、STATIC INIT 属性ではなく VALUE 属性を使用して宣言する必要がある。これにより、コンパイラーはより優れたコードを生成する。例えば、以下のコードでは、ASIZE と CLEN が定数の場合、それらの宣言を変更したほうがよい。

```
dcl asize fixed bin(31) static init(100);
dcl clen  fixed bin(31) static init(20);
```

```
dcl a(asize) char(clen);
```

IBM2673I W **Boolean is compared with something other than '1'b or '0'b.**

説明

このメッセージは、以下のようなステートメントにフラグを立てる。最初の IF ステートメントでは、「true」が名前付き定数である場合、つまり、STATIC INIT ではなく VALUE 属性を使用して宣言されているか、よりよいと思われる。2 番目の IF ステートメントでは、(a < b) の true/false 値を c と比較しているが、これは c の値が 1 より大きい場合に真となる。IF 節は、おそらく (a < b) & (b < c) という意味だと思われる。

```
dcl true bit(1) static init('1'b);

if ( a < b ) = true then

if a < b < c then
```

IBM2674I W **The defined structure *struct name* is *alignment* byte aligned, but occupies only *storage size* bytes of storage.** これにより、アドレスの問題やデータ破損が発生する可能性がある。

説明

定義された構造体は、構造体の位置合わせの倍数であるバイト数を占めなければならない。そのため、例えば、位置合わせされた固定 bin(31) (または他の位置合わせされたフルワード) フィールドが、最も厳格に位置合わせされた項目として構造に含まれている場合、その構造は 4 バイトの倍数を占有します。次の構造は、この要件を満たしていません。

```
define structure
  1 point,
  2 x  fixed bin(31),
  2 y  char(1);
```

IBM2675I W **Use of PICTURE as DO control variable is not recommended.**

説明

DO ループ内の制御変数が PICTURE 変数である場合、制御変数が FIXED BIN 変数である場合よりも多くのコードがループに対して生成される。さらに、そのようなループは、無限にループするような、間違ったコードになりやすい。

IBM2676I W	制御変数のタイプが FIXED BIN でスケール・ファクターがゼロであれば、 DO グループ用に生成されるコードの方が効率的である。
-------------------	---

説明

DO ループ内の制御変数のタイプは、スケール付き固定 2 進数、非ネイティブ固定 2 進数、固定 10 進数、またはピクチャーのいずれかである。したがって、ループ用に生成されるコードは最適ではありません。

IBM2677I W	変数名の宣言を AUTOMATIC から STATIC NONASSIGNABLE に変更すると、生成されるコードがより良くなるはずである。
-------------------	--

説明

指定された変数は、初期化されているが変更されていないと思われる配列である。定数の場合、コンパイラーは、宣言されたブロックに入るたびに初期化するコードを生成しないと思われる。この変更により、パフォーマンスが大幅に向上する可能性がある。

IBM2678I W	ループが実行されることはない。 TO 値が正しくない可能性がある。
-------------------	---

説明

DO ステートメントは、DO x = A to B; (A > B) という形式。または、DO x = A to B BY -1; (A < B) という形式。これにより、ループ本体がスキップされる。A と B のうち 1 つ以上の値が不正確である可能性がある。

```
do jx = 11 to 10;  
  . . .  
end;
```

IBM2679I W	GONUMBER オプションの SEPARATE サブオプションは、次のようにする必要があるため、 GONUMBER (SEPARATE) が GONUMBER (NOSEPARATE) に変更された。
-------------------	---

説明

TEST オプションでサイド・ファイルの作成が指定されている場合は、**GONUMBER** を **SEPARATE** サイド・ファイルに配置することができる。

IBM2680I W	制御変数が STATIC または AUTOMATIC の場合、 DO グループ用に生成されたコードの方がより良いパフォーマンスを実現する。
-------------------	--

説明

DO ループ内の制御変数は、**PARAMETER** ではなく **STATIC** または **AUTOMATIC** をストレージクラスとし、特に **BASED**、**DEFINED**、**CONTROLLED** を使用すべきではない。

IBM2681I W	ソースは、ソース・パターンの長さ source-pattern より大きい、長さ source-length を持つ。ソースに十分な先行ブランクがない限り、この REPATTERN を呼び出すと ERROR 条件が発生する。また、必要な検査を行うと、この REPATTERN はインライン化されなくなる。
-------------------	---

説明

REPATTERN (d, p, q) において、**LENGTH** (d) が **LENGTH** (q) より大きい場合、それらの長さの差と同じ数のブランクで d が始まる場合のみ、コードは有効である。

第3章 コンパイラー・エラー・メッセージ (1226 から 1499、2400 から 2599)

IBM1226I E **Area extent is reduced to maximum value.**

説明

AREA 変数の最大許容サイズは 16777216 である。

IBM1227I E **keyword statement is not allowed where an executable statement is required. A null statement will be inserted before the keyword statement.**

説明

一部のコンテキスト (例えば IF-THEN 文節のあと) では、実行可能ステートメントのみが許される。そのようなコンテキストの1つで、DECLARE、DEFINE、DEFAULT、または FORMAT ステートメントが検出された。問題のステートメントの前に、ヌル・ステートメント (セミコロンのみで構成されるステートメント) が挿入される。

IBM1228I E **DEFAULT statement is not allowed where an executable statement is required. The DEFAULT statement will be enrolled in the current block, and a null statement will be inserted in its place.**

説明

一部のコンテキスト (例えば IF-THEN 文節のあと) では、実行可能ステートメントのみが許される。そのようなコンテキストの1つで、DEFAULT ステートメントが検出された。DEFAULT ステートメントの代わりに、ヌル・ステートメント (セミコロンのみで構成されるステートメント) が挿入される。

IBM1229I E **FORMAT statement is not allowed where an executable statement is required. The FORMAT statement will be enrolled in the current block, and a null statement will be inserted in its place.**

説明

一部のコンテキスト (例えば IF-THEN 文節のあと) では、実行可能ステートメントのみが許される。そのようなコンテキストの1つで、FORMAT ステートメントが検出された。FORMAT ステートメントの代わりに、

ヌル・ステートメント (セミコロンのみで構成されるステートメント) が挿入される。

IBM1230I E **Arguments have been specified for the variable *variable name*, but it is not an entry variable.**

説明

引数リストは ENTRY 参照の場合にのみ有効である。

```
dcl a(15) entry returns( fixed bin(31) );  
i = a(3)(4);
```

IBM1231I E **Arguments/subscripts have been specified for the variable *variable name*, but it is neither an entry nor an array variable.**

説明

引数/添え字リストは、ENTRY および配列参照の場合にのみ有効である。

```
dcl a fixed bin;  
i = a(3);
```

IBM1232I E **RULES (NOLAXPUNC) 違反: ステートメントの終わりの余分なコンマが無視された。**

説明

コンマの次に、有効な構文エレメント (ID など) でなく、セミコロンがある。コンマは無視され、セミコロンが有効になる。RULES(LAXPUNC) のもとでは、テキストは同じだが重大度の低いメッセージが出される。

```
dcl 1 a, 2 b fixed bin, 2 c fixed bin, ;
```

IBM1233I E **RULES (NOLAXPUNC) 違反: 欠落している文字が想定された。**

説明

指示された文字が欠落しているが、ソースの中にはそれ以外の文字がない。構文解析プログラムが、欠落した

文字を挿入してソースを訂正した。RULES(LAXPUNC)のもとでは、テキストは同じだが重大度の低いメッセージが出される。

IBM1234I E **RULES (NOLAXPUNC) 違反: 文字の前に 文字 が想定されていない。**

説明

示されている文字が欠落していたため、構文解析プログラムがその文字を挿入してソースを訂正した。RULES(LAXPUNC)のもとでは、テキストは同じだが重大度の低いメッセージが出される。

```
display( 'Program starting' ;
```

IBM1235I E **No data format item in format list.**

説明

フォーマット・リスト内でデータ・フォーマット項目が指定されていないければ、データ項目は転送することができない。

```
put edit ( (130) '-' ) ( col(1) );
```

IBM1236I E **Subscripts on *keyword* labels are ignored.**

説明

PROCEDURE、PACKAGE、またはENTRYステートメントに指定するラベルには添え字を付けてはならない。

IBM1237I E **EXTERNAL ENTRY attribute is assumed for *variable-name*.**

説明

宣言されていない変数を引数リストに使用した。したがって、変数はBUILTINとしてコンテキスト宣言されていることになるが、名前は組み込み関数の名前ではない。

IBM1238I E **The second argument to the *BUILTIN* name built-in is greater than the precision of the result.**

説明

ISLL 内のシフトの量は、結果の精度より大きな値であってはならない。

```
i = isll( n, 221 );
```

IBM1239I E **The *attribute* attribute is not supported and is ignored.**

説明

指定された属性は、PL/I 言語の一部ではないか、このプラットフォームではサポートされていない。

```
dcl f file transient;
```

IBM1240I E **The *attribute* attribute is invalid in a RETURNS descriptor.**

説明

RETURNS 記述子に配列を指定していない可能性がある。

```
dcl a entry returns( (12) fixed bin );
```

IBM1241I E **Only '=' and '^=' are allowed as operators in comparisons involving complex numbers.**

説明

複素変数には等号および不等号を指定する必要があるが、別の方法で複素変数を関連付けようとしている。

IBM1242I E **Only '=' and '^=' are allowed as operators in comparisons involving program control data.**

説明

プログラム制御データ間に他の関係は定義されていない。おそらく、変数にミススペルがある。

IBM1243I E **REGIONAL(*integer specification (2 or 3)*) ENVIRONMENT option is not supported.**

説明

REGIONAL(2) および REGIONAL(3) ENVIRONMENT オプションは、コンパイル時に構文検査されるが、実行時にはサポートされていない。

IBM1244I E **The variable specified as the *option* value in an ENVIRONMENT option must be a STATIC scalar with the attributes REAL FIXED BIN(31,0).**

説明

これは KEYLENGTH、KEYLOC、および RECSIZE サブオプションに適用される。

IBM1245I E	The variable specified as the <i>option</i> value in an ENVIRONMENT option must be a STATIC scalar with the attribute CHARACTER.
-------------------	---

説明

これは PASSWORD サブオプションに適用される。

IBM1246I E	Argument to <i>BUILTIN</i> name built-in should be CONNECTED.
-------------------	--

説明

このメッセージは、例えば ADDR 組み込み関数に適用される。ADDR 関数が戻す値は、引数の最初のバイトのアドレスである。このポインターを使用して基底付き変数を参照すると、変数は、引数が占めるストレージにマップされずに他の変数が占めるストレージにマップされることがある。

IBM1247I E	RULES (NOLAXCONV) 違反: 算術オペランドは両方とも数値でなければならない。
-------------------	---

説明

必要な暗黙の変換は実行されるが、プログラミング・エラーがある 可能性がある。RULES(LAXCONV) オプションが指定されている場合、このメッセージは出されません。

<pre>i = i * '2';</pre>

IBM1248I E	RULES (NOLAXCONV) 違反: <i>BUILTIN</i> 名 ビルトインに対する引数は算術型でなければならない。
-------------------	---

説明

示されている組み込み関数に対する引数は、算術型でなければならない。必要な暗黙の変換は実行されるが、プログラミング・エラーがある 可能性がある。RULES(LAXCONV) オプションが指定されている場合、このメッセージは出されません。

IBM1249I E	Argument to <i>BUILTIN</i> name built-in should have CHARACTER type.
-------------------	---

説明

示されている組み込み関数に対する引数は、CHARACTER 型でなければならない。必要な暗黙の変

換は実行されるが、プログラミング・エラーがある 可能性がある。

IBM1252I E	RULES (NOLAXCONV) 違反: <i>BUILTIN</i> 名 ビルトインに対する引数番号 引数番号 は算術型でなければならない。
-------------------	---

説明

必要な暗黙の変換は実行されるが、プログラミング・エラーがある 可能性がある。RULES(LAXCONV) オプションが指定されている場合、このメッセージは出されません。

<pre>x = max(x, y, z, '2');</pre>

IBM1254I E	RULES (NOLAXCONV) 違反: 算術接頭部オペランドは数値でなければならない。
-------------------	--

説明

必要な暗黙の変換は実行されるが、プログラミング・エラーがある 可能性がある。RULES(LAXCONV) オプションが指定されている場合、このメッセージは出されません。

<pre>a = - b;</pre>

IBM1272I E	Argument number <i>argument</i> number to <i>BUILTIN</i> name built-in is negative. It will be changed to 0.
-------------------	---

説明

COPY および REPEAT などの組み込み関数に対する 2 番目の引数は、負の値であってはならない。

<pre>x = copy(y, -1);</pre>

IBM1273I E	Third argument to <i>BUILTIN</i> name built-in is negative. It will be changed to 0.
-------------------	---

説明

COMPARE、PLIFILL、および PLIMOVE などの組み込み関数に対する 3 番目の引数は、負の値であってはならない。

--

```
call plimove( a, b, -1 );
```

IBM1274I E **RULES (NOLAXIF) 違反: 条件式に属性 BIT (1) がない。**

説明

IF、WHILE、UNTIL、および上位構造体のない WHEN 文節の中の式には、属性 BIT(1) NONVARYING を指定しなければならない。これを指定しない場合、式を適切なヌル値と比較する必要がある。RULES(LAXIF) オプションを指定してある場合は、このメッセージは出されない。

```
dcl x bit(8) aligned;
...
if x then ...
```

IBM1281I E **OPTIONS(RETCODE) on ATTACH reference is invalid and will be ignored.**

説明

OPTIONS(RETCODE) は ATTACH 参照ではサポートされない。

IBM1287I E **RULES (NOLAXCONV) 違反: 指数オペランドは数値タイプでなければならない。**

説明

書式 $x**y$ 、 x 、および y の式では、 x と y はどちらもストリング型にしないでください。RULES(LAXCONV) オプションが指定されている場合、このメッセージは出されません。

IBM1293I E **WIDECHAR extent is reduced to maximum value.**

説明

WIDECHAR 変数に許可される最大長は、LIMITS オプションの STRING サブオプションによって設定される。

IBM1294I E **BIT extent is reduced to maximum value.**

説明

BIT 変数に許可される最大長は、LIMITS オプションの STRING サブオプションによって設定される。

IBM1295I E 指定された唯一の境界が 1 より小さくなっている。上限 1 が想定される。

説明

デフォルトの下限は 1 であるが、上限は下限より大きい値でなければならない。

```
dcl x(-5) fixed bin;
```

IBM1296I E **The BYADDR option conflicts with the SYSTEM option.**

説明

SYSTEM(IMS) または SYSTEM(CICS) が有効なときに MAIN プロシージャに渡される引数は、BYADDR 属性を持っていたはならない。

```
*process system(ims);
a: proc( x );
dcl x ptr byaddr;
```

IBM1297I E **Source and target in BY NAME assignment have no matching assignable base identifiers.**

説明

BY NAME では、ソース構造体とターゲット構造体に、一致する基本エレメント ID が 1 つ以上なければならない。

```
dcl 1 a, 2 b, 2 c, 2 d;
dcl 1 w, 2 x, 2 y, 2 z;
a = w, by name;
```

IBM1298I E **Characters in B3 literals must be 0-7.**

説明

B3 リテラルでは、各文字は 0 から 7 のいずれかでなければならない。

IBM1299I E **CHARACTER extent is reduced to maximum value.**

説明

CHARACTER 変数に許可される最大長は、LIMITS オプションの STRING サブオプションによって設定される。

IBM1300I E **RULES (NOLAXDCL) 違反: 変数名は、コンテキスト上では属性として宣言される。**

説明

RULES(NOLAXDCL) が指定されているので、これは E レベルのメッセージである。

IBM1301I E A DECIMAL exponent is required.

説明

FLOAT 定数内の E のあとには、1 つ以上の 10 進数 (任意で直前に符号が付けられる) が必要である。

IBM1302I E The limit on the number of DEFAULT predicates in a block has already been reached. This and subsequent DEFAULT predicates in this block will be ignored.

説明

各ブロックに入れる DEFAULT 述部は 31 個以下でなければならない。

IBM1303I E A second argument to the *BUILTIN name* built-in must be supplied for arrays with more than one dimension. A value of 1 is assumed.

説明

LBOUND、HBOUND、および DIMENSION 組み込み関数を 2 次元以上の配列に適用する場合は、2 つの引数が必要である。

```
dcl a(5,10) fixed bin;  
do i = 1 to lbound(a);
```

IBM1304I E Second argument to *BUILTIN name* built-in is not positive. A value of 1 is assumed.

説明

DIMENSION、HBOUND、および LBOUND 組み込み関数では、2 番目の引数は正の値でなければならない。

IBM1305I E Second argument to *BUILTIN name* built-in is greater than the number of dimensions for the first argument. A value of *dimension count* is assumed.

説明

LBOUND、HBOUND、および DIMENSION 組み込み関数に対する 2 番目の引数は、その配列引数の次元数以下でなければならない。

```
dcl a(5,10) fixed bin;  
do i = 1 to lbound(a,3);
```

IBM1306I E Repeated declaration of *identifier* is invalid and will be ignored.

説明

レベル 1 の変数名は、同じブロック内で繰り返してはならない。

```
dcl a fixed bin, a float;
```

IBM1307I E Duplicate specification of arithmetic precision. Subsequent specification ignored.

説明

精度属性は、1 つの宣言の中で一度だけ指定する必要がある。

```
dcl a fixed(15) bin(31);
```

IBM1308I E Repeated declaration of *identifier* is invalid. The name will be replaced by an asterisk.

説明

同じ構造体または共用体内部では、特定のサブレベルの変数名は固有でなければならない。

```
dcl 1 a, 2 b fixed, 2 b float;
```

IBM1309I E Duplicate specification of *attribute*. Subsequent specification ignored.

説明

INITIAL などの属性は、同じ DECLARE ステートメントのエレメントについて繰り返してはならない。

```
dcl a fixed init(0) bin init(2);
```

IBM1310I E The attribute *character* conflicts with previous attributes and is ignored.

説明

属性は整合性のあるものでなければならない。

```
dcl a fixed real float;
```

IBM1311I E EXTERNAL name contains no non-blank characters and is ignored.

説明

外部名には非ブランク文字をいくつか指定しなければならない。

```
dcl x external( ' ' );
```

IBM1312I E WX literals should contain a multiple of 4 hex digits.

説明

WX リテラルはユニコード・ストリングを表すものであり、4 桁の 16 進数の倍数を指定しなければならない。

```
x = '00'wx;
```

IBM1314I E ELSE clause outside of an open IF-THEN statement is ignored.

説明

ELSE 文節が有効なのは、IF-THEN ステートメントの直後にある場合である。

```
do; if a > b then; end; else a = 0;
```

IBM1315I E END label matches a label on an open group, but that group label is subscripted.

説明

添え字付きラベルを持つグループのための END ステートメントには、添え字が付いたラベルが必要である。

```
a(1): do;  
...  
end a;
```

IBM1316I E END label is not a label on any open group.

説明

END ステートメントのラベルは、BEGIN、DO、PACKAGE、PROCEDURE、または SELECT を開始するステートメントの LABEL に一致していなければならない。

```
a: do;  
...  
end b;
```

IBM1317I E An END statement may be missing after an OTHERWISE unit. One will be inserted.

説明

SELECT ステートメント内の OTHERWISE ユニットのあとでは、END ステートメントのみが有効である。

```
select;  
  when ( ... )  
  do;  
  end;  
  otherwise  
  do;  
  end;  
display( .... );
```

IBM1318I E The ENVIRONMENT option *option-name* conflicts with preceding ENVIRONMENT options. This option will be ignored.

説明

ENVIRONMENT オプションの指定の中で矛盾が検出された。ENV(CONSECUTIVE INDEXED) を例にとると、INDEXED オプションは CONSECUTIVE オプションと矛盾する。

IBM1319I E STRINGSIZE condition raised while evaluating expression. Result is truncated.

説明

コンパイル時のユーザー式の変換中に、ターゲット・ストリングがソースより短いことが検出され、それが原因で STRINGSIZE 条件が発生した。

IBM1320I E STRINGRANGE condition raised while evaluating expression. Arguments are adjusted to fit.

説明

SUBSTR 参照内のすべての引数が定数または制限付きの式である場合は、参照はコンパイル時に評価される。引数が SUBSTR 組み込み 関数用に記述された規則に従っていない場合は、STRINGRANGE 条件が発生する。

```
a = substr( 'abcdef', 5, 4 );
```

IBM1321I E LEAVE/ITERATE label matches a label on an open DO group, but that DO group label is subscripted.

説明

添え字付きラベルを持つグループのための LEAVE/ITERATE ステートメントには、添え字が付いたラベルが必要である。

```
a(1): do;  
...  
leave a;
```

IBM1322I E LEAVE/ITERATE label is not a label on any open DO group in its containing block.

説明

LEAVE/ITERATE には、LEAVE/ITERATE ステートメントと同じ ブロック内の DO ループ開始のラベルを指定しなければならない。

```
a: do loop;  
begin;  
leave a;
```

IBM1323I E ITERATE/LEAVE statement is invalid outside an open DO statement. The statement will be ignored.

説明

ITERATE/LEAVE ステートメントは、DO グループ内部でのみ有効である。

```
a: begin;  
...
```

```
leave a;  
...  
end a;
```

IBM1324I E The name *name* occurs more than once in the EXPORTS clause.

説明

package ステートメントの EXPORTS 文節内では、名前は固有でなければならない。

```
a: package exports( a1, a2, a1 );
```

IBM1325I E The name *name* occurs in the EXPORTS clause, but is not the name of any level-1 procedure.

説明

package ステートメントの EXPORTS 文節内では、個々の名前は そのパッケージ内のレベル 1 プロシーチャーの名前でなければならない。

```
a: package exports( a1, a2, a3 );
```

IBM1326I E Variables declared without a name must be structure members or followed by a substructure list.

説明

アスタリスクが使用できるのは、構造体名、共用体名、または 構造体または共用体のメンバーの場合のみである。LIKE 属性を指定したレベル 1 の構造体名には、アスタリスクは 使用できない。

```
dcl * char(20) static init('who can use me');
```

IBM1327I E The CHARACTER VARYING parameter to MAIN should be ASCII with the attribute NATIVE.

説明

パラメーターが EBCDIC の場合、またはその属性が NONNATIVE の場合は、予想外の結果が生じることがある。

IBM1328I E The CHARACTER VARYING parameter to MAIN should be

EBCDIC with the attribute BIGENDIAN.

説明

パラメーターが ASCII の場合、またはその 属性が LITTLEENDIAN の場合は、予想外の結果が生じることがある。このメッセージは SYSTEM(MVS) などの場合にのみ適用される。

IBM1329I E **ENTRY statements are not allowed under RULES(NOMULTIENTRY).**

説明

RULES(NOMULTIENTRY) のもとでは、ソース・プログラムの中に ENTRY ステートメントがあってはなりません。

IBM1330I E **The I in an iSUB token must be bigger than zero. A value of 1 is assumed.**

説明

iSUB トークン内の I は、有効な次元数を表していなければならない。

```
dcl b(8) fixed bin def(0sub,1);
```

IBM1331I E **The I in an iSUB token must have no more than 2 digits. A value of 1 is assumed.**

説明

iSUB トークン内の I は、1 桁または 2 桁の数字でなければならない。

```
dcl b(8) fixed bin def(001sub,1);
```

IBM1332I E **The *format-item* format item requires an argument when used in GET statement. A value of 1 is assumed.**

説明

GET ステートメントに指定する場合は、A、B、および G フォーマット項目に幅を指定する必要がある。

```
get edit(name) (a);
```

IBM1333I E **Non-asterisk array bounds are not permitted in GENERIC descriptions.**

説明

総称記述では、すべての配列境界をアスタリスクにする必要がある。

```
dcl x generic ( e1 when( (10) fixed ), ...
```

IBM1334I E **String lengths and area sizes are not permitted in GENERIC descriptions.**

説明

総称記述では、すべてのストリング長および領域サイズをアスタリスクにする必要がある。

```
dcl x generic ( e1 when( char(10) ), ...
```

IBM1335I E **Entry description lists are not permitted in GENERIC descriptions.**

説明

総称記述リスト中の ENTRY 属性をエントリー記述リストで修飾してはならない。

```
dcl x generic ( e1 when( entry( ptr ) ), ...
```

IBM1336I E **GRAPHIC extent is reduced to *maximum value*.**

説明

GRAPHIC 変数に許可される最大長は、LIMITS オプションの STRING サブオプションによって設定される。

IBM1337I E **GX literals should contain a multiple of 4 hex digits.**

説明

GX リテラルは漢字ストリングを表すものであり、4 桁の 16 進数の倍数を指定しなければならない。

```
x = '00'gx;
```

IBM1338I E **Upper bound is less than lower bound. Bounds will be reversed.**

説明

変数の宣言で、上限が下限より小さい。これを訂正するために、上限と下限を入れ替える処理が行われる。例えば、`DECLARE x(3:1)` が、`DECLARE x(1:3)` に変更される。

IBM1339I E **Identifier is too long. It will be collapsed to *identifier*.**

説明

ID の最大長は、LIMITS コンパイラー・オプションの NAME サブオプションにより設定される。

IBM1340I E **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* contains BIT data. NOMAP is assumed.**

説明

BIT データを含む引数が COBOL ルーチンへの呼び出し内に存在する。このような PL/I と COBOL 間の構造のマッピングはサポートされない。

```
dcl f ext entry options( cobol );
dcl 1 a, 2 b bit(8), 2 c bit(8);
call f( a );
```

IBM1341I E **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is or contains a UNION. NOMAP is assumed.**

説明

UNION データを含む引数が COBOL ルーチンへの呼び出し内に存在する。このような PL/I と COBOL 間の構造のマッピングはサポートされない。

```
dcl f ext entry options( cobol );
dcl 1 a union, 2 b char(4), 2 c fixed
bin(31);
call f( a );
```

IBM1342I E **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* contains non-constant extents. NOMAP is assumed.**

説明

非定数エクステントを含む引数が COBOL ルーチンへの呼び出し内に存在する。このような PL/I と COBOL 間の構造のマッピングはサポートされない。

```
dcl f ext entry options( cobol );
dcl n static fixed bin init(17);
dcl 1 a, 2 b char(n), 2 c fixed bin(31);
call f( a );
```

IBM1343I E ***nomap-suboption* is invalid as a suboption of *option*.**

説明

"n" が 0 以上の整数である場合、サブオプションは ARGn と指定しなければならない。

```
dcl f ext entry options( cobol
nomap(arg0) );
```

IBM1344I E **NOMAP specifications are valid only for ILC routines.**

説明

NOMAP、NOMAPIN、および NOMAPOUT は、COBOL、FORTRAN、および ASM プロシージャおよびエントリーにのみ有効である。

IBM1345I E **Initial level number in a structure is not 1.**

説明

レベル 1 の DECLARE ステートメントが欠落している可能性がある。

```
dcl
  2 a,
  3 b,
  3 c,
```

IBM1346I E **INIT expression should be enclosed in parentheses.**

説明

これは、あいまいさを避けるために必要である。例えば、すべてのエレメントを値 4 を用いて初期化するか、最初のエレメントだけを値 9 を用いて初期化するのが不明瞭になる。

```
dcl a(5) fixed bin init( (5)+4 );
```

IBM1347I E B assumed to complete iSUB.

説明

形式 1su の言語エレメントがない。

```
dcl a(10) def b(1su, 1sub );
```

IBM1348I E Digit in BINARY constant is not zero or one.

説明

BINARY 定数では、個々の桁の数字は 0 または 1 でなければならない。

IBM1349I E Characters in BIT literals must be 0 or 1.

説明

BIT リテラルでは、各文字は 0 または 1 でなければならない。

IBM1350I E Character with decimal value *n* does not belong to the PL/I character set. It will be ignored.

説明

示されている文字は、PL/I 文字セットの一部ではない。これは、NOT 記号または OR 記号を含むプログラムを別のマシンから移植したときに、それらの記号が PL/I 文字セットに含まれていない文字に変換されたことを示す。NOT および OR コンパイラー・オプションを使用すると、この問題の回避に役立つ。

IBM1351I E Characters in hex literals must be 0-9 or A-F.

説明

16 進数リテラルでは、各文字は 0 から 9 または A から F のいずれかでなければならない。

IBM1352I E The statement element *character* is invalid. The statement will be ignored.

説明

指定されているエレメントが無効なため、入力したステートメントは解析できなかった。

IBM1353I E Use of underscore as initial character in an identifier accepted although invalid under LANTLR(SAA).

説明

LANGLVL(SAA) のもとでは、ID は英字または特別言語文字で開始されなければならない。この場合、ID は下線で始まっていてはならない。LANGLVL(SAA2) のもとでは、ID は下線で始まっていてもよいが、_IBM で始まる名前は IBM で使用するために予約されている。

IBM1354I E Multiple argument lists are valid only with the last identifier in a reference.

説明

形式 x(1)(2).y.z の参照が無効である。

IBM1355I E Empty argument lists are valid only with the last identifier in a reference.

説明

形式 x().y.z の参照が無効である。

IBM1356I E Character with decimal value *n* does not belong to the PL/I character set. It is assumed to be an OR symbol.

説明

示されている文字は、PL/I 文字セットの一部ではなく、直後に同じ文字が続いていた。これは、OR 記号を含むプログラムを別のマシンから移植したときに、この記号が PL/I 文字セットに含まれていない文字に変換されたことを示す。OR コンパイラー・オプションを使用すると、この問題の回避に役立つ。

IBM1357I E Character with decimal value *n* does not belong to the PL/I character set. It is assumed to be a NOT symbol.

説明

示されている文字は PL/I 文字セットの一部ではないが、直後に =、<、または > 記号が続いている。これは、NOT 記号を含むプログラムを別のマシンから移植したときに、この記号が PL/I 文字セットに含まれていない文字に変換されたことを示す。NOT コンパイラー・オプションを使用すると、この問題の回避に役立つ。

IBM1358I E The scale factor specified in *BUILTIN* name built-in with a

floating-point argument must be positive. It will be changed to 1.

説明

これは ROUND 組み込み関数に適用される。正の値以外の値は 1 に変更される。

```
dcl x float bin(53);
x = round( x, -1 );
```

IBM1359I E **Names in RANGE(*identifier* : *identifier*) are not in ascending order. Order is reversed.**

説明

名前は昇順に指定しなければならない。

```
default range( h : a ) fixed bin;
```

IBM1360I E **The name *identifier* has already been defined as a FORMAT constant.**

説明

FORMAT 定数の名前を、LABEL 定数の名前としても使用することはできない。

```
f(1): format( a, x(2), a );
f(2): ;
```

IBM1361I E **The name *identifier* has already been defined as a LABEL constant.**

説明

LABEL 定数の名前を、FORMAT 定数の名前としても使用することはできない。

```
f(1): ;
f(2): format( a, x(2), a );
```

IBM1362I E **The label *label-name* has already been declared. The explicit declaration of the label will not be accepted.**

説明

ラベル定数配列用の宣言は許されない。

```
dcl a(10) label variable;

a(1): ...
a(2): ...
```

IBM1363I E **Structure level greater than 255 specified. It will be replaced by 255.**

説明

サポートされる最大構造体レベルは 255 である。

```
dcl
  1 a,
 256 b,
  2 c,
```

IBM1364I E **Elements with level numbers greater than 1 follow an element without a level number. A level number of 1 is assumed.**

説明

構造体レベルが欠落している可能性がある。

```
dcl
  a,
  2 b,
  2 c,
```

IBM1365I E **Statement type resolution requires too many lexical units to be examined. The statement will be ignored.**

説明

ステートメントが割り当てであるか別の PL/I ステートメントであるかを判別するには、そのステートメントの多くのエレメントを調べる必要がある。検査するエレメントの数が多すぎると、コンパイラーはそのステートメントにエラーのフラグを立てる。例えば、次のステートメントは、レクサー (lexer: 字句解析プログラム) が等号を検出するまでは DECLARE と見なされる。

```
dcl ( a, b, c ) = d;
```

IBM1366I E **Level number following LIKE specification is greater than than the level number for the LIKE specification. LIKE attribute will be ignored.**

説明

LIKE は、親の構造体または共用体では指定できない。

```
dc1
  1 a like x,
  2 b,
  2 c,
```

IBM1367I E **Statements inside a SELECT must be preceded by a WHEN or an OTHERWISE clause. Statement is ignored.**

説明

WHEN または OTHERWISE が欠落している可能性がある。

```
select;
  i = i + 1;
  when ( a > 0 )
  ...
```

IBM1368I E **The attribute *character* is invalid if it is not followed by an element with a greater logical level.**

説明

示されている属性は、親構造体でのみ有効である。

```
dc1
  1 a,
  2 b union,
    2 c1 fixed bin(31),
    2 c2 float bin(21),
  ...
```

IBM1369I E **MAIN has already been specified in the PACKAGE.**

説明

OPTIONS(MAIN) は、PACKAGE 内の 1 つの PROCEDURE にしか 指定できない。最初の指定以外はすべて無視される。

IBM1370I E **Extent expression is negative. It will be replaced by the constant 1.**

説明

エクステンツは正の値でなければならない。

```
dc1 x char(-10);
```

IBM1371I E **RULES (NOLAXQUAL) 違反: 構造体エレメント識別子がドット修飾されていない。**

説明

オプション RULES(NOLAXQUAL) のもとでは、すべての構造体エレメントは、1 つ以上の親の名前で修飾する必要がある。

IBM1372I E **EXTERNAL specified on internal entry point.**

説明

EXTERNAL 属性が有効なのは、外部プロシージャおよび外部エントリーの場合のみである。例えば、パッケージ以外の場合は最外部のプロシージャおよびその中に含まれているエントリー・ステートメントのみ、パッケージの場合は PACKAGE ステートメントの EXPORTS 文節にリストされているプロシージャおよびエントリーのみで、有効である。

```
a: proc;
b: proc ext('_B');
```

IBM1373I E **RULES (NOLAXDCL) 違反: 変数 変数名 が暗黙的に宣言されている。**

説明

RULES(NOLAXDCL) オプションのもとでは、組み込み関数 SYSPRINT および SYSIN のコンテキスト宣言の場合を除き、すべての変数を宣言する必要がある。

IBM1374I E **Contextual attributes conflicting with PARAMETER will not be applied to *variable name*.**

説明

パラメーターに適用できるコンテキスト属性のみが適用される。例えば、CONSTANT および EXTERNAL は、ファイルのコンテキスト宣言に適用されるが、ファイルのパラメーターには適用されない。

```
a: proc( f );
```

	<pre>open file(f);</pre> <pre>sub2 when((*,*)));</pre>
IBM1375I E The DEFINED variable <i>variable name</i> does not fit into its base variable.	IBM1379I E Locator qualifier for GENERIC reference is ignored.
説明 DEFINED 変数に必要なビット、文字、またはグラフィックスの数は、ベースの変数内のビット、文字、またはグラフィックスの数を超えてはならない。 <pre>dcl a char(10);</pre> <pre>dcl b char(5) defined (a) pos(8);</pre>	説明 GENERIC 参照はロケーターで修飾できない。 <pre>dcl x generic (...);</pre> <pre>call p->x;</pre>
IBM1376I E Factoring of level numbers into declaration lists containing level numbers is invalid. The level numbers in the declaration list will be ignored.	IBM1380I E Target structure in assignment contains no elements with the ASSIGNABLE attribute. No assignments will be generated.
説明 宣言リストに因数として組み込めるのは属性だけである。 <pre>dcl 1 a, 2 (b, 3 c, 3 d) fixed;</pre>	説明 構造体への割り当てを行うには、その構造体のエレメントが、割り当て可能な属性を備えていなければならない。 <pre>dcl</pre> <pre> 1 a based,</pre> <pre> 2 nonasgn fixed bin,</pre> <pre> 2 nonasgn fixed bin;</pre> <pre>p->a = 0;</pre>
IBM1377I E A scale factor has been specified as an argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in, but the result of that function has type FLOAT. The scale factor will be ignored.	IBM1381I E DEFINED base for a BIT structure should be aligned.
説明 スケール因数は FIXED 値の場合にのみ有効である。 <pre>x = binary(1e0,4,2);</pre>	説明 バイト境界で位置合わせされていない変数に BIT 構造体 (または共用体) を定義すると、予想外の結果が生じることがある。特に、DEFINED 変数の副構造体が別のルーチンに渡された場合は、結果は予測できない。
IBM1378I E An arguments list or subscripts list has been provided for a GENERIC entry reference. It will be ignored.	IBM1382I E INITIAL attribute is invalid for STATIC FORMAT variables. Storage class is changed to AUTOMATIC.
説明 GENERIC エントリー参照には、引数や添え字リストを含めることはできない。 <pre>dcl t generic(sub1(10) when((*)),</pre>	説明 FORMAT 変数は、ブロック活動化情報を必要とするため、コンパイル時には初期化できない。変数が構造体のメンバーの場合は、ストレージ・クラスは AUTOMATIC に変更されず、代わりに重大メッセージが出される。 IBM1383I E Labels on <i>keyword</i> statements are invalid and ignored.

説明

DECLARE、DEFAULT、DEFINE の各ステートメント、WHEN 文節、OTHERWISE 文節には、ラベルを指定できない。

IBM1384I E *message*

説明

このメッセージは、バックエンド・エラー・メッセージを報告するために使用される。

IBM1385I E **Invalid DEFINED - string overlay defining attempted.**

説明

DEFINED 属性のベース変数は、DEFINED 変数と同じ ストリング型の UNALIGNED、NONVARYING ストリング変数で構成されていなければならない。

IBM1386I E **DEFINED base for a BIT variable should not be subscripted.**

説明

2 番目の変数 (ベース) でビット変数を定義する場合、ベースは配列であってもよいが、添え字を付けてはならない。

```
dcl a(20) bit(8) unaligned;
dcl b bit(8) defined( a(3) );
```

IBM1387I E **The NODESCRIPTOR attribute is invalid when any parameters have * extents. The NODESCRIPTOR attribute will be ignored.**

説明

パラメーターに * エクステントを指定できるのは、記述子も一緒に渡す場合だけである。NODESCRIPTOR 属性は無視され、記述子はすべての配列、構造体、およびストリング引数について渡されたものと想定される。

```
a: proc( x ) options(nodescriptor);

dcl x char(*);
```

IBM1388I E **The NODESCRIPTOR attribute is invalid when any parameters have the NONCONNECTED attribute.**

説明

パラメーターに NONCONNECTED 属性を指定できるのは、記述子も一緒に渡す場合だけである。

```
a: proc( x ) options(nodescriptor);

dcl x(20) fixed bin nonconnected;
```

IBM1389I E **The identifier *identifier* is not the name of a built-in function. The BUILTIN attribute will be ignored.**

説明

BUILTIN 属性は、組み込み関数または組み込みサブルーチンの名前である ID にのみ適用できる。

IBM1390I E **NOTE**

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 8 と共に使用される。

IBM1391I E **End-of-source has been encountered after an unmatched comment marker.**

説明

コメント終了マークが欠落している可能性がある。

IBM1392I E **End-of-source has been encountered after an unmatched quote.**

説明

右引用符が欠落している可能性がある。

IBM1393I E **Item in OPTIONS list conflicts with other attributes in the declaration. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リスト内の示されているエレメントは無効である。

```
dcl a file options( assembler );
```

IBM1394I E **Item in OPTIONS list is invalid for BEGIN blocks. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リスト内の示されているエレメントは、BEGIN ブロックには無効である (PROCEDURE の場合には有効であることもある)。

```
begin options( assembler );
```

IBM1395I E **Item in OPTIONS list is invalid for PACKAGES. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リスト内の示されているエレメントは、PACKAGE には無効である (PROCEDURE の場合には有効であることもある)。

```
a: package exports(*) options( assembler );
```

IBM1396I E **Item in OPTIONS list is invalid for PROCEDURES. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リスト内の示されているエレメントは、PROCEDURE には無効である (ENTRY の場合には有効であることもある)。

```
a: procedure options( inter );
```

IBM1397I E **Item in OPTIONS list is invalid for nested PROCEDURES. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リスト内の示されているエレメントは、ネストされた PROCEDURE には無効である (ネストされていない PROCEDURE には有効であることもある)。

```
a: proc;  
  b: proc options( main );
```

IBM1398I E **Invalid item in OPTIONS list. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リスト内の示されているエレメントは、ステートメントまたは宣言でサポートされるオプションではない。

```
a: proc options( unknown );
```

IBM1399I E **Item in OPTIONS list is invalid for ENTRY statements. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リスト内の示されているエレメントは、ENTRY ステートメントには無効である (PROCEDURE には有効であることもある)。

```
a: entry options( chargraphic );
```

IBM1400I E **Item in OPTIONS list conflicts with preceding items. *option-name* is ignored.**

説明

オプション・リストのエレメントには整合性がなければならない。次の例の場合は、BYVALUE と BYADDR が矛盾しているため、整合性がない。

```
a: proc options( byvalue byaddr );
```

IBM1401I E **Parameter attributes have been specified for a variable that is not a parameter. The parameter attributes are ignored.**

説明

パラメーター属性 (BYVALUE または CONNECTED など) は、パラメーターの場合にのみ指定できる。

```
a: proc;  
  dcl x byvalue ptr;
```

IBM1402I E **Constant in POSITION attribute is less than 1.**

説明

POSITION 属性には正の値を指定しなければならない。

```
dcl a def b pos(-10);
```

IBM1403I E **The end of the source was reached before the logical end of the program. Null statements and END statements will be inserted as necessary to complete the program.**

説明

ソースには、すべての PACKAGE、PROCEDURE、BEGIN ブロック、DO グループ、および SELECT ステートメント用の END ステートメントと、すべての IF-THEN 文節および ELSE 文節用のステートメントが含まれていない。

IBM1404I E **The procedure name *proc-name* has already been declared. The explicit declaration of the procedure name will not be accepted.**

説明

内部プロシージャ用の宣言は許されない。

```
a: proc;  
  dcl b entry options(byvalue);  
  b: proc;
```

IBM1405I E **Only one description is allowed in a returns descriptor.**

説明

1 つの関数からは 1 つの値しか戻せない。

```
dcl b entry returns( ptr, ptr );
```

IBM1406I E **The product of the repetition factor *repetition-factor* and the length of the constant *string* to which it is applied is greater than the maximum length allowed for a constant. The repetition factor will be ignored.**

説明

別のストリングに適用される反復因数が表すストリングは、反復因数のないストリングに適用されるものと同じ制限に従っていない。

```
a = (32767) 'abc';
```

IBM1407I E **Scale factor is bigger than 127. It will be replaced by 127.**

説明

スケール因数は、-128 から 127 (両端の値を含む) の範囲内の値でなければならない。

IBM1408I E **Scale factor is less than -128. It will be replaced by -128.**

説明

スケール因数は、-128 から 127 (両端の値を含む) の範囲内の値でなければならない。

IBM1409I E **A SELECT statement may be missing. A SELECT statement, without an expression, will be inserted.**

説明

WHEN 文節または OTHERWISE 文節が SELECT ステートメントの外部で見つかった。

IBM1410I E **Semicolon inserted after ELSE keyword.**

説明

DO または SELECT などのステートメントを囲む END ステートメントが、ELSE のあとに必要なステートメントの前にある。

```
do;  
  if a > b then  
    ...  
  else  
    end;
```

IBM1411I E **Semicolon inserted after ON clause.**

説明

DO または SELECT などのステートメントを囲む END ステートメントが、ON 条件のあとに必要なステートメントの前にある。

```
do;  
  ...  
  on zdiv
```

end;	
IBM1412I E	Semicolon inserted after OTHERWISE keyword.
説明 END ステートメントの位置が間違っているか、またはセミコロンが欠落している。	
IBM1413I E	Semicolon inserted after THEN keyword.
説明 END ステートメントの位置が間違っているか、またはセミコロンが欠落している。	
IBM1414I E	Semicolon inserted after WHEN clause.
説明 END ステートメントの位置が間違っているか、またはセミコロンが欠落している。	
IBM1415I E	Source file does not end with the logical end of the program.
説明 ソース・ファイルには、最初の PACKAGE または PROCEDURE をクローズしている END ステートメントのあとに、ステートメントが含まれている。これらのステートメントは無視されるが、その存在がプログラミング・エラーを示す場合もある。	
IBM1416I E	Subscripts have been specified for the variable <i>variable name</i>, but it is not an array variable.
説明 添え字を指定できるのは、配列の要素の場合だけである。	
IBM1417I E	<i>BUILTIN</i> 名 リファレンスの第 2 引数が 1 未満である。これは 1 に置き換えられる。
説明 メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。	
IBM1418I E	<i>BUILTIN</i> 名 リファレンスの第 2 引数が大きすぎる。It will be trimmed to fit.

説明

メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM1419I E ***BUILTIN* 名 リファレンスの第 3 引数が 0 未満。0 に置き換えらる。**

説明

メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM1420I E **The factor in *K/M constant* is too large and is replaced by *maximum factor*.**

説明

最大 K 定数は 2097151K で、最大 M 定数は 2047M である。

IBM1421I E **More than 15 dimensions have been specified. Excess will be ignored.**

説明

変数の最大許容次元数は、すべての継承次元も含めて、15 である。

IBM1422I E **Maximum of 500 LIKE attributes per block exceeded.**

説明

1 ブロックに入れる LIKE 参照は 500 個以下でなければならない。LANGLVL(SAA2) では制限はない。

IBM1423I E **UNALIGNED attribute conflicts with AREA attribute.**

説明

すべての AREA 変数は ALIGNED でなければならない。

IBM1424I E **End of comment marker found when there are no open comments. Marker will be ignored.**

説明

コメント開始マークがないのに、*/ が見つかった。

IBM1425I E **There is no compiler directive *directive*. Input up to the next semicolon will be ignored.**

説明

サポートされるコンパイラー指示のリストについては「言語解説書」を参照。

IBM1426I E Structure level of 0 replaced by 1.

説明

構造体レベル番号は正の値でなければならない。

IBM1427I E Numeric precision of 0 replaced by 1.

説明

数値精度は正の値でなければならない。

IBM1428I E X literals should contain a multiple of 2 hex digits.

説明

X リテラルには、奇数の桁数が含まれていてはならない。

IBM1429I E INITIAL attribute for REFER object variable name is invalid.

説明

DCL 1 a BASED, 2 b FIXED BIN INIT(3), 2 c (n REFER(b)) では、'b' についての INITIAL 文節は無効であり、予測不能な結果になる場合がある。

IBM1430I E UNSIGNED attribute for type type type type name conflicts with negative INITIAL values and is ignored.

説明

ORDINAL 型を UNSIGNED 属性と共に宣言した場合は、指定する INITIAL 値は負でない値でなければならない。

IBM1431I E PRECISION specified for type type type type name is too small to cover its INITIAL values and is adjusted to fit.

説明

ORDINAL 型には、それについて定義された値の範囲をカバー できる大きさの精度を指定しなければならない。

```
define ordinal
  colors
    ( red      init(0),
      orange   init(256)
```

```
yellow    init(512) ) unsigned prec(8);
```

IBM1432I E The type *type name* is already defined. The redefinition is ignored.

説明

名前付き型は、1 つのブロック内で一度しか指定できない。

IBM1433I E The name *name* occurs more than once in the RESERVES clause.

説明

package ステートメントの RESERVES 文節内では、名前 は固有でなければならない。

```
a: package reserves( a1, a2, a1 );
```

IBM1434I E The name *name* occurs in the RESERVES clause, but is not the name of any level-1 STATIC EXTERNAL variable.

説明

package ステートメントの RESERVES 文節内では、個々の 名前はそのパッケージ内のレベル 1 の静的外部変数の名前 でなければならない。

```
a: package reserves( a1, a2, a3 );
```

IBM1435I E A precision value less than 1 has been specified as an argument to the *BUILTIN name* built-in. It will be replaced by 15.

説明

精度値は正の値でなければならない。

```
middle = divide( todo, 2, 0 );
```

IBM1436I E The scale factor specified as an argument to the *BUILTIN name* built-in is out of the valid range. It will be replaced by the nearest valid value.

説明

スケール因数は、-128 から 127 (両端の値を含む) の範囲の 値でなければならない。

```
f = fixed( i, 15, 130 );
```

IBM1437I E **The second argument to the *BUILTIN* name built-in is greater than the maximum *FIXED BINARY* precision. It will be replaced by the maximum value.**

説明

サポートされる *FIXED BINARY* 最大許容精度は *LIMITS* オプションの *FIXEDBIN* サブオプションにより決まる。

```
i = signed( n, 63 );
```

IBM1438I E **Excess arguments for *ENTRY* *ENTRY* name ignored.**

説明

ENTRY 参照の中に指定された引数の数が、その *ENTRY* の宣言でパラメーターとして定義されている数より多い。

```
dcl e entry( fixed bin );
call e( 1, 2 );
```

IBM1439I E **Excess arguments for *BUILTIN* name built-in ignored.**

説明

示されている組み込み関数には、その組み込み関数でサポートされる数より多い数の引数が指定されている。

```
i = acos( j, k );
```

IBM1441I E ***ENTRY/RETURNS* description lists for comparands do not match.**

説明

2 つの *ENTRY* 変数または定数の比較では、*ENTRY* 記述リストと *RETURNS* 記述リストが一致していなければならない。リンケージも一致する必要がある。

```
dcl e1 entry( fixed ), e2 entry( float );
if e1 = e2 then
```

IBM1442I E **The *ENTRY/RETURNS* description lists in the *ENTRY* to be assigned to *target variable* do not match those of the target variable.**

説明

ENTRY 変数または定数の割り当てでは、ソース用の *ENTRY* および *RETURNS* 記述リストが、ターゲット用のそれらの記述リストに一致していなければならない。リンケージも一致する必要がある。

```
dcl e1 variable entry( fixed ), e2
entry( float );

e1 = e2;
```

IBM1443I E **An *ENTRY/RETURNS* description list in an *ENTRY* in the *INITIAL* list for *target variable* do not match those of the target variable.**

説明

ENTRY 変数または定数の初期化では、ソース用の *ENTRY* および *RETURNS* 記述リストが、ターゲット用の同様の記述リストに一致していなければならない。リンケージも一致する必要がある。

```
dcl e1 variable entry( fixed );
dcl e2 variable entry( float ) init( e1 );
```

IBM1444I E **The *ENTRY/RETURNS* description lists in the *RETURN* statement do not match those in the corresponding *RETURNS* attribute**

説明

関数が *ENTRY* 変数または定数を戻す場合は、戻される *ENTRY* 参照の中の *ENTRY* および *RETURNS* 記述リストが、収容プロシーチャーの *RETURNS* オプション内の同様の記述リストに一致していなければならない。リンケージも一致する必要がある。

```
a: proc returns( entry( float ) );

dcl e1 entry( fixed );
```

```
return( e1 );
```

IBM1445I E **The ENTRY/RETURNS description lists for argument number *argument-number* in entry reference *entry name* do not match those in the corresponding parameter.**

説明

このメッセージは、リンケージが一致しない場合に表示される。

```
dcl a entry( entry( float ) );
dcl e1 entry( fixed );
call a( e1 );
```

IBM1446I E ***BUILTIN* 名 リファレンスの第 3 引数が大きすぎる。 It will be trimmed to fit.**

説明

メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM1447I E **Literals with an X prefix are valid only in EXEC SQL statements.**

説明

PL/I ステートメントでは、16 進数リテラルは X 接尾部を用いて指定する必要がある。

IBM1448I E **Use of nonconstant extents in BASED variables without REFER accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

SAA レベル 1 言語定義では、BASED 変数内のエクステン
トは、REFER オプションを使用する場合以外はすべて
定数でなければならない。次に示すのは、無効な例
である。

```
dcl x based char(n);
```

IBM1449I E **Use of *type function* accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

型関数は SAA レベル 1 言語の一部ではない。

IBM1450I E ***keyword keyword* accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

示されているキーワード (下記の例では UNSIGNED)
は、SAA レベル 1 言語に定義されていない。

```
dcl x fixed bin unsigned;
```

IBM1451I E **Use of S, D and Q constants accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

SAA レベル 1 言語の定義に、S、D、および Q 浮動小数
点定数が含まれていない。

IBM1452I E **Use of underscores in constants accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

SAA レベル 1 言語の定義では、数値定数および 16 進定
数の中で下線を使用することは許されない。

IBM1453I E **Use of asterisks for names in declares accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

SAA レベル 1 言語の定義では、構造体エレメント名に
アスタリスクを使用することは許されない。

IBM1454I E **Use of XN and XU constants accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

SAA レベル 1 言語の定義には、XN 定数および XU 定数
が含まれていない。

IBM1455I E **Use of arguments with *BUILTIN* name built-in accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

LANGLVL(SAA) のもとでは、DATETIME 組み込み関数は引数をとることはできない。

```
s = datetime('DDMMYYYY');
```

IBM1456I E **Use of 3 arguments with *BUILTIN* name built-in accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

LANGLVL(SAA) のもとでは、VERIFY および INDEX 組み込み関数は、引数を 2 個だけとるものと見なされる。

```
i = verify( s, j, k );
```

IBM1457I E **Use of 1 argument with *BUILTIN* name built-in accepted although invalid under LANTLRVL(SAA).**

説明

LANGLVL(SAA) のもとでは、DIM、LBOUND、および HBOUND 組み込み関数は 2 個の引数をとるものと見なされる。

```
i = dim( a );
```

IBM1458I E **GOTO is not allowed under RULES(NOGOTO).**

説明

RULES(NOGOTO(STRICT)) のもとでは、ON ユニットを終了させるものを除き、ソース・プログラム内に GOTO ステートメントがあってはならない。

IBM1459I E **Uninitialized AUTOMATIC variables in a block should not be used in the prologue of that block.**

説明

ブロック内の AUTOMATIC 変数は、含まれている任意のブロックの宣言ステートメントおよび実行可能ステートメントの中で使用できるが、その変数を宣言するブロックの中では、実行可能ステートメントの中でしか使用できない。

```
dcl x fixed bin(15) automatic;
```

```
dcl y(x) fixed bin(15) automatic;
```

IBM1460I E **Under RULES(ANS), nonzero scale factors are not permitted in declarations of FIXED BIN. Declared scale factor will be ignored.**

説明

RULES(IBM) ではスケールされた FIXED BIN は許されるが、RULES(ANS) でそれがサポートされるのは FIXED DECIMAL の場合だけである。RULES(ANS) では、次の宣言のスケール因数は無視される。

```
dcl x fixed bin(31,16);  
dcl y entry( fixed bin(31,16) );
```

IBM1461I E **Under RULES(ANS), nonzero scale factors are not permitted when the result of *BUILTIN* name has the attributes FIXED BIN. Specified scale factor will be ignored.**

説明

RULES(IBM) ではスケールされた FIXED BIN は許されるが、RULES(ANS) でそれがサポートされるのは FIXED DECIMAL の場合だけである。RULES(ANS) では、次の組み込み関数のスケール因数は無視される。

```
dcl (x,y) fixed bin(15,0);  
put list( add(x,y,31,2) );  
put list( bin(x,31,2) );  
put list( prec(x,31,2) );
```

IBM1462I E **Expression in comparison interpreted with DATE attribute.**

説明

比較では、片方の被比較数の属性が DATE であれば、もう一方も 同じ属性でなければならない。日付でない方が日付パターンとして有効な値を取り得る式であれば、日付の被比較数と同じ DATE 属性を持っているものと見なされる。

IBM1463I E **Operand with DATE attribute is invalid except in compare or assign. DATE attribute will be ignored.**

説明

比較は、DATE 属性を持つオペランドを使用できる唯一の 2 項演算である。そのようなオペランドを他の演算で使用すると、DATE 属性は無視される。したがって、次のコードでは、加算にフラグが立てられ、DATE 属性は無視される。

```
dcl x char(5) date('YYDDD');  
put list( x + 1 );
```

IBM1464I E	DATE attribute ignored in comparison with non-date expression.
-------------------	---

説明

比較では、片方の被比較数の属性が DATE であれば、もう一方も 同じ属性でなければならない。日付でない方が日付パターンに無効な値をとれない式であれば、DATE 属性は無視される。

IBM1465I E	Source in assignment has the DATE attribute, but target variable does not. The DATE attribute will be ignored.
-------------------	---

説明

割り当ての中のターゲットの属性が DATE であれば、ソースも 同じ属性でなければならない。ターゲットが疑似変数の場合は、代わりにメッセージ 1466 が出される。

```
dcl x char(6);  
x = date();
```

IBM1466I E	Source in assignment has the DATE attribute, but target does not. The DATE attribute will be ignored.
-------------------	--

説明

割り当ての中のソースの属性が DATE であれば、ターゲットも 同じ属性でなければならない。

IBM1467I E	Source in INITIAL clause for variable name has the DATE attribute but the target does not. The DATE attribute will be ignored.
-------------------	---

説明

INITIAL 式の属性が DATE であれば、ターゲットも同じ属性 でなければならない。

IBM1468I E	Argument number <i>argument-number</i> in entry reference <i>entry name</i> has the DATE attribute but the corresponding parameter does not. The DATE attribute will be ignored.
-------------------	---

説明

引数とパラメーターは一致しなければならない。次に示すのは、一致していない例である。

```
dcl x entry( char(6) );  
call x( date() );
```

IBM1469I E	Source in RETURN statement has the DATE attribute, but the corresponding RETURNS option does not. The DATE attribute will be ignored.
-------------------	--

説明

RETURN で戻される式の属性と RETURNS オプションの属性は一致しなければならない。次に示すのは、一致していない例である。

```
x: proc returns( char(6) );  
...  
return( date() );
```

IBM1470I E	An ID option must be specified for the INCLUDE preprocessor.
-------------------	---

説明

INCLUDE プリプロセッサには他のオプションはすべて無効である。

IBM1471I E	The ID option specified for the INCLUDE preprocessor is invalid.
-------------------	---

説明

INCLUDE プリプロセッサ ID オプションには、INCLUDE ディレクティブを指定したストリングから成るサブオプションが 1 つ 必要である。

IBM1472I E	A closing right parenthesis is missing from the ID option specified for the INCLUDE preprocessor.
-------------------	--

説明

INCLUDE プリプロセッサ ID オプションは、右括弧で閉じる必要がある。

IBM1473I E The syntax of the preprocessor INCLUDE directive is incorrect.

説明

プリプロセッサの ID オプションの中で指定されたプリプロセッサ INCLUDE ディレクティブで始まるステートメントの後には名前を指定する必要がある。名前の後のセミコロンはオプションである。

IBM1474I E Source in assignment does not have the DATE attribute, but target variable does. The DATE attribute will be ignored.

説明

割り当ての中のターゲットの属性が DATE であれば、ソースも 同じ属性でなければならない。ターゲットが疑似変数の場合は、代わりにメッセージ 1475 が出される。

```
dcl x char(6) date('YYMMDD');
x = ' ';
```

IBM1475I E Target in assignment has the DATE attribute, but source does not. The DATE attribute will be ignored.

説明

割り当ての中のターゲットの属性が DATE であれば、ソースも 同じ属性でなければならない。

IBM1476I E Source in INITIAL clause for variable name does not have the DATE attribute but the target does. The DATE attribute will be ignored.

説明

変数の属性が DATE であれば、その変数の INITIAL 値もすべて 同じ属性でなければならない。

IBM1477I E Argument number *argument-number* in entry reference *entry name* does not have the DATE attribute but the corresponding parameter does. The DATE attribute will be ignored.

説明

引数とパラメーターは一致しなければならない。次に示すのは、一致していない例である。

```
dcl x entry( char(6) date('YYMMDD') );
call x( ' ' );
```

IBM1478I E Source in RETURN statement does not have the DATE attribute, but the corresponding RETURNS option does. The DATE attribute will be ignored.

説明

RETURN で戻される式の属性と RETURNS オプションの属性は一致しなければならない。次に示すのは、一致していない例である。

```
x: proc returns( char(6) date('YYMMDD') );
...
return( ' ' );
```

IBM1479I E Multiple RETURN statements are not allowed under RULES(NOMULTIEXIT).

説明

RULES(NOMULTIEXIT) のもとでは、ソース・プログラムの中の PROCEDURE ブロックおよび BEGIN ブロックのそれぞれに、少なくとも 1 つの RETURN ステートメントが必要です。

IBM1480I E Multiple closure of groups is not allowed under RULES(NOMULTICLOSE).

説明

RULES(NOMULTICLOSE) のもとでは、ソース・プログラムの中に複数のグループ閉止があってはならない。

IBM1481I E BYNAME assignment statements are not allowed under RULES(NOBYNAME).

説明

RULES(NOBYNAME) のもとでは、ソース・プログラムの中に BYNAME 代入ステートメントがあってはならない。

IBM1482I E RULES (NOLAXDCL) 違反: 変数 変数名 がデータ属性なしで宣言されている。

説明

デフォルトの属性が与えられるが、宣言にエラーがある場合もある。例えば次の例では、括弧が欠落している可能性がある。RULES(LAXDCL)のもとでは、これは W-レベル・メッセージである。

```
dcl a, b fixed bin;
```

IBM1483I E **RULES (NOLAXDCL) 違反: 構造体メンバー 変数名 は、データ属性なしで宣言されている。 A level number may be incorrect.**

説明

デフォルトの属性が与えられるが、宣言にエラーがある場合もある。例えば次の例では、c および d のレベル番号はおそらく 3 が正しい。RULES(LAXDCL)のもとでは、これは W-レベル・メッセージである。

```
dcl a, b fixed bin;
  1 a,
  2 b,
  2 c,
  2 d;
```

IBM1484I E **RULES (NOLAXDCL) 違反: 名前なし 構造体メンバーがデータ属性なしで宣言されている。 A level number may be incorrect.**

説明

デフォルトの属性が与えられるが、宣言にエラーがある場合もある。例えば次の例では、c および d のレベル番号はおそらく 3 が正しい。RULES(LAXDCL)のもとでは、これは W-レベル・メッセージである。

```
dcl a, b fixed bin;
  1 a,
  2 *,
  2 c,
  2 d;
```

IBM1485I E **WHEN 節または OTHERWISE 節が、オープン SELECT グループに含まれるオープン DO グループの内部で検出された。 END ステートメントが欠落している可能性があり、問題を修正するために挿入される。**

説明

コンパイラーは、オープン DO グループをクローズする END ステートメントが欠落していると想定されるが、ネストされた SELECT を開始する SELECT ステートメントが欠落している可能性がある。いずれの場合も、コードが正しくないため、訂正する必要がある。

IBM1486I E **ステートメントに含まれている (and) の数が一致していない。**

説明

すべて (一致する必要がある)。

IBM1487I E **ステートメントに含まれている (: and :) の数が一致していない。**

説明

すべて (: 一致する必要がある :)。

IBM1488I E **ソースがオープンされた後の SYSIN の代替 DD の指定は無視される。**

説明

*PROCESS ステートメントで SYSIN に代替 DD を指定しない。

IBM2400I E **Compiler backend issued error messages to STDOUT.**

説明

STDOUT を参照して、コンパイラー・バックエンドによって発行されたメッセージを調べること。

IBM2401I E **RULES (NOLAXPUNC) 違反: 文字の前に 文字 が想定されていない。 DECLARE and other nonexecutable statements should not have labels.**

説明

示されている文字が欠落していたため、構文解析プログラムがその文字を挿入してソースを訂正した。RULES(LAXPUNC)のもとでは、テキストは同じだが重大度の低いメッセージが出される。

```
xx: dcl test fixed bin;
```

IBM2402I E **variable name is declared as BASED on the ADDR of variable name, but variable name requires more storage than variable name.**

説明

BASED 変数に必要なストレージの量は、その基本となる変数が提供する量を超えないものでなければならない。

```
dcl a char(10);  
  
dcl b char(15) based(addr(a));
```

IBM2403I E **PROCESS statements are not permitted under the NOPROCESS option.**

説明

NOPROCESS オプションが有効な場合、ソースに PROCESS ステートメントが含まれていてはならない。

IBM2404I E *variable name is declared as BASED on the ADDR of variable name, but variable name requires more storage than remains in the enclosing level 1 structure variable name after the location of variable name.*

説明

BASED 変数に必要なストレージの量は、その基本となる変数が提供する量を超えないものでなければならない。

```
dcl 1 a, 2 a1 char(10), 2 a2 char(10);  
  
dcl b char(15) based(addr(a2));
```

IBM2405I E **Even decimal precisions are not allowed under RULES(NOEVENDEC).**

説明

RULES(NOEVENDEC) を指定した場合、偶数精度を指定して宣言された FIXED DECIMAL データがあってはならない。

```
dcl a fixed dec(10);
```

IBM2406I E **Precision outside VALUE clause will be ignored.**

説明

DEFAULT ステートメントでは、数値精度は VALUE 文節内にも指定する必要がある。

```
dft range(*) fixed bin(31);
```

IBM2407I E **Length outside VALUE clause will be ignored.**

説明

DEFAULT ステートメントでは、ストリングの長さは VALUE 文節内にも指定する必要がある。

```
dft range(*) bit(8);
```

IBM2408I E **AREA size outside VALUE clause will be ignored.**

説明

DEFAULT ステートメントでは、AREA のサイズは VALUE 文節内にも指定する必要がある。

```
dft range(*) area(10000);
```

IBM2409I E **RETURN statement without an expression is invalid inside a subprocedure that specified the RETURNS attribute.**

説明

関数内のすべての RETURN ステートメントには、戻される値を指定しなければならない。

```
a: proc returns( fixed bin );  
  
return;
```

IBM2410I E **Function *function name* contains no valid RETURN statement.**

説明

関数には RETURN ステートメントが少なくとも 1 つは含まれていなければならない。

IBM2411I E **STRINGOFGRAPHIC(CHARACTER) option is ignored because argument to STRING built-in**

function is possibly not contiguous.

説明

引数に VARYING であるエレメントが含まれているか、または引数が配列の NONCONNECTED スライスである場合、STRINGOFGRAPHIC(CHARACTER) オプションは無視される。

IBM2412I E Procedure has no RETURNS attribute, but contains a RETURN statement. A RETURNS attribute will be assumed.

説明

プロシージャに RETURN ステートメントが含まれている場合は、PROCEDURE ステートメントに RETURNS 属性を指定する必要がある。

```
a: proc;  
  return( 0 );  
end;
```

IBM2413I E The attribute *attribute* should be specified only on parameters and descriptors.

説明

属性は整合性のあるものでなければならない。

```
dcl a fixed based connected;
```

IBM2414I E The *option* option conflicts with the *option* option. The IBM default of *option* will be used instead.

説明

指定されたオプションは競合しており、一緒には使用できない。ASCII システムでは、GRAPHIC および EBCDIC オプションを指定した場合に、コンパイラーはこのメッセージを生成する。一方、EBCDIC システムでは、GRAPHIC および ASCII オプションを指定した場合に、コンパイラーはこのメッセージを生成する。

IBM2415I E Without APAR *number*, compiler would generate incorrect code for this statement.

説明

示されている APAR により、このステートメントでのコンパイラー問題が修正される。

IBM2416I E The SEPARATE suboption of TEST is not supported when the LINEDIR option is in effect.

説明

LINEDIR オプションが有効のときは、TEST オプションの NOSEPARATE サブオプションだけがサポートされる。

IBM2417I E In FETCHABLE code compiled with NORENT NOWRITABLE(PRV), it is invalid to ALLOCATE or FREE a CONTROLLED variable unless it is a PARAMETER.

説明

FETCHABLE コードでは、すべての CONTROLLED 変数がパラメーターであることが必要。

IBM2418I E Variable *variable* is unreferenced.

説明

RULES(NOUNREF) 下の AUTOMATIC 変数や RULES(NOUNREFBASED) 下の BASED 変数など、RULES オプションで指定された特定のストレージ・クラスで参照されていないレベル 1 変数がある場合に、コンパイラーはこのメッセージを出す。

IBM2419I E *option* is invalid and ignored unless the ARCH option is *level* or greater.

説明

必要な命令は ARCH(8) 以降でのみ使用可能であるため、ARCH オプションが 8 以上でなければ、RTCHECK オプションは無視される。

IBM2420I E DFP is invalid and ignored unless the ARCH option is 7 or greater.

説明

もし ARCH オプションが 7 より大きくない場合は、必要な命令は ARCH(7) 以降でのみ使用可能であるため、FLOAT(DFP) オプションは無視される。

IBM2421I E A file should not be closed in its ENDFILE block.

説明

あるファイルに対する ENDFILE ブロックで、ENDFILE ブロック内でそのファイルを閉じるのは無効である。

IBM2422I E Under the DFP option, the HEXADEC attribute is not supported for FLOAT DEC.

説明

FLOAT(DFP) オプションを指定した場合、すべての FLOAT DECIMAL は DFP として処理され、HEXADEC として宣言されない可能性がある。属性は FLOAT BIN では有効である。

IBM2423I E Under the DFP option, the IEEE attribute is not supported for FLOAT DEC.

説明

FLOAT(DFP) オプションを指定した場合、すべての FLOAT DECIMAL は DFP として処理され、IEEE として宣言されない可能性がある。属性は FLOAT BIN では有効である。

IBM2424I E Scale factors are not allowed in FLOAT declarations.

説明

スケール因数は、FIXED BIN または FIXED DEC の宣言でのみ有効。以下の最初の宣言は無効であり、後続の宣言の 1 つに変更する必要がある。

```
dc1 a1 float dec(15,2);  
  
dc1 a2 fixed dec(15,2);  
dc1 a3 float dec(15);
```

IBM2425I E Statement with ELSE IF should be rewritten using SELECT.

説明

RULES(NOELSEIF) のもとでは、ELSE の直後に IF 文が続くステートメントについて、コンパイラーはこのメッセージを発行する。

IBM2426I E Maximum nesting of DO statements has been exceeded.

説明

DO 文のネストが、MAXNEST コンパイラー・オプションの DO サブオプションで指定された値を超えている。

IBM2427I E Maximum nesting of IF statements has been exceeded.

説明

IF 文のネストが、MAXNEST コンパイラー・オプションの IF サブオプションで指定された値を超えている。

IBM2428I E Maximum nesting of PROC and BEGIN statements has been exceeded.

説明

PROC および BEGIN ステートメントのネストが、MAXNEST コンパイラー・オプションの BLOCK サブオプションで指定された値を超えている。

IBM2429I E CMPAT(V3) requires that 8-byte integers be allowed. The second value in the FIXEDBIN suboption of the LIMITS option will be set to 63.

説明

LIMITS(FIXEDBIN(31,31)) を指定した CMPAT(V3) オプションの使用はサポートされていない。CMPAT(V3) によってさまざまな組み込み関数 (HBOUND など) が FIXED BIN(63) の結果を返すため、LIMITS の FIXEDBIN サブオプションの少なくとも 2 番目の値は 63 にする必要がある (つまり、LIMITS(FIXEDBIN(31,63)) または LIMITS(FIXEDBIN(63,63)) を有効にする必要がある)。

IBM2430I E The **LINESIZE** value specified in the **OPEN** of file *file name* is not compatible with the **RECSIZE** specified in its declare.

説明

ファイルが F フォーマットで、PRINT ファイルではない場合は、LINESIZE は RECSIZE 以下にする必要がある。ファイルが F フォーマットで、PRINT ファイルである場合は、LINESIZE は RECSIZE 未満にする必要がある。ファイルが V フォーマットで、PRINT ファイルではない場合は、LINESIZE は RECSIZE-4 以下にする必要がある。ファイルが V フォーマットで、PRINT ファイルである場合は、LINESIZE は RECSIZE-4 未満にする必要がある。

IBM2431I E The *option* option conflicts with the **GOFF** option. **NOGOFF** will be used instead.

説明

指定されたオプションは、GOFF オプションでは使用できない。GOFF オプションはコンパイルを続行するためにオフになる。これは、例えば NOWRITABLE(PRV) オプションおよび COMMON オプションに適用される。

IBM2432I E **The attribute *character* is invalid with parameters and is ignored.**

説明

例えば、INITIAL 属性は、パラメーターとともに使用すると無効である (ストレージが別の場所に割り振られているため)。

```
dcl a fixed bin parameter initial( 0 );
```

IBM2433I E **属性 属性は **DEFINED** では無効であり、無視される。**

説明

例えば、INITIAL 属性は、DEFINED 変数とともに使用すると無効である (ストレージが別の場所に割り振られているため)。

```
dcl b char(1) initial( ' ' ) defined(a);
```

IBM2434I E **RULES (NOLAXENTRY) 違反: 名前がパラメーター・リストを指定していない。**

説明

RULES(NOLAXENTRY) では、すべての ENTRY 宣言をプロトタイプ化する必要がある。ENTRY にパラメーターがない場合は、単に ENTRY としてではなく、ENTRY() として宣言する必要がある。

IBM2435I E **RULES (NOLAXSCALE) 違反: スケール係数が 0 より小さい。**

説明

RULES(NOLAXSCALE) では、スケール係数は非負でなければならない。コンパイラーは、ステートメントに以下のようにフラグを立てる。

```
dcl a fixed dec(15,-2);
```

IBM2436I E **RULES (NOLAXSCALE) 違反: スケール係数が精度より大きい。**

説明

RULES(NOLAXSCALE) では、スケール係数は精度より大きくてはならない。

```
dcl a fixed dec(15,17);
```

IBM2437I E **SQL preprocessor invoked more than once without INCONLY.**

説明

SQL プリプロセッサが、INCONLY をサブオプションとせずに複数回呼び出されると、コンパイルのために作成される DBRM ライブラリー・メンバーが空になる。SQL プリプロセッサの呼び出しを一度だけにするか、一度は唯一のサブオプションとして INCONLY を指定して呼び出し、それからもう一度だけ呼び出すようにするのが良い。

IBM2438I E **STOP and EXIT statements are not allowed.**

説明

RULES(NOSTOP) のもとでは、ソース・プログラムの中に STOP および EXIT ステートメントがあってはならない。

IBM2439I E **RULES (NOPROCENDONLY) 違反: PROCEDURE の END ステートメントには、PROCEDURE の名前が含まれていなければならない。**

説明

RULES(NOPROCENDONLY) のもとでは、PROCEDURE の END ステートメントの内容が、単に END キーワードとセミコロンだけであってはならない。クローズする PROCEDURE の名前も含まれていなければならない。

IBM2440I E **RULES (NOLAXQUAL) 違反: 構造体エレメント識別子は、それを含む level-1 構造体の名前では修飾されていない。**

説明

オプション RULES(NOLAXQUAL) のもとでは、すべての構造体エレメントは、その最外部の親の名前で修飾する必要がある。

IBM2441I E **RULES (NOGOTO) 違反: GOTO は現行ブロックを終了する。**

説明

RULES(NOGOTO(LOOSE)) および RULES(NOGOTO(LOOSEFORWARD)) のもとでは、ON ユニットを終了させるものと現行ブロック内のラベルにジャンプするものを除き、ソース・プログラムの中に GOTO ステートメントがあってはならない。

IBM2442I E	RULES (NOPADDING) 違反: 構造体識別子に埋め込みが含まれている。
-------------------	--

説明

RULES(NOPADDING) のもとでは、構造体に埋め込みが含まれていてはならない。

IBM2443I E	RULES (NOGLOBALDO) 違反: DO ステートメントの制御変数が親ブロックに属している。
-------------------	--

説明

RULES(NOGLOBALDO) のもとでは、DO x = .. の形式の DO ループにおいて、x は DO ループと同じブロック内で宣言されていなければならない。

IBM2444I E	The BUILTIN function <i>builtin</i> has been deprecated.
-------------------	---

説明

示された組み込み関数が DEPRECATE オプションの BUILTIN サブオプションで指定されたため、その明示宣言またはコンテキスト宣言にはいずれもフラグが立てられる。

IBM2445I E	The INCLUDE file <i>filename</i> has been deprecated.
-------------------	--

説明

示された INCLUDE ファイルは、DEPRECATE オプションの INCLUDE サブオプションで指定されたため、このファイルのインクルード試行にはすべてフラグが立てられる。

IBM2446I E	The ENTRY named <i>variable</i> has been deprecated.
-------------------	---

説明

示された ENTRY が DEPRECATE オプションの ENTRY サブオプションで指定されたため、その明示宣言またはコンテキスト宣言にはいずれもフラグが立てられる。

IBM2447I E	The VARIABLE named <i>variable</i> has been deprecated.
-------------------	--

説明

示された VARIABLE が DEPRECATE オプションの VARIABLE サブオプションで指定されたため、その明示宣言またはコンテキスト宣言にはいずれもフラグが立てられる。

IBM2448I E	CICS preprocessor invoked more than once.
-------------------	--

説明

CICS プリプロセッサが複数回起動された場合、2 回目の起動により、重複する宣言が最外部のプロシージャに挿入される可能性がある。CICS プリプロセッサは 1 回のみ起動するようにしなければならない。コンパイラーでは、余分な起動はすべて無視される。

IBM2449I E	RULES (NOSELFASSIGN) 違反: 割り当てのソースとターゲットが同一。
-------------------	--

説明

RULES(NOSELFASSIGN) では、割り当てのソースおよびターゲットは異なっていなければならない。

IBM2450I E	First argument to <i>BUILTIN name</i> built-in should have length greater than or equal to <i>length</i>.
-------------------	--

説明

指定されている組み込み関数の引数が短すぎる。例えば、Y4DATE 組み込み関数の引数は YYMMDD の形式になっていなければならない、場合によっては末尾ブランクがいくつか付くこともある。そのため、Y4DATE 組み込み関数の引数の長さは 6 以上でなければならない。

IBM2451I E	RULES (NOLAXIF) 違反: 割り当てのソースはブール値であるが、ターゲットが BIT (1) ではない。
-------------------	---

説明

RULES(NOLAXIF) では、代入でのターゲットが BIT(1) ではない場合にソースがブール値であると、その代入にフラグが立てられる。例えば、以下のコードでは、最初の代入は正しいが、3 番目の代入が意図に沿ったものである可能性があるため、RULES(NOLAXIF) によって 2 番目の代入にフラグが立てられる。

```
x = (y = z);  
x = y = z;  
x, y = z;
```

IBM2452I E	RULES (NOLAXSCALE) 違反: スケール係数が 0 より小さい。
-------------------	--

説明

RULES(NOLAXSCALE) では、スケール係数は非負でなければならない。コンパイラーによって以下の最初のステートメントにはフラグが立てられるが、2 番目のステートメントにはフラグが立てられない (これは、2 番目のステートメントで最初のステートメントを置き換えることができるためである)。

```
b = round( c, -1 );  
b = 10 * round( c / 10, 0 );
```

IBM2453I E **RULES (NOLAXNESTED) 違反:** コードはネストされたプロシージャーの後にあってはならない。

説明

RULES(NOLAXNESTED) では、プロシージャーにおけるすべての実行可能コードは、最初にネストされるサブプロシージャーの前に記述されなければならない。

IBM2454I E **The *builtin* statement has been deprecated.**

説明

メッセージにあるステートメントは DEPRECATE オプションの STMT サブオプションで指定されたため、そのステートメントが使用されるすべての箇所にフラグが立てられる。

IBM2455I E **The *builtin* keyword does not conform to the CASERULES option.**

説明

メッセージにあるキーワードは、CASERULES オプションの KEYWORD サブオプションで指定されている大/小文字規則に従っていない。

IBM2456I E **RULES (NORECURSIVE) 違反:** RECURSIVE プロシージャーは RULES (NORECURSIVE) のもとでは許可されない。

説明

RULES(NORECURSIVE) では、RECURSIVE 属性を使用してはならず、プロシージャーの再帰呼び出しは実行できない。

IBM2457I E **RULES(NORECURSIVE) conflicts with DFT(RECURSIVE). The compiler will apply RULES(RECURSIVE) instead.**

説明

DFT(RECURSIVE) を使用する場合は、RULES(RECURSIVE) も使用する必要がある。RULES(NORECURSIVE) の方が重要な場合は、DFT(NONRECURSIVE) を使用する必要がある。

IBM2458I E **The CONTROLLED attribute is not allowed under RULES(NOCONTROLLED).**

説明

RULES(NOCONTROLLED) では、CONTROLLED 属性を使用してはならない。

IBM2459I E **The characters specified in the *option* option must all have hexadecimal values less than '80'x.**

説明

ENCODING(UTF8) オプションでは、OR、NOT、QUOTE、および BLANK コンパイラー・オプションで指定された文字がすべて 1 バイトの UTF-8 文字でなければならない。

IBM2460I E **The *option* option conflicts with the ENCODING(UTF8) option. ENCODING(ASCII) will be assumed.**

説明

指定されたオプションは競合しており、一緒には使用できない。ENCODING(UTF8) オプションは、SOSI、DBCS、GRAPHIC の各オプションと一緒に使用できない。

IBM2461I E **The MARGINI option must specify a valid UTF-8 string consisting of one UTF-8 character.**

説明

ENCODING(UTF8) オプションでは、MARGINI オプションは 1 文字の UTF-8 スtring でなければならない。そうでない場合は、代わりにブランクが使用される。

IBM2462I E **The attribute *character* conflicts with the attribute *character* and is ignored.**

説明

属性は整合性のあるものでなければならない。

```
dcl a parameter static;
```

IBM2463I E **LINKAGE(SYSTEM) is not supported for PL/I procedures, and LINKAGE(OPTLINK) will be assumed instead.**

説明

64 ビットの場合、PL/I プロシーチャーでサポートされているのは OPTLINK リンケージだけである。

IBM2464I E	RULES (NOLAXSTMT) 違反: 行に複数のステートメントが含まれている。
-------------------	---

説明

RULES(NOLAXSTMT) の下には、行ごとに 1 つのステートメントのみがなければならない。

IBM2465I E	Assignment of a null string to a pointer is invalid.
-------------------	---

説明

DEFAULT(NULLSTRPTR(STRICT)) 下では、このような割り当ては無効です。

IBM2466I E	Comparison of a null string to a pointer is invalid.
-------------------	---

説明

DEFAULT(NULLSTRPTR(STRICT)) 下では、このような比較は無効です。

IBM2467I E	RULES(NOYY) conflicts with use of a date pattern with a 2-digit year.
-------------------	--

説明

RULES(NOYY) 下では、2 桁の年がある日付パターンの使用は無効です。

IBM2468I E	RULES(NOYY) conflicts with use of a date pattern with a ZY.
-------------------	--

説明

RULES(NOYY) 下では、ZY がある日付パターンの使用は無効です。

IBM2469I E	RULES(NOYY) conflicts with use of the DATE attribute without a pattern.
-------------------	--

説明

RULES(NOYY) 下では、パターンのない DATE 属性の使用は、YYMMDD のパターンを暗黙指定するため無効です。

IBM2470I E	RULES(NOYY) conflicts with use of the <i>BUILTIN</i> name built-in function.
-------------------	---

説明

RULES(NOYY) 下では、Y4 日付組み込み関数の使用は無効です。

IBM2471I E	RULES(NOYY) conflicts with use of the <i>BUILTIN</i> name built-in function with a window argument.
-------------------	--

説明

RULES(NOYY) 下では、ウィンドウ引数のある日付組み込み関数の使用は無効です。

IBM2472I E	RULES(NOYY) conflicts with use of the <i>DATE</i> built-in function.
-------------------	---

説明

RULES(NOYY) 下では、DATE 組み込み関数の使用は、2 桁の年を返すため無効です。

IBM2473I E	RULES (NOLAXINTERFACE) 違反: <i>proc</i> 名が明示的に宣言されていない。
-------------------	---

説明

RULES(NOLAXINTERFACE) 下で、PACKAGE ステートメントがある場合、MAIN 以外のすべての外部 PROCEDURE は宣言される必要がある。

IBM2474I E	RULES (NOGOTO) 違反: <i>GOTO</i> は現行ブロック内の前の行にジャンプする。
-------------------	--

説明

RULES(NOGOTO(LOOSEFORWARD)) 下では、ON ユニットを終了する場合、および現行ブロック内の後続行のレベルにジャンプする場合を除き、ソース・プログラムに GOTO ステートメントがあってはなりません。

IBM2475I E	RULES (NOMULTISEM) VIOLATION: 行に含まれるセミコロンが多すぎる。
-------------------	--

説明

RULES(NOMULTISEMI) 下では、1 行に存在するセミコロンは 1 つのみでなければなりません。

IBM2476I E	Item in <i>OPTIONS</i> list is invalid for ON-unit <i>BEGIN</i> blocks. <i>option-name</i> is ignored.
-------------------	---

説明

オプション・リスト内の示されている要素は、ON ユニット BEGIN ブロックには無効です (他の BEGIN ブロックでは有効である場合もあります)。

```
on zdiv begin options( inline );
```

IBM2478I E Under **RULES(NOCOMPLEX)**, the **COMPLEX** attribute, the **COMPLEX** built-in function, and constants ending with the **I** suffix are not allowed.

説明

RULES(NOCOMPLEX) のもとでは、**COMPLEX** 属性、**COMPLEX** 組み込み関数、および「虚数」定数 (1i など) を使用してはならない。

IBM2479I E **RULES(NOLAXPACKAGE)** 違反: コンパイル単位に **PACKAGE** ステートメントが含まれていない。

説明

RULES(NOLAXPACKAGE) 下では、すべてのコンパイル UNITI に **PACKAGE** ステートメントが含まれていなければならない。

IBM2480I E **RULES(NOLAXEXPORTS)** 違反: パッケージにはプロシージャが含まれているが、どのプロシージャをエクスポートするかを明確に指定する **EXPORTS** 節がない。

説明

RULES(NOLAXEXPORTS) 下で、プロシージャを含むすべての **PACKAGE** には、エクスポートするルーチンを指定する **EXPORTS** 節がなければならない。

IBM2481I E **RULES(NOLAXSCALE)** 違反: スケール因数が 0 より大きい。

説明

RULES(NOLAXSCALE(STRICT)) 下では、**FIXED BIN** のスケール係数はゼロでなければならない。コンパイラーは、負のスケール係数および精度より大きいスケール係数についてフラグを立てるときには他のメッセージを使用するが、次のステートメントの場合など、その他すべての正のスケール係数についてフラグを立てるときにはこのメッセージを使用する。

```
dcl a fixed bin(15,2);
```

IBM2482I E **RULES(NOLAXPARMS)** 違反: パラメーター変数が **INONLY**、**OUTONLY**、または **INOUT** なしで宣言されている。

説明

RULES(NOLAXPARMS) オプションが有効な場合、コンパイラーは、それが入力、出力、またはその両方であるかどうかを指定せずに宣言された level-1 パラメーターに対して、このメッセージを発行する。

IBM2483I E **RULES(NOPADDING)** 違反: 構造体識別子はバイト位置合わせされているが、その位置合わせを持つ最初の要素の前にバイトの倍数がない。

説明

RULES(NOPADDING(STRICT)) 下で、構造体にハングが含まれていてはならない。

IBM2484I E **RULES(NOPADDING)** 違反: 構造体識別子は、バイト位置合わせ (またはそれ以上の位置合わせ) を持つ最初の要素の前に 8 ビットの倍数がない。

説明

RULES(NOPADDING(STRICT)) 下で、構造体にハングが含まれていてはならない。

IBM2485I E **RULES(NOPADDING)** 違反: 構造体識別子のサイズがその位置合わせの倍数ではない。

説明

RULES(NOPADDING(STRICT)) のもとでは、構造体に埋め込みが含まれていてはならない。

IBM2486I E **RULES(NOPADDING)** 違反: 構造体識別子は、バイト位置合わせ (またはそれ以上の位置合わせ) を持つ最後の要素の後に 8 ビットの倍数がない。

説明

RULES(NOPADDING(STRICT)) 下で、構造体にハングが含まれていてはならない。

IBM2487I E **RULES(NOPADDING)** 違反: 構造体識別子に 8 ビットの倍数が含まれていない。

説明

RULES(NOPADDING(STRICT)) 下で、構造体にハングが含まれていてはならない。

IBM2489I E **RULES(NOLAXSCALE)** 違反: **FIXED DEC** (ソース精度, ソース・スケール) オペランドは **FIXED BIN** (ターゲット

ト精度,ターゲット・スケール)に変換される。 **This introduces a non-zero scale factor into an integer operation and will produce a result with the attributes FIXED BIN(result-precision,result-scale).**

説明

RULES(IBM) を指定すると、算術演算に FIXED BIN のオペランドと 非ゼロのスケール因数を指定した FIXED DEC のオペランドがある場合、FIXED DEC オペランドは FIXED BIN に変換される。
RULES(NOLAXSCALE(STRICT)) 下では、これはエラーとしてフラグが立てられる。

IBM2490I E 割り当てのソースがターゲットの VALUERANGE に収まらない。

説明

VALUERANGE 属性を持つターゲットに割り当てる場合、ソースはその範囲内の値を持っている必要がある。

IBM2491I E 割り当てのソースがターゲットの VALUelist で発生していない。

説明

VALUelist 属性を持つターゲットに割り当てる場合、ソースはそのリストにある値を持っている必要がある。

IBM2492I E **RULES(NOGLOBAL) violation: Variable *variable* is used inside a nested PROCEDURE.**

説明

RULES(NOGLOBAL) オプションが有効である場合、コンパイラーは、変数の宣言が行われたプロシーチャー内でネストされているプロシーチャーで使用されている変数に対してこのメッセージを発行する。

IBM2493I E **RULES(NOLAXOPTIONAL) violation: Variable *variable* is used as an argument to the *BUILTIN* name function, but does not have the OPTIONAL attribute.**

説明

RULES(NOLAXOPTIONAL) オプションが有効である場合、コンパイラーは、PRESENT または OMITTED 組み込み関数の引数は OPTIONAL 属性を持たなければならないという規則を強制的に適用する。

IBM2494I E **RULES(NOLAXQUAL) violation: Structure element *identifier* is not fully qualified.**

説明

オプション RULES(NOLAXQUAL(FULL)) 下では、すべての構造体要素はそのすべての親の名前で修飾する必要がある。

IBM2495I E **BUILTIN** 名 リファレンスの第 3 引数が小さすぎる。これは、第 2 引数の値から 1 を引いた値に置き換えられる。

説明

SUBTO (x, i, j) が指定された場合、j >= (i-1) は true でなければならない。メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM2499I E **IF** ステートメントは、一連の定数値に対する同じ参照の カウント 比較で構成される式をテストする。式は、1 つの **INLIST** リファレンスに置き換えることができる。

説明

形式 (a = y1 | a = y2 | ... | a = yn) の IF 式を置き換えることを推奨する。式 INLIST (a, y1, y2, ..., yn)。これにより、エラーが含まれる可能性が低くなり、最適化される可能性が高くなる。

IBM2500I E **IF** ステートメントは、一連の定数値に対する同じ参照の カウント 比較で構成される式をテストする。このステートメントは、1 つの大きな **WHEN** ステートメントを含む **SELECT** ステートメントに置き換えることができる。

説明

形式 (a = y1 | a = y2 | ... | a = yn) の IF 式を置き換えることを推奨する。式 SELECT (a); WHEN (a, y1, y2, ..., yn) ... これにより、エラーが含まれる可能性が低くなり、最適化される可能性が高くなる。

IBM2501I E 位置合わせ値が無効であるため、無視される。

説明

サポートされる ALIGNED 値は 1、2、4、および 8 のみ。

```
decl a char(256) aligned(32);
```

IBM2502I E コンパイラー・オプション CMPAT は V オプション値を指定していますが、OPTIONS 属性の CMPAT サブオ

プションは V サブオプション値を指定している。これらの値は一致するはず。

説明

CMPAT コンパイラー・オプションが V2 などを指定する場合、PROCEDURE の OPTIONS 属性内の CMPAT サブオプションも V2 を指定する必要がある。

IBM2503I E **RULES (NOLAXENTRY) 違反: 名前に ENTRY 属性を持つパラメーターがあるが、パラメーター・リストを指定していない。**

説明

RULES(NOLAXENTRY) では、すべての ENTRY 宣言をプロトタイプ化する必要がある。ENTRY にパラメーターがない場合は、単に ENTRY としてではなく、ENTRY() として宣言する必要がある。

IBM2504I E **%PROCINC 構文が無効。**

説明

%PROCINC ステートメントには、%PROCINC キーワードと同じ行にファイル名とセミコロンがなければならない。

IBM2505I E **%PROCINC ファイルには、%PROCESS ステートメントと %PROCINC ステートメントのみを含める必要がある。**

説明

%PROCINC ファイルにブランク行またはコードを入れることはできない。

第 4 章 コンパイラー重大メッセージ (1500 から 2399)

IBM1500I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* has type *source type*, which is invalid for a parameter with type *target type*.**

説明

引数の型は、対応するパラメーターの型に変換できる型でなければならない。

IBM1501I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* has a different strong type than the corresponding parameter.**

説明

パラメーターが強力に型付けされている場合、それに渡す引数も 同じ型でなければならない。

IBM1502I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* has type *source type*, which is invalid for a parameter with type *target type*. If the ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

引数の型は、対応するパラメーターの型に変換できる型でなければならない。

IBM1503I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* has type *source type*, which is invalid for a parameter with type LIMITED ENTRY.**

説明

LIMITED ENTRY パラメーターに渡すことができるのは、EXTERNAL ENTRY CONSTANT、ネストされていない PROCEDURE を表す ENTRY CONSTANT、または LIMITED 属性を持つ ENTRY VARIABLE だけである。

IBM1504I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* has type POINTER, which is invalid for an OFFSET parameter without an AREA qualifier.**

説明

POINTER 式は、OFFSET が AREA 修飾子と共に宣言されている場合にのみ、OFFSET に変換できる。

IBM1505I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* has type POINTER, which is invalid for a POINTER parameter since the OFFSET argument is not an OFFSET variable declared with an AREA qualifier.**

説明

OFFSET 変数は、OFFSET が AREA 修飾子と共に宣言されている場合にのみ、POINTER に変換できる。

IBM1506I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* has a different ORDINAL type than the corresponding parameter.**

説明

ORDINAL は、異なる ORDINAL 型の他の ORDINAL に渡すことはできない。

IBM1507I S **Arrays of label constants may not be passed as arguments.**

説明

配列を LABEL 変数の配列に割り当て、その配列を渡すことができる。

```
lx(1): ... ;  
lx(2): ... ;  
call x( lx );
```

IBM1508I S **Too few arguments have been specified for the ENTRY *ENTRY name*.**

説明

引数の数は、ENTRY 宣言内のパラメーターの数に一致しなければならない。

IBM1509I S **Argument to variable name pseudovalue must be ASSIGNABLE.**

説明

疑似変数を用いて行う割り当てのターゲットは、NONASSIGNABLE 属性を持っていてはならない。

```
dcl a static nonasgn char(7)
init('example');

unspec(a) = 'b';
```

IBM1510I S First argument to *variable name* pseudovariable must be ASSIGNABLE.

説明

疑似変数を用いて行う割り当てのターゲットは、NONASSIGNABLE 属性を持っていてはならない。

```
dcl a static nonasgn char(7)
init('example');

substr(a,1,2) = 'tr';
```

IBM1511I S Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is an aggregate, but the parameter description specifies a scalar.

説明

スカラーを集合に変換することはできない。

```
dcl a entry( fixed bin ), b(10) fixed bin;

call a( b );
```

IBM1512I S Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is a scalar, but the parameter description specifies an aggregate to which it cannot be passed.

説明

非 AREA スカラーを非 CONTROLLED スカラー配列に渡す場合以外は、ダミー集合引数はサポートされず、配列には * として指定された境界があってはならない。スカラーを集合に割り当て、その集合を渡すことはできる。

```
dcl a entry( 1, 2 fixed bin, 2 fixed bin );
```

```
call a( 0 );
```

IBM1513I S Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is an aggregate that does not exactly match the corresponding parameter description.

説明

ダミー集合引数はサポートされていない。エントリー記述に集合パラメーターが記述されている場合は、渡される引数はそのパラメーターの記述に一致していなければならない。

IBM1514I S Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is an aggregate with more members than its corresponding parameter description.

説明

ダミー集合引数はサポートされていない。エントリー記述に集合パラメーターが記述されている場合は、渡される引数はそのパラメーターの記述に一致していなければならない。

IBM1515I S Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is an aggregate with fewer members than its corresponding parameter description.

説明

ダミー集合引数はサポートされていない。エントリー記述に集合パラメーターが記述されている場合は、渡される引数はそのパラメーターの記述に一致していなければならない。

IBM1516I S The number of dimensions in the subelements of argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* and in its corresponding parameter description do not match.

説明

ダミー集合引数はサポートされていない。エントリー記述に集合パラメーターが記述されている場合は、渡される引数はそのパラメーターの記述に一致していなければならない。

IBM1517I S The upper and lower bounds in the subelements of argument number *argument-number* in ENTRY

reference *ENTRY name* and in its corresponding parameter description do not match.

説明

ダミー集合引数はサポートされていない。エントリー記述に集合パラメーターが記述されている場合は、渡される引数はそのパラメーターの記述に一致していなければならない。

IBM1518I S **The number of dimensions for argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* and in its corresponding parameter description do not match.**

説明

配列の引数とパラメーターは、次元数が同じでなければならない。

```
dcl a entry( (*,*) fixed bin ), b (10)
fixed bin;

call a( b );
```

IBM1519I S **The upper and lower bounds for argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* and in its corresponding parameter description do not match.**

説明

配列の引数とパラメーターは、上限と下限がそれぞれ同じでなければならない。

```
dcl a entry( (0:10) fixed bin ), b (10)
fixed bin;

call a( b );
```

IBM1520I S **Charset 48 is not supported.**

説明

文字セット 48 は現在ではもはやサポートされていない。ソース・コードは文字セット 60 に変換する必要がある。

IBM1521I S **Not enough virtual memory is available to continue the compilation.**

説明

コンパイルには使用可能な量より多くの仮想メモリが必要である。コンパイラー・オプション NOTEST、NOXREF、NOATTRIBUTES、および NOAGGREGATE のうちの 1 つ以上を指定すると、仮想メモリの量を抑えることができる可能性がある。

IBM1522I S ***variable* cannot be SET unless an IN clause is specified.**

説明

オフセット変数が AREA 参照なしで宣言されている場合は、IN 文節が AREA 参照を指定しない限り、そのオフセット変数を ALLOCATE ステートメントまたは LOCATE ステートメントに設定することはできない。

IBM1523I S **Argument to *BUILTIN name* built-in must be an AREA reference.**

説明

組み込み関数 AVAILABLEAREA は AREA 用にのみ定義される。

IBM1524I S **ABS(x)> 1 の場合、*BUILTIN* 名(x) は未定義。**

説明

式に、制限付きの式に適用される組み込み関数 ASIN または ACOS が含まれているが、その制限付き式の評価結果がその関数の定義域外の数値になった。

IBM1525I S **x が REAL で、ABS(x) >= 1 の場合、ATANH(x) は定義されていません。**

説明

式に、制限付きの式に適用される組み込み関数 ATANH が含まれているが、その制限付き式の評価結果がその関数の定義域外の数値になった。

IBM1526I S **Argument to *BUILTIN name* must have derived mode REAL.**

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数に COMPLEX モードが指定されている。

IBM1527I S **First argument to *BUILTIN name* built-in must have locator type.**

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その最初の引数が POINTER 型でも OFFSET 型でもない。

IBM1528I S	First argument to <i>BUILTIN</i> name built-in must have derived mode REAL.
-------------------	--

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その最初の引数に COMPLEX モードが指定されている。このメッセージは、例えば、2 つの引数を指定する ATAN および ATAND 組み込み関数に適用される。

IBM1530I S	Second argument to <i>BUILTIN</i> name built-in must have derived mode REAL.
-------------------	---

説明

式に、示されている組み込み関数が含まれているが、その 2 番目の引数に COMPLEX モードが指定されている。このメッセージは、例えば、2 つの引数を指定する ATAN および ATAND 組み込み関数に適用される。

IBM1531I S	<i>BUILTIN</i> name argument has invalid type.
-------------------	---

説明

式に参照 BINARYVALUE(x) が含まれているが、x の型が POINTER、OFFSET、ORDINAL 以外の型である。

IBM1532I S	E35 sort exit routines must use a 32-bit linkage.
-------------------	--

説明

他のリンケージはすべて無効である。

IBM1533I S	<i>BUILTIN</i> name argument must have computational type.
-------------------	---

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数がストリング型でも数値型でもない。

IBM1534I S	<i>BUILTIN</i> name result would be too long.
-------------------	--

説明

REPEAT または COPY 組み込み関数の結果は、ベースのストリング型の最大許容長を超えてはならない。

IBM1535I S	<i>BUILTIN</i> name argument must have type REAL FLOAT.
-------------------	--

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数の型が REAL FLOAT 以外の型である。このメ

ッセージは、例えば、HUGE や RADIX などの浮動小数点照会組み込み関数、および EXPONENT や SUCC などの浮動小数点操作組み込み関数に適用される。

IBM1536I S	<i>BUILTIN</i> name argument must be a reference.
-------------------	--

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数が参照ではない。

IBM1537I S	<i>BUILTIN</i> name argument must be an array expression.
-------------------	--

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数が配列式ではない。このメッセージは、例えば、組み込み関数 ALL、ANY、SUM、および PROD に適用される。

IBM1538I S	<i>BUILTIN</i> name argument must be a FILE reference.
-------------------	---

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数が FILE ではない。このメッセージは、例えば、LINENO および PAGENO などの I/O 組み込み関数に適用される。

IBM1539I S	* is invalid as a <i>BUILTIN</i> function argument.
-------------------	--

説明

引数がオプションである場合を除き、BUILTIN 関数の引数として値を指定する必要がある。

```
dcl a float;  
a = sqrt(*);
```

IBM1540I S	Argument number <i>argument</i> number to <i>BUILTIN</i> name built-in must have derived mode REAL.
-------------------	--

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数に COMPLEX モードが指定されている。このメッセージは MAX および MIN 組み込み関数に適用される。

IBM1541I S	Argument number <i>argument</i> number to <i>BUILTIN</i> name built-in must have computational type.
-------------------	---

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、そこに指定されている引数が非計算型である。このメッセージは MAX および MIN 組み込み関数に適用される。

IBM1542I S **First argument to *BUILTIN* name built-in must have computational type.**

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その最初の引数がストリング型でも数値型でもない。

IBM1543I S **Argument to *BUILTIN* name built-in must have type CHARACTER(1) NONVARYING.**

説明

これは RANK 組み込み関数に適用される。

IBM1545I S **First argument to *BUILTIN* name built-in must be an array.**

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その最初の引数が配列ではない。このメッセージは、例えば DIMENSION、HBOUND、および LBOUND 組み込み関数に適用される。

IBM1546I S **Second argument to *BUILTIN* name built-in must have type CHARACTER(1) NONVARYING.**

説明

これは PLIFILL 組み込みサブルーチンに適用される。

IBM1547I S **Second argument to *BUILTIN* name built-in must have computational type.**

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、2 番目の引数がストリング型でも数値型でもない。

IBM1548I S ***BUILTIN* function may not be used inside a BEGIN block.**

説明

PLISTSIZE 組み込み関数はプロシージャー内でのみ使用できる。

IBM1549I S ***BUILTIN* function may be used only in procedures with LINKAGE(SYSTEM).**

説明

PLISTSIZE 組み込み関数は、OPTLINK、PASCAL などのリンケージが指定されたプロシージャー内では使用できない。

IBM1550I S **Argument to the *BUILTIN* name pseudovisible must be an EVENT variable.**

説明

このメッセージは COMPLETION および STATUS 疑似変数に適用される。

IBM1551I S **Argument to the *BUILTIN* name pseudovisible must be a TASK variable.**

説明

このメッセージは PRIORITY 疑似変数に適用される。

IBM1552I S **Third argument to *BUILTIN* name built-in must have computational type.**

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、3 番目の引数がストリング型でも数値型でもない。このメッセージは、例えば SUBSTR および CENTER 組み込み関数に適用される。

IBM1554I S **Argument to *BUILTIN* name built-in must be either a NONVARYING BIT array reference or else an array expression with known length.**

説明

ALL および ANY 組み込み関数は、2 つの型の配列式に制限されている。NONVARYING BIT 配列参照の配列式、あるいは既知の長さを持つ配列式である。次に示す例のうち、最初の 5 つはこれらの制限を満たしているが、その他の例は制限を満たしていない。

```
dcl a(10) bit(16) varying;
dcl b(10) bit(16);

if all( b ) then ...
if any( a ^= 'b' ) then ...
if all( a = b & a ) then ...
if any( 'b' ^= b ) then ...
if all( a = 'b' | b = 'b' ) then ...
if any( a ) then ...
```

```
if all( substr(b,1,n) ) then ...
```

IBM1555I S **Second argument to *BUILTIN* name built-in must have computational type.**

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、2 番目の引数がストリング型でも数値型でもない。

IBM1556I S **Argument number *argument* number to *BUILTIN* name built-in would force STRINGRANGE.**

説明

組み込み関数 INDEX、SEARCH、VERIFYR、または SCRUBOUT のいずれかに 3 番目の引数を指定する場合、その引数は正の値でなければならない。組み込み関数 SEARCHR または VERIFYR のいずれかに 3 番目の引数を指定する場合、その引数は負でない値である必要がある。組み込み関数 REPLACE に 4 番目の引数を指定する場合、その引数は正でなければならない。

IBM1557I S **Second argument to *BUILTIN* name built-in must be positive.**

説明

組み込み関数 CENTER、LEFT、および RIGHT の 2 番目の引数は 0 または負の値であってはならない。

IBM1558I S **Argument to VALID built-in must have the attributes FIXED DECIMAL or PICTURE.**

説明

VALID 組み込み関数の引数には、示されている属性そのものが指定されていなければならない。これらの属性に変換可能なだけでは不十分である。

IBM1559I S **SQRT(x) は、x が REAL で $x < 0$ の場合には未定義です。**

説明

式には、制限付きの式に適用される BUILTIN 関数 SQRT が含まれているが、その制限付き式の評価結果がその関数の定義域外の数値になった。

IBM1560I S ***BUILTIN* 関数(x) は、x が実数で $x < = 0$ の場合は未定義です。**

説明

式には、制限付きの式に適用される組み込み関数が含まれているが、その制限付き式の評価結果がその関数の定

義域外の数値になった。このメッセージは、例えば LOG、LOG2、および LOG10 組み込み関数に適用される。

IBM1561I S **RULES(ANS) does not allow ROUND to be applied to FIXED BIN.**

説明

RULES(ANS) では FIXED BIN の非ゼロ・スケール因数は許されない。したがって、ROUND を FIXED BIN (または BIT) 引数に適用することはできない。

IBM1562I S **Argument to *BUILTIN* name built-in has invalid type.**

説明

HANDLE 組み込み関数の引数は構造体型でなければならない。逆に、TYPE 組み込み関数の引数はハンドルでなければならない。

IBM1563I S **Second argument to *BUILTIN* name built-in must be nonnegative.**

説明

組み込み関数 CHARACTER、BIT、および GRAPHIC の 2 番目の引数は 0 以上でなければならない。

IBM1564I S **Too few arguments have been specified for the *BUILTIN* name built-in.**

説明

必要最低数の引数を指定する必要がある。

IBM1566I S ***BUILTIN* name (x) is undefined for x outside the supported domain.**

説明

式には、制限付きの式に適用される組み込み関数が含まれているが、その制限付き式の評価結果がその関数のサポートされる定義域外の数値になった。

IBM1568I S ***BUILTIN* function (x,y) is undefined if $x=0$ and $y=0$.**

説明

式には、制限付きの式に適用される組み込み関数 ATAN または ATAND が含まれているが、その制限付き式の評価結果がその関数の定義域外の数値になった。

IBM1569I S ***BUILTIN* name argument must be a CONNECTED reference.**

説明

示されている組み込み関数の引数は、(例えば式 またはリテラルでなく) 参照でなければならず、かつその参照は CONNECTED でなければならない。

IBM1570I S	<i>BUILTIN name</i> argument must be a reference to a level 1 CONTROLLED variable.
-------------------	---

説明

ALLOCATION 組み込み関数は、構造体メンバーまたは非 CONTROLLED 変数と共に使用することはできない。

IBM1571I S	<i>BUILTIN name</i> argument must be a reference to a level 1 BYADDR parameter.
-------------------	--

説明

OMITTED 組み込み関数は、BYVALUE パラメーター、構造体メンバー、または非パラメーターと共に使用することはできない。

IBM1573I S	The use of * as an argument is permitted only for parameters declared with the OPTIONAL attribute.
-------------------	---

説明

エントリー宣言に OPTIONAL 属性を追加するか、* を実引数に置き換える必要がある。

IBM1575I S	Argument number <i>argument number</i> to <i>BUILTIN name</i> built-in must have type POINTER or OFFSET.
-------------------	---

説明

PLIMOVE および COMPARE などの組み込み関数の示されている 引数はロケーターでなければならない。

IBM1576I S	Argument number <i>argument number</i> to <i>BUILTIN name</i> built-in must have type CHARACTER(1) NONVARYING.
-------------------	---

説明

これは HEXIMAGE、CENTER、LEFT、RIGHT、MEMSQUEEZE などに適用されます。

IBM1577I S	First argument to <i>BUILTIN name</i> built-in must have type POINTER.
-------------------	---

説明

これは OFFSET 組み込み関数に適用される。

IBM1578I S	First argument to <i>BUILTIN name</i> built-in must have type OFFSET.
-------------------	--

説明

これは POINTER 組み込み関数に適用される。

IBM1579I S	Second argument to <i>BUILTIN name</i> built-in must have type AREA.
-------------------	---

説明

これは OFFSET および POINTER 組み込み関数に適用される。

IBM1580I S	First argument to <i>BUILTIN name</i> built-in is an OFFSET value.
-------------------	---

説明

PLIMOVE および COMPARE などの組み込み関数の最初の引数の属性が OFFSET の場合、それは OFFSET 値でなく、OFFSET 参照でなければならない。

IBM1581I S	First argument to <i>BUILTIN name</i> built-in is an OFFSET variable declared without an AREA qualifier.
-------------------	---

説明

PLIMOVE および COMPARE などの組み込み関数の最初の引数が OFFSET 変数の場合は、オフセットをアドレスに変換できるように、その OFFSET 変数を AREA 修飾子と共に宣言する必要がある。

IBM1582I S	Argument number <i>argument number</i> to <i>BUILTIN name</i> built-in is an OFFSET value.
-------------------	---

説明

PLIMOVE および COMPARE などの組み込み関数の示されている 引数の属性が OFFSET の場合、それは OFFSET 値でなく、OFFSET 参照でなければならない。

IBM1583I S	Argument number <i>argument number</i> to <i>BUILTIN name</i> built-in is an OFFSET variable declared without an AREA qualifier.
-------------------	---

説明

PLIMOVE および COMPARE などの組み込み関数の示されている引数が OFFSET 変数の場合は、オフセットをアドレスに変換できるように、その OFFSET 変数を AREA 修飾子と共に宣言する必要がある。

IBM1584I S	Second argument to <i>BUILTIN name</i> built-in must have type OFFSET.
-------------------	---

説明

これは OFFSETDIFF 組み込み関数に適用される。

IBM1585I S **Second argument to *BUILTIN name* built-in must have type POINTER.**

説明

これは POINTERDIFF 組み込み関数に適用される。

IBM1586I S **Argument to *STRING* built-in function/pseudovisible must be CONNECTED.**

説明

STRING 組み込み関数および疑似変数は、非連続配列 クロスセクションや、CONNECTED 属性を用いて宣言されていない 配列パラメーターには適用できない。

IBM1587I S **Argument number *argument number* to *BUILTIN name* built-in must have the ENTRY attribute.**

説明

その他の引数型はすべて無効である。このメッセージは、PLISRTx 組み込み関数に適用される。

IBM1588I S **First argument to *BUILTIN name* built-in must have type GRAPHIC.**

説明

これは CHARGGRAPHIC 組み込み関数に適用される。例えば次の例では、g を char でなく graphic として宣言するのが正しい。

```
decl c char(10);
decl g char(5);

c = charg( g );
```

IBM1589I S ***BUILTIN name* argument must not have any subscripts.**

説明

LOCATION および BITLOCATION 組み込み関数は添え字付きの参照には適用できない。

IBM1590I S **Argument to *STRING* built-in function/pseudovisible must not be a UNION and must not contain a UNION.**

説明

STRING 組み込み関数および疑似変数は、UNION または UNION を含む構造体には適用できない。

IBM1591I S **All members of an argument to the *STRING* built-in function/pseudovisible must have the UNALIGNED attribute.**

説明

STRING 組み込み関数および疑似変数は、ALIGNED 属性を持つエレメントを含む構造体または配列には適用できない。

IBM1592I S **All members of an argument to the *STRING* built-in function/pseudovisible must have the NONVARYING attribute.**

説明

STRING 組み込み関数および疑似変数は、VARYING ストリングを含む構造体または配列には適用できない。

IBM1593I S **All members of an argument to the *STRING* built-in function/pseudovisible must have string type.**

説明

STRING 組み込み関数および疑似変数は、非計算型、またはピクチャー以外の算術型を含む構造体または配列には適用できない。

IBM1594I S **All members of an argument to the *STRING* built-in function/pseudovisible must have the same string type.**

説明

STRING 組み込み関数および疑似変数は、異なる ストリング型 (例えば BIT ストリングと CHARACTER ストリング) を含む構造体または配列には適用できない。

IBM1595I S **First argument to *BUILTIN name* built-in must have type REAL FLOAT.**

説明

これは、HUGE および EXPONENT などの浮動小数点照会および 操作組み込み関数に適用される。

IBM1596I S **Second argument to *BUILTIN name* built-in must have type CHARACTER.**

説明

これは EDIT 組み込み関数に適用される。

IBM1597I S	<i>BUILTIN name</i> argument must have type TASK.
-------------------	--

説明

これは PRIORITY 組み込み関数に適用される。

IBM1598I S	<i>BUILTIN name</i> argument must have type EVENT.
-------------------	---

説明

このメッセージは COMPLETION および STATUS 組み込み関数に適用される。

IBM1599I S	The <i>BUILTIN</i> function <i>variable name</i> may not be used as a pseudovvariable.
-------------------	---

説明

示されている組み込み関数は疑似変数ではなく、疑似変数として使用することもできない。

IBM1600I S	Source to <i>BUILTIN name</i> pseudovvariable must be scalar.
-------------------	--

説明

配列、構造体、または共用体を組み込み関数 ONCHAR、ONSOURCE、または ONGSOURCE に割り当てるのは無効である。

IBM1601I S	The identifier <i>identifier</i> is not the name of a built-in function. Any use of it is unsupported.
-------------------	---

説明

BUILTIN 属性は、組み込み関数または組み込みサブルーチンの名前である ID にのみ適用できる。

IBM1602I S	Fourth argument to <i>BUILTIN name</i> built-in must have the attributes REAL FIXED BIN(31,0).
-------------------	---

説明

これは PLISRTx 組み込み関数に適用される。例えば次の例では、rc を fixed bin(15) でなく fixed bin(31) として宣言するのが正しい。

```
dcl rc fixed bin(15);

call plisrta( 'SORT FIELDS=(1,80,CH,A) ',
              'RECORD TYPE=F,LENGTH=(80) ',
              256000,
```

```
rc );
```

IBM1603I S	<i>BUILTIN name</i> argument must not have the CONSTANT attribute.
-------------------	---

説明

これは、ADDR および類似の組み込み関数に適用される。例えば、ADDR 組み込み関数をラベル定数に適用するのは無効である。

IBM1604I S	<i>BUILTIN function</i> argument must be nonnegative.
-------------------	--

説明

組み込み関数 LOW および HIGH の引数は 0 以上でなければならない。

IBM1605I S	Argument to ENTRYADDR built-in must be an ENTRY variable or an EXTERNAL ENTRY constant.
-------------------	--

説明

ENTRYADDR 組み込み関数は、ENTRY 以外のものまたは INTERNAL ENTRY 定数には適用できない。

IBM1606I S	Argument to <i>variable name</i> pseudovvariable must be a reference.
-------------------	--

説明

疑似変数は式には適用できない。

```
unspec( 12 ) = '00'b4;
```

IBM1607I S	First argument to <i>variable name</i> pseudovvariable must be a reference.
-------------------	--

説明

SUBSTR 疑似変数は式には適用できない。

```
substr( 'nope', 1, 1 ) = 'd';
```

IBM1608I S	Argument to <i>variable name</i> pseudovvariable must be a scalar.
-------------------	---

説明

コンパイラーは、配列、構造体、または共用体に適用される、示されている疑似変数をサポートしていない。

IBM1609I S **First argument to *variable name* pseudovariable must be a scalar.**

説明

コンパイラーは、配列、構造体、または共用体に適用される、示されている疑似変数をサポートしていない。

IBM1610I S **Argument to *variable name* pseudovariable must be COMPLEX.**

説明

REAL および IMAG 疑似変数は、COMPLEX 算術変数に対してのみ適用できる。

IBM1611I S **疑似変数 *BUILTIN* 名 に対する最初の引数は、ストリング型でなければならない。**

説明

SUBSTR 疑似変数は、数値型変数や非計算型値には適用できない。

IBM1612I S **Argument to the ENTRYADDR pseudovariable must be an ENTRY variable.**

説明

ENTRYADDR 疑似変数は ENTRY 変数に対してのみ適用できる。

IBM1613I S **Argument to *BUILTIN name* built-in has attributes that conflict with *file attribute*.**

説明

示されている組み込み関数は、示されている属性と矛盾する属性を持つファイル定数には適用できない。

IBM1614I S **Argument to *BUILTIN name* built-in has attributes that conflict with STREAM.**

説明

示されている組み込み関数は、非 STREAM ファイルには適用できない。

IBM1615I S **Argument to *BUILTIN name* built-in has attributes that conflict with PRINT.**

説明

示されている組み込み関数は、非 PRINT ファイルには適用できない。

IBM1616I S **Attributes and ENVIRONMENT options for file *file name* conflict.**

説明

宣言ステートメント上の 指定されているファイル属性と ENVIRONMENT オプションが矛盾している。 次の DECLARE ステートメントは、この種の矛盾がある例である。

```
dcl file f1 direct env(consecutive);
```

IBM1617I S **DIRECT attribute for file *file name* needs ENVIRONMENT option specification of INDEXED, REGIONAL, RELATIVE, or VSAM.**

説明

DIRECT ファイル属性を使用するには、ENVIRONMENT オプションに INDEXED、REGIONAL、RELATIVE、または VSAM を指定する必要がある。

```
dcl file f1 direct env(relative);
```

IBM1618I S **Syntax of the %INCLUDE statement is incorrect.**

説明

%INCLUDE のあとには、名前とセミコロるか、または括弧で囲んだ 2 番目の名前とセミコロンを指定する必要がある。

IBM1619I S **File specification after %INCLUDE is too long.**

説明

ファイル指定の最大長は 8 文字である。

IBM1620I S **File specification missing after %INCLUDE.**

説明

%INCLUDE のあとにはファイル名が必要である。セミコロンだけを指定することはできない。

IBM1621I S **NODESCRIPTOR attribute is invalid if any parameters have bit alignment.**

説明

パラメーターが、位置合わせされていないビット・ストリング、または、全体が位置合わせされていないビット・ストリングからなる配列 または構造体である場合は、OPTIONS(NODESCRIPTOR) を指定することも 暗黙に指定することもできない。

IBM1622I S	The number of elements and dimension specifications in an aggregate must not exceed 131071.
-------------------	--

説明

エレメントおよび次元仕様の数が 131071 を超える集合の場合、記述子用に必要となるストレージが大きくなりすぎる。

IBM1623I S	The dot-qualified reference reference name is unknown.
-------------------	---

説明

示されている参照は、それが参照されているブロックの中で宣言されている構造体または共用体のメンバーでも、そのブロックを含むブロックの中で宣言されている構造体または共用体のメンバーでもない。

IBM1625I S	Extent must be a scalar.
-------------------	---------------------------------

説明

配列境界、ストリング長、または AREA サイズを指定する式は、配列、構造体、または共用体への参照であってはならない。

IBM1626I S	Extent must have computational type.
-------------------	---

説明

配列境界、ストリング長、または AREA サイズを指定する式は、数値型またはストリング型でなければならない。

IBM1627I S	Subscript expressions must be scalars.
-------------------	---

説明

添え字として使用する式は、配列、構造体、または共用体参照であってはならない。

IBM1628I S	Index number <i>index number</i> into the array <i>variable name</i> must have computational type.
-------------------	---

説明

添え字として使用できるのは、数値型またはストリング型の式のみである。

IBM1629I S	Extents for <i>STATIC</i> variable are not constant.
-------------------	---

説明

STATIC 変数内の配列境界、ストリング長、および AREA サイズは、コンパイル時に評価結果が定数にならないといけない。

IBM1630I S	Number of dimensions in arrays do not match.
-------------------	---

説明

配列を別の配列に割り当てるときは、2 つの配列の次元数が同じでなければならない。

IBM1631I S	Upper and lower bounds in arrays do not match.
-------------------	---

説明

配列を別の配列に割り当てるときは、2 つの配列間で、各次元の上限および下限が同じでなければならない。

IBM1632I S	Index number <i>index number</i> into the variable <i>variable name</i> is less than the lower bound for that dimension.
-------------------	---

説明

このようなプログラムを実行すると、ほとんどの場合、記憶保護例外が発生する。

<pre>dcl a(5:10) fixed bin(31); a(1) = 0;</pre>

IBM1633I S	Index number <i>index number</i> into the variable <i>variable name</i> is greater than the upper bound for that dimension.
-------------------	--

説明

このようなプログラムを実行すると、ほとんどの場合、記憶保護例外が発生する。

<pre>dcl a(5:10) fixed bin(31); a(20) = 0;</pre>
--

IBM1634I S **Number of dimensions in subelements of structures do not match.**

説明

構造体割り当ておよび構造体式の中では、配列であるサブエレメントは すべて次元数が同じでなければならない。

```
dc1
  1 a,
  2 b(8)      fixed bin,
  2 c         char(10);

dc1
  1 x,
  2 y(8,9)    fixed bin,
  2 z         char(10);

a = x;
```

IBM1635I S **Upper and lower bounds in subelements of structures do not match.**

説明

構造体割り当ておよび構造体式の中では、配列であるサブエレメントは すべて境界が同じでなければならない。

```
dc1
  1 a,
  2 b(8)      fixed bin,
  2 c         char(10);

dc1
  1 x,
  2 y(9)      fixed bin,
  2 z         char(10);

a = x;
```

IBM1636I S **Substructuring in subelements of structures do not match.**

説明

構造体割り当ておよび構造体式の中で、1つの構造体の中のどれかのエレメント自体が構造体である場合は、他のすべての構造体内の対応するエレメントも 類似の構造体でなければならない。

IBM1637I S **Number of subelements in structures do not match.**

説明

構造体割り当ておよび構造体式の中では、すべての構造体間でエレメント 数が同じでなければならない。

IBM1638I S **Structures and unions are not permitted in GENERIC descriptions.**

説明

GENERIC 記述の中で使用できるのは、スカラーおよびスカラーの配列だけである。

IBM1639I S **The aggregate *aggregate-name* contains only noncomputational values. The aggregate will be ignored.**

説明

PUT または GET ステートメントの中では、ストリングまたは算術変数を含まない集合は使用できない。

IBM1640I S **The aggregate *aggregate-name* contains one or more unions and cannot be used in stream I/O.**

説明

PUT または GET ステートメントの中では、1つ以上の UNION ステートメントを含む集合は使用できない。

IBM1641I S **References to slices of the array of structures *structure-name* are not permitted.**

説明

構造体の配列は、その全体を参照するか、またはエレメント単位で 参照しなければならない。

```
dc1
  1 a(8,9),
  2 b         fixed bin,
  2 c         char(10);

a(2,*) = 0;
```

IBM1642I S **References to slices of the array of unions *union-name* are not permitted.**

説明

共用体の配列は、その全体を参照するか、またはエレメント単位で 参照しなければならない。

```

dcl
  1 a(8,9) union,
    2 b      fixed bin,
    2 c      char(10);

a(2,*) = 0;

```

IBM1643I S **Each dimension of an array must contain no more than 2147483647 elements.**

説明

配列用の DIMENSION 組み込み関数の値を計算できることが必要である。DECLARE x(x:y) では、(y-x+1) が 214748648 未満でなければならない。

IBM1644I S **Aggregate contains more than 15 logical levels.**

説明

可能な最大物理レベルは 255 であるが、最大論理レベルは 15 である。

IBM1645I S **Data aggregate exceeds the maximum length.**

説明

位置合わせされていないビットを含む集合のサイズは 2**28 バイト未満で、その他の集合は 2**31 未満でなければならない。

IBM1646I S **SIZE would be raised in assigning TO value to control variable.**

説明

TO の値が、FIXED 変数または PICTURE 変数の保持できる最大値より大きい場合、その変数によって制御されるループが原因となり、SIZE が発生する可能性がある。例えば、以下に示す 1 つ目のコード・フラグメントでは、x に 99 より大きな値が割り当てられることはない。例えば、以下に示す 2 つ目のコード・フラグメントでは、y に 32767 より大きな値が割り当てられることはない。

```

dcl x pic'99';

do x = 1 to 100;
  put skip list( x );
end;

dcl y fixed bin(15);

do y = 1 to 32768;
  put skip list( y );
end;

```

IBM1647I S **Too few subscripts specified for the variable *variable name*.**

説明

変数に与えられる添え字の数は、その変数の次元数と同じでなければならない。

IBM1648I S **Too many subscripts specified for the variable *variable name*.**

説明

変数に与えられる添え字の数は、その変数の次元数と同じでなければならない。

IBM1649I S **The number of inherited dimensions plus the number of member dimensions exceeds 15.**

説明

次元数が 15 を超える配列はサポートされていない。

```

dcl
  1 dim7(2,3,4,5,6,7,8),
  2 dim7more(2,3,4,5,6,7,8)
  3 dim2many(2,3) fixed bin,
  3 *      fixed bin,
  2 * char(10);

```

IBM1650I S **The LIKE reference is neither a structure nor a union.**

説明

LIKE 参照は、スカラーまたはスカラーの配列であってはならない。

```

dcl
  a fixed bin,
  1 b like a;

```

IBM1651I S **キーワード名 リファレンスがあいまいである。**

説明

LIKE 参照には、それを固有にするための十分な修飾が必要である。このメッセージは、INDFOR および VALUELISTFROM にも適用される。

```

dcl
  1 x like b,
  1 a,
  2 b,
  3 c,

```

```

      3 d,
    2 e,
      3 f,
      3 g,
1   1 h,
    2 b,
      3 j,
      3 k;

```

IBM1652I S **Neither the LIKE reference nor any of its substructures can be declared with the LIKE attribute.**

説明

LIKE から LIKE を宣言することはサポートされていない。

```

dcl
  1 a,
  2 b1 like c,
  2 b2 like c,
  1 c,
  2 d fixed bin,
  2 e fixed bin;
dcl
  1 x like a;

```

IBM1653I S **ENTRY 宣言内の LIKE リファレンスは、その ENTRY 宣言を含む構造体または共用体のメンバーであってはならない。**

説明

LIKE 定義は再帰的であってはならない。

```

dcl
  1 a based,
  2 b1 fixed bin(31),
  2 b2 fixed bin(31),
  2 b3,
  3 c limited entry( like a );

```

IBM1654I S **キーワード名のリファレンスが不明です。**

説明

LIKE 参照は、LIKE 属性指定を含むブロック内で既知のものでなければならない。このメッセージは、INDFOR および VALUELISTFROM にも適用される。

IBM1655I S **Only CONTROLLED variables can be passed to CONTROLLED parameters.**

説明

パラメーターが controlled として宣言されている場合は、非制御変数および演算子付きの式をそのパラメーターに渡すことはできない。

```

dcl c char(20);

call a(c);

a: proc( b );
  dcl b controlled char(*);

```

IBM1656I S **A CONTROLLED variable passed to a CONTROLLED parameter must have the same attributes as that parameter.**

説明

算術属性の相違は許されない。次の例のような場合はこのメッセージが出される。

```

dcl x fixed bin(15) controlled;

call a(x);

a: proc( b );
  dcl b controlled fixed bin(31);

```

IBM1657I S **A subscript has been specified for the non-array variable *variable name*.**

説明

添え字は配列エレメント参照の中でのみ使用できる。

IBM1658I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is an array expression requiring a temporary array with strings of unknown length.**

説明

ストリングの一時配列は、ストリング長が判明している場合にのみサポートされる。

```

dcl a entry, (b(10),c(10)) char(20) var;

call a( b || c );

```

IBM1659I S **After LIKE expansion, aggregate would contain more than 15 logical levels.**

説明

LIKE 拡張後の論理レベルの合計数が 15 を超えてはならない。

IBM1660I S	The size (<i>record-size</i>) of the record conflicts with the RECSIZE (<i>recsize</i>) specified in the ENVIRONMENT attribute.
-------------------	--

説明

ステートメントを実行すると、RECORD 条件が発生する。

dcl datei	file record output env(fb recsize (80) total) ;
dcl satzaus	char (100);
write file(datei) from(satzaus);	

IBM1661I S	Aggregates cannot be assigned to scalars.
-------------------	--

説明

スカラーにはスカラーのみを割り当てることができる。

IBM1662I S	Unsupported use of union or structure containing a union.
-------------------	--

説明

共用体および共用体を含む構造体は、ADDR または UNSPEC などの組み込み関数への引数として使用する場合以外は、式の中では使用 できない。

IBM1663I S	Unsupported or invalid use of structure expression.
-------------------	--

説明

構造体式は、スカラーの配列などに割り当てることはい できない。

IBM1664I S	Array expressions cannot be assigned to non-arrays.
-------------------	--

説明

配列式は、構造体やスカラーなどに割り当てることはい できない。

IBM1665I S	E15 sort exit routines must have the RETURNS attribute.
-------------------	--

説明

E15 ソート出口に RETURNS 属性が必要なのは、この出 口が ソート・ライブラリー・ルーチンから関数として 呼び出されるから である。

IBM1666I S	E15 sort exit routines must return a CHARACTER string.
-------------------	---

説明

E15 ソート出口は、NONVARYING、VARYING、または VARYINGZ CHARACTER スtringを戻すことができるが、これは文字Stringでなければならない。

IBM1667I S	Target in assignment is NONASSIGNABLE.
-------------------	---

説明

代入ステートメント内のターゲットは、NONASSIGNABLE 属性を持つものであってはならない。

IBM1668I S	Target in assignment is a function reference.
-------------------	--

説明

代入ステートメントのターゲットは、配列、構造体、 共用体、またはスカラー参照でなければならない。 関数参照は割り当てのターゲットにはできない。

IBM1669I S	Unsupported assignment to a target containing a UNION.
-------------------	---

説明

UNION または UNION を含む構造体への割り当ては制 限されている。複合代入演算子はサポートされておら ず、ソースは一致する UNION を含む類似の構造体でな ければならず、ソースとターゲットの両方がコンパイル 時に認識されているエクステンションを持っていなければ ならず、関連するすべての UNION は全バイト数を占有 していなければならない。

IBM1670I S	A PROCEDURE containing ENTRY statements with differing RETURNS attributes must return values BYADDR.
-------------------	---

説明

ENTRY ステートメントを含む PROCEDURE で、PROCEDURE ステートメントと ENTRY ステートメント がすべて同じ RETURNS 属性を持っていない場合は、 すべての値に対し BYADDR を戻さなければならない。 DFT(RETURNS(BYADDR)) でコンパイルしてこれを強制 実行するか、 RETURNS 属性の各セットに BYADDR 属 性を追加することができる。例えば、次のプログラム

を DFT(RETURNS(BYADDR)) でコンパイルするか、"fixed bin" を "fixed bin byaddr" に変更する必要がある。

```
a: proc;  
  return;  
b: entry returns( fixed bin );  
  return( 1729 );  
end;
```

IBM1671I S **The source in a structure assignment must be a scalar expression or a matching structure.**

説明

構造体割り当てのソースは、スカラーの配列や、ターゲットに一致しない構造体であってはならない。

IBM1672I S **In multiple BY NAME assignments, if one target is an array of structures, then all must be.**

説明

BY NAME 割り当ては、配列と非配列の混合をターゲットにすることはできない。

```
dcl 1 a, 2 a1 fixed bin, 2 a2 fixed bin;  
dcl 1 b(3), 2 a1 fixed bin, 2 a2 fixed bin;  
dcl 1 c, 2 a1 fixed bin, 2 a2 fixed bin;  
  
a,b = c, by name;
```

IBM1673I S **The target in a compound concatenate and assign must be a VARYING or VARYINGZ string.**

説明

NONVARYING ストリングへの割り当てに使用できるのは、単純代入演算子だけである。

IBM1674I S **Target in assignment contains UNIONS.**

説明

割り当てのターゲットに UNION が含まれていてはならない。

IBM1675I S **FROMALIEN option cannot be used with MAIN.**

説明

この 2 つのオプションは同時に指定することはできない。

IBM1676I S **Source in assignment to LIMITED ENTRY must be either a non-nested ENTRY constant or another LIMITED ENTRY.**

説明

ネストされたプロシーチャーを表す ENTRY 定数、および LIMITED 属性を持つものとして宣言されていない変数は、LIMITED ENTRY 属性を持つ変数に割り当てることはできない。

IBM1677I S **Assignment of ENTRY to target type is invalid. If the ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

引数リストのない ENTRY 定数または変数は呼び出されないので、ENTRY 変数にしか割り当てることはできない。

IBM1678I S **Assignment of source type to target type is invalid.**

説明

ターゲットの属性がソースの属性と矛盾している。

IBM1679I S **Assignment of POINTER to OFFSET is invalid unless the OFFSET is declared with an AREA qualifier.**

説明

POINTER 式は、OFFSET が AREA 修飾子と共に宣言されている場合にのみ、OFFSET に変換できる。

IBM1680I S **Assignment of OFFSET to POINTER is invalid unless the OFFSET is declared with an AREA qualifier.**

説明

OFFSET 変数は、OFFSET が AREA 修飾子と共に宣言されている場合にのみ、POINTER に変換できる。

IBM1681I S **The number of preprocessor invocations specified exceeds the maximum number (25) allowed.**

説明

PP オプションの中または MACRO オプションと組み合わせて指定できるプリプロセッサ呼び出しは、25 回までである。

IBM1682I S	The target in a BY NAME assignment must be a structure.
-------------------	--

説明

BY NAME 割り当てのターゲットに配列またはスカラーは指定 できない。

IBM1683I S	Set of matching names in the expansion of BY NAME assignment must contain either all structures or no structures.
-------------------	--

説明

例えば、名前による割り当て $x=y$ において、 x と y の両方にメンバー z が直接含まれている場合は、 $x.z$ と $y.z$ の両方が 構造体であるか、 $x.z$ と $y.z$ のどちらも構造体ではない。

IBM1684I S	Number of dimensions in the BY NAME corresponding elements variable name and variable name do not match.
-------------------	---

説明

BY NAME 割り当てにおいて、一致する名前を持つ配列は 次元数が同じでなければならない。

<pre>dc1 1 a, 2 b(4,5) bin(31,0), 2 c bin(31,0); dc1 1 x, 2 b(4) bin(31,0), 2 c bin(31,0); a = x, by name;</pre>
--

IBM1685I S	Upper and lower bounds in BY NAME corresponding elements variable name and variable name do not match.
-------------------	---

説明

BY NAME 割り当てにおいて、一致する名前を持つ配列は 下限 と上限がそれぞれ同じでなければならない。

<pre>dc1 1 a, 2 b(1:5) bin(31,0),</pre>

<pre> 2 c bin(31,0); dc1 1 x, 2 b(0:4) bin(31,0), 2 c bin(31,0); a = x, by name;</pre>
--

IBM1686I S	BY NAME assignment contains UNIONS.
-------------------	--

説明

BY NAME 割り当てのターゲットの構造体には、どのような UNION も含まれていてはならない。ソース内の 名前に一致する名前が含まれていない UNION も例外ではない。ソース式にも、共用体または共用体を含む 構造体が含まれていなければならない。

IBM1687I S	reserved name cannot be declared with OPTIONS other than ASM.
-------------------	--

説明

DLI コンパイラー・オプションを指定する場合は、OPTIONS(ASM) 以外の OPTIONS を指定して PLITDLI を 宣言することはできない。

IBM1688I S	reserved name cannot be declared with an entry description list.
-------------------	---

説明

DLI コンパイラー・オプションを指定する場合は、エン トリー記述リストを伴う PLITDLI 宣言することはでき ない。

IBM1689I S	reserved name cannot be declared as a function.
-------------------	--

説明

DLI コンパイラー・オプションを指定する場合は、 PLITDLI を関数として宣言することはできない。

IBM1690I S	OPTIONS(language-name) is not supported for functions.
-------------------	---

説明

関数 (つまり RETURNS 属性を伴って宣言するエン トリー) は、OPTIONS(ASM) または OPTIONS(COBOL) を指 定して宣言することはできない。

IBM1691I S	Extents in ENTRY descriptors must be asterisks or restricted expressions with computational type.
-------------------	--

説明

ENTRY 記述子の中の個々の配列境界、ストリング長、および AREA サイズは、アスタリスクで指定するか、計算型の制限付き式を用いて指定しなければならない。

IBM1692I S **An ENTRY invoked as a function must have the RETURNS attribute.**

説明

デフォルトの RETURNS 属性はない。

```
decl e entry;  
a = e();
```

IBM1693I S **call-option option repeated in CALL statement.**

説明

TASK、EVENT、および PRIORITY オプションは、CALL ステートメントの中で 1 回ずつしか指定できない。

IBM1694I S **Reference in CALL statement must not be a built-in function.**

説明

x が組み込みサブルーチン、ENTRY 定数、または ENTRY 変数である場合以外は、CALL x は無効である。組み込み関数は組み込み参照ではない。例えば、"Call SQRT(x)" は無効である。

IBM1695I S **Reference in CALL statement must either be a built-in subroutine or have type ENTRY.**

説明

x が組み込みサブルーチン、ENTRY 定数、または ENTRY 変数である場合以外は、CALL x は無効である。

IBM1696I S **RETURN statement without an expression is invalid inside a subprocedure that specified the RETURNS attribute.**

説明

関数内のすべての RETURN ステートメントには、戻される値を指定しなければならない。

```
a: proc returns( fixed bin );  
    return;
```

IBM1697I S **RETURN statement is invalid inside a PROCEDURE that did not specify the RETURNS attribute.**

説明

RETURN(x) の形式のステートメントが有効なのは、RETURNS 属性と共に定義されている PROCEDURE の中で使用する 場合のみである。

IBM1698I S **RETURN statement with an expression is invalid inside a BEGIN in a PROCEDURE that does not have the RETURNS(BYADDR) attribute.**

説明

BEGIN ブロック内で RETURN(x) の形式のステートメントが有効なのは、その BEGIN ブロックを囲む PROCEDURE が、明示指定 またはデフォルトにより RETURNS(BYADDR) 属性を持つ場合のみである。

IBM1699I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is an aggregate. This conflicts with the BYVALUE option.**

説明

配列、構造体、および共用体には BYVALUE を渡すことはできない。

IBM1700I S **属性には BYADDR を渡す必要がある。**

説明

固定サイズの AREA 変数の場合も、BYADDR を渡す必要がある。

IBM1701I S **Argument number *argument-number* in ENTRY reference *ENTRY name* is a string with unknown size. This conflicts with the BYVALUE option.**

説明

BYVALUE を渡すことができる相手は固定サイズのストリングに限られる。

IBM1702I S **The *attribute keyword* attribute is invalid as a RETURNS subattribute.**

説明

構造体および共用体を戻すことはできない。以下のコード例は無効である。

```
dcl a entry returns( 1 union, 2 ptr, 2 ptr );
```

IBM1703I S **Reference in CALL statement must not be an aggregate reference.**

説明

CALL 参照はスカラーでなければならない。

```
dcl ea(10) entry;
call ea;
```

IBM1704I S **Too many argument lists have been specified for the variable *variable name*.**

説明

1つの関数に付随する引数リストは1つだけでなければならない。ただし、ENTRY を戻す関数の場合は、戻された ENTRY がさらに ENTRY を戻す場合を除き、2つの引数リストを持つことができる。

IBM1705I S **RETURN expression with attribute *source type* is invalid for RETURNS options specifying the attribute *target type*.**

説明

RETURN 式の型は、RETURNS オプションに指示されている型に変換できるものでなければならない。

```
a: proc returns( pointer )
    return( 0 );
end;
```

IBM1706I S **RETURN expression with attribute *source type* is invalid for RETURNS options specifying the attribute *target type*. If the ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

RETURN 式の型は、RETURNS オプションに指示されている型に変換できるものでなければならない。

```
a: proc returns( pointer )
```

```
dcl f entry returns( pointer );
return( f );
end;
```

IBM1707I S **RETURN expression with attribute *source type* is invalid for RETURNS options specifying the attribute LIMITED ENTRY.**

説明

LIMITED ENTRY を戻す関数内で RETURNS 式として指定できるのは、EXTERNAL ENTRY CONSTANT、ネストされていない PROCEDURE を表す ENTRY CONSTANT、または LIMITED 属性を持つ ENTRY VARIABLE でなければならない。

IBM1708I S **RETURN expression with attribute POINTER is invalid for RETURNS options specifying the attribute OFFSET since the OFFSET attribute is not declared with an AREA qualifier.**

説明

POINTER 式は、OFFSET が AREA 修飾子と共に宣言されている場合にのみ、OFFSET に変換できる。

IBM1709I S **RETURN expression with attribute OFFSET is invalid for RETURNS options specifying the attribute POINTER since the OFFSET expression is not an OFFSET variable declared with an AREA qualifier.**

説明

OFFSET 変数は、OFFSET が AREA 修飾子と共に宣言されている場合にのみ、POINTER に変換できる。

IBM1710I S **ORDINAL type in RETURN expression and RETURNS option must match.**

説明

序数を戻す関数では、RETURN 式の中での ORDINAL の型は、この関数が戻すものと同じでなければならない。

```
a: proc returns( ordinal color );

    dcl i ordinal intensity;
    return( i );
end;
```

IBM1711I S	Expression in RETURN statement must be scalar.
-------------------	---

説明

RETURN ステートメントの中の式は、配列、構造体、共用体であってはならない。

IBM1712I S	External name specification must be a non-null string.
-------------------	---

説明

EXTERNAL("") は無効である。

IBM1713I S	Function <i>function name</i> contains no RETURN statement.
-------------------	--

説明

関数には RETURN ステートメントが少なくとも 1 つは含まれていなければならない。

IBM1714I S	Extents in RETURNS descriptors must be constants.
-------------------	--

説明

RETURNS 記述子の中の個々の配列境界、ストリング長、および AREA サイズは、計算型の制限付き式を用いて指定しなければならない。ENTRY 記述子の場合と異なり、アスタリスクは使用できない。

IBM1715I S	Exit from an ON-unit via RETURN is invalid.
-------------------	--

説明

ON ユニットまたはそれに含まれている BEGIN ブロックの中では、RETURN ステートメントは使用できない。ただし、その含まれているブロックが、さらに、その ON ユニット内部に定義されている プロシーチャーに含まれている場合を除く。

IBM1716I S	FORMAT expression must be a scalar value.
-------------------	--

説明

FORMAT リストの中の式は、SKIP 文節も含めて、スカラー値を表すものでなければならない。

IBM1717I S	FORMAT expression must have computational type.
-------------------	--

説明

FORMAT リストの中の式は、SKIP 文節も含めて、FIXED BIN(31) に変換できるように計算型のものでなければならない。

IBM1718I S	<i>source type</i> is invalid as a Boolean expression.
-------------------	---

説明

IF、WHILE、UNTIL、SELECT、または WHEN 文節の中の式は、BIT(1) に変換できるように計算型のものでなければならない。

IBM1719I S	ENTRY is invalid as a Boolean expression. If an ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.
-------------------	--

説明

IF、WHILE、UNTIL、SELECT、または WHEN 文節の中の式は、BIT(1) に変換できるように計算型のものでなければならない。ENTRY をブール式として使用することはできない。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と 右括弧のみのものであってよい) を指定しなければならない。

IBM1720I S	Expression for calculating size of variable with adjustable extents is too complicated. Variable may be defined in terms of itself.
-------------------	--

説明

変数のサイズ計算で使用する式は、その変数を持つ可能性がある値に依存するものであってはならない。これは、その変数用のストレージを割り振れるようになるまではこの種の値は存在しないからである。

IBM1721I S	Expression contains too many nested subexpressions.
-------------------	--

説明

コンパイラーが式を評価するために使用するスペースを使い果たした。式をもっと単純な式に書き直す必要がある。

IBM1722I S	The number of error messages allowed by the MAXMSG option has been exceeded.
-------------------	---

説明

メッセージ数が MAXMSG コンパイラー・オプションで設定されている制限を超過すると、コンパイルは終了する。

IBM1723I S	Result of concatenating two literals is too long.
-------------------	--

説明

2つのストリング・リテラルを連結した結果のストリング・リテラルの長さは、派生ストリング型のリテラルの最大許容長を超えてはならない。

IBM1724I S **Addition of *source type* and *target type* is invalid.**

説明

加算に使用するオペランドの一方は計算型であり、もう一方は計算型またはロケータでなければならない。

IBM1725I S **Addition of *source type* and *target type* is invalid. If an ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

ENTRY を算術オペランドとして使用することはできない。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と 右括弧のみのものであってもよい) を指定しなければならない。

IBM1726I S **Subtraction of *target type* from *source type* is invalid.**

説明

減算の第 1 オペランドは、計算型またはロケータでなければならない。第 2 オペランドは、第 1 オペランドがロケータである場合にのみ、ロケータとすることができる。そうでない場合は、第 2 オペランドは計算型でなければならない。

IBM1727I S **Subtraction of *target type* from *source type* is invalid. If an ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

ENTRY を算術オペランドとして使用することはできない。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と 右括弧のみのものであってもよい) を指定しなければならない。

IBM1728I S **Multiplication of *source type* by *target type* is invalid.**

説明

乗算のオペランドはどちらも計算型でなければならない。

IBM1729I S **Multiplication of *source type* by *target type* is invalid. If an ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

ENTRY を算術オペランドとして使用することはできない。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と 右括弧のみのものであってもよい) を指定しなければならない。

IBM1730I S **Division of *source type* by *target type* is invalid.**

説明

除算のオペランドはどちらも計算型でなければならない。

IBM1731I S **Division of *source type* by *target type* is invalid. If an ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

ENTRY を算術オペランドとして使用することはできない。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と 右括弧のみのものであってもよい) を指定しなければならない。

IBM1732I S **Unsupported use of aggregate expression.**

説明

集合式は、代入ステートメントの中のソースとしてのみ使用できる。また、制限付きで、組み込み関数 ANY または ALL への引数としても使用できる。

IBM1733I S **Concatenate operands must have computational type.**

説明

連結できるのは、ストリング型または数字型の式だけである。

IBM1734I S **Operand in a prefix expression is not computational.**

説明

接頭演算子 (正符号、負符号、および論理否定) は、ストリング型または数字型の式にのみ適用できる。

IBM1735I S **AREA variables may not be compared.**

説明

AREA 変数については関係演算は定義できない。

IBM1736I S **Comparison of *source type* to *target type* is invalid.**

説明

計算型は他の計算型とのみ比較でき、非計算型は同様な非計算型とのみ比較できる。

IBM1737I S **Comparison of ENTRY to target type is invalid. If the ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

ENTRY は他の ENTRY とのみ比較できる。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と右括弧のみのものであってもよい) を指定しなければならない。

IBM1738I S **Comparison of source type to ENTRY is invalid. If the ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

ENTRY は他の ENTRY とのみ比較できる。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と右括弧のみのものであってもよい) を指定しなければならない。

IBM1739I S **TASK variables may not be compared.**

説明

TASK 変数について関係演算が定義されていない。

IBM1740I S **Comparison of an OFFSET to a POINTER is invalid since the OFFSET comparand is not an OFFSET variable declared with an AREA qualifier.**

説明

OFFSET を POINTER と比較できるのは、OFFSET を POINTER に変換できる場合に限られる。そのためには、OFFSET を AREA 修飾子付きで宣言する必要がある。

IBM1741I S **Operands in comparison have differing strong types.**

説明

ストロング型の変数の比較は、両方の型が同じでない限り 無効である。

```
dcl hp    handle point;
dcl hr    handle rectangle;
```

```
if hp = hr then
...
```

IBM1742I S **Compared ORDINALs must have the same ORDINAL type.**

説明

ORDINAL は ORDINAL 型が異なる他の ORDINAL と比較することはできない。

IBM1743I S **Source and target in assignment have differing strong types.**

説明

ストロング型の変数の割り当ては、両方の型が同じでない限り無効である。

IBM1744I S **Conversion of ORDINALs is invalid unless both have the same ORDINAL type.**

説明

ORDINAL は、ORDINAL 型が異なる他の ORDINAL に割り当てることができない。

IBM1745I S **In a function that returns a strong type, the type in any RETURN expression must be the same as that returned by the function.**

説明

例えば、型付き構造体を戻す関数の中の RETURN 式は同じ 構造体型のものでなければならない。

IBM1746I S **VALUE, VALUelist, VALUERANGE, and STATIC INITIAL expressions must be constant.**

説明

これらの式は、コンパイル時に定数に換算できるものでなければならない。

```
dcl a fixed bin static nonassignable
init(0);
dcl m fixed bin value( a );
dcl n fixed bin static init( a );
```

IBM1747I S **Function cannot be used before the function's descriptor list has been scanned.**

説明

これはコンパイラーの制約である。プログラム内の宣言およびブロックの順序を変える必要がある。例えば、次の宣言は逆の順序にする必要がある。

```
dcl a char( csize( x, y ) );
dcl csize entry( char(2), fixed bin )
      returns( fixed bin );
```

IBM1748I S **Extents of automatic variables must not depend on the extents of automatic variables declared later in the same block.**

説明

プログラム内の宣言の順序を変えなければならない。例えば、次の宣言は逆の順序にする必要がある。

```
dcl a char( length(b) ) auto;
dcl b char( 10 ) auto;
```

IBM1749I S **VALUE and INITIAL expressions must be scalars.**

説明

集合式は、INITIAL 式および VALUE 式としては無効である。

IBM1750I S **INITIAL attribute is invalid for the STATIC LABEL variable *variable-name* since it has the MEMBER attribute.**

説明

INITIAL 属性は、STATIC LABEL 変数がスカラーまたはスカラー配列の場合に限り STATIC LABEL 変数に対してサポートされる。

IBM1751I S **INITIAL attribute is valid for the STATIC ENTRY variable *variable-name* only if it has the LIMITED attribute.**

説明

LIMITED 属性を持たない ENTRY 変数にはブロック活動化情報が必要であるため、コンパイル時には初期化できない。

IBM1753I S **INITIAL attribute is invalid for the STATIC FORMAT variable *variable-name*.**

説明

FORMAT 変数にはブロック活動化情報が必要であるため、コンパイル時には初期化できない。この変数が構造体のメンバーでない場合、ストレージ・クラスは AUTOMATIC に変更され、代わりにエラー・メッセージが出される。

IBM1754I S **An asterisk iteration factor can be applied only to the last expression in the INITIAL item list for *variable-name*.**

説明

アスタリスク反復因数で変数の初期化が完了するので、その後にさらに初期値を続けることはできない。

```
dcl a(10) fixed bin init( 1, 2, (*) 0,
8 );
```

IBM1755I S **An asterisk iteration factor cannot be used in the nested INITIAL item list for *variable-name*.**

説明

アスタリスク反復因数は、ネストされていない INITIAL 項目 リストの中でのみ使用できる。次の例は無効である。

```
dcl a(20) fixed bin init( (2) ( 1, (*)
2 ) );
```

IBM1756I S **The scalar variable *variable-name* has an INITIAL list with more than one item.**

説明

複数のエレメントから成る INITIAL リストを持つことができるのは配列のみである。

```
dcl a fixed bin init( 1, 2 );
```

IBM1757I S **LABEL constant in STATIC INITIAL for the variable *variable-name* must be in the same block as the LABEL being initialized.**

説明

ストレージ・クラスを AUTOMATIC に変更する必要がある。

```

lx;;

subproc: proc;

    dcl la    static label init( lx );

end;

```

IBM1758I S **Only one element in the STATIC UNION *variable-name* may have the INITIAL attribute.**

説明

STATIC UNION の複数のエレメントに INITIAL 値があると、どれを優先させるかの判別ができない。

```

dcl
  1 a union static,
    2 b    fixed bin(31) init( 17 ),
    2 c    fixed bin(15) init( 19 );

```

IBM1759I S **Non-null INITIAL values are not supported for the STATIC NONCONNECTED array *variable-name* since it has the attributes UNALIGNED BIT.**

説明

継承次元を持つ STATIC UNALIGNED BIT 変数の場合にサポートされる INITIAL 値は、"b に等しいビット・ストリングだけである。

```

dcl
  1 a(10,2) static,
    2 b1 bit(1) init( (20) '1'b ),
    2 b2 bit(1) init( (20) '0'b );

```

IBM1760I S **LABEL constant in the STATIC INITIAL list for *variable-name* must not be an element of a LABEL CONSTANT array.**

説明

添え字付き LABEL を添え字なしの LABEL で置き換えるか、ストレージ・クラスを AUTOMATIC に変更する必要がある。

```

lx(1)::;
lx(2)::;

dcl la(2) static label init( lx(2),
lx(1) );

```

IBM1761I S **ENTRY reference in INITIAL clause for the STATIC ENTRY variable *variable-name* must not be FETCHABLE.**

説明

DCL x ENTRY LIMITED INIT(y) の中の変数 y は FETCHABLE であってはならない。y は FETCH や RELEASE ステートメントで使用してはならない。y は OPTIONS(FETCHABLE) 属性を持っていてはならない。

IBM1762I S **INITIAL iteration factor must have computational type.**

説明

INITIAL リストの中の反復因数は、数字型またはストリング型でなければならない。

IBM1763I S **INITIAL iteration factor must be a scalar.**

説明

INITIAL リスト内の反復因数は、配列、構造体、または共用体であってはならない。

IBM1764I S **The BYVALUE attribute is invalid for strings of nonconstant length.**

説明

非固定長のストリングはアドレスにより受け渡ししなければならない。

```

a: proc( x );
    dcl x char(*) byvalue;

```

IBM1765I S **Length of string with the VALUE attribute must be a constant or an asterisk.**

説明

示されているストリングは、固定長か、またはそれぞれの VALUE により決定される長さのものでなければならない。

```

dcl a fixed bin automatic;
dcl s char(a) value('variable length');

```

IBM1766I S **VALUE for *variable-name* must be evaluated before its first use.**

説明

名前付き定数は、使用の前に評価されなければならない。宣言の順序を変えて、個々の名前付き定数が、それぞれの最初の使用の前に宣言されるようにする。

```
dcl a char(n) static init( 'tooSoon' );
dcl n fixed bin value( 7 );
```

IBM1767I S **Control variable in DO statement must not be a named constant.**

説明

名前付き定数は、DO ループ内の制御変数として使用することはできない。

```
dcl n fixed bin value( 7 );

do n = 1 to 5;
```

IBM1768I S **Control variable in DO statement must have VARIABLE attribute.**

説明

定数は、DO ループ内の制御変数として使用することはできない。

```
dcl ex external entry, (ev1, ev2) entry;

do ex = ev1, ev2;
```

IBM1769I S **Control variable has type POINTER, but TO expression does not.**

説明

DO ループ内の制御変数が POINTER 型である場合は、TO 式は POINTER 型でなければならない。このコンテキストでは、OFFSET から POINTER への暗黙の変換はサポートされない。

IBM1770I S **Control variable in loop with TO clause must have computational or locator type.**

説明

TO 文節を伴う DO ループの中では、制御変数は、「より小」または「より大」の比較が可能な型のものでなければならない。これが可能なのは、計算型とロケータ型だけである。

IBM1771I S **The variable name BUILTIN function may be used as a pseudovalue in a DO-loop only if the length of the pseudovalue reference is known at compile time.**

説明

SUBSTR および UNSPEC を DO ループ内の疑似変数として使用できるのは、コンパイル時にそれぞれの派生長が判明している場合に限られる。

IBM1772I S **Source in DO loop initialization must be scalar.**

説明

DO a = b TO c の形式の DO ループでは、b はスカラーでなければならない。

IBM1773I S **Control variable in DO statement must be a scalar.**

説明

DO x = .. の形式の DO ループでは、x はスカラーでなければならない。

IBM1774I S **Compiler restriction: control variable in DO statement must not be a BASED or CONTROLLED string or area that has non-constant extent.**

説明

DO x = .. の形式の DO ループでは、x がストリングまたはエリアである場合は、x は固定サイズであるか、静的、自動、または定義済みでなければならない。

IBM1775I S **BY expression must have computational type.**

説明

DO ループの BY 文節内の式は、ストリング型または数値型でなければならない。この式はゼロと比較できるものでなければならないので、ロケータ型であってはならない。

IBM1776I S **BY expression must not be COMPLEX.**

説明

DO ループの BY 文節内の式は、REAL でなければならない。

```
dcl z cplx float;

do jx = 1 to 10 by z;
```

IBM1777I S **TO expression must not be COMPLEX.**

説明

DO ループの TO 文節内の式は、REAL でなければならない。

```
dcl z cplx float;

do jx = 1 to z;
```

IBM1778I S **Control variable in loop with TO clause must not be COMPLEX.**

説明

TO 文節を伴う DO ループの中では、制御変数は、「より小」または「より大」の比較が可能な型のものでなければならない。数値型の場合、これが可能なのはその数値型が REAL の場合に限られる。

IBM1779I S **TO expression must have computational type.**

説明

DO ループの TO 文節内の式は、ストリング型または数値型でなければならない。

IBM1780I S **SIGNAL ANYCONDITION is invalid.**

説明

ON ANYCONDITION は、他の方法ではトラップされない条件をトラップするために使用できるが、ANYCONDITION シグナルは送信できない。

IBM1781I S **And, or and exclusive-or of source type and target type is invalid.**

説明

ビット単位オペランドは計算型のものでなければならない。

IBM1782I S **And, or and exclusive-or of source type and target type is invalid. If an ENTRY should be invoked, an argument list must be provided.**

説明

ENTRY をビット単位オペランドとして使用することはできない。ENTRY が、呼び出すべき関数である場合は、引数リスト (左括弧と 右括弧のみのものであってもよい) を指定しなければならない。

IBM1783I S **BASED variable without an implicit qualifier must be explicitly qualified.**

説明

BASED(reference) ではなく BASED として宣言される変数は、常に明示的に修飾されていなければならない。変数が STORAGE などの組み込み関数への引数である場合も、この条件が満たされていないなければならない。

IBM1784I S **The ENTRY *variable-name* may not be used as a locator qualifier since it does not have the RETURNS attribute.**

説明

関数は、ロケータ修飾子として (そして、ロケータを戻す場合に限り) 使用できるが、サブプロシージャーはロケータ修飾子としては使用できない。

IBM1785I S **The variable *variable-name* is used as a locator qualifier, but it is not a scalar.**

説明

ロケータ修飾子として使用できるのはスカラーだけである。

IBM1786I S **BUILTIN name built-in may not be used as a locator qualifier.**

説明

示されている組み込み関数は、POINTER を戻さないの で、ロケータ修飾子としては使用できない。

IBM1787I S **The ENTRY *variable-name* may not be used as a locator qualifier.**

説明

x (...) -> y は、x が修飾 AREA を指定して宣言された POINTER または OFFSET を戻さない限り無効である。

IBM1789I S **The qualifier *variable-name* does not have locator type.**

説明

ローケータ修飾子として使用できるのは、修飾 AREA を伴って宣言された POINTER および OFFSET だけである。

IBM1790I S **Locator qualification is invalid for *variable-name*.**

説明

ローケータ修飾子は BASED 変数の場合のみ有効である。

IBM1791I S **The locator qualified reference *reference name* is ambiguous.**

説明

参照はすべてあいまいでないものでなければならない。

IBM1792I S **The locator qualified reference *reference name* is unknown.**

説明

ローケータで修飾された参照は明示宣言しておかなければならない。BASED 変数は暗黙的には宣言できない。

IBM1793I S **The *variable name* BUILTIN function may not be used as a pseudovalue in a DO-loop.**

説明

DO ループ内で疑似変数として使用できるのは、IMAG、REAL、SUBSTR、および UNSPEC だけである。

IBM1794I S **Too many implicit locators are needed to resolve the qualification for a variable. Variable may be based on itself.**

説明

暗黙的に修飾される変数は、完全に修飾するために 15 個を超える修飾子を必要とするものであってはならない。15 個を超える修飾子が必要な場合は、修飾子間の相互依存関係が強すぎることを意味する。

```
dcl a pointer based(b);
dcl b pointer based(a);
a = null();
```

IBM1795I S **The OFFSET variable *variable-name* may not be used as a locator qualifier since it was not declared with an AREA specification.**

説明

OFFSET 変数をローケータ修飾子として使用できるのは、ポインター値に変換できる場合に限られる。そのためには、OFFSET を AREA 修飾付きで宣言する必要がある。

IBM1796I S **Qualifier must be a scalar.**

説明

配列、構造体、および共用体は、ローケータ修飾子として使用することはできない。

IBM1797I S **BASED variables may not contain extents with nonconstant values if other extents use the REFER option.**

説明

REFER オプションは、同じく非定数式により設定されるエクステントを持つ BASED 変数の中で使用することとはできない。

IBM1798I S **Invalid scale factor in PICTURE specification.**

説明

ピクチャー文字 F は、固定小数点 10 進数のピクチャー位取り係数を指定する。V ピクチャー文字の後に続く数字の数から、F に指定されている整数を引いた値は、-128 から 127 の範囲内になければならない。

IBM1799I S **Invalid characters in PICTURE specification.**

説明

ピクチャー指定に含めることができるのは、文字データの場合は A X 9、文字データの場合は 9 V Z *、数値データの場合は、./B S +-\$CR DB Y K E F <> のみである。挿入文字 <> の間の文字は、この規則の影響を受けません。

IBM1800I S **Invalid characters in the F scaling factor.**

説明

ピクチャー文字 F は、固定小数点 10 進数のピクチャー位取り係数を指定する。フォーマットは F(n) で、n は -128 から 127 の範囲の任意の符号付き整数である。

IBM1801I S **A character PICTURE string may have only A, X, or 9.**

説明

ピクチャー指定に使用できるのは、文字データの場合には A、X、または 9 のみである。その他の文字は使用できない。

IBM1802I S	Invalid precision in PICTURE fixed decimal precision.
-------------------	--

説明

数値データ・ピクチャー指定の中の精度フィールドの桁数は、1 から、LIMITS(FIXEDDEC) オプションで指定されている最大値までの範囲内でなければならない。

IBM1803I S	Too many T, I, or R appear in the PICTURE specification.
-------------------	---

説明

T、I、または R は、ピクチャー指定の中のオーバーパンチ文字である。固定小数点数の指定に含めることができるオーバーパンチ文字は 1 つだけである。浮動小数点指定には、2 つ含めることができる (1 つは仮数フィールドの中、1 つは指数フィールドの中)。

IBM1804I S	PICTURE specifications in C-format items must be arithmetic.
-------------------	---

説明

C フォーマット項目の中では PICTURE 指定は使用できない。

IBM1805I S	Precision in numeric PICTURE must NOT be less than 1.
-------------------	--

説明

数値データ・ピクチャー指定の中の精度フィールドには、少なくとも 1 個の数字が含まれていなければならない。

IBM1806I S	The precision in FIXED DECIMAL PICTURE is too big.
-------------------	---

説明

固定小数点数ピクチャー指定の中の精度は、LIMITS コンパイラー・オプションに指定されている数を超えてはならない。

IBM1807I S	Precision in FLOAT DECIMAL PICTURE is too big.
-------------------	---

説明

浮動小数点数ピクチャー指定の中の精度は、ハードウェアにより 18 桁に制限される。

IBM1808I S	PICTURE string is empty.
-------------------	---------------------------------

説明

ヌル・ピクチャー・ストリング ("P) は無効である。

IBM1809I S	Exponent in FLOAT PICTURE is too long. Exponent will be truncated to fit.
-------------------	--

説明

浮動小数点数ピクチャー指定の中の指数の桁数は 4 に制限されている。

IBM1810I S	Exponent in FLOAT PICTURE has no digits.
-------------------	---

説明

浮動小数点数ピクチャー指定の中の指数が欠落している。ゼロの場合でも入力しなければならない。

IBM1811I S	Exponent in PICTURE specification cannot contain V.
-------------------	--

説明

V は暗黙の小数点を指定する。したがって、指数フィールドの中では使用できない。

IBM1812I S	FLOAT PICTURE cannot contain CR, DB or F.
-------------------	--

説明

クレジット (CR)、デビット (DB)、およびスケール因数 (F) は FIXED ピクチャー指定の中でのみ使用できる。

IBM1813I S	PICTURE specification is too long. Excess characters are truncated on the right.
-------------------	---

説明

ピクチャー指定の長さに対するコンパイラーの制約は、次のとおりである。

```
fixed decimal: 254
float decimal: 253
character data: 511
```

IBM1814I S	PICTURE string has an invalid floating insertion character string.
-------------------	---

説明

浮動挿入ストリングは <> で区切られます。浮動は > 文字で行われる。ストリングには、区切り文字自体を除くどの文字でも含めることができる。文字 <および> を浮動挿入ストリングに含めるには、これらの不等号括弧をエスケープ形式で使用する必要がある。文字 < を

指定するには << を使用し、文字 > を指定するには <> を使用する必要がある。例えば、< aaa << <aaa<<bbb<> <> ccc> は挿入文字列 aaa < <bbb>> ccc を示す。

IBM1815I S ***BUILTIN*** name is a built-in subroutine. It should be used only in CALL statements and not as a function.

説明

組み込みサブルーチン関数として使用できない。呼び出すことしかできない。例えば、次のコードは無効である。

```
decl pliretc builtin;

rc = pliretc( 16 );
```

IBM1816I S *keyword* item variable name is not computational.

説明

式は算術または文字列でなければならない。

```
decl x label variable;
put list( x );
```

IBM1817I S The KEYTO reference must be of type CHARACTER or GRAPHIC.

説明

KEYTO 参照のデータ型は文字またはグラフィックでなければならない。参照は、非数値ピクチャー・文字列指定を持つ変数でもよい。

IBM1818I S *I/O-option* conflicts with previous options on the *I/O-stmt* statement.

説明

入出力ステートメント上のオプションの 1 つが前のオプションと矛盾している。

```
open file(f1) input output;
read file(f) into(x) set(p);
```

IBM1819I S The *I/O-option* option is multiply specified on the *I/O-stmt* statement.

説明

各オプションはそれぞれ 1 回だけ指定できる。

```
read file(f1) ignore(1) ignore(2);
```

IBM1820I S Mandatory *I/O-option* option not specified on the *I/O-stmt* statement.

説明

必須のステートメント・エレメントが指定されていない。

```
open output;
write file(x);
```

IBM1821I S Reference for *from-into-option* is an invalid element or aggregate type.

説明

レコード入出力ステートメント内の FROM 文節 または INTO 文節に、無効なスカラー参照または集合参照が指定されている。このメッセージは、例えば次のような場合に出される。

```
decl f1 file;
read file(f1) into(f1);
```

IBM1822I S The *keyword-type* expression must be computational.

説明

レコード入出力ステートメント・オプション KEY または KEYFROM の中の式は、計算型データでなければならない。

IBM1823I S SET reference must have locator type.

説明

ALLOCATE または LOCATE ステートメントの SET 文節の中の参照は、POINTER 型または OFFSET 型でなければならない。

IBM1824I S *keyword* expression must be scalar.

説明

示されているキーワード文節内の式はスカラーでなければならない。このキーワード文節として使用できるのは、IF、UNTIL、WHILE、WHEN、KEY、KEYFROM、または KEYTO 文節でなければならない。

```
decl f1 file;
```

```

dcl x      char(10);
dcl z(10) char(10);
read file(f1) into(x) key(z);

```

IBM1825I S **The reference in the *keyword* clause cannot be a built-in function reference.**

説明

レコード入出力オプション KEYTO、FROM、INTO、および SET に対する参照は、組み込み関数であってはならない。このメッセージは、例えば次のような場合に出される。

```

dcl f1     file;
dcl x      char(10);
read file(f1) into(hex(x));

```

IBM1826I S **The reference in the *keyword* clause cannot be a function invocation.**

説明

レコード入出力オプション KEYTO、FROM、INTO、および SET に対する参照は、エンタリーであってはならない。

IBM1827I S **The reference in the *keyword* clause must have CHARACTER type.**

説明

指定された参照は無効である。これは文字型のものでなければならない。このメッセージは、例えば次のような場合に出される。

```

dcl p      pointer;
display ('what is your name?') reply(p);

```

IBM1828I S **The reference in the *keyword* clause must be a scalar variable.**

説明

指定された参照は無効である。これはスカラーでなければならない。このメッセージは、例えば次のような場合に出される。

```

dcl z(10) char(10);
display ('what is your name?') reply(z);

```

IBM1829I S **The attributes of the argument in the *clause* clause conflict with its usage.**

説明

宣言された属性は、ステートメント内での用途と矛盾している。

```

dcl f file stream;
read file(f) into(x);

```

IBM1830I S ***keyword* expression is not computational.**

説明

式は算術またはストリングでなければならない。

```

dcl p pointer;
put list( ptradd(p,2) );

```

IBM1831I S **The LOCATE reference *variable-name* is not implicitly qualified and is invalid without a SET clause.**

説明

LOCATE ステートメントの中に SET 文節を指定する必要がある。

```

dcl f file;
dcl x char(10) based;
locate x file(f1);

```

IBM1832I S **SET reference must have POINTER type.**

説明

FETCH ステートメントの SET 文節内の参照は POINTER 型でなければならない。このコンテキストでは OFFSET 型はサポートされていない。

IBM1833I S **The aggregate reference in the *from-into* clause must be CONNECTED.**

説明

レコード入出力ステートメント・オプション FROM または INTO で指定されている参照が無効である。参照は接続されていなければならない。このメッセージは、例えば次のような場合に出される。

```

dcl f1 file;
dcl 1 a(3),
    2 b(4) char(4),
    2 c(4) char(4);

read file(f1) into(b);

```

IBM1834I S The expression in IGNORE must be computational.

説明

READ ステートメントの IGNORE オプション内で指定される式は計算型でなければならない。このメッセージは、例えば次のような場合に出される。

```
dcl a area;
read file(f1) ignore(a);
```

IBM1835I S The LOCATE reference *variable-name* is not a level-1 BASED variable.

説明

LOCATE 参照は構造体メンバーであってはならず、ストレージ属性 BASED を持っていなければならない。

IBM1836I S INITIAL attribute is invalid for structures.

説明

INITIAL 属性は、スカラーまたはスカラーの配列の場合にのみ有効である。

IBM1837I S The reference in the *keyword* clause cannot be a named constant.

説明

指定された参照は無効である。これは名前付き定数であってはならない。このメッセージは、例えば次のような場合に出される。

```
dcl f1 file;
dcl x char(2);
dcl val fixed bin(15) value(4);

read file(f1) into(x) keyto(val);
```

IBM1838I S The attributes of *argument-number* conflict with its usage in data directed I/O.

説明

データ・ディレクティブ入出力の中でサポートされるのは、AUTOMATIC、CONTROLLED、PARAMETER、STATIC、および暗黙的に修飾された BASED 変数だけである。

```
dcl q based;
put data(q);
```

IBM1839I S DATA-directed I/O does not support references with locators.

説明

一時変数を使用するか、LIST または EDIT ディレクティブ入出力を使用する必要がある。

IBM1840I S Subscripted references are not allowed in GET DATA.

説明

一時変数を使用するか、GET LIST または GET EDIT を使用する必要がある。

IBM1841I S The first argument in the *keyword* -format item is invalid.

説明

フォーマット引数が有効な範囲外にある。

```
put edit('hi') (a( -1) );
```

IBM1842I S The field width specified in the *keyword* -format item is too small for complete input or output of the data item.

説明

指定された幅が小さいため処理を完了できない。

```
put edit(10190) (f(3));
```

IBM1843I S The fractional digits specified in the *keyword* -format item is invalid.

説明

小数桁数は、フィールド幅以下の負ではない値でなければならない。

IBM1844I S The argument in the R-format item is not a format constant or format variable.

説明

R フォーマット項目への引数は、フォーマット定数またはフォーマット変数でなければならない。

IBM1845I S The significant digits specified in E-format item is invalid.

説明

有効数字の桁数は、小数桁数以上、かつフィールド幅以下で、負ではない値でなければならない。

IBM1846I S **The *format-item* format item is invalid with GET/PUT STRING.**

説明

G、L、PAGE、LINE、SKIP、および COLUMN フォーマット項目は、STRING オプションを使用する GET/PUT EDIT ステートメント内で使用することはできない。

IBM1847I S **GOTO target is inside a (different) DO loop.**

説明

GOTO のターゲットは DO ループの中にあってはならない。ただし、GOTO 自身が DO ループ内にある場合を除く。

IBM1848I S **The INCLUDE file for *include-stmt-arg* could not be found.**

説明

INCLUDE ファイルが見つからないかオープンできない。

IBM1849I S **Under CMPAT(V1), bounds must not be greater than 32767.**

説明

CMPAT(V1) のもとでは、境界は -32768 から 32767 の範囲内になければならない。この範囲外の境界を使用するには、別の CMPAT オプションを指定する。

IBM1850I S **Under CMPAT(V1), bounds must not be less than -32768.**

説明

CMPAT(V1) のもとでは、境界は -32768 から 32767 の範囲内になければならない。この範囲外の境界を使用するには、別の CMPAT オプションを指定する。

IBM1851I S **The INCLUDE file *include-file-name* could not be opened.**

説明

インクルード・ソース・ファイルをオープンしようとしたときに予期しないエラーが起きた。

IBM1852I S **The preprocessor *preprocessor* is not known to the compiler.**

説明

PP コンパイラー・オプションで不明なプリプロセッサが指定されている。

IBM1853I S **Variable in *statement* statement must be a FETCHABLE entry constant.**

説明

FETCH および RELEASE ステートメント内の引数は、FETCHABLE 入り口定数でなければならない。

IBM1854I S **Fetch of the *PP name* preprocessor failed with ONCODE= *oncode*.**

説明

コンパイラーは、プリプロセッサ用の PP-DEF インストール・オプションで指定されているモジュールをロードしようとした。

IBM1855I S **Preprocessor *PP name* terminated abnormally with ONCODE= *oncode-value*.**

説明

コンパイラーが呼び出したプリプロセッサの中で終了エラーが検出された。

IBM1856I S **Fetch of the user exit initialization routine failed with ONCODE= *oncode*.**

説明

コンパイラーは、ユーザー出口をロードできなかった。

IBM1857I S **User exit routine terminated abnormally with ONCODE= *oncode-value*.**

説明

コンパイラーは、ユーザー出口の中に終了エラーを検出した。

IBM1858I S **Compilation aborted by user exit.**

説明

ユーザー出口で、戻りコードが 16 に設定されてコンパイルが打ち切られた。

IBM1859I S **The first statement must be a PROCEDURE or PACKAGE statement.**

説明

他のすべてのステートメントは、PACKAGE または PROCEDURE ステートメントに囲まれていなければならない。

IBM1860I S	PACKAGE statement must be the first statement in the program.
-------------------	--

説明

PACKAGE ステートメントをプログラム内の他のステートメントのあとに置くことはできない。

IBM1861I S	All statements other than DECLARE, DEFAULT and PROCEDURE statements must be contained inside a PROCEDURE.
-------------------	--

説明

このメッセージが生じるのは、例えば、最初の PROCEDURE ステートメントが無効な場合や、PROCEDURE に含まれている END ステートメントが多すぎる場合である。

IBM1862I S	Statements are nested too deep.
-------------------	--

説明

PROCEDURE、DO、SELECT、および類似のステートメントのネスト数が、コンパイラーでサポートされている数より多い。もっと単純になるようにプログラムを書き直す必要がある。

IBM1863I S	Variables declared in a PACKAGE outside of any PROCEDURE must have the storage class STATIC, BASED or CONTROLLED or must be DEFINED on STATIC.
-------------------	---

説明

AUTOMATIC 変数は PROCEDURE の中で宣言されなければならない。PROCEDURE の外部で宣言される DEFINED 変数は STATIC 上で定義されなければならない。

IBM1864I S	The function name built-in is not supported.
-------------------	---

説明

示されている組み込み関数に対するサポートは中止された。

IBM1865I S	The only BASED variables supported in data-directed i/o are those that have constant extents and that are implicitly qualified by simple variables.
-------------------	--

説明

BASED 変数を暗黙に修飾する変数は、配列、構造体、または共用体の一部ではないスカラーでなければならない。AUTOMATIC または STATIC ストレージ属性のいずれかを持つ POINTER なければならない。

IBM1866I S	The keyword statement is not supported.
-------------------	--

説明

示されているステートメントに対するサポートは中止された。

IBM1867I S	The pseudovalue variable name is not supported.
-------------------	--

説明

示されている疑似変数に対するサポートは中止された。

IBM1868I S	Invalid use of iSUB.
-------------------	-----------------------------

説明

iSUB 参照は DEFINED 文節内でだけ許される。

IBM1869I S	ALLOCATE with attribute lists is not supported.
-------------------	--

説明

例えば、下記はどちらもサポートされていない。

```
allocate x(5);
allocate y char(10);
```

IBM1870I S	ON statement cannot specify both SYSTEM and an ON-unit.
-------------------	--

説明

ON ステートメントで SYSTEM 処置が指定されている場合は、同時に ON ユニットも指定することはできない。

IBM1871I S	The reference in the CONDITION condition must have type CONDITION.
-------------------	---

説明

CONDITION(x) の x が、CONDITION 型を持たない変数を参照している。

IBM1872I S The reference in the *condition-name* condition must have type FILE.

説明

示されている FILE 条件内の参照の型が FILE ではない。

IBM1873I S Nesting of DO statements exceeds the maximum.

説明

DO ステートメントの最大ネスト深度は 50 である。プログラムを単純化する必要がある。

IBM1874I S Nesting of IF statements exceeds the maximum.

説明

IF ステートメントの最大ネスト深度は 50 である。プログラムを単純化する必要がある。

IBM1875I S Nesting of SELECT statements exceeds the maximum.

説明

SELECT ステートメントの最大ネスト深度は 50 である。プログラムを単純化する必要がある。

IBM1876I S Nesting of blocks exceeds the maximum.

説明

ブロックの最大ネスト深度は 30 である。

IBM1878I S The reference in the EVENT clause must have type EVENT.

説明

他の型の参照は無効である。

IBM1879I S The reference in the TASK clause must have type TASK.

説明

他の型の参照は無効である。

IBM1880I S Reference must have FILE type.

説明

ファイル変数または定数が必要である。

```
dcl x format variable;  
open file(x);
```

IBM1881I S The reference *reference name* is ambiguous.

説明

参照を固有なものにするには十分な修飾を与えなければならない。

IBM1882I S The ALLOCATE reference *variable-name* is not a level-1 BASED or CONTROLLED variable.

説明

ALLOCATE ステートメントの中の参照はレベル 1 の変数名でなければならない、これらの変数は BASED または CONTROLLED 属性を持っていないなければならない。

IBM1883I S The ALLOCATE reference *variable-name* is not implicitly qualified and is invalid without a SET clause.

説明

ALLOCATE ステートメント内で SET 文節を指定する必要がある。

```
dcl a based;  
  
allocate a;
```

IBM1884I S The reference *variable-name* in the GENERIC attribute list is not a scalar ENTRY reference.

説明

他の型の参照は無効である。

IBM1885I S IN option reference must have AREA type.

説明

他の型の参照は無効である。

IBM1886I S The REFER object name *reference name* is ambiguous.

説明

名前を固有にするために、十分な修飾を与える必要がある。

```

dcl
  1 a based,
    2 b1,
      3 c      bit(8) aligned,
      3 d      char(10),
    2 b2,
      3 c      bit(8) aligned,
      3 d      char(10),
    2 e( n refer(c)) char(10);

```

IBM1887I S **The REFER object *reference name* must be an element of the same structure where it is used, and must precede its first usage in that structure.**

説明

示されている REFER オブジェクトは、別の構造体内で宣言することはできず、また、最初の使用の後には同じ構造体内でも宣言できない。

IBM1888I S **The REFER object *reference name* must have computational type.**

説明

REFER オブジェクトを REAL FIXED BIN(31,0) に、またその逆に、安全に変換できることが必要である。

```

dcl
  1 a based,
    2 b,
      3 c      pointer,
      3 d      char(10),
    2 e( n refer(c)) char(10);

```

IBM1889I S **The REFER object *reference name* must be a scalar.**

説明

REFER オブジェクトは、自身の宣言の中にも、その親の中にも次元を持つことはできない。

```

dcl
  1 a based,
    2 b(8),
      3 c      fixed bin,
      3 d      char(10),
    2 e( n refer(c)) char(10);

```

IBM1890I S **The REFER object *reference name* must precede the first level-2 element containing a REFER.**

説明

宣言中のエレメントの順序を変更して、すべての REFER オブジェクトが、REFER を含む最初のレベル 2 のエレメントより前にくるようにする必要がある。

```

dcl
  1 a based,
    2 b      fixed bin,
    2 c      char( n refer(b) ),
    2 d      fixed bin,
    2 e      char( n refer(d) );

```

IBM1891I S **REFER is not allowed on non-BASED variables.**

説明

REFER は BASED 変数の宣言の中でのみ使用できる。

IBM1892I S **The REFER object *reference name* must have constant length.**

説明

REFER オブジェクトがストリングである場合は、固定長でなければならない。

IBM1893I S **REFER is allowed only on members of structures and unions.**

説明

REFER はスカラーまたはスカラーの配列の宣言の中のみでは使用できない。

IBM1894I S **REINIT references must not be subscripted.**

説明

ステートメント REINIT x の中の x は添え字も引数も持つことはできない。

IBM1895I S **Operations involving OPTIONS(*language-name*) routines are not supported if the DIRECTED option applies.**

説明

DIRECTED(ASM) オプションを使用する場合は、OPTIONS(ASM) を伴って宣言された ENTRY については比較および割り当てはサポートされていない。同様に、DIRECTED(COBOL) オプションを使用する場合は、OPTIONS(COBOL) を伴って宣言された ENTRY については比較および割り当てはサポートされていない。

IBM1896I S **OPTIONS(*language-name*) is not supported for ENTRY VARIABLES if the DIRECTED option applies.**

説明

DIRECTED(ASM) オプションを使用する場合は、OPTIONS(ASM) を伴う ENTRY VARIABLES を宣言することはできない。同様に、DIRECTED(COBOL) オプションを使用する場合は、OPTIONS(COBOL) を伴う ENTRY VARIABLES を宣言することはできない。

IBM1897I S **Simple defining is supported only for scalars, for structures with constant extents matching those in the base variable, and for arrays of such scalars and structures as long as the array is not based on a controlled variable.**

説明

単純定義を意図していない場合は、POSITION(1) を指定して強制的にストリング定義を行う必要がある。

IBM1898I S **The base reference in the DEFINED attribute cannot be a built-in or type function.**

説明

変数は他のユーザー変数としてのみ定義できる。

IBM1899I S **The base variable in the DEFINED attribute cannot be BASED, DEFINED or CONSTANT.**

説明

DEFINED およびベース変数を UNION に変換する。

IBM1900I S **Extents for DEFINED bit structures must be constant.**

説明

ビット・ストリングからなる DEFINED 構造体および共用体のすべての境界およびストリング長は、定数でなければならない。

IBM1901I S **POSITION attribute is invalid without the DEFINED attribute.**

説明

DEFINED 属性のない POSITION 属性は意味を持たない。

IBM1902I S **The expression in the POSITION attribute must have computational type.**

説明

POSITION 式は、数値型またはストリング型でなければならない。

IBM1903I S **The expression in the POSITION attribute for bit string-overlay defining must be an integer constant.**

説明

コンパイラーは、POSITION 属性をスキャンするときに、式を整数定数に評価できなければならない。

IBM1904I S **Variable following the *free* clause must be level-1 and either BASED or CONTROLLED.**

説明

FREE キーワードの直後には基底付き変数または被制御変数がなければならない。

IBM1905I S ***IN* or *SET* option option invalid after the CONTROLLED variable in the *ALLOCATE* or *FREE* clause clause.**

説明

ALLOCATE または FREE ステートメントの中の被制御変数の直後に無効なオプションがある。

IBM1906I S **The reference qualifying an OFFSET attribute must be a scalar AREA reference.**

説明

示されている AREA 参照を使用して OFFSET 変数を修飾するのは無効である。参照はスカラーでなければならない。次の例のような場合はこのメッセージが出される。

```
decl a(10) area;
decl o      offset(a);
```

IBM1907I S **Extents for CONTROLLED variables cannot be specified using asterisks or REFER.**

説明

被制御変数について指定されているエクステントが無効である。次の例のような場合はこのメッセージが出される。

```
dcl c(*) char(10) controlled;
```

IBM1908I S **Extents for *attribute* variables cannot be specified using asterisks or REFER.**

説明

AUTOMATIC 変数および DEFINED 変数のエクステントは、式により指定しなければならない。

IBM1909I S **The *attribute* attribute conflicts with the *attribute* attribute.**

説明

示されている属性 (例えば PARAMETER と INITIAL) は、同時には指定できない。

IBM1910I S **The attributes given in the declaration for *identifier* conflict with its use as a parameter.**

説明

パラメーターは CONTROLLED 以外のストレージ属性を持つことはできない。また、パラメーターは、BUILTIN、CONDITION、CONSTANT、EXTERNAL、および GENERIC のいずれの属性も持つことはできない。

IBM1911I S **Repeated specifications of the unsubscripted statement label *character* are in error.**

説明

ブロック内ではすべてのステートメント・ラベルは、固有のものでなければならない。

IBM1912I S **Indices specified for the LABEL *character* have already been specified.**

説明

ブロック内ではすべてのステートメント・ラベルは、固有のものでなければならない。

IBM1913I S **ON-units may not be labeled. All such labels will be ignored.**

説明

ON 文節に関連した BEGIN ブロックまたはステートメントは、ラベルを持つことはできない。

IBM1914I S **GOTO target must be a LABEL reference.**

説明

GOTO x の x は LABEL 型でなければならない。x の型は FORMAT であってはならない。

IBM1915I S **GOTO target must be a scalar.**

説明

GOTO x の x は配列であってはならない。

IBM1916I S **The procedure/entry *proc-name* has already been defined.**

説明

姉妹プロシージャは、同じ名前を持つことはできない。

```
a: proc;  
  b: proc;  
  end;  
  b: proc;  
  end;  
end;
```

IBM1917I S **Program contains no valid source lines.**

説明

ソースにまったくステートメントが含まれていないか、または含まれているステートメントがすべて無効である。

IBM1918I S **All the names in the ORDINAL *ordinal-name* have been previously declared.**

説明

ORDINAL 内のどの名前も別のところで宣言されてはならない。既に宣言されている場合は、ORDINAL 定義が誤って反復されたものと考えられる。

IBM1919I S **The EXTERNAL name *string* is specified for the differing names *name* and *name*.**

説明

各 EXTERNAL 名は 1 回しか使用できない。したがって、例えば次の宣言は、2 つの異なる名前 X および Y について外部名 Z を指定しているので、無効である。

```
dc1 X fixed bin(31) ext('Z');  
dc1 Y fixed bin(31) ext('Z');
```

IBM1920I S **FIXED BINARY constant contains too many digits.**

説明

FIXED BINARY 定数の最大精度は、LIMITS コンパイラー・オプションの FIXEDBIN サブオプションで設定する。

IBM1921I S **FIXED DECIMAL constant contains too many significant digits.**

説明

FIXED DECIMAL 定数の最大精度は、LIMITS コンパイラー・オプションの FIXEDDEC サブオプションで設定する。

IBM1922I S **Exponent in FLOAT BINARY constant contains more digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT BINARY 定数の指数に 5 桁を超える値を含めることはできない。

IBM1923I S **Mantissa in FLOAT BINARY constant contains more significant digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT BINARY 定数の仮数に 64 桁を超える値を含めることはできない。

IBM1924I S **Exponent in FLOAT DECIMAL constant contains more digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT BINARY 定数の指数に 4 桁を超える値を含めることはできない。

IBM1925I S **Mantissa in FLOAT DECIMAL constant contains more significant digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT DECIMAL 定数の小数部に、プラットフォームで許可されている桁の最大数を超える値を含めることはできない。

IBM1926I S **Constants must not exceed 8192 bytes.**

説明

プログラム内で定数を表すために使用するバイト数は、8192 を超えてはならない。この制限は、内部表記が外部表記の 8 分の 1 のバイト数しか消費しないビット・ストリングにも適用される。

IBM1927I S **SIZE condition raised by attempt to convert *source-value* to *target-attributes***

説明

ソース値がターゲットのドメイン内にない。

```
dc1 x fixed bin(15);  
x = 172900;
```

IBM1928I S **ERROR raised while building CEEUOPT from PLIXOPT.**

説明

コンパイラーが PLIXOPT から CEEUOPT を作成する際に、ERROR 条件が発生した。コンパイラーによって使用されている LE API にエラーが生じた可能性がある。IBM サービスに連絡してください。

IBM1929I S **Unable to open file *file-name* in routine *proc-name* (*line-number*).**

説明

コンパイラーは、コード生成モジュールとの通信に使用する一時ファイルをオープンできなかった。TMP 環境変数の値を検査する必要がある。

IBM1930I S **Unable to write to file *file-name* . Disk may be full.**

説明

コンパイラーは、コード生成モジュールとの通信に使用する一時ファイルに書き込むことができなかった。TMP 環境変数が指しているディスクがいっぱいになっている可能性がある。

IBM1932I S **Unable to close file *file-name* in routine *proc-name* (*line-number*).**

説明

コンパイラーは、コード生成モジュールとの通信に使用する、示されている一時ファイルをクローズできなかった。TMP 環境変数の値を検査する必要がある。

IBM1933I S	Unable to open temporary files because the path and filename are too long.
-------------------	---

説明

TMP 変数が指すソース・ファイルまたはディレクトリの名前を短くする必要がある。

IBM1934I S	If a parameter is a structure with nonconstant extents, only matching structures are supported as arguments.
-------------------	---

説明

構造体を一時変数に割り当ててその一時変数を渡すか、エントリー宣言内のパラメーター記述を省略する。

IBM1935I S	Structure expressions as arguments are not supported for undescribed parameters.
-------------------	---

説明

構造体を一時変数に割り当ててその一時変数を渡すか、エントリー宣言内でパラメーターを記述する。

IBM1936I S	Invocation of compiler backend ended abnormally.
-------------------	---

説明

コンパイラーのバックエンドが見つからなかったか、回復不能のエラーを検出した。後者の問題は、Intel の場合はディスクのフリー・スペース不足、z/Series の場合はジョブの領域サイズ不足が原因で生じることがある。そうでない場合は、IBM に問題を報告してください。

IBM1937I S	Extents for parameters must be asterisks or restricted expressions with computational type.
-------------------	--

説明

パラメーターについては、各配列境界、ストリング長、および AREA サイズは、アスタリスクで指定するか、または計算型の制限付き式で指定しなければならない。

IBM1938I S	Message file <i>file name</i> not found.
-------------------	---

説明

メッセージは、現行ディレクトリーの中、または、DPATH 環境変数が指すディレクトリーのどれかの中になければならない。

IBM1939I S	Exponentiation operands must have computational type.
-------------------	--

説明

指数のオペランドは数値型またはストリング型でなければならない。

IBM1940I S	NOTE
-------------------	-------------

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 12 と共に使用される。

IBM1941I U	NOTE
-------------------	-------------

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 16 と共に使用される。

IBM1942I S	The scale factor specified in <i>BUILTIN name</i> built-in must be a restricted expression with integer type.
-------------------	--

説明

これは、すべての精度処理組み込み関数に適用される。

IBM1943I S	The number of error messages allowed by the FLAG option has been exceeded.
-------------------	---

説明

メッセージ数が FLAG コンパイラー・オプションで設定されている制限を超過すると、コンパイルは終了する。

IBM1944I S	The precision specified in <i>BUILTIN name</i> built-in must be a restricted expression with integer type.
-------------------	---

説明

これは、すべての精度処理組み込み関数に適用される。

IBM1945I S	Extents for <i>BASED</i> variable may not contain asterisks.
-------------------	---

説明

BASED 変数内のエクステンションは、定数か、または、REFER オプションで指定されているものでなければならない。

IBM1946I S **Reference must be an AREA variable.**

説明

指定された参照は無効である。AREA 変数が必要である。

IBM1947I S **The reference to the GENERIC variable *GENERIC variable name* cannot be resolved.**

説明

GENERIC 参照の中の引数リストは、その GENERIC の WHEN 文節のどれかの中の総称記述子に一致していなければならない。OTHERWISE 文節が指定されている場合は、引数リストのエレメント数は、OTHERWISE エントリー参照と同じでなければならない。

IBM1948I S ***condition-name* condition with ONCODE= *oncode-value* raised while evaluating restricted expression.**

説明

制限付き式のコンパイル時評価により条件が発生した。

```
display( 1/0 );
```

IBM1949I S **Parameter name *identifier* appears more than once in parameter list.**

説明

パラメーター・リスト内の ID はどれも固有のものでなければならない。

```
a: proc( b, c, b );
```

IBM1951I S ***storage class* variables must be named.**

説明

CONTROLLED 属性を持つ変数は名前が付いていなければならない。EXTERNAL 属性を持つ変数は、その EXTERNAL 属性自体により名前が与えられる場合以外は、名前の代わりに * をとることはできない。

IBM1952I S **INITIAL CALL cannot be used to initialize STATIC data.**

説明

INITIAL CALL は実行時に評価されなければならない。これを使用して初期化できるのは STATIC 以外のデータだけである。

IBM1953I S **The attributes of the EXTERNAL variable *variable name* do not match those in its previous declaration.**

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャーの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM1954I S **The base reference in the DEFINED attribute must be CONNECTED.**

説明

変数は NONCONNECTED 参照上の DEFINED であってはならない。

IBM1955I S **Repeated declarations of the EXTERNAL attribute *variable name* are not supported.**

説明

EXTERNAL FILE 定数および CONDITION は、1 つのコンパイル単位の中で 1 回だけ宣言できる。最外部の 1 つを除くすべての宣言を削除する。

IBM1956I S **ITERATE is valid only for iterative DO-groups.**

説明

ITERATE は型 I の DO グループの中では使用できない。

IBM1957I S **The WAIT event number specification must be computational.**

説明

WAIT ステートメント内で待機項目数を表す式を使用するのは無効である。式は計算型のものでなければならない。次の例のような場合はこのメッセージが出される。

```
dcl e event;  
dcl p pointer;  
wait (e) (p);
```

IBM1958I S	References in the WAIT statement must be of type EVENT.	not match those in its explicit declaration.
説明	WAIT ステートメント内のイベント参照が無効である。これは EVENT 型のものでなければならない。次の例のような場合はこのメッセージが出される。 <pre>dcl e entry; wait (e);</pre>	
IBM1959I S	Invalid aggregate expression specified in WAIT statement.	
説明	WAIT ステートメント内の参照にはスカラーを使用できる。有効な集合参照は、イベントの単純配列だけである。構造体、共用体、および、構造体または共用体の配列には、エラーとしてフラグが立てられる。	
IBM1960I S	<i>type name</i> is not a type name.	
説明	TYPE x、ORDINAL X、または HANDLE x を指定する宣言ステートメントでは、x は定義済みタイプでなければならない。	
IBM1961I S	INITIAL values for <i>type type type type name</i> must be in increasing order.	
説明	ORDINAL 定義内の INITIAL 文節に指定されている値は、厳密に昇順になっていなければならない。	
IBM1962I S	INITIAL values for <i>type type type type name</i> must be less than 2G.	
説明	ORDINAL 値は、FIXED BIN(31) 変数の範囲内に収まっていなければならない。	
IBM1963I S	<i>BUILTIN name</i> argument must have ORDINAL type.	
説明	ORDINAL ではない引数を伴う組み込み関数が式に含まれている。このメッセージは、例えば、ORDINALNAME、ORDINALPRED、および ORDINALSUCC 組み込み関数に適用される。	
IBM1964I S	The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant <i>variable name</i> do	not match those in its explicit declaration.
説明	PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。	
IBM1965I S	There is more than one element named <i>reference name</i> in the class <i>structure name</i>.	
説明	参照はすべてあいまいでないものでなければならない。	
IBM1966I S	There is no element named <i>reference name</i> in the class <i>structure name</i>.	
説明	HANDLE 修飾参照は明示宣言されていなければならない。	
IBM1967I S	The ENTRY <i>variable-name</i> may not be used as a handle since it does not have the RETURNS attribute.	
説明	関数は、ハンドルとして (そしてハンドルを戻す場合のみ) 使用できるが、サブプロシージャはハンドルとしては使用できない。	
IBM1968I S	The ENTRY <i>variable-name</i> may not be used as a handle.	
説明	x (...) => y は、x が HANDLE を戻さない限り無効です。	
IBM1969I S	The variable <i>variable-name</i> is used as a handle, but it is not a scalar.	
説明	ハンドルとして使用できるのはスカラーだけである。	
IBM1970I S	<i>BUILTIN name</i> built-in may not be used as a handle.	
説明	示されている組み込み関数はハンドルとしては使用できない。	
IBM1971I S	The GENERIC variable <i>variable-name</i> may not be used as a handle.	

説明

GENERIC 参照はハンドルとして使用できない。

IBM1972I S ***variable-name* may not be used as a handle.**

説明

x=>y は、x に HANDLE 属性がない場合は無効です。

IBM1976I S **DBCS characters are allowed only in G and M constants.**

説明

16 進ストリング (接尾部 X、BX、B4、GX、または XN のいずれかで終了するストリング)、ビット・ストリング (接尾部 B で終了するストリング)、および接尾部 M で終了しない文字ストリングには、SBCS 文字のみが含まれている必要がある。

IBM1977I S **SBCS characters are not allowed in G constants.**

説明

SBCS と DBCS の混在が許されるのは M 定数の中だけである。

IBM1978I S **Invalid use of SBCS encoded as DBCS.**

説明

コメント以外では、SBCS を DBCS としてエンコードできるのは ID の一部として使用する場合だけである。

IBM1981I S ***BUILTIN* function may not be used outside a procedure.**

説明

示されている組み込み関数はプロシージャの中でしか使用できない。

IBM1984I S **File *filename* could not be opened.**

説明

示されているファイルがオープンできなかった。ファイルの名前が正しいこと、そして、そのファイルが存在し、正しい属性を持っており、それにアクセスするために必要な許可があることを確認する必要がある。

IBM1985I S **File *filename* could not be opened. C-library-message**

説明

示されているファイルがオープンできなかった。ファイルの名前が正しいこと、そして、そのファイルが存在し、正しい属性を持っており、それにアクセスするために必要な許可があることを確認する必要がある。付随する C ライブラリー・メッセージを参照すれば、問題の特定に役立つ可能性がある。

IBM1986I S **A system or user abend has occurred.**

説明

このエラーは、例えば、次のような場合に発生する。MDECK を SYSPUNCH データ・セットに書き込む際に小さすぎる場合、または他のコンパイラ出力データ・セットに書き込む際に小さすぎる場合。JES ログを調べると有用と思われる。

IBM1987I S **File *filename* could not be opened because too many files have been opened.**

説明

オープン・ファイルの最大限度数に達した。プラットフォームによっては、オープン・ファイルの数にシステムしきい値があるが、コンパイラにも 2047 個のインクルード・ファイルという限界がある。

IBM1988I S **File *filename* could not be opened due to an access violation.**

説明

ファイルが使用中か、または、必要な特権を持っていないファイルをオープンしようとした。

IBM1989I S **File name or extension for *filename* is too long.**

説明

ファイル名または拡張子の長さが上限を超えている。

IBM1990I S **File name *filename* has invalid format.**

説明

z/OS UNIX の場合を除き、ファイル名に引用符を含めてはならない。z/OS UNIX では、ファイル名に引用符が含まれている場合、そのファイル名は PDS メンバーを指定する。

IBM1991I S **The load of the SQL preprocessor failed with ONCODE= *oncode*. DB2/2 must be properly installed before the SQL preprocessor can be loaded.**

説明

コンパイラーは、SQL プリプロセッサをロードしようとしたができなかった。DB2/2 が正しくインストールされていることを確認する必要がある。

IBM1992I S A file name must be specified.

説明

コマンド構文は次のとおりである。

```
PLI {d:}{path}filename{.ext} {( options}
```

**IBM1993I S Compilation terminated by
ATTENTION condition.**

説明

コンパイル中に CTL-BRK を押すと、コンパイルは停止する。

**IBM1994I S Internal compiler error: storage
header has been overwritten**

説明

このメッセージは、コンパイラーのフロントエンドにエラーがあることを示している。IBM に問題を報告してください。

**IBM1995I S Internal compiler error: storage
tail has been overwritten.**

説明

このメッセージは、コンパイラーのフロントエンドにエラーがあることを示している。IBM に問題を報告してください。

**IBM1996I S Internal compiler error: free
amount *free request size* does not
match allocated size *allocated
size*.**

説明

このメッセージは、コンパイラーのフロントエンドにエラーがあることを示している。IBM に問題を報告してください。

**IBM1997I S Internal compiler error: no WHEN
clause satisfied within *module
name***

説明

このメッセージは、コンパイラーのフロントエンドにエラーがあることを示している。IBM に問題を報告してください。

**IBM1998I S Internal compiler error: protection
exception in *module name***

説明

このメッセージは、コンパイラーのフロントエンドにエラーがあることを示している。IBM に問題を報告してください。

IBM1999I S NOTE

説明

このメッセージは、コンパイラーのバックエンドにエラーがあることを示している。IBM に問題を報告してください。

**IBM2000I S 内部コンパイラー・エラー: パッケージ名 >> 追加テキストのプロシー
ジャー名の行 ソース行 でアサーショ
ンに失敗**

説明

このメッセージは、コンパイラーのフロントエンドにエラーがあることを示している。問題を IBM に報告してください。

**IBM2001I S A LICENSE REQUEST WAS DENIED
FOR PL/I, PID 5655-B22. THE
REQUEST ENDED WITH STATUS
CODE *STATUS CODE* AND RETURN
CODE *RETURN CODE*. THE
COMPILATION WILL BE
TERMINATED.**

説明

システムに IBM ライセンス・マネージャーがインストールされているが、PL/I コンパイラーの使用ライセンスをユーザーが所有している かどうかの検査要求が失敗した。

**IBM2002I S Close of file *filename* failed. There
may be a space problem.**

説明

ファイルを閉じようとしたときにエラーが起きた。

**IBM2003I S Write to file *filename* failed. There
may be a space problem.**

説明

ファイルに書き込もうとしたときにエラーが起きた。

**IBM2004I S ATTACH reference must be
declared with either a null**

argument list or with an argument list specifying only one argument.

説明

ATTACH 参照を引数リストなしで宣言してある場合は、宣言を変更して、ヌル引数リストを表す一對の括弧を追加する必要がある。

IBM2005I S **ATTACH reference must be an ENTRY reference.**

説明

GENERIC 参照および組み込みサブルーチンは付加できない。

IBM2006I S **ATTACH reference cannot be a function reference.**

説明

ATTACH 参照は、戻される値が ENTRY である場合でも、RETURNS 属性を持っていてはならない。

IBM2007I S **ATTACH reference must use LINKAGE(SYSTEM).**

説明

デフォルトのリンケージがオーバーライドされた場合を除き、ATTACH 参照の宣言では OPTIONS(LINKAGE(SYSTEM)) を指定しなければならない。

IBM2008I S **ATTACH reference cannot be FETCHABLE.**

説明

FETCH ステートメントまたは RELEASE ステートメント内では ATTACH 参照は使用できない。

IBM2009I S **ATTACH reference cannot be a nested procedure.**

説明

ATTACH 参照は、外部参照であることが必要とされるが、レベル 1 のプロシーチャーでなければならない。

IBM2010I S **ATTACH reference, if an ENTRY variable, must be a LIMITED ENTRY.**

説明

ENTRY VARIABLE の宣言内で LIMITED 属性を指定する必要がある。

IBM2011I S **ATTACH reference, if it has an argument, must declare that argument as POINTER BYVALUE.**

説明

ATTACH ステートメントでは他の引数型はサポートされていない。

IBM2012I S **The *attribute* keyword attribute is invalid in an ALIAS definition.**

説明

DEFINE ALIAS ステートメントで、メッセージに示された属性を使用してはならない。これには ASSIGNABLE などの属性が含まれるが、RETURNS 記述子の場合と同様に、STRUCTURE、UNION、および DIMENSION 属性は ALIAS 定義に使用できない。したがって次の例は無効である。

```
define alias array (10) fixed bin;

define alias point 1, 2 fixed bin, 2 fixed bin;
```

IBM2013I S **Only one description is allowed in an ALIAS definition.**

説明

構文では、別名定義の中の名前の後に記述リストが続けることが許されているが、その記述リストはただ 1 つの記述のみからなるものでなければならない。次の例は無効である。

```
define alias x fixed bin, float bin;
```

IBM2014I S **Extents in type descriptors must be constant.**

説明

ALIAS および STRUCTURE 定義の中では、各ストリング長および AREA サイズは、制限付きの式で指定しなければならない。RETURNS 記述子と同様に、アスタリスクおよび非定数式は使用できない。

IBM2015I S **VALUE attribute conflicts with data type.**

説明

VALUE 属性を使用できるのは、ポインター、オフセット、ハンドル、序数のほか、計算データ型の場合だけである。

IBM2016I S	VALUE 属性は型付き構造体では許可されていない。
------------	----------------------------

説明

VALUE 属性は型付き構造体では許可されていない。

IBM2017I S	INITIAL TO is valid only for NATIVE POINTER.
------------	--

説明

INITIAL TO は、NONNATIVE POINTER では無効である。また、非 POINTER の場合も、アドレスの割り当てができないため これは無効である。

IBM2018I S	INITIAL TO is supported only for STATIC variables.
------------	--

説明

INITIAL TO は、STATIC 以外のストレージ・クラスに属する変数用にはサポートされていない。

IBM2019I S	Unsupported LINKAGE used with the LIST attribute.
------------	---

説明

OPTIONS(LINKAGE(OPTLINK)) を指定するか、Windows の場合は LIST 属性を持つパラメーターのある PROCEDURE または ENTRY に OPTIONS(LINKAGE(CDECL)) を指定してから、再コンパイルする必要がある。

IBM2020I S	There is more than one element named <i>reference name</i> in the typed structure <i>structure name</i> .
------------	---

説明

参照はすべてあいまいでないものでなければならない。

IBM2021I S	There is no element named <i>reference name</i> in the structure <i>structure name</i> .
------------	--

説明

構造体参照はすべて明示宣言されていなければならない。

IBM2022I S	The ENTRY <i>variable-name</i> may not be used as a typed structure qualifier since it does not have the RETURNS attribute.
------------	---

説明

関数は、型付き構造体修飾子として (そして型付き構造体を戻す場合のみ) 使用できるが、サブプロシージャーは型付き構造体修飾子としては使用できない。

IBM2023I S	The ENTRY <i>variable-name</i> may not be used as a typed structure qualifier.
------------	--

説明

$x (...) => y$ は、 x が型付き構造体を戻さない限り無効です。

IBM2024I S	The array variable <i>variable-name</i> may be used as a typed structure qualifier only if it is completely subscripted before its dot qualification.
------------	---

説明

例えば、 x がメンバー m を持つ構造体 t の配列である場合は、 $x.m(2)$ は無効である。ただし、 $x(2).m$ は有効である。

IBM2025I S	<i>BUILTIN name</i> built-in may not be used as a typed structure qualifier.
------------	--

説明

示されている組み込み関数は、型付き構造体修飾子としては使用できない。

IBM2026I S	The GENERIC variable <i>variable-name</i> may not be used as a typed structure qualifier.
------------	---

説明

GENERIC 参照は型付き構造体修飾子として使用できない。

IBM2027I S	<i>variable-name</i> may not be used as a structure qualifier.
------------	--

説明

$x.y$ は、 x が構造体、共用体、または、型付き構造体を戻す関数である場合以外は無効である。

IBM2028I S	TYPEs must be defined before their use.
------------	---

説明

型 x に対する DEFINE STRUCTURE または DEFINE ALIAS ステートメントは、 x を属性型として使用する位置より前に置かれていなければならない。次の 2 つのステートメントは順序を逆にする必要がある。

```
dcl x type point;

define structure
  1 point,
    2 x fixed bin(31),
    2 y fixed bin(31);
```

IBM2029I S **A DEFINE STRUCTURE statement must consist of a level one structure name optionally followed by its substructures. Use DEFINE ALIAS to set a name as a synonym for a data type.**

説明

DEFINE STRUCTURE ステートメントは、他の属性が指定されていない場合に、レベル 1 の名前を 1 つだけ指定できる。次の例は無効である

```
define structure 1 int fixed bin;

define structure 1 a type b;
```

IBM2030I S **INITIAL attribute is invalid in structure definitions.**

説明

定義済みの構造体型は、割り当てを介して初期化されなければならない。

IBM2031I S **Storage attributes are invalid in structure definition.**

説明

AUTOMATIC や BYADDR などのストレージ属性は、構造体型と共に宣言された変数により指定されなければならない。

IBM2032I S **DEFINE STRUCTURE may not specify an array of structures.**

説明

構造体定義内のレベル 1 の名前は DIMENSION 属性を持つことはできない。

IBM2033I S **Only one description is allowed in a structure definition.**

説明

構文では、構造体定義の中の名前の後に記述リストが続けることが許されているが、その記述リストはただ 1

つの構造体記述のみからなるものでなければならない。次の例は無効である。

```
define structure
  1 point,
    2 x fixed bin(31),
    2 y fixed bin(31),
  1 rectangle,
    2 upper_left type point,
    2 lower_right type point;
```

IBM2034I S **The argument to the type function *type function* must be an ordinal type name.**

説明

タイプ関数 FIRST および LAST への引数は、あいまいでないタイプ名でなければならない、そのタイプは序数タイプでなければならない。

IBM2035I S **The argument to the type function *type function* must be a structure type name.**

説明

タイプ関数 NEW の引数は、あいまいでないタイプ名でなければならない、そのタイプは構造体タイプでなければならない。

IBM2036I S **The second argument to the type function *type function* must have locator type.**

説明

BIND 型関数への第 2 引数は、第 1 引数に指定されている構造体型へのハンドルに変換されるポインターまたはオフセット値でなければならない。

IBM2037I S **The first argument to the type function *type function* must be a structure type name.**

説明

タイプ関数 BIND の第 1 引数はあいまいでないタイプ名でなければならない、そのタイプは構造体タイプでなければならない。

IBM2038I S ***BUILTIN* name argument must have HANDLE type.**

説明

HANDLE ではない引数を伴う組み込み関数が式に含まれている。

IBM2039I S	Argument to <i>variable name</i> pseudovalue must be a HANDLE.
------------	--

説明

TYPE 疑似変数は HANDLE に対してのみ適用できる。

IBM2040I S	The argument to the type function <i>type function</i> must be a defined type.
------------	--

説明

タイプ関数 SIZE の第 1 引数は、定義されたタイプのあいまいでない名前であればなりません。

IBM2041I S	The first argument to the type function <i>type function</i> must be a defined type.
------------	--

説明

タイプ関数 CAST の最初の引数は、定義されたタイプのあいまいでない名前であればなりません。

IBM2042I S	The second argument to the type function <i>type function</i> must be a scalar.
------------	---

説明

型関数 CAST への 2 番目の引数はスカラーでなければならない。

IBM2043I S	The second argument to the type function <i>type function</i> must have the same size as the first argument.
------------	--

説明

型関数 CAST への 2 番目の引数のサイズは、最初の引数である 型のサイズと同じでなければならない。

IBM2044I S	The get storage function to <i>BUILTIN name</i> must be a LIMITED ENTRY with LINKAGE(OPTLINK) and an appropriate entry description list.
------------	--

説明

この関数は次のように宣言する必要がある。

```
dcl get entry( pointer byvalue,
              fixed bin(31) byaddr,
              fixed bin(31) byaddr )
returns( pointer );
```

IBM2045I S	The free storage function to <i>BUILTIN name</i> must be a LIMITED ENTRY with LINKAGE(OPTLINK) and an appropriate entry description list.
------------	---

説明

この関数は次のように宣言する必要がある。

```
dcl free entry( pointer byvalue,
               pointer byvalue,
               fixed bin(31) byvalue );
```

IBM2046I S	OPTIONS(NODESCRIPTOR) is required if the last parameter to an ENTRY or PROC has the LIST attribute.
------------	---

説明

エンタリーまたはプロシージャが (C のように) 可変数の引数を持つ場合、つまり、その最終パラメーターに LIST 属性がある場合は、OPTIONS(NODESCRIPTOR) が指定されている (かつ有効である) ことが必要である。

IBM2047I S	The VARGLIST built-in function may be used only inside procedures whose last parameter had the LIST attribute.
------------	--

説明

VARGLIST 組み込み関数は、最後のパラメーターが LIST 属性を持っているプロシージャに渡された可変引数リストのアドレスを取得する。この種のルーチンのサブプロシージャの中、または、まったくパラメーターを持たないか、LIST 属性を持つものとして宣言されたパラメーターを持たないプロシージャの中では、この関数は使用できない。

IBM2048I S	The LIST attribute may be specified only on non-nested procedures, external entry constants, and limited entry variables.
------------	---

説明

LIST 属性を使用すると可変引数リストが作成されるが、ネストされたプロシージャ、または LIMITED 属性なしで宣言されたエンタリー変数では、この種の引数リストは使用できない。

IBM2049I S	The LIST attribute may be specified only on the last element of an entry description list.
------------	--

説明

LIST 属性は、そのあとに 0 個以上のパラメーターを指定できることを示しているが、これらのパラメーターは記述できない。

IBM2050I S	Descriptors are supported for Fortran only for scalar character strings.
-------------------	---

説明

OPTIONS(FORTRAN DESCRIPTOR) が適用される場合は、文字ストリングを除くすべてのパラメーターは、固定エクステントを持っていないなければならない。

IBM2051I S	Descriptors are not supported for Fortran for routines defined by or containing ENTRY statements.
-------------------	--

説明

ENTRY ステートメントまたは ENTRY ステートメントを含むプロシージャに OPTIONS(FORTRAN DESCRIPTOR) が適用される場合は、すべてのパラメーターが固定エクステントを持っていないなければならない。

IBM2052I S	A function defined by a PROCEDURE containing ENTRY statements must return aggregate values BYADDR.
-------------------	---

説明

PROCEDURE ステートメントの RETURNS オプションで BYADDR が指定されているか、DEFAULT ステートメントの RETURNS(BYADDR) サブオプションが有効な状態になっていないなければならない。

IBM2053I S	A function defined by an ENTRY statement must return aggregate values BYADDR.
-------------------	--

説明

ENTRY ステートメントの RETURNS オプションで BYADDR が指定されているか、DEFAULT ステートメントの RETURNS(BYADDR) サブオプションが有効になっていないなければならない。

IBM2054I S	A PROCEDURE containing ENTRY statements must receive all non-pointer parameters BYADDR.
-------------------	--

説明

パラメーターの宣言の中で BYADDR が指定されているか、DEFAULT ステートメントの BYADDR サブオプションが有効な状態になっていないなければならない。

IBM2055I S	An ENTRY statement must receive all parameters BYADDR.
-------------------	---

説明

パラメーターの宣言の中で BYADDR が指定されているか、DEFAULT ステートメントの BYADDR サブオプションが有効な状態になっていないなければならない。

IBM2056I S	ENTRY statement is not allowed in DO loops.
-------------------	--

説明

ENTRY ステートメントは、非反復 DO グループ内では使用できるが、反復 DO ループ内では使用できない。

IBM2057I S	RETURN statement is invalid inside a BEGIN in a PROCEDURE that contains ENTRY statements.
-------------------	--

説明

RETURN ステートメントが BEGIN ブロック内で有効なのは、その BEGIN ブロックを囲む PROCEDURE に ENTRY ステートメントが含まれている場合のみである。

IBM2058I S	In a PROCEDURE without the RETURNS option, any ENTRY statement must use BYADDR for its RETURNS value.
-------------------	--

説明

ENTRY ステートメントの RETURNS オプションで BYADDR が指定されているか、DEFAULT ステートメントの RETURNS(BYADDR) サブオプションが有効になっていないなければならない。

IBM2059I S	OPTIONS(FORTRAN) is invalid if any parameters are UNALIGNED BIT.
-------------------	---

説明

OPTIONS(FORTRAN) の場合、固定長の ALIGNED BIT ストリングのみが有効である。

IBM2060I S	Attributes may not be specified in ALLOCATEs of BASED variables.
-------------------	---

説明

属性は、CONTROLLED 変数の ALLOCATE の中でのみ指定できる。

IBM2061I S	Attributes specified for <i>variable-name</i> in ALLOCATE statement do not match those in its declaration.
-------------------	---

説明

CHARACTER などの属性を ALLOCATE ステートメント内で指定できるのは、割り振られる変数の宣言の中でもその属性が指定されている場合に限られる。

IBM2062I S Structuring specified in ALLOCATE of *variable-name* does not match that in its declaration.

説明

構造体に関する ALLOCATE ステートメントでは、宣言の中で指定されているすべてのレベルを指定しなければならず、新しいレベルは指定できない。

IBM2063I S Specification of extent for *variable-name* in ALLOCATE statement is invalid since it was declared with a constant extent.

説明

CHARACTER などの属性を ALLOCATE ステートメント内で指定できるのは、アスタリスクまたは非定数式により割り振られる変数の宣言の中でもその属性が指定されている場合に限られる。

IBM2064I S The extent specified for the lower bound for dimension *dimension-value* of *variable-name* in ALLOCATE statement is invalid since that variable was declared with a different constant extent.

説明

CONTROLLED 変数の境界が定数として宣言されている場合は、その変数に関するどの ALLOCATE ステートメントでも同じ定数値としてその境界を指定しなければならない。

IBM2065I S The extent specified for the upper bound for dimension *dimension-value* of *variable-name* in ALLOCATE statement is invalid since that variable was declared with a different constant extent.

説明

CONTROLLED 変数の境界が定数として宣言されている場合は、その変数に関するどの ALLOCATE ステートメントでも同じ定数値としてその境界を指定しなければならない。

IBM2075I S ENTRY types and arguments in *type function* must be LIMITED.

説明

型関数 CAST と組み合わせて使用される ENTRY 型または引数には、属性 LIMITED を指定する必要がある。

IBM2076I S FLOAT types and arguments in *type function* must be NATIVE REAL.

説明

型関数 CAST と組み合わせて使用される FLOAT 型または引数には、属性 NATIVE REAL を指定する必要がある。

IBM2077I S FIXED BIN types and arguments in *type function* must be REAL with scale factor zero.

説明

型関数 CAST と組み合わせて使用される FIXED BIN 型または引数には、属性 REAL PRECISION(p,0) を指定する必要がある。

IBM2078I S Types with the attributes *attributes* are not supported as the target of the *type function* function.

説明

型関数 CAST への最初の引数は、属性 REAL FIXED BIN(p,0) または NATIVE REAL FLOAT のどちらかを指定した型でなければならない。

IBM2079I S Arguments with the attributes *attributes* are not supported as the source in the *type function* function.

説明

型関数 CAST への 2 番目の引数には、属性 REAL FIXED BIN(p,0) または NATIVE REAL FLOAT のどちらかを指定する必要がある。

IBM2080I S DATE pattern is invalid.

説明

サポートされる DATE パターンのリストについては、「言語解説書」を参照のこと。

IBM2081I S DATE attribute is valid only with NONVARYING CHARACTER, FIXED DECIMAL and arithmetic PICTURE.

説明

示されているもの以外の型では、DATE 属性を使用することはできない。

IBM2082I S	DATE attribute conflicts with non-zero scale factor.
-------------------	---

説明

DATE 属性を数値に対して使用できるのは、数値のスケール因数が 0 の場合だけである。

IBM2083I S	DATE attribute conflicts with COMPLEX attribute.
-------------------	---

説明

DATE 属性を数値に対して使用できるのは、数値が REAL の場合だけである。

IBM2084I S	DATE attribute conflicts with PICTURE string containing characters other than 9.
-------------------	---

説明

DATE 属性を PICTURE に対して使用できるのは、PICTURE がすべて 9 で構成されている場合だけである。

IBM2085I S	Length of DATE pattern and base precision do not match.
-------------------	--

説明

DATE 属性を数値に対して使用できるのは、数値の精度が DATE パターンの長さと等しい場合だけである。

IBM2086I S	Length of DATE pattern and base length do not match.
-------------------	---

説明

DATE 属性をストリングに対して使用できるのは、ストリングの長さが DATE パターンの長さと等しい場合だけである。

IBM2087I S	DATE attribute conflicts with adjustable length.
-------------------	---

説明

DATE 属性をストリングに対して使用できるのは、ストリングが定数長を使用して宣言されている場合だけである。

IBM2088I S	Response file is too large. Excess will be ignored.
-------------------	--

説明

応答ファイルから作成されるオプション・ストリングは、長さが 32767 文字未満でなければならない。

IBM2089I S	Line in response file is longer than 100 characters. That line and rest of file will be ignored.
-------------------	---

説明

応答ファイル内の各行の文字数は、100 文字を超えてはならない。

IBM2090I S	The <i>keyword</i> statement cannot be used under SYSTEM(CICS).
-------------------	--

説明

示されているステートメントは、CICS 環境では使用できない。

IBM2091I S	DISPLAY with REPLY cannot be used under SYSTEM(CICS).
-------------------	--

説明

REPLY を指定した DISPLAY は、CICS 環境では使用できない。

IBM2092I S	The <i>BUILTIN</i> name built-in function cannot be used under SYSTEM(CICS).
-------------------	---

説明

示されている組み込み関数は、CICS 環境では使用できない。

IBM2093I S	The <i>keyword</i> statement cannot be used under SYSTEM(CICS) except with SYSPRINT.
-------------------	---

説明

示されている入出力ステートメントは、ステートメントで使用されているファイルが SYSPRINT でない限り、CICS 環境では使用できない。

IBM2094I S	Source in CAST to FLOAT must be FLOAT, FIXED or ORDINAL.
-------------------	---

説明

FLOAT への CAST のソースは、FLOAT、FIXED、または ORDINAL でなければならない。

IBM2095I S	Target in CAST from FLOAT must be FLOAT, FIXED BIN or ORDINAL.
-------------------	---

説明

FLOAT からの CAST のターゲットは、FLOAT、FIXED BIN、または ORDINAL でなければならない。

IBM2096I S	Target in CAST from FIXED DEC must be FLOAT, FIXED BIN or ORDINAL.
-------------------	---

説明

FIXED DEC からの CAST のターゲットは、FLOAT、FIXED BIN、または ORDINAL でなければならない。

IBM2097I S	FIXED DEC types and arguments in <i>type function</i> must be REAL with non-negative scale factor.
-------------------	---

説明

タイプ関数 CAST で使用される FIXED DEC タイプまたは引数は、 $P \geq Q$ および $Q \geq 0$ の実数精度 (p, q) の属性を有していなければならない。

IBM2098I S	Source in CAST to FIXED DEC must be FLOAT, FIXED or ORDINAL.
-------------------	---

説明

FIXED DEC への CAST のソースは、FLOAT、FIXED、または ORDINAL でなければならない。

IBM2099I S	CASEX strings must have the same length.
-------------------	---

説明

CASEX オプション内の 2 つのストリングの長さは同じでなければならない。2 番目の引数は、最初の引数の英大文字値である。最初のストリングの文字に英大文字値がない場合は、その文字自体を英大文字値として使用する。

IBM2100I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. The ORDINAL types do not match.
-------------------	---

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数のプロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2101I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. The HANDLE types do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数のプロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2102I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. The STRUCTURE types do not match.
-------------------	---

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数のプロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2103I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. Alignment does not match.
-------------------	---

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数のプロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2104I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. Number and attributes of structure members do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数のプロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2105I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. The number of dimensions do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数のプロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2106I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. Lower bounds do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2107I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. Upper bounds do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2108I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. RETURNS attributes do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2109I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. BYVALUE and BYADDR attributes in RETURNS do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2110I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. LINKAGE values do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2111I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. OPTIONS values do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2112I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. Parameter counts do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2113I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. BYVALUE and BYADDR attributes in parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2114I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. The number of dimensions for parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2115I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous declaration. Lower bounds for parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	--

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致していなければならない。

IBM2116I S	The attributes of the EXTERNAL variable <i>variable name</i> do not match those in its previous
-------------------	--

declaration. Upper bounds for parameter *parameter-number* do not match.

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致 していなければならない。

IBM2117I S The attributes of the EXTERNAL variable *variable name* do not match those in its previous declaration. Alignment of parameter *parameter-number* does not match.

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致 していなければならない。

IBM2118I S The attributes of the EXTERNAL variable *variable name* do not match those in its previous declaration. Number and attributes of structure members in parameter *parameter-number* do not match.

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致 していなければならない。

IBM2119I S The attributes of the EXTERNAL variable *variable name* do not match those in its previous declaration. Attributes of parameter *parameter-number* do not match.

説明

EXTERNAL 変数は 1 つのコンパイル単位内の複数の プロシージャの中で宣言できるが、それらの宣言間で属性が一致 していなければならない。

IBM2120I S AREAs are not supported in RETURNS.

説明

ただし、AREA を出力パラメーターとして使用することはできる。

IBM2121I S Argument number *argument-number* in entry reference *entry*

***name* must have the same size as the corresponding parameter.**

説明

固定サイズで AREA パラメーターを宣言した場合は、対応する引数も同じ固定サイズでなければならない。このシナリオでダミー AREA 引数を使用することはできない。

```
dcl x entry( area(10000) );
dcl a area(8000) );
call x( a );
```

IBM2122I S ユーザー出口ルーチンのアドレスが無効。ユーザー出口ルーチンが、IBMUEXIT のみをエクスポートする PACKAGE であることを確認する。

説明

IBMUEXIT ルーチンには、EXPORTS(*) ではなく EXPORTS(IBMUEXIT) を指定する PACKAGE ステートメントを指定する必要がある。

IBM2123I S 拡張すると、DEFINE STRUCTURE タイプは、合計次元が 15 を超える配列を持つことになる。

説明

XMLCHAR で使用される DEFINED STRUCTURE タイプで許可されるディメンションの合計は、15 を超えてはならない。

IBM2124I S 拡張すると、DEFINE STRUCTURE タイプには 15 を超える論理レベルを含むことになる。

説明

XMLCHAR で使用される DEFINED STRUCTURE タイプで許可される論理レベルの合計は、15 を超えてはならない。

IBM2125I S 変数名 は型付き構造体であるため、GET DATA では使用できない。

説明

DEFINE STRUCTURE タイプの使用は、GET DATA ステートメントではサポートされない。

```
define structure
1 a,
2 a1 fixed bin(31),
2 a2 fixed bin(31);
```

```

dcl x type a;

get skip data( x );

```

IBM2126I S 変数名は型付き構造体のメンバーであるため、データ・ディレクティブ入出力では使用できない。

説明

DEFINE STRUCTURE タイプのメンバーの使用は、データ・ディレクティブ入出力ではサポートされない。

```

define structure
  1 a,
  2 a1 fixed bin(31),
  2 a2 fixed bin(31);

dcl x type a;

x.a1 = 17;
x.a2 = 29;

put skip data( x.a );

```

IBM2127I S The ENTRY named *ENTRY variable name* matches the reference to the GENERIC variable *GENERIC variable name* , but while the GENERIC reference is used as a function, the matching ENTRY does not have the RETURNS attribute.

説明

GENERIC 参照の一致が見つかったが、GENERIC 参照は関数として使用されているのに、一致する ENTRY は関数ではないので、この一致は適切ではない。例えば、下記の 1 つ目の GENERIC 参照は無効だが、2 つ目は有効である。

```

dcl e1 entry( fixed bin );
dcl e2 entry( fixed bin, fixed bin )
returns( fixed bin );
dcl gp generic( e1 when( * ),
               e2 when( *, * ) );

rc = gp( 0 );

rc = gp( 0, 0 );

```

IBM2128I S The ENTRY named *ENTRY variable name* matches the reference to the GENERIC variable *GENERIC variable name* , but while the GENERIC reference is used as a function acting as a locator qualifier, the matching ENTRY does not return a POINTER.

説明

GENERIC 参照の一致が見つかったが、GENERIC 参照はロケータとして使用されているのに、一致する ENTRY は POINTER を戻す関数ではないので、この一致は適切ではない。例えば、下記の 1 つ目の GENERIC 参照は無効だが、2 つ目は有効である。

```

dcl f1 entry( fixed bin ) returns( fixed
bin );
dcl f2 entry( fixed bin, fixed bin )
returns( pointer );
dcl bx based fixed bin;
dcl gf generic( f1 when( * ),
               f2 when( *, * ) );

rc = gf( 0 )->bx;

rc = gf( 0, 0 )->bx;

```

IBM2129I S The ENTRY named *ENTRY variable name* matches the reference to the GENERIC variable *GENERIC variable name* , but while the GENERIC reference is used as a repeating function reference, the matching ENTRY cannot be so used.

説明

GENERIC 参照の一致が見つかったが、GENERIC 参照はその戻り値が呼び出される (引数リストの数が示すように、順に呼び出される) 関数である関数として使用されているのに、一致する ENTRY はそのように使用できないので、この一致は適切ではない。例えば、下記の 1 つ目の GENERIC 参照は無効だが、2 つ目は有効である。

```

dcl x1 entry( fixed bin )
returns( entry );
dcl x2 entry( fixed bin, fixed bin )
returns( entry returns( fixed
bin ) );
dcl gx generic( x1 when( * ),
               x2 when( *, * ) );

rc = gx( 0 )();

rc = gx( 0, 0 )();

```

IBM2130I S iSUB defining is not valid with the POSITION attribute.

説明

POSITION 属性は、ストリング・オーバーレイ定義との組み合わせでだけ使用できる。

```
dc1 b(4) char(2) pos(2) def( a(1sub,1sub) );
```

IBM2131I S **In iSUB defining, the base and DEFINED variables must match.**

説明

iSUB 定義内の定義される配列とベース配列の属性は、次元属性を除いては同一でなければならない。

```
dc1 a(4) fixed bin(31);
dc1 b(4) fixed bin(15) def( a(1sub,1sub) );
```

IBM2132I S **The i in an iSUB reference must not exceed the dimensionality of the DEFINED variable.**

説明

iSUB 参照内の i は、DEFINED 変数の添え字を参照している必要があり、その変数の次元数より大きい値であってはならない。

```
dc1 a(4,4) fixed bin(31);
dc1 b(4) fixed bin(15) def( a(1sub,2sub) );
```

IBM2133I S **An iSUB variable cannot be defined on a cross-section of its base.**

説明

iSUB 変数内で、ベース配列の指定にアスタリスクがあってはならない。

```
dc1 a(4,4) fixed bin(31);
dc1 b(4) fixed bin(15) def( a(1sub,*) );
```

IBM2134I S **iSUB defining is supported only for arrays of scalars.**

説明

iSUB 定義は、構造体および共用体に対してはサポートされていない。

IBM2135I S **DFT(DESCLIST) conflicts with CMPAT(*cmpat-suboption*).**

説明

CMPAT(V1) または CMPAT(V2) が指定されている場合、DFT(DESCLOCATOR) が有効でなければならない (z/OS 上ではデフォルトのままの状態)。

IBM2136I S **The number of indices specified for the LABEL *identifier* does not match the number previously specified.**

説明

ラベル定数配列のエレメントに指定する索引の数は、エレメントごとに 変化してはならない。

```
a(1,1): ....
a(1,2): ....
a(3): ....
```

IBM2137I S **Indices have been specified for the LABEL *identifier* when it was previously specified without indices.**

説明

ラベル定数の最初の使用時に添え字が指定されていない場合は、そのラベル定数には添え字を付けることはできない。

```
a: ....
a(3): ....
```

IBM2138I S **Indices have not been specified for the LABEL *identifier* when it was previously specified with indices.**

説明

ラベル定数の最初の使用時に添え字が指定されている場合は、そのラベル定数には添え字を付けなければならない。

```
a(3): ....
a: ....
```

IBM2139I S **The Language Enviroment run-time is not current enough.**

説明

コンパイラーを実行するには、z/OS Language Environment V2 R1 以降が必要である。

IBM2140I S **Length of second argument to the REPLACEBY2 built-in must be twice that of the third.**

説明

REPLACEBY2 組み込み関数の 2 番目の引数が、3 番目の引数 中の対応する文字と置き換えられる文字ペアのセットを提供しているため、2 番目のストリングは、3 番目のストリングの 2 倍の長さでなければならない。

IBM2141I S **First argument to the *BUILTIN* name built-in must be a structure.**

説明

示された組み込みサブルーチンに対する最初の引数は、構造体でなければならない。

IBM2142I S **Event structure argument to the *BUILTIN* name built-in has too few elements.**

説明

示された組み込みサブルーチンへの最初の引数は、SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体でなければならない。その構造体の持つメンバー数は厳密に正確でなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2143I S **Event structure argument to the *BUILTIN* name built-in has too many elements.**

説明

示された組み込みサブルーチンへの最初の引数は、SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体でなければならない。その構造体の持つメンバー数は厳密に正確でなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2144I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN* name built-in is not a scalar.**

説明

示されている組み込みサブルーチンへの最初の引数は、SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体でなければならない。その構造体の各エレメントはスカラーでなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2145I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN* name built-in must be a LIMITED ENTRY.**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントは、LIMITED ENTRY でなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2146I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN* name built-in must return BYVALUE a NATIVE FIXED BIN(31).**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントは、BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) でなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2147I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN* name built-in must have a non-empty entry description list.**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、空でないエントリー記述リストがなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2148I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN* name built-in has a parameter count of *specified-parm-count* when the correct parameter count is *required-parm-count*.**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、正しい数のパラメーターがなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2149I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN* name built-in must have a BYVALUE POINTER as its first parameter.**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、最初のパラメーターとして BYVALUE POINTER がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2150I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE POINTER as its second parameter.
-------------------	---

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、2 番目のパラメーターとして BYVALUE POINTER がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2151I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) as its third parameter.
-------------------	---

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、3 番目のパラメーターとして BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2152I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE POINTER as its fourth parameter.
-------------------	---

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、4 番目のパラメーターとして BYVALUE POINTER がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2153I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) as its fifth parameter.
-------------------	---

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、5 番目のパラメータ

ーとして BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2154I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE POINTER as its second parameter.
-------------------	---

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、2 番目のパラメーターとして BYVALUE POINTER がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2155I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) as its fourth parameter.
-------------------	--

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、4 番目のパラメーターとして BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2156I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) as its second parameter.
-------------------	--

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、2 番目のパラメーターとして BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2157I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must have a BYVALUE CHAR(1) or BYVALUE WCHAR(1) as its second parameter.
-------------------	---

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、2 番目のパラメーターとして長さ 1 の BYVALUE CHAR (または BYVALUE

WIDECHAR) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2158I S Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN name* built-in has the wrong linkage.

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、PL/I デフォルト・リンケージがなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2159I S Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN name* built-in must have the NODESCRIPTOR option.

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、NODESCRIPTOR オプションを指定する必要がある。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2160I S All members of the input structure to the *BUILTIN name* built-in must have computational type.

説明

XMLCHAR 組み込み関数は、非計算型を含む構造体には適用できない。

IBM2161I S The input structure to the *BUILTIN name* built-in must not be a UNION or contain any UNIONS.

説明

XMLCHAR 組み込み関数は、共用体または共用体を含む構造体には適用できない。

IBM2162I S The input structure to the *BUILTIN name* built-in must not contain any GRAPHIC elements.

説明

XMLCHAR 組み込み関数は、GRAPHIC データを含む構造体には適用できない。

IBM2163I S The input structure to the *BUILTIN name* built-in must not contain any UTF-16 elements.

説明

XMLCHAR 組み込み関数は、WIDECHAR または WIDEPIC のデータを含む構造体には適用できない。

IBM2164I S The input structure to the *BUILTIN name* built-in must not contain any unnamed substructures.

説明

XMLCHAR 組み込み関数は、アスタリスクを名前として使用しているサブストラクチャーを含む構造体には適用できない。

IBM2165I S PRV support is provided only if the LIMITS(EXTNAME(7)) option is in effect.

説明

長い外部名のサポートは、CONTROLLED 変数をアドレス指定するための PRV の使用のサポートと非互換である。

IBM2166I S PRV support is provided only if the NORENT option is in effect.

説明

RENT オプションのサポートは、CONTROLLED 変数をアドレス指定するための PRV の使用のサポートと非互換である。

IBM2167I S PRV support is provided only if the CMPAT(V2) or CMPAT(V3) option is in effect.

説明

CMPAT(LE) オプションのサポートは、CONTROLLED 変数をアドレス指定するための PRV の使用のサポートと非互換である。

IBM2170I S Too many INTERNAL CONTROLLED variables.

説明

CONTROLLED 変数をアドレス指定するための PRV を使用している場合、INTERNAL CONTROLLED 変数は 568 個を超えない数でなければならない。

IBM2171I S Under the NOWRITABLE option, no FETCHABLE ENTRY may be declared at the PACKAGE level.

説明

NOWRITABLE オプションを指定すると、各 FETCHABLE ENTRY 定数は、PROCEDURE の内部に宣言しなければならない。

IBM2172I S	Under the NOWRITABLE option, no FILE CONSTANT may be declared at the PACKAGE level.
-------------------	--

説明

NOWRITABLE オプションを指定すると、各 FILE CONSTANT は、PROCEDURE の内部に宣言しなければならない。

IBM2173I S	Under the NOWRITABLE option, no CONTROLLED may be declared at the PACKAGE level.
-------------------	---

説明

NOWRITABLE オプションを指定すると、各 CONTROLLED 変数は、PROCEDURE の内部に宣言しなければならない。

IBM2174I S	Result of REPLACEBY2 is too long.
-------------------	--

説明

REPLACEBY2 組み込み関数を 3 つのリテラルに適用することで生成されたストリング・リテラルの長さは、文字リテラルの最大許容長を超えてはならない。

IBM2175I S	The second and third arguments to REPLACEBY2 must be restricted expressions.
-------------------	---

説明

REPLACEBY2 組み込み関数は現在のところ、コンパイル時に既知である長さを持つ、2 番目と 3 番目の引数のみをサポートしている。

IBM2176I S	The result of the <i>BUILTIN</i> name built-in would require more than 32767 bytes.
-------------------	--

説明

HEX および HEXIMAGE 組み込み関数は、16383 バイトを超えるストレージを使用しているストリングには適用できない。

IBM2177I S	The file <i>filename</i> is a PDS member and hence cannot be used for SYSADATA.
-------------------	--

説明

指定されたファイルは SYSADATA ファイルとしての使用を意図されたファイルであるが、そのようなファイルは PDS のメンバーであってはならない。

IBM2178I S	INCLUDE statements are not supported when the LINEDIR option is in effect.
-------------------	---

説明

LINEDIR オプションが有効のときは、ソースに INCLUDE ステートメントが含まれていてはならない。

IBM2179I S	There is too little room between the margins for the LINE directive. The PPTRACE option will be turned off.
-------------------	--

説明

PPTRACE によって生成される %LINE ディレクティブは 1 行に収まる必要がある。これが可能になるようにマージンを十分に広くするか、またはソース・ファイル名を十分に短くする必要がある。

IBM2180I S	Use of the KEYED DIRECT file <i>filename</i> in a keyword statement without a KEY/KEYFROM clause is invalid.
-------------------	---

説明

KEYED DIRECT ファイルを使用するすべての入出力操作には、操作の適用対象となるレコードのキーを組み込む必要がある。

IBM2181I S	First argument to <i>BUILTIN</i> name built-in must have type CHARACTER.
-------------------	---

説明

これは例えば、PICSPEC 組み込み関数に適用される。

IBM2182I S	Argument number <i>argument</i> number to <i>BUILTIN</i> name built-in must be a constant.
-------------------	---

説明

示された組み込み関数に対して指定する引数は、制限付きの式でなければならない。これは例えば、PICSPEC 組み込み関数の第 2 引数に適用される。

IBM2183I S	The first argument to <i>BUILTIN</i> name built-in must have constant length equal to that of the second argument.
-------------------	---

説明

これは例えば、PICSPEC 組み込み関数に適用される。

IBM2184I S **Compiler input files must have less than 1000000 lines.**

説明

ソース・ファイルをより小さいファイルに分割すること。

IBM2185I S **Argument to *BUILTIN name* built-in must have type REAL DECIMAL FLOAT, and the DFP option must be in effect.**

説明

このメッセージは、ISFINITE および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2186I S ***BUILTIN name* is not supported for DFP.**

説明

名前付きの組み込み関数が、DFP を使用した浮動小数点でサポートされていない。例えば、このメッセージは SQRTF 組み込み関数に適用される。

IBM2187I S **The exponent in the literal *value* is too large for DECIMAL FLOAT with precision *precision*.**

説明

小数点が含まれないように調整されたときの DFP リテラル値 (例えば、3.14E0 は 314E-2 に調整される) の指数は、その精度の最大より大きくてはいけない。精度 ≤ 7 の場合、最大は 90 である。 $7 < \text{精度} \leq 16$ の場合、最大は 369 である。 $16 < \text{精度}$ の場合、最大は 6111 である。

IBM2188I S **The exponent in the literal *value* is too small for DECIMAL FLOAT with precision *precision*.**

説明

小数点が含まれないように調整されたときの DFP リテラル値 (例えば、3.14E0 は 314E-2 に調整される) の指数は、その精度の最小より小さくてはいけない。精度 ≤ 7 の場合、最小は -95 である。 $7 < \text{精度} \leq 16$ の場合、最小は -383 である。 $16 < \text{精度}$ の場合、最小は -6143 である。

IBM2189I S **Under CMPAT(V2) and CMPAT(LE), bounds must not be greater than +2147483647.**

説明

CMPAT(V2) および CMPAT(LE) では、境界は -2147483648 から +2147483647 の範囲内になければならない。

IBM2190I S **Under CMPAT(V2) and CMPAT(LE), bounds must not be less than -2147483648.**

説明

CMPAT(V2) および CMPAT(LE) では、境界は -2147483648 から +2147483647 の範囲内になければならない。

IBM2191I S **No valid character specified in the *option* option.**

説明

OR、NOT、および QUOTE または NAMES コンパイラー・オプションのそれぞれで、少なくとも有効な文字を 1 文字指定する必要がある。

IBM2192I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN name* built-in must have a BYVALUE POINTER as parameter number *parameter-number*.**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、指定したパラメーター位置に BYVALUE POINTER がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2193I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN name* built-in must have a BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) as parameter number *parameter-number*.**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、指定したパラメーター位置に BYVALUE NATIVE FIXED BIN(31) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2194I S **Member *member-number* in the event structure argument to the *BUILTIN name* built-in must have a BYADDR POINTER as parameter number *parameter-number*.**

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、指定したパラメーター位置に BYADDR POINTER がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2195I S Member *member-number* in the event structure argument to the **BUILTIN name** built-in must have a BYADDR NATIVE FIXED BIN(31) as parameter number *parameter-number* .

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、指定したパラメーター位置に BYADDR NATIVE FIXED BIN(31) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2196I S Member *member-number* in the event structure argument to the **BUILTIN name** built-in must have a BYVALUE ALIGNED BIT(8) as parameter number *parameter-number* .

説明

SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の示されているエレメントには、指定したパラメーター位置に BYVALUE ALIGNED BIT(8) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2197I S Argument to **BUILTIN name** built-in must have type CHAR or WIDECHAR.

説明

これは、例えば ULENGTH 組み込み関数に適用される。

IBM2198I S First argument to **BUILTIN name** built-in must have type CHAR or WIDECHAR.

説明

これは、例えば UPOS および UWIDTH 組み込み関数に適用される。

IBM2199I S The run-time option XPLINK(ON) must be in effect if object code is to be generated.

説明

コンパイラー・バックエンドでは、XPLINK(ON) オプションを有効にする必要がある。

IBM2200I S DFP conversion from *source type* to *target type* failed with an operation exception. The most likely cause for this is lack of DFP hardware.

説明

メッセージに示されている変換では、DFP のソースまたはターゲット、あるいはその両方が使用されたが、この変換はコンパイル時に演算例外を伴って失敗した。これらの変換を行うには、DFP ハードウェアがインストールされているマシンでコンパイルを実行する必要がある。

IBM2201I S First argument to **BUILTIN name** built-in must have type REAL DECIMAL FIXED, or REAL DECIMAL FLOAT, and in the latter case, the DFP option must be in effect.

説明

このメッセージは、ROUNDDEC および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2202I S Use of the **BUILTIN name** built-in requires ARCH(*level*) or greater.

説明

このメッセージは、プラットフォームによりさまざまな組み込み関数に適用される。例えば、z/OS では、MEMCU4* および MEMCU*4 は、少なくとも ARCH(7) が必要となる。

IBM2203I S The VALUE attribute may be used on a structure member only if it is used on all base members of that structure.

説明

リーフ構造体メンバーに VALUE 属性がある場合、すべてに VALUE 属性がなければならない。

IBM2204I S The VALUE attribute may be used on a structure member only if no storage attribute is specified for the structure.

説明

構造体に BASED、CONTROLLED などのストレージ属性がある場合、その構造体のメンバーに VALUE 属性を指定することは無効である。

IBM2205I S **The VALUE attribute may be used on a structure member only if no dimension attributes are specified for its parents.**

説明

継承した次元を持つ構造体のメンバーに VALUE 属性を指定することは無効である。

IBM2206I S **The VALUE attribute conflicts with the DIMENSION attribute.**

説明

配列に VALUE 属性を指定することは無効である。

IBM2207I S **The VALUE attribute may be used on a structure member only if no parent has the UNION attribute.**

説明

共用体のメンバーに VALUE 属性を指定することは無効である。

IBM2208I S **VALUE 属性を含む構造体リファレンスは無効。**

説明

参照できるのは、VALUE 属性を持つエレメントを含む構造体のリーフ・エレメントのみであり、VALUE の配列の個々のエレメントのみを参照可能。

IBM2209I S **Use of nonconstant extents in BASED variables without REFER is invalid except on scalars.**

説明

BASED 変数内のエクステントは、変数がスカラーでない限り、REFER オプションを使用する場合以外はすべて定数でなければならない。したがって、下記の最初の宣言は有効だが、2 番目の宣言は無効である。

```
dcl x based char(n);
dcl y(n,m) based fixed bin(31);
```

IBM2210I S **The VALUE type function cannot be applied to *type name* since that structure has no members with an INITIAL attribute.**

説明

VALUE 型関数は、INITIAL 属性を持つ少なくとも 1 つのメンバーがある構造化型にのみ適用可能である。

IBM2211I S **Shift-out code has no closing shift-in code before the right margin.**

説明

マージン間の各 DBCS シフトアウト・コードには、対応する DBCS シフトイン・コードも同じマージン間に必要である。

IBM2212I S **Argument to the *BUILTIN name* built-in must be a structure.**

説明

示された組み込みサブルーチンに対する引数は、構造でなければならない。

IBM2213I S **Block contains too many label arrays.**

説明

プロシージャーおよび開始ブロックに含まれるラベル配列は 2048 未満でなければならない。

IBM2214I S ***Attribute* is invalid on structure parents.**

説明

XMLATTR 属性および XMLOMIT 属性は、基底付き構造エレメントでのみ使用可能である。

IBM2215I S ***Attribute* is invalid on unnamed structure elements.**

説明

XMLATTR 属性および XMLOMIT 属性は、名前付き構造エレメントでのみ使用可能である。

IBM2216I S ***Attribute* is invalid on arrays.**

説明

XMLATTR 属性および XMLOMIT 属性は、スカラー構造エレメントでのみ使用可能である。

IBM2217I S **XMLATTR is invalid if the previous element at that logical level does not also have the XMLATTR attribute.**

説明

XMLATTR 属性は、同じ論理レベルにある、その前の姉妹エレメントもすべて XMLATTR 属性を持っている場合にのみ、構造体エレメントで使用できる。

IBM2218I S **Attribute is invalid on non-native FLOAT elements.**

説明

XMLIMIT 属性は、ハードウェアでサポートされていないデータ表現を使用している FLOAT エレメントでは使用できない。

IBM2219I S **Parameters declared as INONLY must not contain any elements declared with the ASSIGNABLE attribute.**

説明

パラメーターが INONLY として宣言されている場合、ASSIGNABLE 属性はそのパラメーターおよびパラメーターに含まれるすべてのエレメントで無効である。

IBM2220I S **Parameters declared as OUTONLY must contain at least one element declared with the ASSIGNABLE attribute.**

説明

パラメーターが OUTONLY として宣言されている場合、NONASSIGNABLE 属性はそのパラメーターのすべてのエレメントで指定されてはいけいない。

IBM2221I S **A non-constant array extent in a BASED variable is invalid if the array has more than one dimension.**

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。配列で使用する場合は、配列に 1 つのみ次元があることが必要である。

IBM2222I S **A non-constant array extent in a BASED variable is invalid if the array has a non-constant lower bound.**

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。配列で使用する場合は、配列に定数下限があることが必要である。

IBM2223I S **A non-constant array extent in a BASED structure is invalid if any**

other fields in the structure have non-constant extents.

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。構造の一部である配列で使用する場合は、構造内の他のフィールドに非定数エクステンツがないことが必要である。

IBM2224I S **A non-constant AREA, BIT, GRAPHIC, or WIDECHAR extent in a BASED variable is invalid if the variable is an array element or part of a structure.**

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。AREA、BIT、GRAPHIC、または WIDECHAR エクステンツで使用する場合は、AREA またはストリングがスカラーであることが必要である。

IBM2225I S **A non-constant CHARACTER extent in a BASED variable is invalid if the string is ALIGNED and either VARYING or VARYING4.**

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。CHARACTER エクステンツで使用する場合は、ストリングが UNALIGNED、NONVARYING、または VARYINGZ のいずれかである必要がある。

IBM2226I S **A non-constant array extent in a BASED variable is invalid if there are any sibling fields after the array or any of the array's parents.**

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。配列で使用する場合は、配列と配列の親に兄弟フィールドがあってはならない。

IBM2227I S **A non-constant CHARACTER extent in a BASED structure is invalid if the string is a member of an array of structures.**

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。CHARACTER エクステンツで使用する場合は、ストリングが配列の一部でないことが必要である。

IBM2228I S **A non-constant CHARACTER extent in a BASED structure is invalid unless the string is the last field in the structure and not part of a union.**

説明

REFER を使用しない BASED 変数での非定数エクステンツの使用には制限がある。CHARACTER エクステンツで使用する場合は、ストリングが構造内の最後の要素である必要がある (共用体の一部であってはならない)。

IBM2230I S **The argument to the *BUILTIN* name built-in must have the attributes REAL FIXED BIN and scale factor zero.**

説明

このメッセージは、例えば POPCNT 組み込み関数に適用される。

IBM2231I S **The *BUILTIN* name built-in is supported only with the native character set.**

説明

XMLCHAR 組み込み関数は Windows または AIX の DFT(EBCDIC) では使用できず、またホストの DFT(ASCII) でも使用できない。

IBM2232I S **There must be only one target in a BY DIMACROSS assignment.**

説明

BY DIMACROSS 代入内では複数のターゲットは許可されない。例えば、以下のコードは無効である。

```
dcl 1 a, 2 a1 fixed bin, 2 a2 fixed bin;
dcl 1 b like a;
dcl 1 c(100) dimacross like a;

a,b = c, by dimacross(jx);
```

IBM2233I S **The target in a BY DIMACROSS assignment must be a structure reference.**

説明

BY DIMACROSS 代入内のターゲットは構造体またはスカラーの配列にすることはできない。例えば、以下のコードは無効である。

```
dcl 1 a(100), 2 a1 fixed bin, 2 a2 fixed bin;
dcl 1 b(100) dimacross, 2 b1 fixed bin, 2 b2 fixed bin;

a = b, by dimacross(1);
```

IBM2234I S **No arrays are permitted in the source in a BY DIMACROSS assignment.**

説明

BY DIMACROSS 代入内のソースには、配列参照を含めることはできない。

IBM2235I S **In a BY DIMACROSS assignment, the immediate children of any structure not declared with DIMACROSS must not be arrays.**

説明

BY DIMACROSS 代入内で使用される構造体の直接の子は、スカラーまたは副構造でなければならない。しかし、構造体が DIMACROSS 属性で宣言されていない限り、配列であってはならない。例えば、以下のコードは無効である。

```
dcl 1 a, 2 a1(100) fixed bin, 2 a2(100) fixed bin;
dcl 1 b(100) dimacross, 2 b1 fixed bin, 2 b2 fixed bin;

a = b, by dimacross(1);
```

IBM2236I S ***BUILTIN* name argument must have the DIMACROSS attribute.**

説明

指定された組み込み関数は、DIMACROSS 属性で宣言された変数への参照に適用される場合にのみ有効である。

IBM2237I S **The third argument to the ALLCOMPARE built-in must be a CHAR(2) constant.**

説明

ALLCOMPARE 組み込み関数の 3 つ目の引数は、属性 CHAR(2) NONVARYING を持つ制限付きの式でなければならない。

IBM2238I S **The third argument to the ALLCOMPARE built-in must specify the name of a comparison operator.**

説明

大文字の場合、ALLCOMPARE 組み込み関数の 3 つ目の引数は、'EQ'、'LT'、'LE'、'GE'、'GT'、'NE' のいずれかでなければならない。

IBM2239I S Invalid use of unspecified STRUCT type *type name*.

説明

DEFINE STRUCT ステートメントでメンバー名が指定されていない場合、型の逆参照を試みる処理は無効である。

IBM2240I S Arithmetic operations are not allowed on handles for unspecified structure definitions.

説明

指定されていない構造体のサイズが不明なため、その構造体のハンドルにおけるすべての算術演算が正しく定義されない。

IBM2241I S The argument to the type function *type function* must be a specified structure type name.

説明

示されている型関数の引数は、完全に指定された構造体型の名前で行なければならない。

IBM2242I S Subtraction of HANDLE from HANDLE is invalid unless both point to the same type.

説明

h1 が構造体型 t1 のハンドルであり、h2 が構造体型 t2 のハンドルである場合、t1 と t2 が同じでない限り、h1-h2 は無効となる。

IBM2243I S The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant *variable name* do not match those in its explicit declaration. RETURNS attributes do not match.

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2244I S The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant *variable name* do

not match those in its explicit declaration. BYVALUE/BYADDR attributes in RETURNS do not match.

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2245I S The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant *variable name* do not match those in its explicit declaration. LINKAGE values do not match.

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2246I S The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant *variable name* do not match those in its explicit declaration. OPTIONS values do not match.

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2247I S The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant *variable name* do not match those in its explicit declaration. Parameter counts do not match.

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2248I S The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant *variable name* do not match those in its explicit declaration. BYVALUE/BYADDR

attributes in parameter *parameter-number* do not match.

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2249I S	The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant <i>variable name</i> do not match those in its explicit declaration. Number of dimensions for parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	---

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2250I S	The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant <i>variable name</i> do not match those in its explicit declaration. Lower bounds for parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	---

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2251I S	The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant <i>variable name</i> do not match those in its explicit declaration. Upper bounds for parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	---

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2252I S	The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant <i>variable name</i> do not match those in its explicit
-------------------	---

declaration. Alignment of parameter *parameter-number* does not match.

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2253I S	The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant <i>variable name</i> do not match those in its explicit declaration. Number and attributes of structure members in parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	--

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2254I S	The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant <i>variable name</i> do not match those in its explicit declaration. Attributes of parameter <i>parameter-number</i> do not match.
-------------------	--

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた ENTRY 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は DECLARE 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2255I S	The argument to the <i>BUILTIN name</i> built-in must be numeric, bit, or character.
-------------------	---

説明

このメッセージは、UTF8 組み込み関数に適用される。GRAPHIC 引数と非計算引数は使用できない。

IBM2256I S	The result of the <i>BUILTIN name</i> built-in function would have a length greater than the the maximum allowed for a CHARACTER string.
-------------------	---

説明

CHAR または WCHAR を UTF-8 に変換すると、結果として、ソース・ストリングよりも長いストリングが生成されることがある。これは、一部の CHAR(1) 値と WCHAR(1) 値からは、UTF-8 への変換時に CHAR(2) ストリングまたは CHAR(3) ストリングが生成されることがあるためである。これらの値がソース・ストリングに含まれていて、その数が多すぎる場合は、ターゲット・ストリングの長さが、CHARACTER ストリングに許可されている最大長を超えてしまうこともある。

IBM2257I S The argument to the *BUILTIN* name built-in function must hold valid UTF-16.

説明

このメッセージは、UTF8 組み込み関数に適用される。

IBM2258I S The argument to the *BUILTIN* name built-in must have type CHARACTER.

説明

このメッセージは UTF8TOCHAR および UTF8TOWCHAR 組み込み関数に適用される。

IBM2259I S *BUILTIN* 名組み込みの引数には、有効な UTF-8 が含まれている必要がある。

説明

このメッセージは UTF8TOCHAR および UTF8TOWCHAR 組み込み関数に適用される。

IBM2260I S INITIAL expressions in DEFINE STRUCT must not depend on any address values.

説明

この式は制限付きの単純な式でなければならない。例えば、ENTRY 定数、FILE 定数、LABEL 定数をこの INITIAL 式で使用してはならない。

IBM2261I S Overpunch and currency characters are not allowed in WIDEPIC specifications.

説明

これらの文字は PICTURE 指定では許可されるが、WIDEPIC では許可されない。

IBM2262I S A and X characters are not allowed in WIDEPIC specifications.

説明

これらの文字は PICTURE 指定では許可されるが、WIDEPIC では許可されない。

IBM2263I S REFER objects must not be COMPLEX WIDEPIC.

説明

REFER オブジェクトには REAL 属性がなければならない。

IBM2264I S The *attribute* attribute is invalid in a LOCATES descriptor.

説明

LOCATES 記述子に構造体、共用体、または配列を指定していない可能性がある。以下のコード例は無効である。

```
    dcl b offset(a) locates( 1 union, 2 ptr, 2
    ptr );
```

IBM2265I S Extents in LOCATES descriptors must be constants.

説明

LOCATES 記述子の中では、ストリング長および AREA サイズは、計算型の制限付き式を用いて指定しなければならない。

IBM2266I S The argument to *BUILTIN* name built-in must have the LOCATES attribute.

説明

この規則は、LOCVAL および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2267I S The first argument to *BUILTIN* name built-in must have the LOCATES attribute.

説明

この規則は、LOCNEWSPACE および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2268I S Argument to the LOCVAL pseudovisible must have the LOCATES attribute.

説明

LOCVAL 疑似変数は、LOCATES 属性を持つ変数に対してのみ適用できる。

IBM2269I S **LOCATES attribute is valid only with OFFSET.**

説明

LOCATES 属性は、OFFSET 以外の型では使用できない。

IBM2270I S **Only one description is allowed in a LOCATES descriptor.**

説明

位置指定される型には、値を 1 つしか指定できない。以下の宣言は誤りである。

```
dcl b offset(a) locates( ptr, ptr );
```

IBM2271I S **The first argument to *BUILTIN name* built-in must be a scalar reference.**

説明

この規則は、LOCNEWSPACE および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2272I S **The second argument to *BUILTIN name* built-in must be a scalar reference.**

説明

この規則は、LOCNEWVALUE および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2273I S **The OFFSET argument to *BUILTIN name* built-in must have an AREA qualification.**

説明

この規則は、LOCVAL および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2274I S **The second argument to *BUILTIN name* built-in must have the LOCATES attribute.**

説明

この規則は、LOCNEWVALUE および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2275I S **Third argument to *BUILTIN name* built-in must have type AREA.**

説明

この規則は、LOCNEWVALUE 組み込み関数に適用される。

IBM2276I S **The argument to *BUILTIN name* built-in must have the LOCATES attribute or contain subelements with the LOCATES attribute.**

説明

この規則は、LOCSTG および類似の組み込み関数に適用される。

IBM2277I S **%INCLUDE statements are not allowed under NOINCLUDE.**

説明

NOINCLUDE コンパイラー・オプションでは、MACRO プリプロセッサが使用される場合にのみ %INCLUDE ステートメントが有効となる。

IBM2278I S **Source is not valid UTF-8.**

説明

ソース・ファイルに、UVALID 組み込み関数によって拒否される行が含まれている。

IBM2279I S ***option* option contains invalid UTF-8.**

説明

指定されたオプションに、UVALID 組み込み関数によって拒否される値が含まれている。

IBM2280I S **The corresponding characters in the two NAMES strings must have the same length.**

説明

NAMES('abc', 'xyz') オプションでは、最初のストリングに含まれる各 UTF-8 文字が、2 番目のストリングに含まれる UTF-8 文字と同じ長さで対応していなければならない。

IBM2281I S **The first argument to *BUILTIN name* built-in must have computational type or ordinal type.**

説明

示されている組み込み関数が式に含まれているが、その関数で指定されている引数が計算型ではなく、序数型でもない。このメッセージは組み込み関数 INLIST と BETWEEN に適用される。

IBM2282I S	REINIT reference must be a level 1 item.
-------------------	---

説明

ステートメント REINIT x の x は、構造体や共用体のメンバーであってはならない。

IBM2283I S	REINIT references must be BASED, AUTO, CTL or STATIC.
-------------------	--

説明

ステートメント REINIT x の x は、DEFINED、定数、パラメーターであってはならない。

IBM2284I S	The first and second arguments to the <i>BUILTIN</i> name built-in must have matching types.
-------------------	---

説明

このメッセージは、LOCNEWVALUE 組み込み関数に適用される。LOCNEWVALUE(x, y) の y に属性 LOCATES(t) (t は ORDINAL 型か STRUCT 型) が設定されている場合は、x も同じ型でなければならない。

IBM2285I S	The argument to the <i>BUILTIN</i> name built-in must have the attributes UNSIGNED REAL FIXED BIN(64,0).
-------------------	---

説明

例えば、組み込みサブルーチン PLISTCK と PLISTCKF などに適用される。

IBM2286I S	The argument to the <i>BUILTIN</i> name built-in must have the attributes CHAR NONVARYING and length length.
-------------------	---

説明

例えば、引数の長さが 16 でなければならない PLISTCKE 組み込みサブルーチンなどに適用される。

IBM2287I S	Argument number <i>argument</i> number to the <i>BUILTIN</i> name built-in must contain only standard computational types.
-------------------	---

説明

JsonGetValue や他の同様の組み込み関数は、スケール係数が負になっているか精度より大きくなっている FIXED 数値、COMPLEX 数値、非計算型が含まれている集合体やスカラーには適用できない。

IBM2288I S	Argument number <i>argument</i> number to the <i>BUILTIN</i> name built-in must not be a UNION or contain any UNIONS.
-------------------	--

説明

JsonGetValue や他の同様の組み込み関数は、共用体または共用体を含む構造体には適用できない。

IBM2289I S	Argument number <i>argument</i> number to the <i>BUILTIN</i> name built-in must not contain any GRAPHIC elements.
-------------------	--

説明

JsonGetValue や他の同様の組み込み関数は、GRAPHIC データを含む集合体やスカラーには適用できない。

IBM2290I S	Member <i>member-number</i> in the event structure argument to the <i>BUILTIN</i> name built-in must have a BYADDR NATIVE FIXED BIN(63) as parameter number <i>parameter-number</i>.
-------------------	---

説明

ここで挙げられている、SAX パーサー用のイベント・ハンドラーを提供する構造体の要素では、指定のパラメーター位置に BYADDR NATIVE FIXED BIN(63) がなければならない。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM2291I S	属性 精度が無効である。
-------------------	---------------------

説明

64 ビット・モードの場合、POINTER の精度の有効値は 32 と 64 だけである。それ以外の場合の有効値は 32 だけである。

IBM2292I S	Target in <i>statement</i> statement must not be the name of a PROC or ENTRY statement.
-------------------	--

説明

FETCH ステートメントまたは RELEASE ステートメントのターゲットは、現在のコンパイル単位の外部に存在しなければならない。

IBM2293I S **The *BUILTIN* name built-in is not supported under CMPAT(V1).**

説明

この組み込み関数を使用したコードをコンパイルする場合は、CMPAT(V2)、CMPAT(V3) または CMPAT(LE) を使用する必要がある。

IBM2294I S **LIMITS オプションの *STRING* サブオプションの値が 64K を超える場合は、CMPAT (V3) および CMPAT (LE) の下でのみ有効。**

説明

65535 より長いストリングは、CMPAT (V1) または CMPAT (V2) ではサポートされない。

IBM2295I S **A value greater than 32K for the *STRING* suboption of the *LIMITS* option is valid only under BIFPREC(31).**

説明

BIFPREC(15) では、32767 より長いストリングはサポートされていない。

IBM2296I S **Argument number *argument number* to *BUILTIN* name built-in must have the same ordinal type as the first argument.**

説明

示されている組み込み関数が式に含まれているが、その関数で指定されている引数が非序数型であるか、最初の引数と同じ序数型ではない序数型である。このメッセージは組み込み関数 INLIST と BETWEEN に適用される。

IBM2297I S **The *BUILTIN* name built-in function is supported only under LP(64).**

説明

ALLOC31 などの組み込み関数は、z/OS 下および LP(64) オプション下でのみサポートされる。

IBM2298I S **The *BUILTIN* name built-in function is supported only when the compiler option CHECK(STORAGE) is used.**

説明

ALLOCsize などの組み込み関数は、CHECK(STORAGE) コンパイラー・オプション下でのみサポートされる。

IBM2299I S **No value can fall in the interval defined by the second and third arguments to the *BUILTIN* name built-in function.**

説明

BETWEEN(x,a,b) 内の値 a および b は $a \leq b$ を満たしていなければならない。BETWEENEXCLUSIVE(x,a,b) 内の値 a および b は $a < b$ を満たしていなければならない。BETWEENLEFTEXCLUSIVE および BETWEENRIGHTEXCLUSIVE の場合も同様である。

IBM2300I S **The compiler was disabled in the IFAPRDxx parmlib member. The compilation will terminate without further processing.**

説明

コンパイラーの SMF 登録は、IFAPRDxx parmlib メンバーで無効になっているため失敗しました。

IBM2301I S **The IFAEDREG registration of the compiler failed with return code *return code* . The compilation will terminate without further processing.**

説明

コンパイラーの SMF 登録が示された戻りコードで失敗しました。

IBM2302I S **The option *option* is not supported under LP(64).**

説明

示されているオプションは、LP(64) ではサポートされません。このことは、例えば SYSTEM(IMS) オプションに当てはまります。

IBM2303I S ***codepage* is not a supported codepage.**

説明

示された値はサポートされているコード・ページではありません。サポートされているコード・ページのリストについては、「プログラミング・ガイド」を参照してください。

IBM2304I S **The *attribute* attribute is not supported under CMPAT(V1).**

説明

この属性を使用するコードのコンパイル時には、CMPAT(V2)、CMPAT(V3)、または CMPAT(LE) を使用する必要があります。

IBM2305I S The ASSERT COMPARE operator must be a CHAR(2) constant.

説明

ASSERT COMPARE ステートメントで演算子が指定された場合、その演算子は属性 CHAR(2) NONVARYING のある制限付きの式でなければなりません。

IBM2306I S The ASSERT COMPARE operator must specify the name of a comparison operator.

説明

ASSERT COMPARE ステートメントで演算子が指定された場合、その演算子は「EQ」、「LT」、「LE」、「GE」、「GT」、または「NE」のいずれかでなければなりません。

IBM2307I S The first argument to the *BUILTIN* name built-in must be a suitable one-dimensional array.

説明

示された組み込み関数への配列引数にある次元は 1 つのみでなければなりません。BINSEARCH と QUICKSORT の場合、配列はスカラーからなるものでなければなりません。このメッセージは、BINSEARCH、BINSEARCHX、QUICKSORT、および QUICKSORTX 組み込み関数に適用されます。

IBM2308I S The first argument to the *BUILTIN* name built-in must be ALIGNED if NONVARYING BIT.

説明

示された組み込み関数への最初の引数が NONVARYING BIT である場合、その引数は ALIGNED でなければなりません。このメッセージは、BINSEARCH、BINSEARCHX、QUICKSORT、および QUICKSORTX 組み込み関数に適用されます。

IBM2309I S Comparison in *BUILTIN* name built-in function is unsupported.

説明

このメッセージは BINSEARCH 組み込み関数および類似の関数に適用されます。配列引数と検索引数は、両方がストリングまたは REAL 数値であるか、両方が同じ序数タイプの序数であるか、両方がポインターである

か、または両方が同じ構造体に対するハンドルでなければなりません。

IBM2310I S The compare function passed to the *BUILTIN* name built-in must be a LIMITED ENTRY, must return BYVALUE a NATIVE FIXED BIN(31), must have exactly two BYVALUE POINTER arguments, and must have the OPTLINK linkage.

説明

このメッセージは BINSEARCHX 組み込み関数および類似の関数の 3 番目の引数に適用されます。この引数は、バイナリー・サーチ中にエレメントを比較するために呼び出す比較関数です。これは LIMITED ENTRY (したがってネストされた PROCEDURE であってはならない) でなければならず、メッセージに示された他のプロパティーを持っていないければなりません。

IBM2311I S Labels are not allowed on the END statement for a PACKAGE.

説明

パッケージの END ステートメントには、ラベルを適用しないでください。

IBM2312I S Argument number *argument* number to *BUILTIN* name built-in must be a scalar expression.

説明

指定されている引数が集合式である場合、式には示されている組み込み関数が含まれる。

IBM2313I S Argument number *argument* number to *BUILTIN* name built-in must be an array expression.

説明

指定されている引数がスカラー式または構造体式である場合、式には示されている組み込み関数が含まれる。

IBM2314I S *BUILTIN* name built-in does not support arrays of this type.

説明

QUICKSORT 組み込みは限定されたセットの配列型のみをサポートする。例えば、FIXED BIN 配列と ORDINAL 配列は REAL と NATIVE でなければなりません。

IBM2315I S ***BUILTIN*** 名 組み込みに対する引数番号 ***argument number*** のタイプは **size_t** でなければならない。

説明

このメッセージは、一部の引数が属性 **NATIVE REAL FIXED BIN PRECISION (p,0)** を持つ必要がある場合に **REGEX** およびその他の組み込み関数に適用される。ここで、**p = 31** (32 ビット・アドレッシング・モード) および **p = 63** (64 ビット・アドレッシング・モード)。

IBM2316I S **Argument number *argument number* to *BUILTIN* name built-in must have CHARACTER type.**

説明

このメッセージは、**REGEX** および他の組み込み関数に、**CHARACTER** 属性でなければならない引数がある場合に適用される。

IBM2317I S **Argument number *argument number* to *BUILTIN* name built-in must be an ASSIGNABLE reference.**

説明

示された組み込み関数への示された引数は、値を割り当てられるようにするため、**ASSIGNABLE** 参照でなければならない。このメッセージは、例えば **REGEX** 組み込み関数の最初の 2 つの引数に適用される。

IBM2318I S ***attribute* attribute is valid only with computational types.**

説明

VALUelist 属性と **VALUERANGE** 属性は、非計算タイプには使用できません。

IBM2319I S ***attribute* attribute is not valid with COMPLEX types.**

説明

VALUERANGE 属性は、**COMPLEX** 数値型では使用できない。

IBM2320I S **First argument to *BUILTIN* name built-in must be a reference to a variable with the VALIDLIST or VALIDRANGE attribute.**

説明

VALIDVALUE 組み込み関数の引数は、値を宣言済みのリストまたは値の範囲に照らしてチェックできるように、上記のいずれかの属性である必要がある。

IBM2321I S ***attribute* contains duplicate values.**

説明

VALUelist リストと **VALUERANGE** リストの項目は固有でなければならない。

IBM2322I S **The second value in the VALUERANGE attribute must be larger than the first.**

説明

VALUERANGE 属性の項目は厳密に昇順でなければならない。以下の場合には両方とも無効である。

```
decl a fixed bin valuerange(12,1);
decl b fixed bin valuerange(1,1);
```

IBM2323I S ***BUILTIN* 名 組み込みに対する引数数値 および 数値 は、比較可能なタイプでなければなりません。**

説明

VALIDVALUE 組み込み関数の引数どうしは比較できるものでなければならない。同様に、**IFTHENELSE** 組み込み関数の 2 番目と 3 番目の引数は比較可能でなければならない。つまり、最初の引数が計算型である場合は、2 番目の引数も計算型である必要があり、最初の引数が序数型である場合は、2 番目の引数も同じ序数型である必要がある、などということである。

IBM2324I S **The attributes derived from the PROCEDURE statement for the ENTRY constant *variable name* do not match those in its explicit declaration. The EXTERNAL names do not match: one name is *external name*, and the other is *external name*.**

説明

PROCEDURE ステートメントのラベルは、その名前が付いた **ENTRY** 定数の宣言を構成する要素の 1 つとなる。この名前は **DECLARE** 宣言にも現れているが、この 2 つの宣言の間で属性が一致しない。

IBM2325I S **The values specified for the ROUTCDE and DESC in a WTO must be between 1 and 16.**

説明

これらの値は、WTO または WTOR が発行されるときに、ROUTCODE フィールドと DESC フィールドにどのビットが設定されるかを指定する。これらのフィールドは 16 ビットで構成されているので、値は 1 以上 16 以下でなければならない。

IBM2326I S **The argument to the *BUILTIN* name built-in must have UCHAR type.**

説明

このメッセージは LowerLatin1、UpperLatin1、および関連する組み込み関数に適用される。

IBM2327I S **TRANSLATE of a UCHAR string requires 3 arguments.**

説明

CHARACTER 文字列の TRANSLATE は 2 つの引数を取り、COLLATE() は 3 番目の引数であると想定される。しかし、UCHAR 文字列の TRANSLATE にはそれと同等のサポートがない。

IBM2328I S **UX literal specifies an invalid UTF-8 string.**

説明

すべての 16 進文字列が有効な UTF-8 文字列を表してはいない。有効な UTF-8 文字列について詳しくは、LRM および UVALID 組み込み関数について説明しているテキストを参照のこと。

IBM2329I S **Argument to *BUILTIN* name built-in must have type CHAR, UCHAR or WCHAR.**

説明

これは例えば、UVALID 組み込み関数に適用される。

IBM2330I S **The *BUILTIN* name built-in does not support UCHAR arguments.**

説明

これは、例えば CENTER、LEFT、および RIGHT 組み込み関数に適用される。

IBM2331I S **The input structure to the *BUILTIN* name built-in must not contain any UTF-8 elements.**

説明

XMLCHAR 組み込み関数は、UCHAR データを含む構造体には適用できない。

IBM2332I S **The base reference in the DEFINED attribute cannot have a UTF-8 type.**

説明

DEFINED では UCHAR はサポートされていない。

IBM2333I S **Argument number *argument* number to *BUILTIN* name built-in must have a computational, ordinal or pointer type.**

説明

示されている組み込み関数が式に含まれているが、その関数で指定されている引数が序数型ではなく、POINTER または HANDLE でもない。このメッセージは IFTHENELSE 組み込み関数に適用されます。

IBM2334I S **Argument number *argument* number to *BUILTIN* name built-in must be nonvarying with a known length.**

説明

示されている組み込み関数が式に含まれているが、その関数で指定されている引数が VARYING 長または不明な長さのいずれかである文字列である。このメッセージは IFTHENELSE 組み込み関数に適用されます。

IBM2335I S **VALUELISTFROM 参照は、VALUE 属性を持つエレメントのみで構成される構造を指定する必要がある。**

説明

VALUELISTFROM X で、X に副構造体が含まれていてはならず、X のすべての要素が VALUE 属性を持っていないなければならない。

IBM2336I S **The fourth argument to the *BUILTIN* name built-in must be a contant specifying the name of a casing rule.**

説明

大文字の場合、指定された組み込み関数の引数は、「ASIS」、「LOWER」、または「UPPER」のいずれかでなければならない。

IBM2337I S ***BUILTIN* name argument must have numeric type.**

説明

式には、示された組み込み関数が入っているが、この関数には FIXED、FLOAT、または数値 PICTURE でない引数がある。

IBM2338I S	A QUALIFY block may contain only DEFINE statements, DECLARE statements, and nested QUALIFY blocks.
-------------------	---

説明

例えば、DEFAULT ステートメントは QUALIFY ブロック内で使用できない。

IBM2339I S	A QUALIFY block must have a name, but only one.
-------------------	--

説明

QUALIFY ステートメントにはラベルを 1 つだけ指定する。

IBM2340I S	A name declared in a QUALIFY block must be a scalar.
-------------------	---

説明

QUALIFY ブロックの DECLARE ステートメントに構造体、共用体、または配列を指定することはできない。

IBM2341I S	A name declared in a QUALIFY block must have the VALUE attribute.
-------------------	--

説明

QUALIFY ブロックの DECLARE ステートメントが VALUE 属性を持っていない場合は、そのステートメントに変数または定数を指定できない。

IBM2342I S	16 進値 <i>source-value</i> を持つ GARPIC 文字を CHARACTER に変換しようとしたときに、CONVERSION 条件が発生した。
-------------------	--

説明

ソース値を SBCS に変換することはできない。

IBM2343I S	The type name <i>type name</i> is ambiguous.
-------------------	---

説明

型参照を固有なものにするには、十分な修飾を与えなければならない。

IBM2344I S	<i>type name</i> is a type name, but not the name of a STRUCTURE type.
-------------------	---

説明

HANDLE x を指定する宣言ステートメントで、x は STRUCTURE 型の名前でなければならない。

IBM2345I S	<i>type name</i> is a type name, but not the name of an ORDINAL type.
-------------------	--

説明

ORDINAL x を指定する宣言ステートメントで、x は ORDINAL 型の名前でなければならない。

IBM2346I S	<i>BUILTIN</i> 名組み込みの引数番号 <i>argument number</i> の組み込みは、スカラーまたはスカラーの 1 次元配列のいずれかでなければならない。
-------------------	---

説明

これは、例えば REGEX 組み込み関数に適用される。

IBM2347I S	<i>BUILTIN</i> 名組み込みの第 2 引数は、第 1 引数と同じ次元数でなければならない。
-------------------	--

説明

これは、例えば REGEX 組み込み関数に適用される。REGEX (x, y, ...) では、x と y の両方がスカラーであるか、両方が 1 次元でなければなりません。

IBM2348I S	<i>BUILTIN</i> 名組み込みの第 2 引数は、第 1 引数と同じ下限値を持つ必要がある。しかし、その下限は <i>Lbound</i> であり、最初の引数の下限は <i>Lbound</i> です。
-------------------	--

説明

これは、例えば REGEX 組み込み関数に適用される。

IBM2349I S	<i>BUILTIN</i> 名組み込みの第 2 引数は、第 1 引数と同じ上限値でなければならない。しかし、その上限は <i>Hbound</i> であり、最初の引数の上限は <i>Hbound</i> である。
-------------------	--

説明

これは、例えば REGEX 組み込み関数に適用される。

IBM2350I S	属性は BYADDR を戻さなければならない。
-------------------	--------------------------------

説明

PICTURE および VARYING の RETURNS では BYADDR を使用する必要がある。

IBM2351I S **BUILTIN** 名のスケール・ファクターが 0 より小さい。

説明

名前付き組込み関数のスケールファクターは、負でない値でなければなりません。コンパイラーは、以下の 2 番目のステートメントにフラグを立てるが、3 番目のステートメントにはフラグを立てない (2 番目のステートメントの代わりになる可能性がある)。

```
b = round( c, -1 );  
b = 10 * round( c/ 10, 0 );
```

IBM2352I S **BUILTIN** 名のスケール・ファクターは、精度を超えてはなりません。

説明

名前付き組込み関数のスケールファクターは、精度以下でなければなりません。

```
dcl b fixed dec(31,10);  
display( round(b,32) );
```

IBM2353I S **FIXED** (精度,スケール係数) と **FIXED** (精度,スケール係数) を乗算すると、-128 と 127 の間にないスケール・ファクターを持つ結果が生成されます。

説明

乗算の結果のスケール・ファクターは、2 つのスケール・ファクターの合計となる。この値は -128 から 127 の間でなければならない。

IBM2354I S **FIXED** (精度,スケール係数) と **FIXED** (精度,スケール係数) を割ると、-128 と 127 の間でないスケール・ファクターを持つ結果が得られる。

説明

除算の結果のスケール・ファクターは、2 つのスケール・ファクターの差に、最大許容精度と被除数の精度の差を加算したものである。この値は -128 から 127 の間でなければならない。

IBM2355I S スケール・ファクターの差が許容される最大精度より大きい場合、**FIXED** (*precision,scale-factor*) と

FIXED (*precision,scale-factor*) の加算および減算は許可されない。

説明

BIN (p1,q1) と **BIN** (p2,q2) の加算、減算は、値 **abs** (q1-q2) が 63 以下でなければならない。DEC(p1,q1) および DEC(p2,q2) の加算、減算は、値 **abs** (q1-q2) が 31 以下でなければならない。

IBM2356I S カンマリストの数 **commalist_count** において、式の数は **element_count** であるが、最初のコマリストの式の数は **element_count** である。各カンマリスト内の式の数は一致する必要がある。

説明

INITACROSS 属性の各カンマリスト内の式の数は一致していなければならない。そうでなければ、**INITACROSS** 構造体の一部のメンバーの **INITIAL** 値が少なすぎたり多すぎたりする。例えば、この (無効な) 宣言では、(スペインの首都が欠落しているため) 3 番目のカンマリストの要素は、前の 2 つのカンマリストの要素より 1 つ少ない。

```
dcl  
1 data(3) static  
  
initacross( ('DE','Germany', 'Berlin' )  
, ('FR','France', 'Paris' )  
, ('SP','Spain' )  
)  
,2 cc char(2)  
,2 name char(40) var  
,2 capital char(40) var  
;
```

IBM2357I S **INITACROSS** 構造体のメンバー数 **member_count** が、**INITACROSS** 属性の暗黙のメンバー数 **element_count** と一致しない。

説明

INITACROSS 構造体の明示的なメンバー数は、**INITACROSS** の各カンマリストの要素数で定義される暗黙的なメンバー数としなければならない。例えば、この (無効な) 宣言では、構造体の明示的なメンバー数は 2 であるが、暗黙的なメンバー・カウントは 3 である。

```
dcl  
1 data(3) static  
  
initacross( ('DE','Germany', 'Berlin' )  
, ('FR','France', 'Paris' )  
)
```

```

        , ('SP', 'Spain',
        'Madrid'))
        , 2 cc      char(2)
        , 2 name    char(40) var
;

```

IBM2358I S **INITACROSS** 構造体は、1 次元配列でなければならない。

説明

INITACROSS 属性は、継承された次元を持たない 1 次元配列にのみ適用しなければならない。

IBM2359I S **INITACROSS** 構造体メンバーはすべてスカラーでなければならない。

説明

INITACROSS 属性を持つ構造体のメンバーは、構造体や共用体であってはならず、構造体自体から継承したもの以外のディメンションを持ってはならない。

IBM2364I S **OPTIONS (amode option)** で宣言された **ENTRY** は、**OPTIONS (option name)** も指定する必要がある。

説明

OPTIONS(AMODE31) および OPTIONS(AMODE64) では、FETCHABLE、NODESCRIPTOR、LINKAGE オプションの指定が必要です。

IBM2365I S **OPTIONS (amode option)** で宣言された **ENTRY** は、短精度整数型の **RETURNS BYVALUE** か、**RETURNS BYADDR**、または **RETURNS** なしのいずれかを指定しなければなりません。

説明

OPTIONS(AMODE31) または OPTIONS(AMODE64) を指定した **ENTRY** は、他のタイプを返すことはできない。AMODE31 および AMODE64 の **RETURNS BYVALUE** には、4 バイト以下の **ORDINAL** およびスケールなし **REAL FIXED BIN** のみが可能である。

IBM2366I S **OPTIONS (amode option)** で宣言された **ENTRY** に渡される引数は、アドレスと整数を除き、すべて **BYADDR** で渡さなければならない。

説明

OPTIONS(AMODE31) および OPTIONS(AMODE64) は、引数が **POINTER**、**HANDLE**、**ORDINAL**、**REAL FIXED BIN** のいずれかのタイプでない限り、**BYVALUE** を渡すことをサポートしない。

IBM2367I S **OPTIONS (AMODE31)** または **OPTIONS (AMODE64)** で宣言された **ENTRY** は暗黙的または明示的に別の **ENTRY** に割り当てることはできない。

説明

OPTIONS(AMODE31) または OPTIONS(AMODE64) を持つ **ENTRY** は、代入元、引数、RETURN 値として使用することはできない。

IBM2368I S **OPTIONS (amode option)** で宣言された **ENTRY** は、64 個以下のパラメーターを括弧で囲んだリストでしなければならない (空でも可)。

説明

OPTIONS(AMODE31) または OPTIONS(AMODE64) を指定した **ENTRY** は、**ENTRY** としてのみ宣言することはできない。その宣言は、予期される引数の数を示す必要があり、その数は 64 以下でなければならない。引数がない場合は、**ENTRY ()** として宣言する必要がある。

IBM2369I S **OPTIONS (AMODE31)** を指定して宣言された **ENTRY** に渡されるすべての集合引数は、変数参照でなければなりません。

説明

OPTIONS(AMODE31) で **ENTRY** に渡される引数は、構造体や配列式であってはならない。

IBM2370I S 名前のキーワードで指定された属性が、元の定義にある属性と一致しない。

説明

XDECLARE の属性は、その元の DECLARE の属性と正確に一致していなければならない。

IBM2371I S ソースは、ソースパターンの長さ **source-pattern** より小さい長さ **source-length** を有する。パターンにゼロ消去がないため、この **REPATTERN** を起動すると **ERROR** 条件が発生する。

説明

REPATTERN(d, p, q) において、LENGTH(d) が LENGTH(q) より小さい場合、q にゼロ抑制 (Z) 文字が含まれている場合にのみ、コードは有効である。

IBM2372I S **XDECLARE** ステートメントでは、名前を指定する必要がある。

説明

XDECLARE * および XDECLARE 1 * で始まるステートメントは、無効である。

第 5 章 MACRO、CICS、および SQL プリプロセッサ・メッセージ (3000 から 3999)

IBM3000I I NOTE

説明

このメッセージは DB2 または CICS バックエンド・メッセージをレポートするために使用され、戻りコード 0 と共に使用される。

IBM3019I I プログラムには変換を必要とする EXEC SQL ステートメントが含まれていない。

説明

SQL サブオプションが PP オプションに対して指定されているが、プログラムには EXEC SQL ステートメントが含まれていない。ただし EXEC SQL INCLUDE ステートメントは含まれる場合がある。DBRMLIB は更新されない。

IBM3020I I Comment spans *line-count* lines.

説明

コメントが開始行とは別の行で終わっている。これは、コメント終了を表す区切り文字が欠落している可能性を示す。

IBM3021I I String spans *line-count* lines.

説明

ストリングが開始行とは別の行で終わっている。これは、右引用符が欠落している可能性を示す。

IBM3024I I NOTE

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 0 と共に使用される。

IBM3250I W NOTE

説明

このメッセージは DB2 または CICS バックエンド・メッセージをレポートするために使用され、戻りコード 4 と共に使用される。

IBM3251I W *identifier* is multiply defined, but with different attributes. The declaration is ignored.

説明

属性と宣言は整合していなければならない。

```
%a: proc;  
%end;  
%dcl a;
```

IBM3252I W 属性 *attribute* は前の属性と競合しているため、無視される。

説明

属性は整合性のあるものでなければならない。

```
dcl a fixed char;
```

IBM3253I W Comment spans more than one file.

説明

コメントが、開始ファイルとは別のファイルの中で終わっている。これは、コメント終了ステートメントが欠落している可能性を示す。

IBM3254I W String spans more than one file.

説明

ストリングが、それが始まったファイルとは別のファイルの中で終わっている。これは、右引用符が欠落している可能性を示す。

IBM3255I W Delimiter missing between *nondelimiter* and *nondelimiter*. A blank is assumed.

説明

すべての ID と定数の間には、区切り文字 (例えばブランクまたはコンマ) が必要である。

```
dcl 1 a, 2 b, 3c;
```

IBM3256I W Multiple closure of groups. END statements will be inserted to close intervening groups.

説明

1つのENDステートメントを使用して複数のステートメント・グループをクローズすることは許されるが、コーディング・エラーが示される場合がある。

IBM3257I W **Missing character assumed.**

説明

指示された文字が欠落しているが、ソースの中にはそれ以外の文字がない。構文解析プログラムが、欠落した文字を挿入してソースを訂正した。

IBM3258I W **Missing character assumed before character.**

説明

示されている文字が欠落していたため、構文解析プログラムがその文字を挿入してソースを訂正した。

```
%dcl jump fixed;
%skip
%jump = 2;
```

IBM3259I W **NOTE**

説明

このメッセージは、%NOTEステートメントで戻りコード4と共に使用される。

IBM3260I W **Syntax of the %CONTROL statement is incorrect.**

説明

%CONTROLステートメントのあとには、括弧で囲んだFORMATオプションまたはNOFORMATオプションと、セミコロンを指定しなければならない。

IBM3261I W **The suboption *suboption* is not valid for the suboption *option* of the *option* option.**

説明

オプションのサブオプションのサブオプションが無効である。このサブオプションは、不明なものか、または許容範囲外のものである。

```
*process deprecate(stmt(test));
```

IBM3262I W **The suboption *option* of the *option* option must be followed by a (possibly empty) parenthesized list.**

説明

オプションのサブオプションが正しく指定されていない。サブオプションの後には、左括弧、(空の場合もある)項目のリスト、および右括弧が続いていなければならない。

```
*process deprecate(stmt);
```

IBM3265I W **Number of lines specified with %SKIP must be between 0 and 999 inclusive.**

説明

999を超えるスキップ量はサポートされていない。

```
%skip(2000);
```

IBM3270I W **'EXEC CICS' encountered, but the CICS option is not in effect. Command ignored.**

説明

ソースにEXEC CICSステートメントが含まれている場合は、CICSオプションを有効にする必要がある。

IBM3271I W **'EXEC CSPM' encountered, but the CSPM option is not in effect. Command ignored.**

説明

ソースにEXEC CSPMステートメントが含まれている場合は、CSPMオプションを有効にする必要がある。

IBM3272I W **'EXEC DLI' encountered, but the DLI option is not in effect. Command ignored.**

説明

ソースにEXEC DLIステートメントが含まれている場合は、DLIオプションを有効にする必要がある。

IBM3281I W **SELECT statement contains no WHEN or OTHERWISE clauses.**

説明

WHEN文節またはOTHERWISE文節はSELECTステートメントに必須ではないが、指定しないとコーディング・エラーが示されることがある。

IBM3283I W **SELECT statement contains no WHEN clauses.**

説明

SELECT ステートメントには WHEN 文節は必須ではないが、指定しないとコーディング・エラーが示されることがある。

IBM3285I W	FIXED BINARY constant contains too many digits. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	--

説明

FIXED BINARY 定数に含まれる桁数は、31 桁以下でなければならない。

IBM3286I W	FIXED DECIMAL constant contains too many digits. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	---

説明

FIXED DECIMAL 定数の最大精度は、LIMITS コンパイラー・オプションの FIXEDDEC サブオプションで指定する。

IBM3287I W	Mantissa in FLOAT BINARY constant contains more digits than the implementation maximum. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	--

説明

浮動 2 進定数は、64 桁に制限されている。

IBM3288I W	Mantissa in FLOAT DECIMAL constant contains more digits than the implementation maximum. Excess nonsignificant digits will be ignored.
-------------------	---

説明

浮動 10 進定数は、18 桁に制限されている。

IBM3289I W	FLOAT literal is too big for its implicit precision. An appropriate HUGE value is assumed.
-------------------	---

説明

浮動リテラルの精度は、その仮数内の桁数により暗黙に決まる。例えば、1e99 は暗黙に FLOAT DECIMAL(1) を表すが、値 1e99 は FLOAT DECIMAL(1) が保持できる最大値より大きい。

IBM3291I W	The OPTIONS option <i>option-name</i> conflicts with the LONGLVL
-------------------	---

compiler option. The option will be applied.

説明

示されているオプションは、LANGLVL コンパイラー・オプションに指定されている PL/I 言語定義の一部ではない。

IBM3292I W	<i>suboption</i> is not a valid suboption for <i>option</i>.
-------------------	---

説明

指定したサブオプションは、示されているオプションのサブオプションとしてサポートされていない。

<pre>*process pp(macro('fixed(long')));</pre>

IBM3293I W	A required suboption is missing for the <i>suboption</i> option.
-------------------	---

説明

示されているオプションにはサブオプションが必要である。

<pre>*process pp(macro('fixed'));</pre>

IBM3294I W	A closing parenthesis is missing in the specification of the <i>option</i> option. One is assumed.
-------------------	---

説明

示されているオプションの指定に右括弧が欠落している。

<pre>*process pp(macro('fixed(bin'));</pre>

IBM3295I W	<i>option</i> is not a supported option.
-------------------	---

説明

示されているオプションは、実際のオプションではない。

<pre>*process pp(macro('float'));</pre>

IBM3299I W	Syntax of the %LINE directive is incorrect.
-------------------	--

説明

%LINE ディレクティブのあとには、(間にブランクを入れるか入れないかは任意で) 括弧、行番号、コンマ、ファイル名、および右括弧を指定しなければならない。

```
%line( 19, test.pli );
```

IBM3300I W ***identifier* has not been declared.
CHARACTER attribute assumed.**

説明

変数はすべて宣言する必要がある。

IBM3309I W **Comparison of *BUILTIN* name to a
value it could not return is odd.**

説明

このメッセージが生成される場合は、プログラミング・エラーが存在する可能性がある。例えば、SYSPointersize で返せる値は 4 と 8 だけなので、SYSPointersize を値 32 と比較する処理はほぼ確実にエラーになる。

IBM3310I W **First argument to *BUILTIN* name
built-in should have string type.**

説明

このメッセージが出ないようにするには、CHAR 組み込み関数または BIT 組み込み関数を最初の引数に適用する必要がある。

```
dcl i fixed bin;  
display( substr(i,4) );
```

IBM3311I W **Argument number to the *BUILTIN*
name built-in function is missing.
A null value will be passed for the
missing argument.**

説明

関数参照の引数が欠落している。欠落している引数については、ヌル・ストリングまたはゼロが場合に応じて渡される。

```
%dcl a fixed;  
  
%a = max(n,);
```

IBM3312I W **LEAVE will exit noniterative DO-
group.**

説明

LEAVE ステートメントにラベルが指定されている場合は、このメッセージは生成されない。次のループでは、LEAVE ステートメントは直接囲んでいる DO グループを終了するだけで、ループは終了されない。

```
do i = 1 to n;  
  if a(i) > 0 then  
    do;  
      call f;  
      leave;  
    end;  
  else;  
  end;  
end;
```

IBM3313I W **Result of comparison is always
constant.**

説明

このメッセージは、変数にとる可能性のある最大値または最小値に等しい定数と、その変数を比較する場合に生成される。次のループでは、変数 x は 99 を超えることはできない。したがって、このループにより毎回実行される暗黙の比較では、結果は常に '1'b になる。

```
do x pic'99';  
  
do x = 1 to 99;  
end;
```

IBM3314I W **The reference *reference* could refer
to a parent or its child, but the
child is assumed.**

説明

X という名前の構造体があり、最初の子の名前も X であるとする、X への参照は PL/I の規則では親に解決される。しかし、構造体を含む構造体への参照は SQL ステートメントでは無効であるため、参照は子に対する参照であると想定される。参照を X から X.X に変更する必要がある。

IBM3315I W **The reference *reference* is an array
of structures. Arrays of structures
are not valid in SQL statements,
but because this structure consists
of only one element, the reference
is treated as if it were a reference
to its lone child.**

説明

A という名前の次元化された構造体がある場合、A への参照は A.B への参照として扱われる。

IBM3316I W **The reference *reference* is a structure containing an array. Structures containing arrays are not valid in SQL statements, but because this structure consists of only one element, the reference is treated as if it were a reference to its lone child.**

説明

A という名前の構造体が 1 つの子 B のみで構成され、B が配列である場合、A への参照は A.B への参照として扱われる。

IBM3317I W NOTE

説明

このメッセージは、DB2 メッセージ DSNH030I を報告するために使用される。

IBM3320I W RETURNS attribute in ENTRY declare ignored.

説明

ENTRY 宣言により RETURNS 属性を指定してはならない。次の例の場合、"returns(char)" は省く必要がある。

```
%dcl a entry returns( char );
```

IBM3321I W RETURNS option assumed to enclose attribute in PROCEDURE statement.

説明

PROCEDURE ステートメントの場合、RETURNS キーワードの後ろにある RETURNS 属性を括弧で囲まなければならない。次の例の場合、"char" 属性は、"returns(char)" と指定する必要がある。

```
%a: proc char ;
      return( '1729' );
%end;
```

IBM3322I W Argument list for PROCEDURE identifier is missing. It will be invoked without any arguments.

説明

パラメーターを持つ PROCEDURE に対するオープン・コード内の参照には、1 つ以上の空の引数リストが設定されていなければならない。例えば、次の "display(a)" は、"display(a())" とする必要がある。

```
%a: proc( x ) char ;
      dcl x char;
      return( '1729' );
%end;
%act a;

display( a );
```

IBM3323I W Too few arguments for PROCEDURE identifier. Null values will be passed for the missing arguments.

説明

指定したプロシージャの引数が少なすぎる。欠落している引数については、ヌル・ストリングまたはゼロが場合に依じて渡される。

```
%a: proc( x ) char ;
      dcl x char;
      return( '1729' );
%end;
%act a;

display( a() );
```

IBM3324I W Too many arguments for PROCEDURE identifier. Excess ignored.

説明

指定したプロシージャの引数が多すぎる。余分の引数は無視される。

```
%a: proc( x ) char ;
      dcl x char;
      return( '1729' );
%end;
%act a;

display( a(1,2) );
```

IBM3325I W No data attributes specified in declare for identifier.

説明

プリプロセッサ変数は、CHAR または FIXED などの属性を使用して宣言される必要がある。このメッセー

ジは、この例に見られるような関係のないコンマが宣言ステートメントにあることを示す。

```
%dcl a, char;
```

IBM3326I W The LIKE reference is neither a structure nor a union.

説明

LIKE 参照は、スカラーまたはスカラーの配列であってはない。

```
dcl
  a fixed bin,
  1 b like a;
```

IBM3327I W The LIKE reference is ambiguous.

説明

LIKE 参照には、それを固有にするための十分な修飾が必要である。

```
dcl
  1 x like b,
  1 a,
    2 b,
    3 c,
    3 d,
    2 e,
    3 f,
    3 g,
  1 h,
    2 b,
    3 j,
    3 k;
```

IBM3328I W Neither the LIKE reference nor any of its substructures can be declared with the LIKE attribute.

説明

LIKE から LIKE を宣言することはサポートされていない。

```
dcl
  1 a,
  2 b1 like c,
  2 b2 like c,
  1 c,
  2 d fixed bin,
  2 e fixed bin;
dcl
  1 x like a;
```

IBM3329I W The LIKE reference must not be a member of a structure or union declared with the LIKE attribute.

説明

LIKE から LIKE を宣言することはサポートされていない。

```
dcl
  1 a,
    2 b1 like c,
    2 b2 like c,
  1 c,
    2 d fixed bin,
    2 e fixed bin;
dcl
  1 x like a.b1;
```

IBM3330I W The LIKE reference is unknown.

説明

LIKE 参照は、LIKE 属性指定を含むブロック内で既知のものでなければならない。

IBM3331I W The INCLUDE file *filename* will be deprecated.

説明

示された INCLUDE ファイルは、DEPRECATENEXT オプションの INCLUDE サブオプションで指定されたため、このファイルのインクルード試行にはすべてフラグが立てられる。

IBM3332I W The END statement has no matching BEGIN, DO, PACKAGE, PROC, or SELECT. This may indicate a problem with the syntax of a previous statement.

説明

前のステートメントと適合しない END ステートメントが見つかった。この原因として、前のステートメントに構文エラー (閉じる側のセミコロンがないなど) があることが考えられる。

IBM3333I W One or more END statements are missing. This may indicate a problem with the syntax of a previous statement.

説明

すべての OPEN ステートメント・グループに関して、閉じるための END ステートメントが指定されずにソースが終了した。この原因として、前のステートメントに

構文エラー (閉じる側のセミコロンがないなど) があることが考えられる。

IBM3334I W The ENTRY named *variable* will be deprecated.

説明

示されている ENTRY が DEPRECATENEXT オプションの ENTRY サブオプションで指定されたため、その使用箇所にはいずれもフラグが立てられる。

IBM3500I E NOTE

説明

このメッセージは DB2 または CICS のバックエンド・メッセージをレポートするために使用され、戻りコード 8 と共に使用される。

IBM3501I E NOTE

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 8 と共に使用される。

IBM3502I E An integer with a K suffix must have no more than 7 digits.

説明

dddK の形式の整数は 7 桁以内でなければならない。指定された値は 1K で置き換えられる。

IBM3503I E In an integer with a K suffix the digits must specify a value less than or equal to 2097152.

説明

サフィックスが K の整数として受け入れられる最大の値は、2097152K である。指定された値は 2097151K で置き換えられる。

IBM3504I E An integer with an M suffix must have no more than 4 digits.

説明

dddM の形式の整数は 4 桁以内でなければならない。指定された値は 1M で置き換えられる。

IBM3505I E In an integer with an M suffix the digits must specify a value less than or equal to 2048.

説明

サフィックスが M の整数として受け入れられる最大の値は、2048M である。指定された値は 2047M で置き換えられる。

IBM3506I E An integer with a G suffix must have only 1 digit.

説明

dddG の形式の整数は 1 桁以内でなければならない。指定された値は 1G で置き換えられる。

IBM3507I E In an integer with an G suffix the digits must specify a value less than or equal to 2.

説明

サフィックスが G の整数として受け入れられる最大の値は、2G である。指定された値は 1G で置き換えられる。

IBM3508I E Numeric precision of 0 replaced by 1.

説明

数値精度は正の値でなければならない。

IBM3509I E DECLARE statement has invalid syntax. No variables in it may be used in EXEC SQL statements.

説明

構文的に正しくなるように DECLARE ステートメントを修正する。

IBM3510I E *keyword* statement is not allowed where an executable statement is required. A null statement will be inserted before the *keyword* statement.

説明

一部のコンテキスト (例えば IF-THEN 文節のあと) では、実行可能ステートメントのみが許される。そのようなコンテキストの 1 つで、DECLARE、DEFINE、DEFAULT、または FORMAT ステートメントが検出された。問題のステートメントの前に、ヌル・ステートメント (セミコロン のみで構成されるステートメント) が挿入される。

IBM3511I E COUNTER value would exceed 99999. It will be reset to 0.

説明

COUNTER 組み込み関数を呼び出せるのは、99999 回までである。

IBM3512I E Multiple closure of groups is not allowed under RULES(NOMULTICLOSE).

説明

RULES(NOMULTICLOSE) のもとでは、ソース・プログラムの 中に複数のグループ閉止があってはならない。

IBM3514I E Second argument to *BUILTIN name* built-in is negative. It will be changed to 0.

説明

COPY および REPEAT などの組み込み関数に対する 2 番目の 引数は、負の値であってはならない。

```
x = copy( y, -1 );
```

IBM3515I E Scale factor is bigger than 127. It is replaced by 127.

説明

スケール因数は、-128 から 127 (両端の値を含む) の範囲の 値でなければならない。

IBM3516I E Scale factor is less than -128. It is replaced by -128.

説明

スケール因数は、-128 から 127 (両端の値を含む) の範囲の 値でなければならない。

IBM3517I E 配列 変数名 の次元 ディメンション 番号 に指定された唯一の境界が 1 より小さくなっている。 上限 1 が想定される。

説明

デフォルトの下限は 1 であるが、上限は下限より大きい値でなければならない。

```
dcl x(-5) fixed bin;
```

IBM3518I E *identifier* does not conform to the NAMEPREFIX option.

説明

NAMEPREFIX オプションが指定された場合、すべての マクロ変数およびプロシージャーの名前の先頭は、その オプションで指定された文字でなければならない。

IBM3519I E Characters in B3 literals must be 0-7.

説明

B3 リテラルでは、各文字は 0 から 7 のいずれかでなければならない。

IBM3520I E Structure level of 0 replaced by 1.

説明

構造体レベル番号は正の値でなければならない。

IBM3521I E Structure level greater than 255 specified. It is replaced by 255.

説明

サポートされる最大構造体レベルは 255 である。

```
dcl
  1 a,
 256 b,
 2 c,
```

IBM3522I E A DECIMAL exponent is required.

説明

FLOAT 定数内の E のあとには、1 つ以上の 10 進数 (任意で直前に符号が付けられる) が必要である。

IBM3523I E A second argument to the *BUILTIN name* built-in must be supplied for arrays with more than one dimension. A value of 1 is assumed.

説明

LBOUND、HBOUND、および DIMENSION 組み込み関数を 2 次元 以上の配列に適用する場合は、2 つの引数が必要である。

```
dcl a(5,10) fixed bin;
do i = 1 to lbound(a);
```

IBM3524I E Second argument to *BUILTIN name* built-in is not positive. A value of 1 is assumed.

説明

DIMENSION、HBOUND、および LBOUND 組み込み関数では、2 番目の引数は正の値でなければならない。

IBM3525I E **Second argument to *BUILTIN name* built-in is greater than the number of dimensions for the first argument. A value of *dimension count* is assumed.**

説明

LBOUND、HBOUND、および DIMENSION 組み込み関数に対する 2 番目の引数は、その配列引数の次元数 以下でなければならない。

```
dc1 a(5,10) fixed bin;  
do i = 1 to lbound(a,3);
```

IBM3526I E **Repeated declaration of *identifier* is invalid and will be ignored.**

説明

レベル 1 の変数名は、同じブロック内で繰り返してはならない。

```
dc1 a char, a fixed;
```

IBM3527I E **Missing THEN assumed.**

説明

IF ステートメントには THEN キーワードが含まれている必要がある。

IBM3528I E **Duplicate specification of arithmetic precision. Subsequent specification ignored.**

説明

精度属性は、DECLARE ステートメントの中で一度だけ指定する必要がある。

```
dc1 a fixed(15) bin(31);
```

IBM3529I E **Scale factors are not allowed in FLOAT declarations.**

説明

スケール係数は、FIXED BIN または FIXED DEC の宣言でのみ有効である。次の最初の宣言は無効で、その後の宣言のいずれかに変更する必要がある。

```
dc1 a1 float dec(15,2);  
  
dc1 a2 fixed dec(15,2);  
dc1 a3 float dec(15);
```

IBM3530I E ***identifier* is an array. ACTIVATE and DEACTIVATE are invalid for arrays.**

説明

スカラーのみを活動化できる。

IBM3531I E ***identifier* is a statement label. ACTIVATE and DEACTIVATE are invalid for labels.**

説明

ラベルは活動化できない。

IBM3533I E **THEN clause outside of an open IF statement is ignored.**

説明

: THEN 文節が有効なのは、IF <expression>の直後のみである。

```
%if a > b; %then;
```

IBM3534I E **ELSE clause outside of an open IF-THEN statement is ignored.**

説明

ELSE 文節が有効なのは、IF-THEN ステートメントの直後のみである。

```
do; if a > b then; end; else a = 0;
```

IBM3536I E **END label is not a label on any open group.**

説明

END ステートメントのラベルは、DO、PROCEDURE、または SELECT を開始するステートメントの LABEL と一致しなければならない。

```
a: do;
    ...
end b;
```

IBM3537I E **An END statement may be missing after an OTHERWISE unit. One will be inserted.**

説明

SELECT ステートメント内の OTHERWISE ユニットのあとでは、END ステートメントのみが有効である。

```
select;
  when ( ... )
    do;
    end;
  otherwise
    do;
    end;
display( .... );
```

IBM3538I E **%END statement found without any open %PROCEDURE, %DO or %SELECT statements. It will be ignored.**

説明

%END ステートメントは、%PROCEDURE-%END、%DO-%END、または %SELECT-%END グループの一部でなければならない。

IBM3539I E **STRINGSIZE condition raised while evaluating expression. Result is truncated.**

説明

コンパイル時のユーザー式の変換中に、ターゲット・ストリングがソースより短いことが検出され、それが原因で STRINGSIZE 条件が発生した。

IBM3540I E **STRINGRANGE condition raised while evaluating expression. Arguments are adjusted to fit.**

説明

SUBSTR 参照内のすべての引数が定数または制限付きの式である場合は、参照はコンパイル時に評価される。

引数が SUBSTR 組み込み 関数用に記述された規則に従っていない場合は、STRINGRANGE 条件が発生する。

```
a = substr( 'abcdef', 5, 4 );
```

IBM3542I E **LEAVE/ITERATE label is not a label on any open DO group.**

説明

LEAVE/ITERATE は、DO ループの開始でラベルを指定しなければならない。

```
%a: do jx = 1 to 1729;
    %leave b;
%end;
```

IBM3543I E **ITERATE/LEAVE statement is invalid outside an open DO statement. The statement will be ignored.**

説明

ITERATE/LEAVE ステートメントは、DO グループ内部でのみ有効である。

```
%a: do jx = 1 to 1729;
%end;
%leave a;
```

IBM3544I E **GX literals should contain a multiple of 4 hex digits.**

説明

GX リテラルは漢字ストリングを表すものであり、4 桁の 16 進数の倍数を指定しなければならない。

```
x = '00'gx;
```

IBM3545I E **Upper bound for dimension dimension number of array variable name is less than lower bound. Bounds will be reversed.**

説明

変数の宣言で、上限が下限より小さい。これを訂正するために、上限と下限を入れ替える処理が行われる。例えば、DECLARE x(3:1) が、DECLARE x(1:3) に変更される。

IBM3546I E **Identifier is too long. It will be collapsed to *identifier*.**

説明

すべての ID は、31 バイト以下に収める必要がある。PL/I DBCS ID に含まれる DBCS 文字は 14 文字以下でなければならない。

IBM3547I E **B assumed to complete iSUB.**

説明

形式 1su の言語エレメントがない。

```
dcl a(10) def b(1su, 1sub );
```

IBM3548I E **Digit in BINARY constant is not zero or one.**

説明

BINARY 定数では、個々の桁の数字は 0 または 1 でなければならない。

IBM3549I E **Characters in BIT literals must be 0 or 1.**

説明

BIT リテラルでは、各文字は 0 または 1 でなければならない。

IBM3550I E **Character with decimal value *n* does not belong to the PL/I character set. It will be ignored.**

説明

示されている文字は、PL/I 文字セットの一部ではない。これは、NOT 記号または OR 記号を含むプログラムを別のマシンから移植したときに、それらの記号が PL/I 文字セットに含まれていない文字に変換されたことを示す。NOT および OR コンパイラー・オプションを使用すると、この問題の回避に役立つ。

IBM3551I E **Characters in hex literals must be 0-9 or A-F.**

説明

16 進数リテラルでは、各文字は 0 から 9 または A から F のいずれかでなければならない。

IBM3552I E **The statement element *character* is invalid. The statement will be ignored.**

説明

指定されているエレメントが無効なため、入力したステートメントは解析できなかった。

IBM3553I E **Use of underscore as initial character in an identifier accepted although invalid under LANTLR(SAA).**

説明

LANTLR(SAA) のもとでは、ID は英字または特別言語文字で開始されなければならない。この場合、ID は下線で始まっているはならない。LANTLR(SAA2) のもとでは、ID は下線で始まっているもよいが、_IBM で始まる名前は IBM で使用するために予約されている。

IBM3556I E **Character with decimal value *n* does not belong to the PL/I character set. It is assumed to be an OR symbol.**

説明

示されている文字は、PL/I 文字セットの一部ではなく、直後に同じ文字が続いていた。これは、OR 記号を含むプログラムを別のマシンから移植したときに、この記号が PL/I 文字セットに含まれていない文字に変換されたことを示す。OR コンパイラー・オプションを使用すると、この問題の回避に役立つ。

IBM3557I E **Character with decimal value *n* does not belong to the PL/I character set. It is assumed to be a NOT symbol.**

説明

示されている文字は PL/I 文字セットの一部ではないが、直後に =、<、または > 記号が続いている。これは、NOT 記号を含むプログラムを別のマシンから移植したときに、この記号が PL/I 文字セットに含まれていない文字に変換されたことを示す。NOT コンパイラー・オプションを使用すると、この問題の回避に役立つ。

IBM3558I E **WX literals should contain a multiple of 4 hex digits.**

説明

WX リテラルはユニコード・ストリングを表すものであり、4 桁の 16 進数の倍数を指定しなければならない。

```
x = '00'wx;
```

IBM3559I E **RULES (NOGOTO) 違反: EXEC SQL WHENEVER ステートメントの使用は、RULES (NOGOTO) に違反する。**

説明

EXEC SQL WHENEVER ステートメントは GOTO ステートメントの生成につながるので、RULES (NOGOTO) に違反する。

IBM3560I E **RULES (NOGOTO) 違反: EXEC CICS HANDLE CONDITION ステートメントの使用は RULES (NOGOTO) に違反する。**

説明

EXEC CICS HANDLE CONDITION ステートメントは GOTO の形式を作成するので、RULES (NOGOTO) に違反する。

IBM3565I E **Statement type resolution requires too many lexical units to be examined. The statement will be ignored.**

説明

ステートメントが割り当てであるか別の PL/I ステートメントであるかを判別するには、そのステートメントの多くのエレメントを調べる必要がある。検査するエレメントの数が多すぎると、コンパイラーはそのステートメントにエラーのフラグを立てる。例えば、次のステートメントは、レクサー (lexer: 字句解析プログラム) が等号を検出するまでは DECLARE と見なされる。

```
decl ( a, b, c ) = d;
```

IBM3567I E **Statements inside a SELECT must be preceded by a WHEN or an OTHERWISE clause.**

説明

WHEN または OTHERWISE が欠落している可能性がある。

```
select;
  i = i + 1;
  when ( a > 0 )
  ...
```

IBM3568I E **Under RULES(NOLAXFIELDS), EXEC SQL SELECT statements must specify a list of field names.**

説明

RULES(NOLAXFIELDS) 下では、EXEC SQL SELECT の後に、アスタリスクではなく、1 つ以上のフィールド名を続ける必要がある。

IBM3569I E **Under RULES(NOLAXFIELDS), EXEC SQL INSERT INTO statements must specify a list of field names.**

説明

RULES (NOLAXFIELDS) が指定されている場合、EXEC SQL INSERT INTO <table-name> の後に 1 つ以上のフィールド名がなければならない。

IBM3570I E **Extent expression is negative. It will be replaced by the constant 1.**

説明

エクステントは正の値でなければならない。

```
decl x char(-10);
```

IBM3571I E **The SQL and PL/I float options are inconsistent.**

説明

コンパイラー・オプション DEFAULT(IEEE | HEXADEC) が、SQL プリプロセッサ・オプション FLOAT(IEEE | S390) と一致していない。これらのオプションが整合していることを確認して、ジョブを再実行依頼する。

IBM3572I E **Initial level number in a structure is not 1.**

説明

レベル 1 の DECLARE ステートメントが欠落している可能性がある。

```
decl
  2 a,
  3 b,
  3 c,
```

IBM3573I E **Elements with level numbers greater than 1 follow an element without a level number. A level number of 1 is assumed.**

説明

構造体レベルが欠落している可能性がある。

```

dcl
  a,
  2 b,
  2 c,
```

IBM3574I E **Variables declared without a name must be structure members or followed by a substructure list.**

説明

名前の代わりにアスタリスクが使用できるのは、構造体名、共用体名、または構造体あるいは共用体のメンバーの場合のみである。LIKE 属性を指定したレベル 1 の構造体名には、アスタリスクは使用できない。

```

dcl a fixed bin(15), * char(20) static
init('who can use me');
```

IBM3575I E **Duplicate specification of attribute. Subsequent specification ignored.**

説明

CHAR などの属性は、1 つの DECLARE ステートメントのエレメントについて繰り返してはならない。

```

dcl a char(10) char(20);
```

IBM3576I E **The SQL statement is empty and is ignored.**

説明

EXEC SQL ステートメントは、単に EXEC SQL だけでない構成にする必要がある。

IBM3577I E **INCONLY option is ignored because preceded by other options.**

説明

INCONLY オプションは他のオプションが指定されていない状態で指定する必要がある。

IBM3580I E **Parameter *keyword* may not be set more than once. First setting is assumed.**

説明

ステートメント形式のプロシージャ呼び出しの場合、各パラメーターの指定は 1 回だけでなければならない。それ以降の指定は無視される。次のサンプル・コードの場合、P の両方の呼び出しに対して 17 が戻される。

```

%p: proc( a ) stmt returns( char );
  dcl a char;
  return( a );
%end;
%act p;

display( p a(17) a(29); );

display( p(17) a(29); );
```

IBM3581I E **Unknown keyword in statement-form procedure invocation. *keyword* and any argument are ignored.**

説明

ステートメント形式のプロシージャ呼び出しの場合、指定するキーワードは、そのプロシージャのパラメーターの名前でなければならない。

```

%p: proc( a ) stmt returns( char );
  dcl a char;
  return( a );
%end;
%act p;

display( p a(17) b(29); );
```

IBM3582I E **Parameter *identifier* is not declared.**

説明

プロシージャの各パラメーターを宣言する必要がある。

```

%a: proc( b, c );
  dcl b fixed;
%end;
```

IBM3583I E **Labels on *keyword* statements are invalid and ignored.**

説明

DECLARE ステートメント、または WHEN 文節や OTHERWISE 文節では、ラベルは許可されない。

IBM3589I E **The identifier *identifier* is not the name of a built-in function. The BUILTIN attribute will be ignored.**

説明

BUILTIN 属性は、組み込み関数または組み込みサブルーチンの名前である ID にのみ適用できる。

IBM3590I E **The attribute *keyword* is not supported and will be ignored.**

説明

示されている属性は、マクロ機能でサポートされない。

```
%dcl a char external;
```

IBM3591I E **Right parenthesis will be assumed at end of argument list.**

説明

右括弧が欠落している可能性がある。対になっていない括弧がソース内にあると、ソース内の対になっていない左括弧より後ろの文字はすべて、関数に対するパラメーターであると解釈される。対になっていない括弧が置き換えストリングにあると、そのストリング内の対になっていない左括弧より後ろの文字がすべて、関数に対するパラメーターであると解釈される。

IBM3603I E **The end of the source was reached before the logical end of the program. Null statements and END statements will be inserted as necessary to complete the program.**

説明

ソースには、すべての PROCEDURE に対する END ステートメント、DO グループ、SELECT ステートメント、およびすべての IF-THEN 文節と ELSE 文節に対するステートメントが入っている必要がある。

IBM3604I E **The procedure name *proc-name* has already been declared. The explicit declaration of the procedure name will not be accepted.**

説明

内部プロシージャ用の宣言は許されない。

```
a: proc;
```

```
dcl b entry options(byvalue);  
b: proc;
```

IBM3605I E **The *type type type type name* is already defined. The redefinition is ignored.**

説明

ORDINAL 型は、1 つのブロック内で一度しか指定できない。

IBM3606I E **Repeated declaration of *identifier* is invalid. The name will be replaced by an asterisk.**

説明

同じ構造体または共用体内部では、特定のサブレベルの変数名は固有でなければならない。

```
dcl 1 a, 2 b fixed, 2 b float;
```

IBM3607I E **UNSIGNED attribute for *type type type type name* conflicts with negative INITIAL values and is ignored.**

説明

ORDINAL 型を UNSIGNED 属性と共に宣言した場合は、指定する INITIAL 値は負でない値でなければならない。

IBM3608I E **PRECISION specified for *type type type type name* is too small to cover its INITIAL values and is adjusted to fit.**

説明

ORDINAL 型には、それについて定義された値の範囲をカバーできる大きさの精度を指定しなければならない。

```
define ordinal  
  colors  
  ( red      init(0),  
    orange   init(256)  
    yellow   init(512) ) unsigned prec(8);
```

IBM3609I E **A SELECT statement may be missing. A SELECT statement, without an expression, will be inserted.**

説明

WHEN 文節または OTHERWISE 文節が SELECT ステートメント の外部で見つかった。

IBM3610I E Semicolon inserted after ELSE keyword.

説明

DO または SELECT などのステートメントを 囲む END ステートメントが、ELSE のあとに必要なステートメント の前にある。

```
do;
  if a > b then
    ...
  else
    ...
end;
```

IBM3612I E Semicolon inserted after OTHERWISE keyword.

説明

END ステートメントの位置が間違っているか、またはセミコロンが欠落している。

IBM3613I E Semicolon inserted after THEN keyword.

説明

END ステートメントの位置が間違っているか、またはセミコロンが欠落している。

IBM3614I E Semicolon inserted after WHEN clause.

説明

END ステートメントの位置が間違っているか、またはセミコロンが欠落している。

IBM3615I E Source file does not end with the logical end of the program.

説明

ソース・ファイルには、最初の PACKAGE または PROCEDURE を クローズしている END ステートメントのあとに、ステートメントが含まれている。これらのステートメントは無視されるが、その存在がプログラミング・エラーを示す場合もある。

IBM3616I E Subscripts have been specified for the variable *variable name*, but it is not an array variable.

説明

添え字を指定できるのは、配列の要素の場合だけである。

IBM3617I E SUBSTR 参照の第 2 引数が 1 より小さい。これは 1 に置き換えられる。

説明

メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM3618I E Second argument in SUBSTR reference is too big. It will be trimmed to fit.

説明

メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM3619I E SUBSTR 参照の 3 番目の引数が 0 より小さい。0 に置き換えられる。

説明

メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM3620I E Third argument in SUBSTR reference is too big. It will be trimmed to fit.

説明

メッセージのように処理されないと、STRINGRANGE 条件が発生する。

IBM3621I E More than 15 dimensions have been specified. Excess will be ignored.

説明

変数の最大許容次元数は、すべての 継承次元も含めて、15 である。

IBM3624I E End-of-comment marker found when there are no open comments. Marker will be ignored.

説明

コメント開始マーカーがないのに、*/ が見つかった。

IBM3625I E There is no compiler directive directive. Input up to the next semicolon will be ignored.

説明

サポートされるコンパイラー指示のリストについては「言語解説書」を参照。

IBM3626I E Listing control statement must start with a percent symbol.

説明

リスト制御ステートメントは、プリプロセッサ・プロシージャ内にあっても、先頭に "%" を付ける必要がある。

```
%a: proc;
      skip;
%end;
```

IBM3628I E X literals should contain a multiple of 2 hex digits.

説明

X リテラルには、奇数の桁数が含まれていてはならない。

IBM3638I E Excess arguments for ENTRY ENTRY name ignored.

説明

ENTRY 参照の中に指定された引数の数が、その ENTRY の宣言でパラメーターとして定義されている数より多い。

```
dcl e entry( fixed bin );
call e( 1, 2 );
```

IBM3639I E Excess arguments for BUILTIN name built-in ignored.

説明

示されている組み込み関数には、その組み込み関数でサポートされる数より多い数の引数が指定されている。

```
i = acos( j, k );
```

IBM3640I E The attribute *attribute* is invalid if it is not followed by an element with a greater logical level.

説明

示されている属性は、親構造体でのみ有効である。

```
dcl
  1 a,
  2 b union,
  2 c1 fixed bin(31),
  2 c2 float bin(21),
  ...
```

IBM3641I E Level number following LIKE specification is greater than the level number for the LIKE specification. LIKE attribute is ignored.

説明

LIKE は、親の構造体または共用体では指定できない。

```
dcl
  1 a like x,
  2 b,
  2 c,
```

IBM3650I E keyword keyword accepted although invalid under LANGLVL(SAA).

説明

示されているキーワード (下記の例では UNSIGNED) は、SAA レベル 1 言語に定義されていない。

```
dcl x fixed bin unsigned;
```

IBM3651I E Use of S, D and Q constants accepted although invalid under LANGLVL(SAA).

説明

SAA レベル 1 言語の定義に、S、D、および Q 浮動小数点定数が含まれていない。

IBM3652I E Use of underscores in constants accepted although invalid under LANGLVL(SAA).

説明

SAA レベル 1 言語の定義では、数値定数および 16 進定数の中で下線を使用することは許されない。

IBM3653I E **Use of asterisks for names in declares accepted although invalid under LANGLVL(SAA).**

説明

SAA レベル 1 言語の定義では、構造体エレメント名にアスタリスクを使用することは許されない。

IBM3654I E **Use of XN constants accepted although invalid under LANGLVL(SAA).**

説明

SAA レベル 1 言語の定義には、XN 定数は含まれない。

IBM3656I E **Use of 3 arguments with *BUILTIN name* built-in accepted although invalid under LANGLVL(SAA).**

説明

LANGLVL(SAA) のもとでは、VERIFY および INDEX 組み込み関数は、引数を 2 個だけとるものと見なされる。

```
i = verify( s, j, k );
```

IBM3657I E **Use of 1 argument with *BUILTIN name* built-in accepted although invalid under LANGLVL(SAA).**

説明

LANGLVL(SAA) のもとでは、DIM、LBOUND、および HBOUND 組み込み関数は 2 個の引数をとるものと見なされる。

```
i = dim( a );
```

IBM3658I E **The INCLUDE file *filename* has been deprecated.**

説明

示された INCLUDE ファイルは、DEPRECATE オプションの INCLUDE サブオプションで指定されたため、このファイルのインクルード試行にはすべてフラグが立てられる。

IBM3659I E **The EXEC SQL statement has been deprecated.**

説明

メッセージにあるステートメントは DEPRECATE オプションの STMT サブオプションで指定されたため、そのステートメントが使用されるすべての箇所にフラグが立てられる。

IBM3660I E **The ENTRY named *variable* has been deprecated.**

説明

示されている ENTRY が DEPRECATE オプションの ENTRY サブオプションで指定されたため、その使用箇所にはいずれもフラグが立てられる。

IBM3661I E **Invalid use of question mark.**

説明

ソース内の疑問符 (?) は 3 文字表記 ??(または ??) のいずれかの一部である場合にのみ有効です。

IBM3750I S **NOTE**

説明

このメッセージは DB2 または CICS バックエンド・メッセージをレポートするために使用され、戻りコード 12 と共に使用される。

IBM3751I S **A colon in an EXEC SQL statement must be followed by an identifier that starts a host variable reference.**

説明

EXEC SQL ステートメント内のコロンには、ホスト変数参照を続ける必要があり、そのような参照は ID で開始される必要がある。

IBM3752I S **Dot-qualified reference implies too many structure levels.**

説明

構造体は最大で 15 の論理レベルに制限されている。そのため、ドット修飾参照は最大で 14 ドットでなければならない(そうでないと、構造体が少なくとも 16 の論理レベルを持っていたことになる)。

IBM3753I S **Length in SQL TYPE IS type name is too large.**

説明

BIN の最大長は 255 で、VARBINARY の最大長は 32704 です。BLOB、CLOB、および DBCLOB の最大長については、「プログラミング・ガイド」を参照してください。

IBM3754I S	SQL TYPE IS <i>type name</i> must be followed by an opening left parenthesis.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS type(length) である。

IBM3755I S	SQL TYPE IS <i>type name</i> must have an integer specifying its length after the opening left parenthesis.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS type(length) である。

IBM3756I S	SQL TYPE IS <i>type name</i> must have a closing right parenthesis after the integer specifying its length.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS type(length) である。

IBM3757I S	SQL TYPE IS XML AS <i>type name</i> must be followed by an opening left parenthesis.
-------------------	---

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS XML AS type(length) である。

IBM3758I S	SQL TYPE IS XML AS <i>type name</i> must have an integer specifying its length after the opening left parenthesis.
-------------------	---

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS XML AS type(length) である。

IBM3759I S	SQL TYPE IS XML AS <i>type name</i> must have a closing right parenthesis after the integer specifying its length.
-------------------	---

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS XML AS type(length) である。

IBM3760I S	Too few arguments have been specified for the ENTRY <i>ENTRY name</i>.
-------------------	---

説明

引数の数は、ENTRY 宣言内のパラメーターの数に一致しなければならない。

IBM3761I S	Procedures may not be nested.
-------------------	--------------------------------------

説明

マクロ・プロシーチャーをネストすることはできない。

IBM3762I S	No percent statements are allowed inside procedures.
-------------------	---

説明

プロシーチャーの内側では、ステートメントをパーセントで始めてはならない。次の例の %DCL は、DCL にする必要がある。

```
%a: proc( x ) returns( char );
      %dcl x char;
      return( '<' || x || '>' );
%end;
```

IBM3763I S	Not enough virtual memory is available to continue the compile.
-------------------	--

説明

コンパイルには使用可能な量より多くの仮想メモリーが必要である。コンパイラー・オプション NOINSOURCE、NOXREF、NOATTRIBUTES、NOAGGREGATE のうちの 1 つ以上を指定すると役立つ場合がある。

IBM3764I S	<i>BUILTIN name</i> argument must be a parameter.
-------------------	--

説明

式には、示されている組み込み関数が入っているが、この関数にはパラメーターでない引数がある。

IBM3765I S	<i>BUILTIN name</i> argument must be a reference.
-------------------	--

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その引数が参照ではない。

IBM3766I S	Aggregate contains more than 15 logical levels.
-------------------	--

説明

可能な最大物理レベルは 255 であるが、最大論理レベルは 15 である。

IBM3767I S	Length in SQL TYPE IS type name must be greater than zero.
-------------------	---

説明

BIN、VARBIN、BLOB、CLOB、および DBCLOB タイプの長さは正でなければならない。

IBM3768I S	The use of asterisks as subscripts is not permitted in the macro facility.
-------------------	---

説明

マクロ機能の場合、すべての添え字がスカラー式でなければならない。

IBM3769I S	Argument to <i>BUILTIN</i> name built-in must have type CHARACTER(1) NONVARYING.
-------------------	---

説明

これは RANK 組み込み関数に適用される。

IBM3770I S	First argument to <i>BUILTIN</i> name built-in must be an array.
-------------------	---

説明

式には、示されている組み込み関数が含まれているが、その最初の引数が配列ではない。このメッセージは、例えば DIMENSION、HBOUND、および LBOUND 組み込み関数に適用される。

IBM3771I S	NOTE
-------------------	-------------

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 12 と共に使用される。

IBM3772I S	Third argument to <i>BUILTIN</i> name built-in would force STRINGRANGE.
-------------------	--

説明

組み込み関数 INDEX または VERIFY のいずれかに第 3 引数を指定する場合、その引数は正の値でなければならない。

IBM3773I S	Second argument to <i>BUILTIN</i> name built-in must be nonnegative.
-------------------	---

説明

組み込み関数 CHARACTER、BIT、および GRAPHIC の 2 番目の引数は 0 以上でなければならない。

IBM3774I S	Too few arguments have been specified for the <i>BUILTIN</i> name built-in.
-------------------	--

説明

必要最低数の引数を指定する必要がある。

IBM3775I S	The <i>preprocessor</i> name preprocessor requires the DFT(EBCDIC) option.
-------------------	---

説明

CICS または SQL プリプロセッサで DFT(ASCII) オプションを使用することはサポートされていない。

IBM3778I S	Syntax of the %INCLUDE statement is incorrect.
-------------------	---

説明

%INCLUDE のあとには、名前とセミコロンか、または括弧で囲んだ 2 番目の名前とセミコロンを指定する必要がある。

IBM3779I S	File specification after %INCLUDE is too long.
-------------------	---

説明

ファイル指定の最大長は 8 文字である。

IBM3780I S	File specification missing after %INCLUDE.
-------------------	---

説明

%INCLUDE のあとにはファイル名が必要である。セミコロンだけを指定することはできない。

IBM3781I S	Procedures may have no more than 63 parameters.
-------------------	--

説明

余分なパラメーターが proc ステートメントから削除される。

IBM3782I S	SQL TYPE IS XML must be followed by the keyword AS.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS XML AS type(length) である。

IBM3783I S	SQL TYPE IS XML AS must be followed by a valid type name.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS XML AS type(length) である。

IBM3784I S	SQL TYPE IS TABLE must be followed by the keyword LIKE.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS TABLE LIKE table-name AS LOCATOR である。

IBM3785I S	SQL TYPE IS TABLE LIKE must be followed by a table name.
-------------------	---

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS TABLE LIKE table-name AS LOCATOR である。

IBM3786I S	SQL TYPE IS TABLE LIKE must be followed by the keyword AS after the table name.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS TABLE LIKE table-name AS LOCATOR である。

IBM3787I S	SQL TYPE IS TABLE must be followed by the keyword LOCATOR after the table name and the AS keyword.
-------------------	---

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS TABLE LIKE table-name AS LOCATOR である。

IBM3788I S	SQL TYPE IS must be followed by a valid type name.
-------------------	---

説明

キーワード SQL TYPE IS の後には XML などのタイプ名が必要である。

IBM3789I S	Index number <i>index number</i> into the variable <i>variable name</i> is less than the lower bound for that dimension.
-------------------	---

説明

このようなステートメントを実行すると、記憶保護例外が発生する 可能性がきわめて高くなる。

```
%dcl a(5:10) fixed;
```

```
%a(1) = 0;
```

IBM3790I S	Index number <i>index number</i> into the variable <i>variable name</i> is greater than the upper bound for that dimension.
-------------------	--

説明

このようなステートメントを実行すると、記憶保護例外が発生する 可能性がきわめて高くなる。

```
%dcl a(5:10) fixed;
%a(20) = 0;
```

IBM3791I S	Each dimension of an array must contain no more than 2147483647 elements.
-------------------	--

説明

配列用の DIMENSION 組み込み関数の値を計算できる ことが必要である。例えば、DECLARE A(x:y) では、(y-x+1) が 214748648 未満でなければなりません。

IBM3792I S	Array <i>variable name</i> has too many elements. Bounds set to 1.
-------------------	---

説明

配列は、2**20 までのエレメントに制限されている。

IBM3793I S	Too few subscripts specified for the variable <i>variable name</i>.
-------------------	--

説明

変数に与えられる添え字の数は、その変数の次元数と同じでなければならない。

IBM3794I S	Too many subscripts specified for the variable <i>variable name</i>.
-------------------	---

説明

変数に与えられる添え字の数は、その変数の次元数と同じでなければならない。

IBM3795I S	Shift-out code has no closing shift-in code before the right margin.
-------------------	---

説明

マージン間の各 DBCS シフトアウト・コードには、対応する DBCS シフトイン・コードも同じマージン間に必要である。

IBM3796I S **Array expressions cannot be assigned to non-arrays, and if any target in a multiple assignment is an array, then all the targets must be arrays.**

説明

配列式は、構造体やスカラーなどに割り当てることができない。

IBM3797I S **RETURN statement without an expression is invalid inside a PROCEDURE that specified the RETURNS attribute.**

説明

関数内のすべての RETURN ステートメントには、戻される値を指定しなければならない。

```
%a: proc returns( fixed );  
  
    return;  
%end;
```

IBM3798I S **RETURN statement with an expression is invalid inside a PROCEDURE that did not specify the RETURNS attribute.**

説明

RETURN(x) の形式のステートメントが有効なのは、RETURNS 属性と共に定義されている PROCEDURE の中で使用する 場合のみである。

```
%a: proc;  
  
    return( 'this is invalid' );  
%end;
```

IBM3799I S **The DECLARE statement for the host variable *reference* is not inside an SQL DECLARE SECTION.**

説明

SQL オプションの STDSQL(YES) の下では、すべてのホスト変数は SQL BEGIN DECLARE SECTION ステートメントと SQL END DECLARE SECTION ステートメントとの間で宣言される必要がある。

IBM3800I S **Function *function name* contains no RETURN statement.**

説明

関数には RETURN ステートメントが少なくとも 1 つは含まれていなければならない。

IBM3801I S **Target in assignment is invalid.**

説明

割り当てのターゲットは、文字または固定エレメント参照でなければならない。疑似変数はサポートされない。

IBM3802I S **Statement labels may not be used in expressions.**

説明

ステートメント・ラベルは、GOTO、LEAVE、および ITERATE ステートメントの中だけで使用する必要がある。

IBM3803I S **Target in concatenate-equals assignment must have type char.**

説明

ターゲットが fixed の複合連結割り当てはサポートされない。

```
%dcl a fixed;  
  
%a = '0';  
%a ||= '1';
```

IBM3804I S **Target in arithmetic-equals assignment must have type fixed.**

説明

ターゲットが文字である複合算術割り当てはサポートされない。

```
%dcl a char;  
  
%a = '0';  
%a += '1';
```

IBM3805I S **SQL TYPE IS XML *type* must be followed by the keyword LARGE.**

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS XML AS type LARGE OBJECT(length) である。

IBM3806I S	SQL TYPE IS XML <i>type</i> LARGE must be followed by the keyword OBJECT.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS XML AS type LARGE OBJECT(length) である。

IBM3807I S	SQL TYPE IS CHARACTER must be followed by the keyword LARGE.
-------------------	---

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS CHARACTER LARGE OBJECT(length) です。

IBM3808I S	SQL TYPE IS BINARY must be followed by the keyword LARGE or by a length enclosed in parentheses.
-------------------	---

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS BINARY LARGE OBJECT(length) または SQL TYPE IS BINARY(length) である。

IBM3809I S	SQL TYPE IS <i>type</i> LARGE must be followed by the keyword OBJECT.
-------------------	--

説明

正しい構文は、SQL TYPE IS type LARGE OBJECT(length) である。

IBM3810I S	Statement has too many labels.
-------------------	---------------------------------------

説明

ステートメントのラベル数が、コンパイラーの限度を超えた。ステートメントのラベル数を減らす必要がある。

IBM3811I S	Expression contains too many nested subexpressions.
-------------------	--

説明

コンパイラーが式を評価するために使用するスペースを使い果たした。式をもっと単純な式に書き直す必要がある。

IBM3812I S	Result of concatenating a string of length <i>string length</i> to a string of length <i>string length</i> would produce a string that is too long.
-------------------	--

説明

連結の結果、ストリングの最大許容長を超えるストリング長になってはならない。

IBM3813I S	Result of <i>BUILTIN</i> name applied <i>repetition value</i> times to a string of length <i>string length</i> would produce a string that is too long.
-------------------	--

説明

COPY および REPEAT の結果、ストリングの 最大許容長を超えるストリング長になってはならない。

IBM3814I S	Unsupported use of aggregate expression.
-------------------	---

説明

有効な集合式は、組み込み関数 HBOUND または LBOUND の最初 の引数に配列名を使用する式だけである。

IBM3815I S	Operand in bit operation must have length less than 32768.
-------------------	---

説明

ビット演算は、長さが 32767 未満のストリングに制限されている。

IBM3816I S	Second and third arguments to the TRANSLATE built-in function must have length less than 32768.
-------------------	--

説明

TRANSLATE 組み込み関数は、第 2 引数または第 3 引数が 32767 文字を超えるとサポートされない。

IBM3817I S	Result of <i>BUILTIN</i> name would exceed maximum string length.
-------------------	--

説明

組み込み関数 COMMENT または QUOTE の結果は、サポートされている 最大長を超える長さのストリングになってはいけない。

IBM3820I S	Under the INCONLY option, the use of INCLUDE or XINCLUDE as a macro procedure name is invalid unless the colon follows immediately after the name.
-------------------	---

説明

INCLUDE または XINCLUDE をマクロ名として使用する必要がある場合は、名前と同じ行にコロンを付ける。

IBM3821I S	Under the INONLY option, the use of INCLUDE or XINCLUDE as a macro statement label is invalid unless the colon follows immediately after the name.
-------------------	---

説明

INCLUDE または XINCLUDE をマクロ・ステートメント・ラベルとして使用する必要がある場合は、名前と同じ行にコロンを付ける。

IBM3822I S	Under the INONLY option, the use of INCLUDE or XINCLUDE as a macro variable that is the target of an assignment is invalid unless the equals sign follows immediately after the name.
-------------------	--

説明

INCLUDE または XINCLUDE をマクロ変数名として使用する必要がある場合は、名前と同じ行の割り当てに等号を付ける。例えば、次の最初の代入を 2 番目の割り当てに変更する。

```
%xinclude
= 17;

%xinclude = 17;
```

IBM3823I S	A QUALIFY block may contain only DEFINE statements, DECLARE statements, and nested QUALIFY blocks.
-------------------	---

説明

例えば、DEFAULT ステートメントは QUALIFY ブロック内で使用できない。

IBM3824I S	A name declared in a QUALIFY block must be a scalar.
-------------------	---

説明

QUALIFY ブロックの DECLARE ステートメントに構造体、共用体、または配列を指定することはできない。

IBM3825I S	A name declared in a QUALIFY block must have the VALUE attribute.
-------------------	--

説明

QUALIFY ブロックの DECLARE ステートメントが VALUE 属性を持っていない場合は、そのステートメントに変数または定数を指定できない。

IBM3826I S	The type name <i>type name</i> is ambiguous.
-------------------	---

説明

型参照を固有なものにするには、十分な修飾を与えなければならない。

IBM3827I S	<i>type name</i> is a type name, but not the name of an ORDINAL type.
-------------------	--

説明

ORDINAL x を指定する宣言ステートメントで、x は ORDINAL 型の名前でなければならない。

IBM3837I S	GOTO target is inside a (different) DO loop.
-------------------	---

説明

GOTO のターゲットは DO ループの中にあってはならない。ただし、GOTO 自身が DO ループ内にある場合を除く。

IBM3841I S	The INCLUDE file <i>include-file-name</i> could not be opened.
-------------------	---

説明

INCLUDE ファイルが見つからなかったか、または検出されてもオープンできなかった。

IBM3842I S	Statements are nested too deep.
-------------------	--

説明

PROCEDURE、DO、SELECT、および類似のステートメントのネスト数が、コンパイラーでサポートされている数より多い。もっと単純になるようにプログラムを書き直す必要がある。

IBM3844I S	The <i>function name</i> built-in is not supported.
-------------------	--

説明

示されている組み込み関数に対するサポートは中止された。

IBM3846I S	The <i>keyword</i> statement is not supported.
-------------------	---

説明

示されているステートメントに対するサポートは中止された。

IBM3848I S	Use of iSUB is not supported.
-------------------	--------------------------------------

説明

ISUB は構文検査の中でのみサポートされる。

IBM3849I S *type name* is not a type name.

説明

宣言で TYPE x を使用する場合、x は定義済みのタイプでなければならない。

IBM3850I S TYPEs must be defined before their use.

説明

型 x に対する DEFINE STRUCTURE または DEFINE ALIAS ステートメントは、x を属性型として使用する位置より前に置かれていなければならない。次の 2 つのステートメントは順序を逆にする必要がある。

```
dcl x type point;

define structure
  1 point
    2 x   fixed bin(31),
    2 y   fixed bin(31);
```

IBM3851I S INITIAL values for *type type type type name* must be in increasing order.

説明

ORDINAL 定義内の INITIAL 文節に指定されている値は、厳密に昇順になっていなければならない。

IBM3852I S INITIAL values for *type type type type name* must be less than 2G.

説明

ORDINAL 値は、FIXED BIN(31) 変数の範囲内に収まっていなければならない。

IBM3853I S Nesting of DO statements exceeds the maximum.

説明

DO ステートメントの最大ネスト深度は 100 である。プログラムを単純化する必要がある。

IBM3854I S Nesting of IF statements exceeds the maximum.

説明

IF ステートメントの最大ネスト深度は 100 である。プログラムを単純化する必要がある。

IBM3855I S Nesting of SELECT statements exceeds the maximum.

説明

SELECT ステートメントの最大ネスト深度は 50 である。プログラムを単純化する必要がある。

IBM3856I S Nesting of blocks exceeds the maximum.

説明

ブロックのネスト深度は 30 まででなければならない。

IBM3857I S Only one description is allowed in a structure definition.

説明

構文では、構造体定義の中の名前の後に記述リストが続けることが許されているが、その記述リストはただ 1 つの構造体記述のみからなるものでなければならない。次の例は無効である。

```
define structure
  1 point
    2 x   fixed bin(31),
    2 y   fixed bin(31),
  1 rectangle
    2 upper_left   type point,
    2 lower_right  type point;
```

IBM3858I S All the names in the ORDINAL *ordinal-name* have been previously declared.

説明

ORDINAL 内のどの名前も別のところで宣言されていなければならない。既に宣言されている場合は、ORDINAL 定義が誤って反復されたものと考えられる。

IBM3859I S Storage attributes are invalid in structure definition.

説明

AUTOMATIC や BYADDR などのストレージ属性は、構造体型と共に宣言された変数により指定されなければならない。

IBM3860I S DEFINE STRUCTURE may not specify an array of structures.

説明

構造体定義内のレベル 1 の名前は DIMENSION 属性を持つことはできない。

IBM3861I S Open of dbrm dataset failed.

説明

SQL プリプロセッサによって使用される .dbrm データ・セットのオープンに失敗しました。コンパイル・ディレクトリーに対する書き込み権限がないことが原因として考えられます。

IBM3862I S Dynamic allocation of DBRMLIB failed with the SVC 99 info code *info-code* and the SVC 99 error code *error-code* .

説明

DBRMLIB の動的割り振りが、示されている SVC 99 の情報コードおよびエラー・コードで失敗しました。

IBM3863I S The DBRMLIB compiler option must be specified.

説明

SQL プリプロセッサを使用して、INCONLY オプションなしでコンパイルを実行するためには、DBRMLIB コンパイラ・オプションを指定する必要があります。

IBM3870I S The FETCH of the CICS backend failed.

説明

CICS モジュールがアクセス可能かどうかを検査し、アクセス可能でなければこのエラーを IBM に報告してください。

IBM3871I S The CICS backend reported an internal error while attempting to perform its initialization.

説明

IBM にこのエラーを報告してください。

IBM3872I S The CICS backend reported an internal error while attempting to parse its options.

説明

IBM にこのエラーを報告してください。

IBM3873I S The CICS backend reported an internal error while attempting to build and emit the local declares.

説明

IBM にこのエラーを報告してください。

IBM3874I S The CICS backend reported an internal error while attempting to translate an EXEC statement.

説明

IBM にこのエラーを報告してください。

IBM3875I S The CICS backend reported an internal error while attempting to translate a CICS macro (such as DFHVALUE).

説明

IBM にこのエラーを報告してください。

IBM3876I S The CICS backend reported an internal error while attempting to perform its termination.

説明

IBM にこのエラーを報告してください。

IBM3877I S The SQL backend reported an internal error while attempting to perform its initialization.

説明

IBM にこのエラーを報告してください。

IBM3878I S SQL initialization did not complete successfully.

説明

SQL バックエンドによって生成される追加メッセージを参照のこと。

IBM3880I S The reference *reference* could not be resolved.

説明

すべての SQL ホスト変数は現行のブロック・スコープ内で宣言される必要がある。

IBM3881I S The reference *reference* is ambiguous.

説明

すべての SQL ホスト変数はあいまいさがいいものでなければならない。これは十分な構造体修飾子を提供することで修正できる。

IBM3882I S The indicator array *reference* must have only one dimension.

説明

EXEC SQL ステートメント内の標識配列は多次元であってはならない。

IBM3883I S **The indicator array *reference* must have constant bounds.**

説明

EXEC SQL ステートメント内の標識配列は、単にオプションの符号付き整数として指定される境界を持たなければならない。

IBM3884I S **The indicator variable *reference* is used with a structure and hence must be an array or a structure.**

説明

EXEC SQL ステートメント内の構造体の標識変数は、配列または構造体でなければならない。

IBM3885I S **The host variable *host-variable* must have only one dimension.**

説明

EXEC SQL ステートメント内のホスト変数は多次元であってはならない。

IBM3886I S **The host variable *host-variable* must have constant bounds.**

説明

EXEC SQL ステートメント内のホスト変数は、単にオプションの符号付き整数として指定される境界を持たなければならない。

IBM3887I S **The host variable *host-variable* must be CONNECTED.**

説明

EXEC SQL ステートメント内のホスト変数は 1 次元でなければならない。親に DIMACROSS 属性がない限り、その次元を親に指定することはできない。

IBM3888I S **The reference *host-reference* has no corresponding DB2 type.**

説明

すべての SQL ホスト変数は、対応する DB2 タイプを持つ必要がある。例えば、FIXED DEC(7,-2) が PL/I 宣言内で有効であれば、DB2 は FIXED DEC(p,q) において、q が非負であり、p より大きくないことを要求するので、対応する DB2 タイプはない。

IBM3889I S **The reference *host-reference* is a union and thus must not be used as a host variable.**

説明

すべての SQL ホスト変数は、対応する DB2 タイプを持つ必要がある。共用体に一致するタイプはない。

IBM3890I S **The reference *host-reference* is an array of structures and thus must not be used as a host variable.**

説明

構造体は、配列でない場合にのみホスト変数として使用できる。

IBM3891I S **Since the structure reference *host-reference* contains an array, it must not have an indicator that is a scalar or an array of scalars.**

説明

配列が含まれている構造体を標識変数の入っているホスト変数として使用できるのは、その標識変数が同様の構造体になっている場合に限られる。

IBM3892I S **The reference *host-reference* contains a substructure and thus must not be used as a host variable.**

説明

構造体は、そのメンバーのいずれも構造体でない場合にのみ、ホスト変数として使用できる。

IBM3893I S **The reference *host-reference* contains unnamed elements and thus must not be used as a host variable.**

説明

構造体は、そのメンバーのすべてに名前が付けられている場合にのみ、ホスト変数として使用できる。

IBM3894I S **The indicator variable *reference* must be FIXED BIN(15).**

説明

標識変数は、ネイティブな、実ハーフワード整数でなければならない。

IBM3895I S **The indicator variable *reference* is used with an array and hence must be an array as well.**

説明

EXEC SQL ステートメント内の標識変数は、配列と共に使用する場合は配列でなければならない。

IBM3896I S **The VALUE reference *host-reference* could not be reduced to a character literal and thus must not be used as a host variable.**

説明

VALUE 属性の設定されている参照を SQL 文字型のホスト変数として使用できるのは、その参照を CHARACTER リテラルに変形できる場合である。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM3897I S **The VALUE reference *host-reference* could not be reduced to a numeric literal and thus must not be used as a host variable.**

説明

VALUE 属性の設定されている参照を SQL 整数型または SQL 10 進数型のホスト変数として使用できるのは、その参照を REAL FIXED リテラルに変形できる場合である。詳細については、「プログラミング・ガイド」を参照のこと。

IBM3898I S **The VALUE reference *host-reference* does not have character, integer or decimal type and thus must not be used as a host variable.**

説明

VALUE 属性の設定されている参照をホスト変数として使用できるのは、その参照に SQL 型の文字、整数、10 進数のいずれかが含まれている場合に限られる。

IBM3899I S **The reference *reference name* is ambiguous.**

説明

参照を固有なものにするには十分な修飾を与えなければならない。

IBM3900I S **The dot-qualified reference *reference name* is unknown.**

説明

示されている参照は、それが参照されているブロックの中で宣言されている構造体または共用体のメンバーでも、そのブロックを含むブロックの中で宣言されている構造体または共用体のメンバーでもない。

IBM3901I S **The element *reference name* in the indicator structure must have the same array bounds as the corresponding element in the host structure.**

説明

:x:y の x と y が両方とも構造体になっている場合は、配列になっている y のどの要素についても、対応する x の要素が同じ境界の配列になっている必要がある (逆の場合も、そうになっている必要がある)。

IBM3902I S **Argument to the *BUILTIN name* built-in must be a structure.**

説明

示された組み込みサブルーチンに対する引数は、構造でなければならない。

IBM3903I S **The indicator *reference name* must not be a union.**

説明

:x:y の y は共用体であってはならない。

IBM3909I S **The *attribute* attribute conflicts with the *attribute* attribute.**

説明

示されている属性 (例えば PARAMETER と INITIAL) は、同時には指定できない。

IBM3911I S **The statement label *identifier* has already been declared.**

説明

ブロック内ではすべてのステートメント・ラベルは、固有のものでなければならない。

IBM3914I S **GOTO target must be a LABEL reference.**

説明

GOTO x の x は LABEL 型でなければならない。x の型は FORMAT であってはならない。

IBM3915I S **GOTO target must be a scalar.**

説明

GOTO x の x は配列であってはならない。

IBM3916I S **The procedure *proc-name* has already been defined.**

説明

姉妹プロシージャは、同じ名前を持つことはできない。

```
% b: proc;  
% end;  
% b: proc;  
% end;
```

IBM3917I S **Program contains no valid source lines.**

説明

ソースにまったくステートメントが含まれていないか、または含まれているステートメントがすべて無効である。

IBM3920I S **FIXED BINARY constant contains too many digits.**

説明

FIXED BINARY 定数に含まれる桁数は、31 桁以下でなければならぬ。

IBM3921I S **FIXED DECIMAL constant contains too many significant digits.**

説明

FIXED DECIMAL 定数の最大精度は、LIMITS コンパイラー・オプションの FIXEDDEC サブオプションで設定する。

IBM3922I S **Exponent in FLOAT BINARY constant contains more digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT BINARY 定数の指数に 5 桁を超える値を含めることはできない。

IBM3923I S **Mantissa in FLOAT BINARY constant contains more significant digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT BINARY 定数の仮数に 64 桁を超える値を含めることはできない。

IBM3924I S **Exponent in FLOAT DECIMAL constant contains more digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT BINARY 定数の指数に 4 桁を超える値を含めることはできない。

IBM3925I S **Mantissa in FLOAT DECIMAL constant contains more significant digits than the implementation maximum.**

説明

FLOAT BINARY 定数の小数部に 18 桁を超える値を含めることはできない。

IBM3926I S **Constants must not exceed 30720 bytes.**

説明

ユーザー・プログラムで定数を示すために使用するバイト数は、30720 を超えてはならない。この制限は、内部表記が外部表記の 8 分の 1 のバイト数しか消費しないビット・ストリングにも適用される。

IBM3927I S **Numeric constants must be real, unscaled and fixed.**

説明

複素定数、スケール定数、または浮動小数点定数は、整数値に変換される。

```
%a = 3.1415;
```

IBM3928I S **Only B, BX and X string suffixes are supported.**

説明

G、GX、M、A、および E のストリング・サフィックスはサポートされていない。

```
%a = '31'e;
```

IBM3929I S **EXEC SQL statement must be in a PROCEDURE.**

説明

PACKAGE レベルで許可されている EXEC SQL ステートメントは、EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION、EXEC SQL END DECLARE SECTION、非実行 EXEC SQL DECLARE、および EXEC SQL INCLUDE (EXEC SQL INCLUDE SQLCA および EXEC SQL INCLUDE SQLDA を除く) のみである。

IBM3930I S **Invalid syntax in statement-form of procedure invocation. Text up to next semicolon will be ignored.**

説明

ステートメント形式のプロシージャの呼び出しの場合は、コメントまたはキー名の一部ではない文字はすべて、1つのキーの後ろに括弧で囲む必要がある。例えば、次の display ステートメントの "+" は存在してはならない。

```
%a: proc( x ) stmt returns( char );
      dcl x char;
      return( 1729 );
%end;
%act a;

display( a + x(5); );
```

IBM3931I S **Under the FIXED(DEC) option, decimal constants must have no more than 5 digits.**

説明

FIXED(BIN) を指定した場合は、任意の有効な FIXED BIN(31) 数を示す 10 進定数がサポートされる。

IBM3934I S **EXEC SQL INCLUDE statement has incorrect syntax.**

説明

EXEC SQL INCLUDE の後には、1つの ID と、続いてセミコロンが必要である。

IBM3935I S **The FETCH of the SQL backend failed.**

説明

SQL モジュールがアクセス可能であるかどうかを確認し、アクセス可能でなければこのエラーを IBM に報告する。

IBM3936I S **The SQL backend must be from DB2 V9 or later.**

説明

より新しいレベルの DB2 に切り替える。

IBM3937I S **EXEC SQL ステートメントが長すぎる。**

説明

各 EXEC SQL ステートメントの長さは、500K バイト未満でなければならない。

IBM3938I S **EXEC SQL ステートメントのホスト変数参照が多すぎる。**

説明

各 EXEC SQL ステートメントは、10,000 を超えるトークンを必要としてはならない。構造体であるが SQLDA ではない各ホスト変数には、そのメンバーと同数のトークンが必要である。他のすべてのホスト変数には、1つのトークンが必要である。

IBM3939I S **The DBNAME option must specify a valid database name.**

説明

SQL プリプロセッサを Windows または AIX 上で呼び出す場合、DBNAME オプションを指定する必要があり、そのオプションは有効なデータベース名を指定する必要がある。

IBM3943I S **The number of error messages allowed by the FLAG option has been exceeded.**

説明

メッセージ数が FLAG コンパイラ・オプションで設定されている制限を超過すると、コンパイルは終了する。

IBM3948I S **condition-name condition with ONCODE= oncode-value raised while evaluating expression.**

説明

式が評価された結果、示されている条件が発生した。

```
%a = a / 0;
```

IBM3949I S **Parameter name *identifier* appears more than once in parameter list.**

説明

パラメーター・リスト内の ID はどれも固有のものでなければならない。

```
a: proc( b, c, b );
```

IBM3950I S	An asterisk iteration factor can be applied only to the last expression in the INITIAL item list for <i>variable-name</i>.
-------------------	---

説明

アスタリスク反復因数で変数の初期化が完了するので、その後にさらに初期値を続けることはできない。

```
%dcl a(10) fixed init( 1, 2, (*) 0, 8 );
```

IBM3951I S	An asterisk iteration factor cannot be used in the nested INITIAL item list for <i>variable-name</i>.
-------------------	--

説明

アスタリスク反復因数は、ネストされていない INITIAL 項目 リストの中でのみ使用できる。次の例は無効である。

```
%dcl a(20) fixed init( (2) ( 1, (*) 2 ) );
```

IBM3952I S	INITIAL attribute on the parameter <i>variable-name</i> is invalid.
-------------------	--

説明

パラメーターには INITIAL 属性を使用できない。

IBM3953I S	INITIAL list contains <i>count</i> items, but the array <i>variable name</i> contains only <i>array size</i>. Excess is ignored.
-------------------	---

説明

配列の場合、INITIAL リストには、その配列が持つエレメントの数 を超える数の値を入れてはならない。

```
%dcl b(5) init( (10) 0 );
```

IBM3956I S	ITERATE is valid only for iterative DO-groups.
-------------------	---

説明

ITERATE は型 I の DO グループの中では使用できない。

IBM3957I S	RETURN statement outside of a PROCEDURE is invalid.
-------------------	--

説明

RETURN ステートメントは、プロシージャ内部でのみ有効である。

IBM3958I S	INCLUDE statement inside of a PROCEDURE is invalid.
-------------------	--

説明

INCLUDE ステートメントは、プリプロセッサ・プロシージャの 外部でのみ許可される。

```
%a: proc;  
    include sample;  
%end;
```

IBM3959I S	Length of parameter exceeds 32767 bytes.
-------------------	---

説明

マクロ・プロシージャに対するパラメーターの長さは、32767 バイトを超えてはならない。

IBM3960I S	End-of-source has been encountered after an unmatched comment marker.
-------------------	--

説明

コメント終了マークが欠落している可能性がある。

IBM3961I S	End-of-source has been encountered after an unmatched quote.
-------------------	---

説明

右引用符が欠落している可能性がある。

IBM3962I S	Replacement value contains no end-of-comment delimiter. A comment delimiter will be assumed at the end of the replacement value.
-------------------	---

説明

コメント終了マークが欠落している可能性がある。

IBM3963I S	Replacement value contains no end-of-string delimiter. A string delimiter will be assumed at the end of the replacement value.
-------------------	---

説明

右引用符が欠落している可能性がある。

IBM3964I S ANSWER statement outside of a PROCEDURE is invalid.

説明

ANSWER ステートメントは、プロシージャー内部でのみ有効である。

IBM3965I S ANSWER statement inside of a PROCEDURE with RETURNS is invalid.

説明

ANSWER ステートメントは、関数の内部では無効である。

```
%a: proc returns( char );
    answer( 'this is invalid' );
    return( 'this is ok however' );
%end;

%b: proc;
    answer( 'this is valid' );
%end;
```

IBM3966I S Source has caused too many rescans.

説明

置き換えストリングの再スキャンや、プリプロセッサから戻されたストリングの再スキャンにより、さらに置き換えが引き起こされ、その結果また再スキャンが行われるなどして、再スキャンの最大深度を超えた。例えば次のマクロは、コンパイル中の dcl ステートメントの数をカウントすることを目的としているが、実行するこのメッセージが出される。%ACTIVATE ステートメントに NORESCAN を指定した場合は、このマクロは正しく機能する。

```
%dcl dcl_Count fixed;
%dcl_Count = 0;

%dcl: proc returns( char );
    dcl_count = dcl_count + 1;
    return( 'dcl' );
%end;

%activate dcl;
```

IBM3967I S CALL statement outside of a PROCEDURE is invalid.

説明

CALL ステートメントは、マクロ・プロシージャー内にある場合にのみ有効となる。

IBM3968I S CALL reference is undefined.

説明

CALL 参照は、宣言済みのマクロ・プロシージャーでなければならない。

IBM3969I S CALL reference is not a macro entry.

説明

CALL 参照は、宣言済みのマクロ・プロシージャーでなければならない。

IBM3970I S CALL reference must not be a function.

説明

CALL 参照には RETURNS 属性が含まれていてはならない。

IBM3971I S CALL reference must not have the STATEMENT option.

説明

CALL 参照には STATEMENT オプションが含まれていてはならない。

IBM3972I S End-of-file has been encountered after an unmatched comment marker.

説明

コメント終了マーカーが欠落している可能性がある。

IBM3973I S End-of-file has been encountered after an unmatched quote.

説明

右引用符が欠落している可能性がある。

IBM3974I S Every shift-in character after the left margin of a source line must have a matching shift-out character before the right margin of the same line.

説明

DBCS シフト・コードは対になっている必要がある。

IBM3975I S Every shift-in character within a string generated for rescan must have a matching shift-out character within that same string.

説明

DBCS シフト・コードは対になっている必要がある。

IBM3976I S DBCS characters are allowed only in G and M constants.

説明

16 進ストリング (接尾部 X、BX、B4、GX、XN のいずれかで終わっているストリング)、ビット・ストリング (接尾部 B で終わっているストリング)、および接尾部 M で終わっていない文字ストリングには、SBCS 文字以外の文字を含めることはできない。

IBM3977I S SBCS characters are not allowed in G constants.

説明

SBCS と DBCS の混在が許されるのは M 定数の中だけである。

IBM3978I S Invalid use of SBCS encoded as DBCS.

説明

コメント以外では、SBCS を DBCS としてエンコードできるのは ID の一部として使用する場合だけである。

IBM3979I S UX literal specifies an invalid UTF-8 string.

説明

すべての 16 進文字列が有効な UTF-8 文字列を表してはいない。有効な UTF-8 文字列について詳しくは、LRM および UVALID 組み込み関数について説明しているテキストを参照のこと。

IBM3980I S Recursion of procedures is not allowed.

説明

プロシーチャーは、直接的にも間接的にもそれ自体を呼び出してはならない。

IBM3981I S BUILTIN function may not be used outside a procedure.

説明

示されている組み込み関数はプロシーチャーの中でしか使用できない。

IBM3982I S Procedure *procedure-name* is undefined and cannot be invoked.

説明

プロシーチャーは、あらかじめ (正しく) 定義しておかなければ呼び出すことができない。

IBM3983I S Premature end-of-source in scan.

説明

右括弧またはセミコロンが要求された場合、ソースは走査の途中で終了される。

```
%a: proc() stmt returns( char );
      return( '1729' );
%end;
%ddl a entry;

a /* and no more source follows */
```

IBM3984I S File *filename* could not be opened.

説明

示されているソース・ファイルがオープンできなかった。ファイルの名前が正しいこと、そして、そのファイルが存在し読み取り可能であることを確認する必要がある。

IBM3985I S Semicolon found before required closing right parenthesis.

説明

ステートメント内の右括弧の前にセミコロンが含まれている。右括弧は、ステートメント内で直前の左括弧と対応している必要がある。

```
select( a ; );
```

IBM3986I S IF statement syntax is invalid.

説明

IF ステートメントと思われるステートメントの構文が無効である。

```
if a > 0 ; then
```

IBM3987I S Statement must start with a keyword or assignment target.

説明

条件接頭語およびラベルの後のステートメントは、キーワードで始めるか、割り当てステートメントの場合は

ID または BIND 参照で始めなければならない。フラグが立てられたステートメントは、その他の字句エレメントで始まる。これは、前のステートメント用のセミコロンが誤って置かれているか、このステートメントのエレメントが誤って省略されていることを示している可能性がある。

```
a =0 b; = a;
```

IBM3988I S **Statement has invalid syntax.**

説明

フラグが立てられたステートメントは、有効な PL/I ではない。これは、前のステートメント用のセミコロンが誤って置かれているか、このステートメントのエレメントが誤って省略されていることを示している可能性がある。

```
put skip garbage;
```

IBM3993I S **Internal preprocessor error:
assertion failed on line *source line*
in *procedure name* in *package name***

説明

このメッセージは、プリプロセッサに関してエラーがあることを示している。問題を IBM に報告してください。

IBM3994I S **Source is not valid UTF-8.**

説明

ソース・ファイルに、UVALID 組み込み関数によって拒否される行が含まれている。

IBM3995I S **Generated text contains invalid UTF-8.**

説明

ANSWER または RETURNS ステートメントによって生成されたテキストは、UVALID 組み込み関数によって拒否される。

IBM3996I S **Internal preprocessor error:
protection exception in *module name*.**

説明

このメッセージは、プリプロセッサに関してエラーがあることを示している。問題を IBM に報告してください。

IBM3997I S **Internal preprocessor error: no
WHEN clause satisfied within
module name.**

説明

このメッセージは、プリプロセッサに関してエラーがあることを示している。問題を IBM に報告してください。

IBM3998I S **NOTE**

説明

このメッセージは DB2 または CICS バックエンド・メッセージをレポートするために使用され、戻りコード 16 と共に使用される。

IBM3999I U **NOTE**

説明

このメッセージは、%NOTE ステートメントで戻りコード 16 と共に使用される。

第 6 章 コード生成メッセージ (5000 から 5999)

IBM5001 **INTERNAL COMPILER ERROR: text**

説明

コンパイル中に内部コンパイラー・エラーが発生した。
サービス担当者に連絡してください。

IBM5002 **Virtual storage exceeded.**

説明

ファイルのコンパイル中に、コンパイラーがメモリー不足になった。大きなファイル、または大きな関数を使用するプログラムでは、この問題が発生する可能性がある。非常に大きなプログラムの場合、実行できる最適化の量が制限されることに注意する。

実行中の大規模なプロセスをシャットダウンし、スワップ・パスが十分に大きいことを確認して、最適化はオフにし、仮想記憶域をより大きなサイズに再定義する。また、ファイルをいくつかの小さなセクションに分割したり、関数を短縮したりすることもできる。

IBM5003 **text**

説明

一般エラー・メッセージ。

IBM5031 **Unable to open file *filename*.**

説明

コンパイラーは示されているファイルをオープンできない。

ファイル名が正しいことを確認する。正しいファイルが指定されていることを確認する。ファイルが LAN ドライブ上にある場合は、LAN が正しく機能していることを確認する。また、ファイルが別のプロセスによってロックされているか、許可が十分でないためにアクセスが拒否された可能性もある。

IBM5032 **An error occurred while reading file *filename*.**

説明

示されているファイルからの読み取り中にコンパイラーがエラーを検出した。

正しいファイルが読み取られていて、ファイルに損傷がないことを確認する。ファイルが LAN ドライブ上にある場合は、LAN が正しく機能していることを確認する。

IBM5033 **An error occurred while writing to file *filename*.**

説明

示されているファイルへの書き込み中にコンパイラーがエラーを検出した。

正しいファイルが指定されていることを確認する。ファイルが LAN ドライブ上にある場合は、LAN が正しく機能していることを確認する。

IBM5034 **Read-only pointer initialization of dynamically allocated object *name* is not valid.**

説明

読み取り専用ポインターの値は、コンパイル時に既知でなければならない。ポインターは、読み取り専用であると同時に、動的に割り振られたオブジェクトを指してはならない。これは、ポイント先のアドレスが実行時にしか分からないためである。

コードを変更して、ポインターが読み取り専用の値によって初期化されるようにするか、ポインターを読み取り/書き込みにする。

IBM5051 **Function *function-name* exceeds size limit.**

説明

関数の ACU が、INLINE サブオプションに指定された LIMIT を超えた。

可能ならば、LIMIT を増やす。

IBM5052 **Function *function-name* is (or grows) too large to be inlined.**

説明

関数が大きすぎて、インライン展開によって別の関数にすることができない。

IBM5053 **Some calls to function *function-name* cannot be inlined.**

説明

少なくとも 1 つの呼び出しが直接再帰的であるか、間違った数のパラメーターが指定されている。

指定したすべての関数呼び出しを検査し、パラメーター数が関数定義に一致していることを確認する。

IBM5054	Automatic storage for function <i>function-name</i> increased to over <i>value</i>.
----------------	--

説明

インライン展開のために、関数用の自動ストレージのサイズが少なくとも 4 KB 増加した。

大きな自動ストレージを使用する関数のインライン展開は避ける。

IBM5055	Parameter area overflow while compiling <i>function-name</i>. Parameter area size exceeds the allowable limit of <i>value</i>.
----------------	---

説明

関数のパラメーター域は、その関数用の自動ストレージ内で最初の 4K にある。このメッセージは、パラメーター域が 4K に収まらないことを示している。

渡すパラメーターの数を減らすか、大きな構造体そのものの代わりに構造体のアドレスを渡すことによって、パラメーター域のサイズを削減する。

IBM5057	<i>name</i> section size cannot exceed 16777215 bytes. Total section size is <i>value</i> bytes.
----------------	---

説明

Data セクションまたは Code セクションのサイズは、16M を超えてはならない。

入力ソース・ファイルを、別個にコンパイルできる複数のソース・ファイルに分割する。

IBM5101	Maximum spill size of <i>value</i> is exceeded in function <i>function-name</i>.
----------------	---

説明

予備サイズは、予備域のサイズである。予備域は、マシン・レジスターの数がプログラムの変換に十分でない場合に割り振られるストレージである。

プログラムの複雑さを軽減して再コンパイルする。

IBM5102	Spill size for function <i>function-name</i> is not sufficient. オプション SPILL (n) を指定して再コンパイルする (下限 < n <= 上限)。
----------------	--

説明

予備サイズは、予備域のサイズである。予備域は、マシン・レジスターの数がプログラムの変換に十分でない場合に割り振られるストレージである。

SPILL (n) オプション 下限 < n <= 上限 または別の OPT レベルを使用して再コンパイルする。

IBM5103	Internal error while compiling function <i>function-nametxt</i>.
----------------	---

説明

コンパイル中に内部コンパイラー・エラーが発生した。

サービス技術員に連絡するか、別の OPT レベルを指定してコンパイルする。

IBM5104	Internal error while compiling function <i>function-name text</i>. コンパイルは終了した。
----------------	---

説明

重大度の高い内部コンパイラー・エラーが発生した。

サービス担当者に連絡してください。このメッセージのテキストを伝えられるように準備しておいてください。

IBM5105	Constant table overflow compiling function <i>function-name</i>. コンパイルは終了した。
----------------	---

説明

定数テーブルは、整数と浮動小数点の定数をすべて保管するテーブルである。

プログラム内の定数の数を減らして再コンパイルする。

IBM5106	Instruction in function <i>function-name</i> on line <i>value</i> is too complex. コンパイルは終了した。
----------------	--

説明

示されている命令が複雑すぎて最適化できない。

命令の複雑さを軽減して再コンパイルするか、別の OPT レベルを指定して再コンパイルする。

IBM5107	Program too complex in function <i>function-name</i>.
----------------	--

説明

示されている関数が複雑すぎて最適化できない。

プログラムの複雑さを軽減して再コンパイルするか、別の OPT レベルを指定して再コンパイルする。

IBM5108	Expression too complex in function <i>function-name</i>. 一部の最適化が実行されなかった。
----------------	--

説明

示されている式が複雑すぎて最適化できない。

式の複雑さを減らすか、別の OPT レベルを指定してコンパイルする。

IBM5109	Infinite loop detected in function <i>function-name</i>. Program may not stop.
----------------	---

説明

所定の関数で無限の可能性のあるループが検出されたので、コードを変更する必要がある。ただし、コンパイラーはコードに問題がない場合でもこのメッセージを発行することがある。例えば、ループが ON ユニットから GOTO を介して終了した場合、コードを変更する必要がなくてもコンパイラーはこのメッセージを発行することがある。

ループが終了するように再コーディングする。

IBM5110	Loop too complex in function <i>function-name</i>. 一部の最適化が実行されなかった。
----------------	--

説明

示されているループが複雑すぎて最適化できない。

処置は不要です。

IBM5111	Division by zero detected in function <i>function-name</i>. Runtime exception may occur.
----------------	---

説明

示されている関数内でゼロ除算が検出された。

式を再コーディングしてゼロ除算を除去する。

IBM5112	Exponent is non-positive with zero as base in function <i>function-name</i>. Runtime exception may occur.
----------------	--

説明

浮動小数点のゼロ除算が行われる可能性がある。

式を再コーディングしてゼロ除算を除去する。

IBM5113	Unsigned division by zero detected in function <i>function-name</i>. Runtime exception may occur.
----------------	--

説明

示されている関数内でゼロ除算が検出された。

式を再コーディングしてゼロ除算を除去する。

IBM5114	Internal error while compiling function <i>function-name text</i>.
----------------	---

説明

重大度の低い内部コンパイラー・エラーが発生した。

サービス技術員に連絡するか、別の OPT レベルを指定してコンパイルする。

IBM5115	Control flow too complex in function <i>function-name</i>; number of basic blocks or edges exceeds <i>value</i>.
----------------	---

説明

基本ブロックは、制御フローのない実行可能コードのセグメントである。エッジは、基本ブロック間での可能な制御フローのパスである。

プログラムの複雑さを軽減して再コンパイルする。

IBM5116	Too many expressions in function <i>function-name</i>; number of symbolic registers exceeds <i>value</i>.
----------------	--

説明

シンボリック・レジスターは、計算結果の内部表現である。

プログラムの複雑さを軽減して再コンパイルする。

IBM5117	Too many expressions in function <i>function-name</i>; number of computation table entries exceeds <i>value</i>.
----------------	---

説明

計算テーブルは、プログラムの変換によって生成された命令すべてを収容するテーブルである。

プログラムの複雑さを軽減して再コンパイルする。

IBM5118	Too many instructions in function <i>function-name</i>; number of procedure list entries exceeds <i>value</i>.
----------------	---

説明

プロシーチャー・リストは、各サブプログラムの変換によって生成された命令すべてのリストである。

プログラムの複雑さを軽減して再コンパイルする。

IBM5119	Number of labels in function <i>function-name</i> exceeds <i>value</i>.
----------------	--

説明

ラベルは、プログラムの実行パスが変更される可能性がある場合に必ず使用される (例: if ステートメント、switch ステートメント、ループ、条件式)。

プログラムの複雑さを軽減して再コンパイルする。

IBM5120	Too many symbols in function <i>function-name</i>; number of dictionary entries exceeds <i>value</i>.
----------------	--

説明

ディクショナリー・エントリーは、変数、集合体メンバー、ストリング・リテラル、ポインター参照解除、関数名、および内部コンパイラー・シンボルに対して使用される。

低い最適化レベルでプログラムをコンパイルするか、変数または式の数を減らしてプログラムを単純化する。

IBM5121	Program is too complex in function <i>function-name</i>. Specify MAXMEM option value greater than <i>value</i>.
----------------	--

説明

一部の最適化が実行されなかった。

さらに最適化を行うには、推奨値を使用してオプション MAXMEM を指定し、再コンパイルする。

IBM5122	Parameter area overflow while compiling <i>name</i>. Parameter area size exceeds <i>value</i>.
----------------	---

説明

パラメーター域は、関数呼び出しの際にパラメーターを渡すために使用される。そのサイズは、参照パラメーターの数、値パラメーターの数とサイズ、および使用されるリンケージによって異なる。

渡すパラメーターの数を減らすか、大きな構造体そのものの代わりに構造体のアドレスを渡すことによって、パラメーター域のサイズを削減する。

IBM5123	Spill size for function <i>function-name</i> is exceeded. スピル・コードを高速化するために、オプション SPILL (n) を指定して再コンパイルする (下限 < n ≤ 上限)。
----------------	---

説明

予備サイズは、1 次予備域の予約サイズである。予備域は、マシン・レジスターの数がプログラムの変換に十分でない場合に割り振られるストレージである。

スピル・コード生成を改善するために、下限 < n ≤ 上限 を指定した SPILL (n) オプションを使用して再コンパイルする。

IBM5130	An error occurred while opening file <i>filename</i>.
----------------	--

説明

コンパイラーは示されているファイルをオープンできない。

ファイル名が正しいことを確認する。正しいファイルがオープンされていて、ファイルに損傷がないことを確認する。ファイルが LAN ドライブ上にある場合は、LAN が正しく機能していることを確認する。また、ファイルが別のプロセスによってロックされているか、許可が十分でないためにアクセスが拒否された可能性もある。

IBM5131	An error occurred while writing file <i>filename</i>.
----------------	--

説明

コンパイラーは示されているファイルを読み取ることができない。

ファイル名が正しいことを確認する。書き込み先のファイルが正しく、ファイルに損傷がないことを確認する。ファイルが LAN ドライブ上にある場合は、LAN が正しく機能していることを確認する。また、ファイルが別のプロセスによってロックされているか、許可が十分でないためにアクセスが拒否された可能性もある。

IBM5132	An error occurred while closing file <i>filename</i>.
----------------	--

説明

コンパイラーは示されているファイルに書き込むことができない。

ファイル名が正しいことを確認する。正しいファイルがクローズされていて、ファイルに損傷がないことを確認する。ファイルが LAN ドライブ上にある場合は、LAN が正しく機能していることを確認する。また、ファイルが別のプロセスによってロックされているか、許可が十分でないためにアクセスが拒否された可能性もある。

IBM5141	Automatic area for <i>function-name</i> is too large
----------------	---

説明

自動データはスタック内にある。スタック・サイズは、ターゲット・マシンのアドレス可能性によって制限される。

大きな構造体や大きな配列をローカル変数とすることは避け、動的割り振りデータの使用を試みる。または、プロシージャをいくつかの小さなプロシージャに分割する。

第 7 章 条件コード

この章に示す条件コードは、すべてのインプリメンテーションによって生成される条件コードを集約したものです。プラットフォームによっては、生成されない条件コードもあります。

すべての条件コードの要約を番号順で以下にリストします。

条件コード 1 から 500

- 3** この条件は、SELECT グループ内で *WHEN* 文節が選択されておらず、かつ *OTHERWISE* 文節が存在しない場合に発生する。
- 4** *SIGNAL FINISH*、または *STOP* ステートメントが実行された。
- 9** *SIGNAL ERROR* ステートメントが実行された。
- 10** *SIGNAL NAME* ステートメントが実行された。
- 20** *SIGNAL RECORD* ステートメントが実行された。
- 21** レコード変数がレコード・サイズより小さい。以下のいずれかを実行します。
- レコードが *READ INTO* ステートメント内の変数より大きい。レコードの残りは失われる。
 - 固定長レコードのあるファイルに対して指定されたレコード長が、*WRITE*、*REWRITE*、または *LOCATE* ステートメント内の変数より大きい。レコードの残りは定義されない。変数が可変長ストリングである場合は、ファイルに *SCALARVARYING* オプションが適用されていれば、*RECORD* は発生しない。
- 22** レコード変数がレコード・サイズより大きい。以下のいずれかを実行します。
- 固定長レコードのあるファイルに対して指定されたレコード長が、*READ INTO* ステートメント内の変数より小さい。変数の残りは定義されない。変数が可変長ストリングである場合は、ファイルに *SCALARVARYING* オプションが適用されていれば、*RECORD* は発生しない。
 - 最大レコード長が、*WRITE*、*REWRITE*、または *LOCATE* ステートメント内の変数より小さい。*WRITE* または *REWRITE* の場合、変数の残りは失われる。*LOCATE* の場合、変数は伝送されない。
 - WRITE* または *REWRITE* ステートメント内の変数が長さ 0 を指示している。伝送は行われない。変数が可変長ストリングである場合は、ファイルに *SCALARVARYING* オプションが適用されていれば、*RECORD* は発生しない。
- 23** レコード変数の長さが 0 であるか、組み込みキーを保管するには短すぎる。
- WRITE* または *REWRITE* ステートメント内の変数が短すぎて、データ・セット組み込みキーを保管できない。伝送は行われない。(現在のところ、このケースは索引キー順データ・セットにだけ該当する。)
- 24** 長さ 0 のレコードが *REGIONAL* データ・セットから読み取られた。
- 40** *SIGNAL TRANSMIT* ステートメントが実行された。
- 41** 出力データ・セットに訂正不能の伝送エラーが発生した。

- 42** 入力データ・セットに訂正不能の伝送エラーが発生した。
- 43** 索引セットへの出力に訂正不能の伝送エラーが発生した。
- 44** 索引セットからの入力に訂正不能の伝送エラーが発生した。
- 45** 索引連続データ・セットへの出力に訂正不能の伝送エラーが発生した。
- 46** 連続データ・セットからの入力に訂正不能の伝送エラーが発生した。
- 50** SIGNAL KEY ステートメントが実行された。
- 51** 指定されたキーが検出できない。
- 52** データ・セット内に既に存在するレコードと同じキーを指定した キー付きレコードを追加しようとした。または、REGIONAL(1) データ・セット 内で、既にレコードが入っている領域に書き込もうとした。
- 53** INDEXED または REGIONAL データ・セットの順次生成中に、KEYFROM オプションに指定された式の値が、以前に指定された キーまたは領域番号の値より小さい。
- 54** キー変換エラー。領域番号が数字でないことが原因である 可能性がある。
- 55** キーの指定がヌル・ストリングであるか、または (8)'1'B で始まっている。あるいは、INDEXED または キー順データ・セットの順次 REWRITE[FROM] で組み込みキーが変更された。
- 56** データ・セットの限界を超えるキーを使用して、レコードに アクセスしようとした。
- 57** **ヶ所** INDEXED 挿入にキー付きレコードを追加するために使用できるスペースがない。
- 58** 追加するレコードのキーが、データ・セットに対して指定された 範囲の外にある。
- 70** SIGNAL ENDFILE ステートメントが実行された。
- 80** SIGNAL UNDEFINEDFILE ステートメントが実行された。
- 81** オープン時に、DECLARE ステートメント内の属性と、明示または暗黙の OPEN ステートメント内の属性との間で、ファイル属性の矛盾が生じた。
- 82** ファイル属性とデータ・セットの物理編成 (例えば、ファイル編成と装置タイプ) との間に矛盾が生じた、または索引付きデータ・セットがロードされていない。
- 83** ENVIRONMENT オプションを DD ステートメントとデータ・セット・ラベル にマージした後、データ・セットの指定が不完全である。例えば、ブロック・サイズやレコード・フォーマットが指定されていない。
- 84** ファイルをデータ・セットと関連付ける DD ステートメントがない。
- 85** REGIONAL データ・セットと関連付けられた DIRECT OUTPUT ファイル の初期化中に、入出力エラーが発生した。

- 86** LINESIZE がインプリメンテーション定義の最大値より大きい、または ENVIRONMENT オプションに無効値がある。
- 87** ENVIRONMENT オプションを DD ステートメントとデータ・セット・ラベルにマージした後、データ・セットの指定に矛盾が生じた。LRECL、BLKSIZE、または RECSIZE の値が互いに非互換、または指定された DCB FUNCTION に対して非互換である。
- 88** ENVIRONMENT オプションを DD ステートメントとデータ・セット・ラベルにマージした後、データ・セットの指定に矛盾が生じた。マージ結果の MODE/FUNCTION とレコード・フォーマットの組み合わせが無効である。
- 89** パスワードが無効、または指定されていない。
- 90** SIGNAL ENDPAGE ステートメントが実行された。
- 91** 索引付きデータ・セットへアクセスするファイルのための ENVIRONMENT オプションが無効である。
- 92** 要求されたデータ・セットが使用できなかった。
- 93** データ・セットのオープン中に、オペレーティング・システムによってエラーが検出された。

Subcode1 意味

- 50** 入力の際に、存在しない ISAM ファイルがオープンされている。
- 51** ISAM ファイルをオープンするときに予期しないエラーが発生した。サブコード 2 で ISAM から戻りコードが渡される。
- 52、 53** ネイティブのファイルまたは REGIONAL(1) ファイルをオープンするときに予期しないエラーが発生した。
- 54** 入力の際に、存在しない BTRIEVE ファイルがオープンされている。
- 55** BTRIEVE ファイルをオープンするときに予期しないエラーが発生した。サブコード 2 で BTRIEVE から戻りコードが渡される。
- 56** DDM ファイルをオープンするときに予期しないエラーが発生した。
- 57、 58** DDM 順次ファイル、DDM 相対ファイル、または DDM 索引付きファイルをオープンするときに予期しないエラーが発生した。サブコード 2 で DDM から戻りコードが渡される。
- 59** 既にオープンされているファイルをオープンしようとした。
- 60** 無効なタイプのファイルがオープンされている。例えば、z/OS UNIX システム・サービスのもとで VSAM ファイルがオープンされている。VSAM ファイルは z/OS UNIX システム・サービスのもとではサポートされない。
- 66** VSAM ファイルのオープンが失敗した。サブコード 2 でフィードバック・コードが渡される。
- 76** SFS ファイルのオープンの再試行が失敗した。
- 79** 入力または更新の際にオープンする SFS ファイルが見つからなかった。
- 119** ファイルの動的割り振り処理中に予期しないエラーが発生した。
- 120** ファイルの動的割り振り処理中に構文解析エラーが発生した。
- 121** ファイルの動的割り振り処理中に予期しない関数が検出された。

Subcode1 意味

- 122** ファイルの動的割り振り処理中にサポートされないファイル・モードが検出された。
- 123** ファイルの動的割り振り処理中に DDNAME が見つからなかった。

94

再使用不可のデータ・セットに対して REUSE が指定された。

95

索引データ・セットに対して指定されている代替索引が空である。

96

環境変数に誤りがある。

97

OPEN を実行するために VSAM サーバーを使用できない。

98

最初のレコードにファイル・ポインターを指定しようとしたが失敗した。

99

ファイルをオープンできない。

Subcode1 意味

- 1 または 2** 既存の REGIONAL(1) ファイルの拡張属性 (EA) が見つからず、ENVIRONMENT オプション、または SET DD オプションによって RECCOUNT または RECSIZE の値が指定されていない。
- 3** 順次出力ファイルの位置決めエラーが発生した。
- 4** ネイティブ・ファイルに対して TYPE (FIXED) が指定されたが、ファイル・サイズが RECSIZE の倍数ではなかった。
- 5 または 13** REGIONAL(1) ファイルの位置決めエラーが発生した。
- 6 - 12** 出力ファイルの位置決めエラーが発生した。
- 21 - 23** ファイルに対する SET DD ステートメントに AMTHD(DDM) が指定されたが、DDM DDL (DUBRUN および DUBLDM) が見つからなかった、またはアクセスできなかった。
- 18** DDM ファイルの拡張属性が誤っている。
- 25** ENVIRONMENT 属性の ORGANIZATION オプションが、データ・セットのタイプ (DDM またはネイティブ) と矛盾する。
- 26** ファイルの使用方法に関して矛盾が生じている。
- 27** キー順オープンで複合キーが検出された。
- 28 - 30** 新規 DDM ファイルを作成できなかった。
- 31** DDM ファイルの位置決めエラーが発生した。
- 35** DD 環境変数で AMTHD(BTRIEVE) が指定されたが、BTRIEVE ロード可能コンポーネント (BTRCALLS) が見つからなかった、またはシステム上でアクセスできなかった。
- 36** BTRIEVE ファイルをオープンするときに予期しないエラーが発生した。
- 37** 新規 BTRIEVE ファイルを作成できなかった。
- 38** BTRIEVE ファイルの位置決めエラーが発生した。

Subcode1	意味
40	DD 環境変数で AMTHD(ISAM) が指定されたが、ISAM 非マルチスレッド・ロード可能コンポーネント (IBMWS20F および IBMWS20G) または ISAM マルチスレッド・ロード可能コンポーネント (IBMWM20F および IBMWM20G) が見つからなかった、またはシステム上でアクセスできなかった。
41	ISAM ファイルをオープンするときに予期しないエラーが発生した。
42	新規 ISAM ファイルを作成できなかった。
43	ISAM ファイルの位置決めエラーが発生した。
60	無効なタイプのファイルがオープンされている。例えば、z/OS UNIX システム・サービスのもとで VSAM ファイルがオープンされている。VSAM ファイルは z/OS UNIX システム・サービスのもとではサポートされない。
62	MVS バッチ環境で、VSAM ファイルに関するファイル情報の照会が失敗した。
63	MVS バッチ環境で、VSAM 以外のファイルが VSAM ファイルとしてオープンされている。
64	VSAM ファイルが無効なタイプを指定してオープンされている (つまり、ファイルが KSDS、ESDS、または RRDS ファイルでない)。
65	VSAM ファイルが非 MVS バッチ環境でオープンされている。VSAM ファイルは、MVS バッチ環境でだけサポートされる。
66	VSAM ファイルのオープンが失敗した。サブコード 2 でフィードバック・コードが渡される。
67	MVS バッチ環境で、VSAM ファイルが VSAM 以外のファイルとしてオープンされている。
68	無効な VSAM ファイルがオープンされている。
69	MVS バッチ環境で、ネイティブ・ファイルに関するファイル情報の照会が失敗した。
70	VSAM ファイルの位置決めが失敗した。
71	VSAM ファイルが非 MVS バッチ環境でオープンされている。
72	無効な PL/I ファイルがオープンされている。
73	SFS ライブラリーをロードできない。
74	DCE ライブラリーをロードできない。
75	新規 SFS ファイルを作成できなかった。
77	SFS ファイルの位置決めが失敗した。
78	その行より下に十分なストレージがない。
80	更新の際に空の VSAM ファイルをオープンしたので処理エラーが発生した。オン・コード 82 が発行されていなければならない。
110	ファイルの動的割り振り処理中に、指定されたデータ・セットまたはパス名が見つからなかった。
111	ファイルの動的割り振り処理時、環境変数ストリングに無効なキーワードが検出された。
112	ファイルの動的割り振り処理中に、競合するキーワードが検出された。
113	ファイルの動的割り振り処理中に、不適切な区切り文字が検出された。

- 115**
環境変数の DSN パラメーターが一時データ・セット名を指定したが、これは動的割り振りではサポートされない。
- 116**
環境変数の PATH パラメーターが、絶対パス名を指定しなかった。
- 117**
環境変数の DSN キーワードに指定されたデータ・セット名が無効だった。
- 118**
環境変数の DSN キーワードに指定されたメンバー名が無効だった。
- 119**
環境変数の PATH キーワードに指定されたパス名が無効だった。
- 120**
DD 名に関連付けられたファイルの動的割り振りフェーズ中に、エラーが発生した。
- 121**
DD 名に関連付けられたファイルの動的割り振り解除をしようとした時に、エラーが発生した。
- 150**
SIGNAL STRINGSIZE ステートメントが実行された、または STRINGSIZE 条件が発生した。
- 151**
混合文字ストリングの割り当て中に切り捨てが行われた。
- 290**
SIGNAL INVALIDOP ステートメントが実行された、または INVALIDOP 例外が発生した。
- 300**
SIGNAL OVERFLOW ステートメントが実行された、または OVERFLOW 条件が発生した。
- 310**
SIGNAL FIXEDOVERFLOW ステートメントが実行された、または FIXEDOVERFLOW 条件が発生した。
- 320**
SIGNAL ZERODIVIDE ステートメントが実行された、または ZERODIVIDE 条件が発生した。
- 330**
SIGNAL UNDERFLOW ステートメントが実行された、または UNDERFLOW 条件が発生した。
- 340**
SIGNAL SIZE ステートメントが実行された。または、変数または一時変数への割り当ての際に高位のゼロ以外の数字が失われたか、入出力操作中に有効数字が失われた。
- 341**
入出力操作中に高位のゼロ以外の数字が失われた。
- 342**
指定された値をターゲットに割り当てようとすると、有効数字が失われる。
- 343**
UNSIGNED FIXED BIN への割り当てにおけるソースは、ゼロ以上でなければならない。
- 350**
SIGNAL STRINGRANGE ステートメントが実行された、または STRINGRANGE 条件が発生した。
- 360**
割り振りを行うためのフリー・ストレージが不足しているエリア内で、基底付き変数を割り振ろうとした。
- 361**
ソース・エリアを割り当てるためのスペースがターゲット・エリアに不足している。
- 362**
SIGNAL AREA ステートメントが実行された。
- 400**
SIGNAL ATTENTION ステートメントが実行された。

- 430**
SIGNAL ASSERTION。
- 431**
TEXT 節のない ASSERT TRUE/FALSE ステートメントが失敗した。
- 432**
TEXT 節のある ASSERT TRUE/FALSE ステートメントが失敗した。
- 433**
TEXT 節のない ASSERT UNREACHABLE ステートメントが失敗した。
- 434**
TEXT 節のある ASSERT UNREACHABLE ステートメントが失敗した。
- 435**
TEXT 節のない ASSERT COMPARE ステートメントが失敗した。
- 436**
TEXT 節のある ASSERT COMPARE ステートメントが失敗した。
- 450**
SIGNAL STORAGE ステートメントが実行された。
- 451**
ALLOCATE ステートメントまたは ALLOCATE 組み込み関数が失敗した。要求を満たすためのストレージが不足している。
- 500**
SIGNAL CONDITION (name) ステートメントが実行された。

条件コード 501 から 1000

- 520**
SIGNAL SUBSCRIPTRANGE ステートメントが実行された。または、添字を評価した結果、添字が指定された境界の外にあることが判明した。
- 521**
添え字値が配列の範囲外だった。
- 550**
シグナル CONFORMANCE ステートメントを実行した。
- 551**
示されているパラメーターについて呼び出し先が预期している最後のエレメントのオフセットが、呼び出し元によって渡されたオフセットと一致しない。
- 552**
示されたパラメーターに対して呼び出し先が期待するサイズが、呼び出し元によって渡されたサイズと一致しない。
- 553**
示されたパラメーターに対して呼び出し先が期待する lbound が、呼び出し元によって渡された lbound と一致しない。
- 554**
示されたパラメーターに対して呼び出し先が期待する hbound が、呼び出し元によって渡された hbound と一致しない。
- 555**
示されたパラメーターに対して呼び出し先が期待する MAXLENGTH 値が、呼び出し元から渡された MAXLENGTH 値と一致しない。
- 556**
示されたパラメーターに対して呼び出し先が期待するストリング・タイプが、呼び出し元によって渡されたタイプと一致しない。

- 557**
呼び出し先が RETURNS パラメーターに対して期待する値が、呼び出し元によって渡された値と一致しない。
- 558**
呼び出し先が RETURNS パラメーターに対して期待するストリング・タイプが、呼び出し元から渡されたタイプと一致しない。
- 559**
指定された 16 進値は、ORDINAL タイプには無効。
- 600**
SIGNAL CONVERSION ステートメントが実行された。
- 601**
文字ストリングの入出力中に無効な変換が試行された。
- 603**
GET STRING ステートメントに対する F フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 604**
GET FILE ステートメントに対する F フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 605**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する F フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 606**
GET STRING ステートメントに対する E フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 607**
GET FILE ステートメントに対する E フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 608**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する E フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 609**
GET STRING ステートメントに対する B フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 610**
GET FILE ステートメントに対する B フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 611**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する B フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 612**
文字値から算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 613**
GET または PUT FILE ステートメントに対する文字値から算術値への 型変換中にエラーが発生した。
- 614**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する文字値から 算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 615**
文字値からビット値への型変換中にエラーが発生した。
- 616**
GET または PUT FILE ステートメントに対する文字値からビット値への型変換中に エラーが発生した。
- 617**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する 文字値からビット値への型変換中にエラーが発生した。
- 618**
文字値からピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。

- 619**
GET または PUT FILE ステートメントに対する文字値からピクチャーへの型変換中に エラーが発生した。
- 620**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する 文字値からピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。
- 621**
GET STRING ステートメントに対する 10 進 P フォーマット項目内のエラー。
- 622**
GET FILE ステートメントに対する 10 進 P フォーマット入力中のエラー。
- 623**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに 対する 10 進 P フォーマット入力中のエラー。
- 624**
GET FILE ステートメントに対する文字 P フォーマット入力中のエラー。
- 625**
GET FILE ステートメントに対する文字 P フォーマット入力に エラーが存在する。
- 626**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する文字 P フォーマット入力にエラーが存在する。
- 627**
非漢字環境で、漢字ストリングまたは混合文字ストリングが検出された。
- 628**
非漢字環境で、入力に漢字ストリングまたは混合文字ストリングが検出された。
- 629**
非漢字環境で、TRANSMIT が検出された後、入力に漢字ストリング または混合文字ストリングが検出された。
- 633**
X、BX、または GX ストリング定数 内で無効文字が検出された。
- 634**
入力の X、BX、または GX ストリング定数 内で無効文字が検出された。
- 635**
TRANSMIT が検出された後、入力の X、BX、または GX ストリング定数内で無効文字が検出された。
- 640**
ピクチャーからの型変換に無効文字が含まれていた。
- 641**
入力または出力時に、ピクチャーからの型変換に無効文字が含まれていた。
- 642**
TRANSMIT が検出された後、入力時にピクチャーからの型変換に無効文字 が含まれていた。
- 643**
GET STRING ステートメントに対する図形 F フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 644**
GET FILE ステートメントに対する図形 F フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 645**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する図形 F フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 646**
GET STRING ステートメントに対する図形 E フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 647**
GET FILE ステートメントに対する図形 E フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。

- 648**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する図形 E フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 649**
GET STRING ステートメントに対する図形 B フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 650**
GET FILE ステートメントに対する図形 B フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 651**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する図形 B フォーマット項目 の処理中にエラーが発生した。
- 652**
図形文字値から算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 653**
GET または PUT FILE ステートメントに対する図形文字値から算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 654**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する 図形文字値から算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 655**
図形文字値からビット値への型変換中にエラーが発生した。
- 656**
GET または PUT FILE ステートメントに対する図形文字値からビット値への 型変換中にエラーが発生した。
- 657**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する 図形文字値からビット値への型変換中にエラーが発生した。
- 658**
図形文字値からピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。
- 659**
GET または PUT FILE ステートメントに対する図形文字値からピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。
- 660**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する 図形文字値からピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。
- 661**
GET STRING ステートメントに対する 10 進図形 P フォーマット項目内 のエラー。
- 662**
GET FILE ステートメントに対する 10 進図形 P フォーマット入力中のエラー。
- 663**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する 10 進 図形 P フォーマット入力中のエラー。
- 664**
GET FILE ステートメントに対する図形文字 P フォーマット入力中のエラー。
- 665**
GET FILE ステートメントに対する図形文字 P フォーマット入力に エラーが存在する。
- 666**
TRANSMIT 条件の発生後、GET FILE ステートメントに対する図形文字 P フォーマット入力に エラーが存在する。
- 667**
GRAPHIC から文字への型変換中に、等価な SBCS が存在しなかった。

- 668**
入力の GRAPHIC から文字への型変換中に、等価な SBCS が存在しなかった。
- 669**
TRANSMIT 条件の発生後、入力の GRAPHIC から文字への型変換中に、等価な SBCS が存在しなかった。
- 670**
ソース属性が不明。
- 671**
入力のソース属性が不明。
- 672**
TRANSMIT 条件の発生後、入力のソース属性が不明。
- 673**
WIDECHAR 値から文字への型変換中にエラーが発生した。
- 674**
GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値から 文字への型変換中にエラーが発生した。
- 675**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値から文字への型変換中にエラーが発生した。
- 676**
WIDECHAR 値から算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 677**
GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値から 算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 678**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値から算術値への型変換中にエラーが発生した。
- 679**
WIDECHAR 値からビット値への型変換中にエラーが発生した。
- 680**
GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値からビット値への 型変換中にエラーが発生した。
- 681**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値からビット値への型変換中にエラーが発生した。
- 682**
WIDECHAR 値からピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。
- 683**
GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値から ピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。
- 684**
TRANSMIT 条件の発生後、GET または PUT FILE ステートメントに対する WIDECHAR 値からピクチャーへの型変換中にエラーが発生した。

条件コード 1001 から 1499

- 1001**
EVENT 変数は既に DISPLAY ステートメントとともに使用されている。
- 1002**
GET または PUT STRING が、ストリングのサイズを超えるデータを指定している。

1003

以後の出力は、データ・セットに対して前に発生した TRANSMIT 条件 または KEY 条件によって妨げられた。

1004

印刷できないファイルに対して、PAGE、LINE、または SKIP <= 0 を 使用しようとした。

1005

DISPLAY(式) REPLY (文字参照) ステートメント 内で、式または文字参照の長さが 0 である。

1007

REWRITE または DELETE ステートメントの前に READ がない。

1008

GET STRING DATA ステートメントに指定されたストリング内で、割り当てシンボルの前に認識できないフィールドがある。

1009

入出力ステートメントが、ファイル属性と矛盾する操作またはオプションを指定している。

1010

組み込み関数または疑似変数が、オープンされていないファイルを 参照していた。

1011

データ管理が入出力エラーを検出したが、その原因に関する情報を提供できない。

1013

直前の入力操作が未完了。REWRITE または DELETE ステートメント が指定しているデータは、EVENT オプションを指定した READ ステートメント によって直前に読み取られており、対応する WAIT が実行されていない。

1014

未完了の操作数が、ENVIRONMENT オプション NCP(n)、または デフォルトによって指定された数と等しいときに、さらに 入出力操作を開始しようとした。

1015

入出力操作に対して指定されたイベント変数は、既に使用中。

1016

ファイルの暗黙的なオープンが失敗した結果として UNDEFINEDFILE 条件が 発生した後、ON ユニットからの通常のリターン時に、 ファイルがオープンされていないことが検出された。

1018

データ・リストの終わりの前にあるデータ、または編集ディレクティブの 伝送フォーマット・リストで、ファイルまたはストリングの終わりが検出された。

1019

現在のプロセス内でオープンされていないファイルをクローズしようとした。

1020

直前の READ が完了したことを確認するための WAIT ステートメントが 実行される前に、さらに入出力を行おうとした。

1021

このプロセス内で別のファイルによってロックされたレコードにアクセスしようとした。

1022

索引付きデータ・セットを拡張できない。

1023

レコードがサブタスク内でまだロックされているときに、排他的ファイルがクローズされた。

1024

デバイスに関連したファイルに対する入出力操作の 順序が誤っている。

1025

要求を完了させるために使用できる仮想記憶域が不足している。

1026

索引データ・セット内の位置が設定されていない。

- 1027**
レコード制御インターバルが既に排他制御に保持されている。
- 1028**
要求されたレコードは、マウントされていないボリューム上にある。
- 1029**
索引データ・セット内での位置変更が失敗した。
- 1030**
索引データ・セットに対する索引アップグレード中にエラーが発生した。
- 1031**
索引データ・セットに対して無効な順次書き込みが試行された。
- 1040**
出力用にオープンされたデータ・セットが、使用可能なスペースを使い尽くした。
- 1041**
レコード区切り文字を含むレコードを書き込もうとした。
- 1042**
データ・セット内のレコードが正しく区切られていない。
- 1043**
CLOSE 処理中に入出力エラーが発生した。
- 1062**
RRDS ファイルのレコード長が正しくない。
- 1068**
VSAM サーバーが使用不可だった。
- 1069**
レコードをロックしようとしたときにデッドロックが検出された。
- 1071**
レコードをロックしようとしたときにロックの保持が拒否された。
- 1094**
代替索引ポインターが無効である。
- 1102**
ストレージ管理中にエラーが発生した。解放されるストレージが無効なアドレスによって指されている。
- 1104**
ライブラリー内で内部エラーが発生した。
- 1105**
オブジェクト・ウィンドウを作成できない。
- 1106**
ストレージ割り振り要求を満たすために使用可能な容量が不十分。
- 1107**
フリー・ストレージ処理中に問題が発生した。
- 1301**
ピクチャー指定の F 係数が -128 から 127 までの範囲になかった。
- 1302**
無効文字がピクチャー指定に含まれていた。
- 1303**
無効文字が F 係数に含まれていた。
- 1304**
無効文字がピクチャー指定に含まれていた。
- 1305**
無効な精度値がピクチャー指定に含まれていた。

1306

ピクチャー指定に含まれていたオーバパンチ文字の数が多すぎた。

1307

1 未満の精度値がピクチャー指定に含まれていた。

1308

固定小数点ピクチャー指定における精度値が制限を超えた。

1309

浮動小数点ピクチャー指定における精度値が制限を超えた。

1310

ピクチャー指定にピクチャー文字が含まれていなかった。

1311

浮動小数点ピクチャー指定における指数が制限を超えた。

1312

浮動小数点ピクチャー指定に指数がなかった。

1313

ピクチャー指定における指数に V 文字が含まれていた。

1314

無効文字が浮動小数点ピクチャー指定に含まれていた。

1315

ピクチャー指定が制限を超えた。

1316

無効な区切り文字がピクチャー指定に含まれていた。

条件コード 1500 から 2000

1500

計算誤差。SQRT 組み込み関数の短精度浮動小数点引数が 0 より小さい。

1501

計算誤差。SQRT 組み込み関数の長精度浮動小数点引数が 0 より小さい。

1502

計算誤差。SQRT 組み込み関数の拡張浮動小数点引数が 0 より小さい。

1503

LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の計算誤差。拡張浮動小数点引数が 0 より小さい。

1504

LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の計算誤差。短精度浮動小数点引数が 0 より小さい。

1505

LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の計算誤差。長精度浮動小数点引数が 0 より小さい。

1506

SIN、COS、SIND、または COSD 組み込み関数の計算誤差。短精度浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

表記

limit

16 進数

pi*(2**18)

z ieee 10 進数

1s6

1507

SIN、COS、SIND、または COSD 組み込み関数の計算誤差。長精度浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

表記

limit

16 進数

pi*(2**50)

表記	limit
z ieee 2 進数	3.53711d15
z ieee 10 進数	1d15
i ieee 2 進数	2**63

1508

計算誤差。TAN または TAND 組み込み関数の短精度浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

表記	limit
16 進数	pi*(2**18)
z ieee 10 進数	1s6

1509

計算誤差。TAN または TAND 組み込み関数の長精度浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

表記	limit
16 進数	pi*(2**50)
z ieee 2 進数	3.53711d15
z ieee 10 進数	1d15
i ieee 2 進数	2**63

1514

計算誤差。ATANH 組み込み関数の短精度浮動小数点引数の絶対値が 1 より大きい。

1515

計算誤差。ATANH 組み込み関数の長精度浮動小数点引数の絶対値が 1 より大きい。

1516

計算誤差。ATANH 組み込み関数の拡張浮動小数点引数の絶対値が 1 より大きい。

1517

SIN、COS、SIND、または COSD 組み込み関数の計算誤差。拡張精度浮動小数点引数が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

表記	limit
16 進数	pi*(2**100)
z ieee 2 進数	4.07802q33
z ieee 10 進数	1q33
i ieee 2 進数	2**64

1518

計算誤差。ASIN または ACOS 組み込み関数の短精度浮動小数点引数の絶対値が 1 を超えている。

1519

計算誤差。ASIN または ACOS 組み込み関数の長精度浮動小数点引数の絶対値が 1 を超えている。

1520

計算誤差。ASIN または ACOS 組み込み関数の拡張浮動小数点引数の絶対値が 1 を超えている。

1522

計算誤差。TAN または TAND 組み込み関数の拡張浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	pi*(2**100)
z ieee 2 進数	4.07802q33
z ieee 10 進数	1q33
i ieee 2 進数	2**64

1523

計算誤差。SINH または COSH 組み込み関数の実数の短精度浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	175.366
z ieee 10 進数	2.233507s02

1524

SINH または COSH 組み込み関数の実数の長精度浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	175.366
z ieee 2 進数	709.7827
z ieee 10 進数	8.864952608027075d02
i ieee 2 進数	710.47

1525

SINH または COSH の実数の拡張浮動小数点引数の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	175.366
z ieee 2 進数	11354
z ieee 10 進数	1.41493853964484107282905574890354q4
i ieee 2 進数	11357.56

1529

SIN、COS、SIND、または COSD 組み込み関数の計算誤差。複素数の短精度浮動小数点引数の実数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	pi*(2**18)
z ieee 10 進数	1s6

1530

SIN、COS、SIND、または COSD 組み込み関数の計算誤差。複素数の長精度浮動小数点引数の実数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	pi*(2**50)
z ieee 2 進数	3.53711d15

<u>表記</u>	<u>limit</u>
z ieee 10 進数	1d15
i ieee 2 進数	2**63

1531

SIN、COS、SIND、または COSD 組み込み関数の計算誤差。複素数の拡張浮動小数点引数の実数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	pi*(2**100)
z ieee 2 進数	4.07802q33
z ieee 10 進数	1q33
i ieee 2 進数	2**64

1550

計算誤差。指数演算時に、実数の短精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ整数の指数が正でない。

1551

計算誤差。指数演算時に、実数の長精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ整数の指数が正でない。

1552

計算誤差。指数演算時に、実数の短精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ浮動小数点または非整数の指数が正でない。

1553

計算誤差。指数演算時に、実数の長精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ浮動小数点または非整数の指数が正でない。

1554

計算誤差。指数演算時に、複素数の短精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ整数の指数が正でない。

1555

計算誤差。指数演算時に、複素数の長精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ整数の指数が正でない。

1556

計算誤差。指数演算時に、複素数の短精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ浮動小数点または非整数の指数が正の実数でない。

1557

計算誤差。指数演算時に、複素数の長精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ浮動小数点または非整数の指数が正の実数でない。

1558

計算誤差。ATAN または ATAND 組み込み関数の複素数の短精度浮動小数点引数が、それぞれ ±1I または ±1 の値をとっている。

1559

計算誤差。ATAN または ATAND 組み込み関数の複素数の長精度浮動小数点引数が、それぞれ ±1I または ±1 の値をとっている。

1560

計算誤差。指数演算時に、実数の拡張浮動小数点の基数が 0 であり、かつ整数の指数が正でない。

1561

計算誤差。指数演算時に、実数の拡張浮動小数点の基数が 0 であり、かつ浮動小数点または非整数の指数が正でない。

1562

計算誤差。指数演算時に、複素数の拡張浮動小数点の基数が 0 であり、かつ整数の指数が正でない。

1563

計算誤差。複素数の拡張浮動小数点の基数が 0 であり、かつ浮動小数点または非整数の指数が正でない。

1564

計算誤差。ATAN または ATAND 組み込み関数の複素数の拡張浮動小数点引数が、それぞれ $\pm 1I$ または ± 1 の値をとっている。

1568

EXP 組み込み関数の計算誤差。複素数の短精度浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**18})$
z ieee 10 進数	1s6

1569

EXP 組み込み関数の計算誤差。複素数の長精度浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**50})$
z ieee 2 進数	3.53711d15
z ieee 10 進数	1d15
i ieee 2 進数	2^{**63}

1570

EXP 組み込み関数の計算誤差。複素数の拡張浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**100})$
z ieee 2 進数	4.07802q33
z ieee 10 進数	1qd33
i ieee 2 進数	2^{**64}

1571

GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の計算誤差。実数の短精度拡張浮動小数点引数が大きすぎる。表記ごとの GAMMA の限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	57.5744
z ieee 10 進数	6.932968s01

表記ごとの LOGGAMMA の限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$4.2937 \cdot (10^{**73})$
z ieee 10 進数	4.608910s94

1572

GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の計算誤差。実数の長精度浮動小数点引数が大きすぎる。表記ごとの GAMMA の限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	57.5744

<u>表記</u>	<u>limit</u>
z ieee 2 進数	171.624
z ieee 10 進数	2.053796629328708d02
i ieee 2 進数	171.6243

表記ごとの LOGGAMMA の限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	4.2937*(10**73)
z ieee 2 進数	2.559d305
z ieee 10 進数	1.138023083333461d382
i ieee 2 進数	2.0d0**1014

1573

GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の計算誤差。実数の拡張拡張浮動小数点引数が大きすぎる。表記ごとの GAMMA の限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	57.5744
z ieee 2 進数	1755
z ieee 10 進数	2.12454995666246323632807135355444q3
i ieee 2 進数	171.6243

表記ごとの LOGGAMMA の限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	4.2937*(10**73)
z ieee 2 進数	1q4928
z ieee 10 進数	7.07272165228093306168809969252963q6140
i ieee 2 進数	2.0q0**1014

1574

TANH 組み込み関数の計算誤差。複素数の短精度浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	pi*(2**18)
z ieee 10 進数	1s6

1575

TANH 組み込み関数の計算誤差。複素数の長精度浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	pi*(2**50)
z ieee 2 進数	3.53711d15
z ieee 10 進数	1d15
i ieee 2 進数	2**63

1576

TANH 組み込み関数の計算誤差。複素数の拡張浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	pi*(2**100)
z ieee 2 進数	4.07802q33
z ieee 10 進数	1q33
i ieee 2 進数	2**64

1577

LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の計算誤差。実数の短精度浮動小数点引数が 0 に等しい。

1578

LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の計算誤差。実数の長精度浮動小数点引数が 0 に等しい。

1579

LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の計算誤差。実数の拡張浮動小数点引数が 0 に等しい。

1611

計算誤差。EXP 組み込み関数に対する実数の短精度浮動小数点引数が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	174.673
z ieee 10 進数	2.233507s02

1612

計算誤差。EXP 組み込み関数に対する実数の長精度浮動小数点引数が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	174.673
z ieee 2 進数	709.7827
z ieee 10 進数	8.864952608027075d02
i ieee 2 進数	710.47

1613

計算誤差。EXP 組み込み関数に対する実数の拡張浮動小数点引数が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	174.673
z ieee 2 進数	11354
z ieee 10 進数	1.41493853964484107282905574890354q4
i ieee 2 進数	11357.56

1729

計算誤差。指数演算時に、実数の短精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ実数の短精度浮動小数点の指数が正または 0 でない。

1730

計算誤差。指数演算時に、実数の長精度浮動小数点の基数が 0 であり、かつ実数の長精度浮動小数点の指数が正または 0 でない。

1754

計算誤差。複素数の短精度浮動小数点の基数と 複素数の短精度浮動小数点の指数を指定した指数演算時に、引数が限度を超えた。

1755

計算誤差。複素数の長精度浮動小数点の基数と 複素数の長精度浮動小数点の指数を指定した指数演算時に、引数が限度を超えた。

1756

計算誤差。複素数の拡張浮動小数点の基数と 複素数の拡張浮動小数点の指数を指定した指数演算時に、引数が限度を超えた。

1853

TAN または TAND の計算誤差。複素数の短精度浮動小数点引数について、引数の実数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**18})$
z ieee 10 進数	1s6

1854

TAN または TAND の計算誤差。複素数の長精度浮動小数点引数について、引数の実数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**50})$
z ieee 2 進数	3.53711d15
z ieee 10 進数	1d15
i ieee 2 進数	2^{**63}

1855

TAN または TAND の計算誤差。複素数の拡張浮動小数点引数について、引数の実数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**100})$
z ieee 2 進数	4.07802q33
z ieee 10 進数	1q33
i ieee 2 進数	2^{**64}

1914

計算誤差。SINH または COSH 組み込み関数の複素数の短精度浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**18})$
z ieee 10 進数	1s6

1915

計算誤差。SINH または COSH 組み込み関数の複素数の長精度浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

<u>表記</u>	<u>limit</u>
16 進数	$\pi \cdot (2^{**50})$

表記	limit
z ieee 2 進数	3.53711d15
z ieee 10 進数	1d15
i ieee 2 進数	2**63

1916

計算誤差。SINH または COSH 組み込み関数の複素数の拡張浮動小数点引数の虚数部の絶対値が大きすぎる。表記ごとの限度は、以下の通りである。

表記	limit
16 進数	pi*(2**100)
z ieee 2 進数	4.07802q33
z ieee 10 進数	1q33
i ieee 2 進数	2**64

1960

SQRT の計算誤差。実数の短精度浮動小数点引数が 0 に等しい。

1961

SQRT の計算誤差。実数の長精度浮動小数点引数が 0 に等しい。

1962

SQRT の計算誤差。実数の拡張浮動小数点引数が 0 に等しい。

条件コード 2001 から 2500

2002

システム機能が制限されているために、WAIT ステートメントを 実行できない。

2050

永続的な待機を発生させる WAIT ステートメントが検出された。

2101

RANDOM 組み込み関数のためのグリニッジ標準時を取得することができなかった。

2102

RANDOM 組み込み関数の中で無効なシード値が検出された。乱数は -1 に設定された。

2103

地方時が取得できなかった。

2104

SECSTODATE、DAYS、DAYSTODATE、または DATETIME 組み込み関数 の y の値に、無効なピクチャー・ストリングの指定が含まれている。

2105

DAYS 組み込み関数の x の値に、無効な日の値が含まれている。有効な範囲は、1582 年 10 月 15 日から 9999 年 12 月 31 日である。

2106

DAYS 組み込み関数の x の値に、無効な月の値が含まれている。有効な範囲は、1582 年 10 月から 9999 年 12 月である。

2107

DAYS 組み込み関数の x の値に、無効な年の値が含まれている。有効な範囲は、1582 から 9999 である。

2108

DAYSTODATE 組み込み関数の x の値がサポート範囲外にある。有効な範囲は、1 から 3,074,324 である。

2109

SECSTODATE 組み込み関数の x の値がサポート範囲外にある。有効な範囲は、86,400 から 265,621,679,999.999 である。

2110

DAYSTODATE 組み込み関数の x の値が、有効な日本元号または中国元号に変換できなかった。

2111

現在の地方時とグリニッジ標準時との間の時差が取得できなかった。

2112

SECS または DAYS 組み込み関数の x の値がサポート範囲外にある。有効な範囲は、1582 年 10 月 15 日から 9999 年 12 月 31 日である。

2113

SECS 組み込み関数の x の値に、無効な秒の値が含まれている。有効な範囲は、0 から 59 である。

2114

SECS 組み込み関数の x の値に、無効な分の値が含まれている。有効な範囲は、0 から 59 である。

2115

SECS 組み込み関数の x の値に、無効な時の値が含まれている。有効な範囲は、0 から 23 または 0 から 12 (AP フィールドが存在する場合) である。

2116

DAYS 組み込み関数の x の値が、指示されたピクチャー指定と一致しない。

2117

SECS 組み込み関数の x の値が、指示されたピクチャー指定と一致しない。

2118

DAYSTODATE 組み込み関数から戻された日付ストリングが切り捨てられた。

2119

DATETIME または SECSTODATE 組み込み関数から戻されたタイム・スタンプが切り捨てられた。

2120

SECSTODATE または DATETIME 組み込み関数の x の値に、サポートされる日本元号または中国元号の範囲に対して無効な秒数の値が含まれている。

2121

DAYS または SECS 組み込み関数に渡されたデータに不足がある。ピクチャー・ストリングに十分な情報が含まれていない。

2122

SECS または DAYS 組み込み関数の x の値に、無効な年号名が含まれている。

2165

GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の計算誤差。実数の短精度浮動小数点引数が、0 より小か等しい。

2166

GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の計算誤差。実数の長精度浮動小数点引数が、0 より小か等しい。

2167

GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の計算誤差。実数の拡張浮動小数点引数が、0 より小か等しい。

2171

実数の短精度浮動小数点引数が制限を超えた。

2172

実数の長精度浮動小数点引数が制限を超えた。

2173

実数の拡張浮動小数点引数が制限を超えた。

2403

計算誤差。GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の実数の拡張浮動小数点引数が、0 より小か等しい。

2404

計算誤差。GAMMA または LOGGAMMA 組み込み関数の 実数の拡張浮動小数点引数が、0 に等しい。

2413

計算誤差。LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の複素数の 短精度浮動小数点引数が 0 である。

2414

計算誤差。LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の複素数の 長精度浮動小数点引数が 0 である。

2415

計算誤差。LOG、LOG2、または LOG10 組み込み関数の複素数の 拡張浮動小数点引数が 0 である。

2504

実数の短精度浮動小数点引数がデータ型の許容値を超えている。

2505

実数の長精度浮動小数点引数がデータ型の許容値を超えている。

2506

実数の拡張浮動小数点引数がデータ型の許容値を超えている。

条件コード 3000 から 4000

3000

編集ディレクティブの入出力ステートメント内で、E フォーマット項目に対して指定したフィールド幅、小数の桁数、および有効数字の桁数 (w、d、および s) は、有効数字または符号を失わずに伝送を行うことができない。

3002

MEMCONVERT 組み込みが誤った戻りコードを返した。

3003

Unicode 変換後は、シフトインは使用できない。

3006

ターゲットのピクチャー記述が、文字以外のストリングのソースと一致しない。

3009

大/小文字混合ストリングにシフトアウトが含まれ、シフトインが見つかる前にシフトアウトが終了した。

3010

大/小文字混合の定数の処理中に、次のいずれかが発生した。

- SBCS 部分にあるシフトイン。
- 図形 (2 バイト) 部分にあるシフトアウト。(シフトアウトは、図形文字のどのバイトでも表示できない。)
- 図形文字の 2 番目のバイトあるシフトイン。

3011

MPSTR 組み込み関数の処理規則を指定する式に、無効文字 (あるいはヌル関数ストリング、またはブランクのみ) が含まれている。(V、v、S、s、およびブランクだけが有効な文字。)

3013

16,383 文字 (32,766 バイト) より長い漢字ターゲットへの割り当てが試行された。

3014

漢字ストリングまたは混合ストリングが、連結規則に準拠していない。

3015

X 定数または GX 定数の桁数が無効である。

3016

ストリーム入出力でグラフィック・データが不適切に使用されている。グラフィック・データは、変数名またはストリングの一部としてだけ使用できる。

3018

無効な UTF-8 データが検出された。

- 3019**
UTF-8 文字に無効なバイト 2 が検出された。
- 3020**
UTF-8 文字に無効なバイト 3 が検出された。
- 3021**
UTF-8 文字に無効なバイト 4 が検出された。
- 3022**
不完全な UTF-8 文字が検出された。
- 3023**
無効な UTF-16 データが検出された。
- 3024**
不完全な UTF-16 文字が検出された。
- 3025**
USUBSTR 参照が無効である。
- 3500**
WAIT ステートメントの処理中に、オペレーティング・システムによってエラーが検出された。
- 3501**
DETACH ステートメントの処理中に、オペレーティング・システムによってエラーが検出された。
- 3502**
ATTACH ステートメントの処理中に、オペレーティング・システムによってエラーが検出された。
- 3503**
STOP ステートメントの処理中に、オペレーティング・システムによってエラーが検出された。
- 3504**
ATTACH ステートメントが POSIX(OFF) 環境で処理されている。
- 3797**
図形データへ、または図形データからの変換が試行された。
- 3798**
ONCHAR、ONSOURCE、または ONGSOURCE 疑似変数がコンテキスト外で 使用されている。
- 3799**
CONVERSION ON ユニット内でソースが変更されなかった。再試行は行われなかった。ON ユニットに入った原因は、変換対象のストリング内の無効文字によって発生した CONVERSION 条件である。その文字は、ON ユニット内で ONSOURCE、ONGSOURCE、または ONCHAR 疑似変数を使用して訂正されなかった。
- 3800**
データ集合の長さがシステムしきい値の $2^{**}24$ バイトを超えた。
- 3804**
配列の初期化が反復の深さの最大レベルを超えた。
- 3808**
COBOL または FORTRAN で集合がマップできない。
- 3809**
データ集合が最大長を超えた。
- 3810**
配列のエクステンツが、許される上限を超えている。
- 3901**
既にアクティブ・プロセスに関連付けられているプロセス変数を使用して、プロセスを起動しようとした。
- 3904**
既に DISPLAY ステートメント用に使用されている イベント変数が、COMPLETION 疑似変数への引数として参照された。

3906

既にアクティブになっているイベント変数への割り当てが行われた。

3907

既にアクティブ・プロセスに関連付けられているイベント変数を 関連付けようとした。

3908

最大数のスレッドのインストール・デフォルトを照会できなかった。

3909

使用可能な主記憶域が不足しているときに、サブタスクを作成しようとした (CALL ステートメントを使用して)。

3910

アクティブ・プロセス数が、EXEC ステートメントの ISASIZE パラメーターによって定義された限度に既に達しているときに、プロセスを生成しようとした (CALL ステートメントを使用して)。

3911

ON ユニット内の WAIT ステートメントが、ON ユニットに入る元の プロセス内で既に待機の対象になっているイベント変数を参照している。

3912

PUT FILE(SYSPRINT) ステートメントの実行中に呼び出された ブロック内で、TASK オプションを指定して CALL を実行しようとした。

3913

TASK を指定した CALL ステートメントが、不明なエントリー・ポイント を指定している。

3914

2 つのプロセス内で FORTRAN または COBOL のルーチンを 同時に呼び出そうとした。

3915

リンク・エディット・ステップ内でマルチタスキング・ライブラリーが 選択されていないときに、プロセスを呼び出そうとした。

3920

ストレージ不足による異常終了が発生した。

3951

待機を初期化するための呼び出しが失敗した。

3952

待機を実行するための呼び出しが失敗した。

3953

サブタスクを取り消すための呼び出しが失敗した。

3954

PL/I EXCLUSIVE ファイルをサポートするための呼び出しが失敗した。

条件コード 4001 から 9999

4001

GET DATA ステートメントで割り振り解除 CONTROLLED 変数にデータを割り当てようとした。

4002

PUT DATA ステートメントで割り振り解除 CONTROLLED 変数を出力しようとした。

4003

STRING オプションが指定された PUT DATA ステートメントで割り振り解除 CONTROLLED 変数から割り当てを行おうとした。

5050

JSON 浮動小数点数で指定されている桁数が多すぎる。

5051

JSON 固定小数点数で指定されている桁数が多すぎる。

5052

JSON テキストに無効な値のタイプが含まれている。

5053

UTF-8 から文字への変換が失敗した。

5054

JSON のソースを BIT に代入する操作は無効である。

5055

UTF-8 から UTF-16 への変換が失敗した。

5056

JSON テキストのストリングが長すぎる。

5057

¥u の後の文字が有効な 16 進数字ではない。

5058

16 進文字で無効な UTF サロゲート・ペアを指定している。

5059

JSON テキストに無効なエスケープ文字が含まれている。

5060

JSON テキストでは、t で始まる有効値は true だけである。

5061

JSON テキストでは、f で始まる有効値は false だけである。

5062

JSON テキストでは、n で始まる有効値は null だけである。

5063

JSON テキストが途中で終わっている。

5064

数値が JSON 構文の規則に準拠していない。

5065

JSON ソース内の名前がターゲット内の名前と一致していない。

5066

JSON 値 true と false の割り当て先にできるのは、NONVARYING BIT だけである。

5067

JSON テキストに無効な UTF-8 文字が含まれている。

5068

JSON テキスト内のオブジェクトと配列のネストが深すぎる。

5069

JSON テキスト内の次の有効文字は、左大括弧 ([) でなければならない。

5070

JSON テキスト内の次の有効文字は、右大括弧 (]) でなければならない。

5071

JSON テキスト内の次の有効文字は、左中括弧 ({) でなければならない。

5072

JSON テキスト内の次の有効文字は、右中括弧 (}) でなければならない。

5073

JSON テキスト内の次の有効文字は、コンマ (,) でなければならない。

5074

JSON テキスト内の次の有効文字は、二重引用符 (") でなければならない。

5075

JSON テキスト内の次の有効文字は、コロン (:) でなければならない。

5076

JSON テキスト内の次の有効文字は、JSON 値の先頭文字でなければならない。

5077

JSON テキスト内の次の有効文字は、右大括弧 (]) か JSON 値の先頭文字でなければならない。

5078

JSON テキスト内の次の有効文字は、二重引用符 (") か右中括弧 (}) でなければならない。

5079

JSON テキスト内の次の有効文字は、コンマ (,) か右大括弧 (}) でなければならない。

5080

JSON テキスト内の次の有効文字は、コンマ (,) か右中括弧 (}) でなければならない。

8091

演算例外。

8092

特権命令例外。

8093

EXECUTE 例外。

8094

記憶保護例外。

8095

アドレッシング例外。

8096

指定例外。

8097

データ例外。

8098

スタック・ストレージの不足。

9002

非アクティブ・ブロック内のラベルを参照する GO TO ステートメントを実行しようとした。

9003

存在しないラベル定数への GO TO ステートメントを実行しようとした。

9004

RETURNS 属性を使用してプロシージャから戻り値なしの RETURN を実行しようとした。

9005

RETURNS 属性を使用せずにプロシージャから、戻り値を伴う RETURN を実行しようとした。

9050

異常終了によってプログラムが終了した。

9051

CICS 内でエラーが発生した。EXEC CICS コマンドに指定したパラメーター (特にポインター) が、PL/I プログラムの所有するストレージを指していない可能性が高い。ERROR ON ユニットの制御が渡されなかった。TEST ランタイム・オプションが有効になっている場合、ユーザーは PLITEST を使用して変数などを検査できるが、実行を継続することはできない。

9200

SORT/MERGE プログラム内のプログラム・チェック。

9201

CMS 内では SORT はサポートされていない。

9202

PLISRTx 呼び出しに RECORD TYPE スtringが指定されていない。

9203

PLISRTx 呼び出しに誤ったレコード・タイプが指定されている。

9204

PLISRTB または PLISRTD 呼び出しの RECORD TYPE スtringの 指定に LENGTH= がない。

9205

PLISRTx 呼び出しの LENGTH= パラメーターに指定した長さが、数値でない。

- 9206**
E15 または E35 データ処理ルーチンから誤った戻りコードを受け取った。
- 9207**
メッセージに表示されている戻りコードを出して DFSORT が失敗した。
- 9208**
PLISRTx が ADMVS 以外の環境で呼び出された。
- 9209**
SMARTSort のフェッチが失敗した。
- 9210**
SORT 入力データ・セットの DD が無効である。
- 9211**
SORT 出力データ・セットの DD が無効である。
- 9212**
SORT データ・セットの DD に LRECL も LENGTH もない。
- 9213**
SORT データ・セットの DD で TYPE を指定する必要がある。
- 9214**
CALL PLISRTx ステートメントに SORT FIELDS ストリングがない。
- 9215**
CALL PLISRTx ステートメントの SORT FIELDS パラメーターに指定されたフィールドの数が多すぎる。
- 9216**
無効な開始フィールドまたは長さフィールド、あるいはその両方が CALL PLISRTx ステートメントの SORT FIELDS パラメーターに含まれていた。
- 9217**
無効な形式が CALL PLISRTx ステートメントの SORT FIELDS パラメーターに含まれていた。
- 9218**
無効なシーケンスが CALL PLISRTx ステートメントの SORT FIELDS パラメーターに含まれていた。
- 9249**
ルーチンをリリースできない。
- 9250**
フェッチするプロシージャが検出できない。
- 9251**
プロシージャをフェッチする際に永続的な伝送エラーが発生した。
- 9252**
CMS 内では FETCH/RELEASE はサポートされていない。
- 9253**
PLITEST が使用できない。
- 9254**
PL/I 高級言語以外のプログラムを含むロード・モジュールを解放しようとした。
- 9255**
無効なシーケンスが CALL PLISRTx ステートメントの SORT FIELDS パラメーターに含まれていた。
- 9258**
NOENT でコンパイルされたルーチンは RENT でコンパイルされたルーチンを取り出すことができません。
- 9999**
言語環境プログラム サービスの起動時に障害が発生した。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

IBM Corporation
J74/G4
IBM World Trade Asia Corporation
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

For license inquiries regarding double-byte (DBCS) information, contact the IBM Intellectual Property Department in your country or send inquiries, in writing, to:

Intellectual Property Licensing
:NONE.
IBM Japan, Ltd.
<!--3-2-12, Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-8711-->

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

インターナショナル・ビジネス・マシズ・コーポレーションが提供
本書は現存するままの状態を提供され、いかなる保証も適用されません。
明示または黙示を問わず、以下のものを含みますが、これに限定されるものではありません。
を、非侵害の黙示的保証に変更することができます。
「商品性」または「特定目的適合性」

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。

本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。世界中の多くの国で登録されています。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、["著作権および商標情報" \(www.ibm.com/legal/copytrade\)](http://www.ibm.com/legal/copytrade) をご覧ください。

Intel および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

:NONE.

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

<!-- 他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。 -->

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

参照文献

PL/I 資料

Enterprise PL/I for z/OS

プログラミング・ガイド, GI13-5620
言語リファレンス, SC31-5716
メッセージとコード, GC31-5717
コンパイラおよびランタイムマイグレーション・ガイド, GC31-5715

PL/I for MVS & VM

「インストールとカスタマイズ」、SC88-7221
「言語解説書」、SC88-7219
「コンパイル時メッセージおよびコード」、SC88-7224
「診断の手引き」、SC88-7223
「移行の手引き」、SC88-7220
「プログラミング・ガイド」、SC88-7218
「参照要約」、SX88-7011

PL/I for AIX

「プログラミング・ガイド」、SA88-4427
「言語解説書」、SA88-4429
「メッセージおよびコード」、GA88-4430
「インストール・ガイド」、GA88-4428

関連資料

Db2 および z/OS

「管理ガイド」、SC43-3430
「アプリケーション・プログラミングおよび SQL 解説書」、SC43-3444
「コマンド解説書」、SC43-3431
「メッセージ」、GC43-3438
「コード」、GC43-3442
「SQL 解説書」、SC43-3449
「LOBs with Db2 for z/OS: Stronger and Faster」、SG24-7270
[Db2 for z/OS Product Documentation](#) も参照してください

DFSORT™

「アプリケーション・プログラミング・ガイド」、SA88-5607
「インストールおよびカスタマイズ」、SA88-7075

IMS/ESAR

「アプリケーション・プログラミング: データベース管理プログラム」、SC88-7552
「Application Programming: Database Manager Summary」、SC26-8037
「アプリケーション・プログラミング: 設計の手引き」、SC88-7542

「アプリケーション・プログラミング: トランザクション管理プログラム」、SC88-7553
「*Application Programming: Transaction Manager Summary*」、SC26-8038
「アプリケーション・プログラミング: EXEC DL/I コマンド (CICS および IMS™)」、SC88-7554
「*Application Programming: EXEC DL/I Commands for CICS and IMS Summary*」、SC26-8036
「*IMS/ESA V6R1 Bookindex*」、GC27-1557

TXSeries for Multiplatforms

「Encina 管理の手引き 第2巻: サーバー管理」、SD88-7403
「*Encina SFS Programming Guide*」、SC09-4483
[TXSeries for Multiplatforms 資料](#) を参照

z/Architecture

「解説書」、SA88-8773
オンラインの [Principles of Operation](#) を参照してください

z/OS 言語環境プログラム

「概念」、SC43-2659
「デバッグ・ガイド」、GA88-5524
「ランタイム・メッセージ」、SA88-7094
「カスタマイズ」、SA88-7096
「プログラミング・ガイド」、SA88-7098
「64 ビット仮想アドレッシング・モード向けプログラミング・ガイド」、SA88-7101
「プログラミング・リファレンス」、SA88-7099
「ランタイム・アプリケーションマイグレーション・ガイド」、GC43-2660
「*Vendor Interfaces*」、SA38-0688
「言語間通信 アプリケーションの作成」、SC43-2661
[z/OS Language Environment 資料](#) も参照

z/OS MVS

「JCL 解説書」、SA88-7091
「JCL ユーザーズ・ガイド」、SA88-5468
「システム・コマンド」、SA88-5490
[z/OS MVS 資料](#) を参照

z/OS TSO/E

「コマンド解説書」、SA88-7049
「ユーザーズ・ガイド」、SA88-5454

z/OS UNIX システム・サービス

「z/OS UNIX System Services コマンド解説書」、SA88-5452
「z/OS UNIX System Services プログラミング: アセンブラ呼び出し可能サービス 解説書」、SA88-7054
「z/OS UNIX System Services ユーザーズ・ガイド」、SA88-7053

Unicode® および文字表現

「OS/390 Unicode サポート: 変換サービスの使用法」、SD88-6163
「z/OS Unicode サービス ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス」、SA88-7093



プログラム番号: 5655-PL6

GC31-5717-00

